

**SHINNIKEI**  
新日軽

**デュアルライン**

笠木手摺・ベランダ手摺

**加工・組立・施工マニュアル**



***DUALLINE***

— 目次 —

■ 販売店・工事店様へのお願い	— 1	■ 取付の詳細	— 56
■ メンテナンスについて	— 4	① ベースアンカーの取付け	— 56
■ 設計基準	— 5	② パラペットの取付け	— 62
■ 使用工具一覧表	— 6	③ 柱の取付け	— 66
■ 部材・部品一覧表	— 7	④ 笠木の取付け	— 77
■ 取付の概要とベースアンカーの位置	— 29	⑤ パネルの取付け	— 88
・ A1・A2 タイプ	— 29	⑥ 控え柱の取付け	— 103
・ B1・B2 タイプ	— 30	⑦ 方立柱の取付け	— 104
・ A1・B1 タイプ	— 31	⑧ 隔て板の取付け	— 106
・ A2・B2 タイプ	— 32	⑨ 笠木角度自在部品の取付け	— 109
・ A3・B3 タイプ	— 33	⑩ 側枠の取付け	— 112
・ C・D タイプ	— 35	⑪ 縦パラペットの取付け	— 113
・ F タイプ	— 39	⑫ 物干し・テラスの取付け	— 114
・ G タイプ	— 48	■ 加工図	— 123
・ H タイプ	— 52	・ 記号のつけ方	— 123
・ I タイプ	— 54	・ パラペット 加工図	— 124
		・ 笠木 加工図	— 126
		・ 柱 加工図	— 132
		・ 格子 加工図	— 141
		・ パネル枠 加工図	— 147
		・ 別売部材 加工図	— 150
		■ 製品保証について	— 157

販売店・工事店様へのお願い

● 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

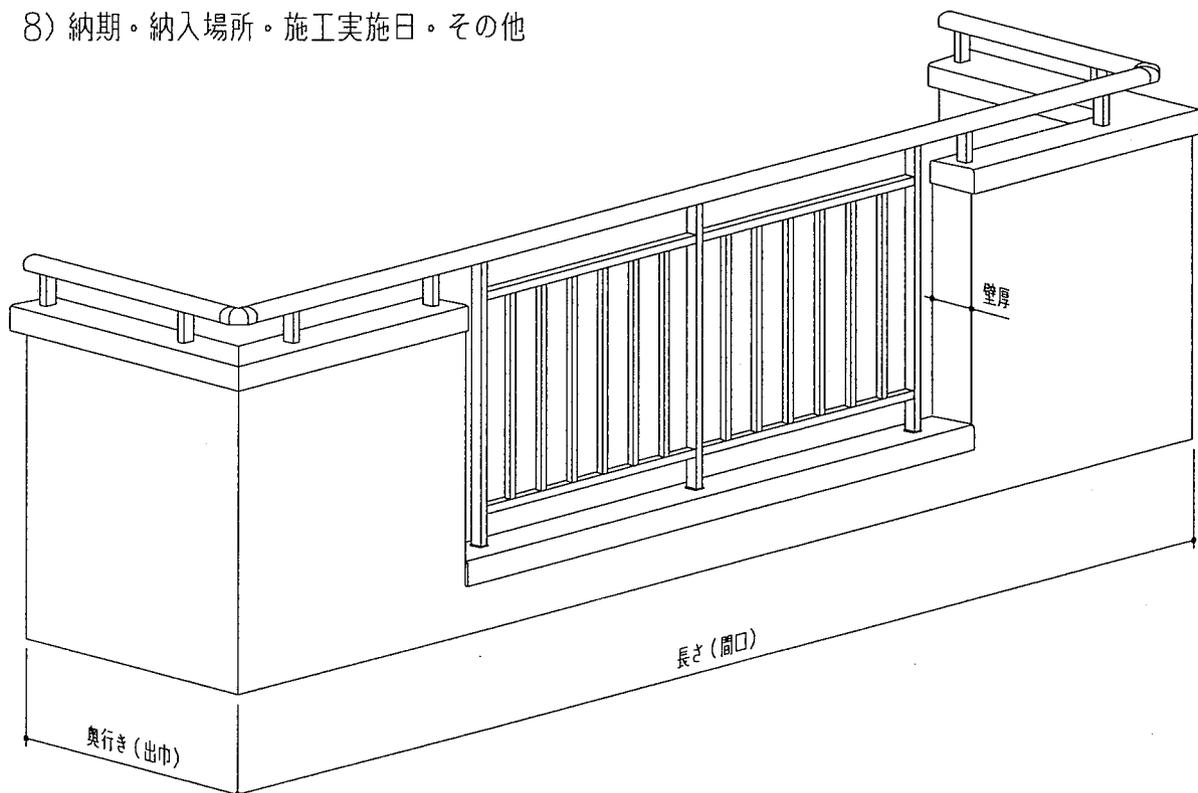
絵表示	意味
 注意	取り扱いを誤ると、使用者が障害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。
お願い	 「禁止」を示しています。
	 「必ず行なっていたる事」を示しています。

◎ 見積・受注について

見積・受注の際、物件内容を良く把握していませんと後からトラブルの原因となりますのでご注意ください。

見積・受注に当たっては、特に次の点を確認してください。

- 1) 長さ（間口）
- 2) 奥行き（出巾）
- 3) タイプか：A, B, C, D, F, G, H, Iのどのタイプか
- 4) 壁厚及び壁仕上げ厚（パラペット巾、取付けビス長さの選定）
- 5) 納まり：パラペット納まり、直付け納まり、柱埋め込みの有無
- 6) 躯体構造：木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造等
- 7) 加工の難易度：切り詰め有無、特殊納まり等
- 8) 納期・納入場所・施工実施日・その他



◎ 現場下見・施工前確認事項について

施工前の現場下見

取付けに当たって確認しなければならない項目にいくつかありますので、必ず現場の下見を行なってください。

現場の下見をする際は、受注内容の確認と同時に次の施工上のチェックもしてください。

1) 建物の設計図を充分検討してください。

施工前に建物の構造、取付けスペース、笠木取付け部の仕上げ等の確認をしてください。

設計図が無く施工上不明な点がある場合は、チェック項目に添って十分な現場確認をしてください。

2) 建物の構造を確認してください。

建物の構造によって、取付けボルト等の種類が異なります。

A) 建物が木造軸組みの場合

木ネジ、コーチスクリュー

B) 建物が鉄筋コンクリート造の場合

プラグビス、アンカーボルト

C) 建物が鉄骨造の場合

タッピングネジ、溶接

3) 防水処理の確認してください。

笠木取付け部（ベースアンカー取付け部）の防水処理（防水シート等）が確実に施されているか、確認してください。

雨漏れの原因は、手摺本体よりも躯体の防水処理が十分にされていない場合に発生しますので、

天面に防水シートの有無を確認し、躯体に孔を明けた場合には必ずシーリングをしてください。

尚、ベースアンカーを止めたビスの頭にも、シーリングをしてください。

お願い

施工完了後恐れ入りますが、注意ラベル（別売品 AKTML 50枚入り）を準備して、

パラペット、又は笠木の、室内側から見える箇所貼付けてください。

## ◎ 設計・施工上のご注意

### ⚠ 注意

- 1) 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等を、はがさないでください。
- 2) 施工の際、躯体へのコーチスクリューや木ネジは、たたき込まずに確実に、ねじ込むようにしてください。
- 3) 水平・垂直・直角は必ず正確に出してください。  
正確に出ていない場合、取付けが出来ないことがあります。  
また正確に取付けが行われていませんと、十分な強度が出ませんので大変危険です。
- 4) 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を締め付け固定してください。また建物に孔をあけたり、ネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。
- 5) シーリング指定箇所は必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合面は念入りにシーリング処理を行ってください。シーリング処理が十分に行われていない場合雨漏れ等により躯体を傷め、手摺りの強度が出ませんので充分注意してください。
- 6) 笠木から床面までの高さは、1100mm以上に設計してください。

### お願い

- 1) 施工を初めてから手直しが出ないよう、事前に調査や打ち合わせを充分に行ってください。
- 2) 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気を付けてください。  
また、他の工事終了後養生テープをはがしてください。
- 3) 加工・組立取付けは、本説明書に従って行ってください。取付け手順が違いますと組み立たない場合があります。

## ●アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- アルミ製品と **銅板やラス等** の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。
- **輸入木材** には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。
- モルタル用に **海砂** を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- モルタルやコンクリートの **抽出液** が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。  
抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。
- モルタルやコンクリートの **凝結材** は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- 施工時にアルミ製品の表面に **付着** したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。  
また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。
- 腐蝕の恐れのある **接着材や科学薬品** を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

## ■ メンテナンスについて

### ● アルミ建材商品お手入れのお願い

アルミニウムはサビにくい性質をもち、その上に JIS 規格を十分にクリアした表面処理をしていますが、煤煙や砂、泥が付着したまま放置して置きますと、化学的、電気化学反応等でアルミ表面を侵し点蝕等の腐食を発生させる原因となります。アルミ住宅建材商品をいつまでも美しくお使いいただくために、定期的なお手入れをおすすめいたします。

### プラスチック製 (PVC) 商品取り扱い上の注意点

- 火気及び高温物・高熱源の器具等を接触したり、近づけないように十分注意してください。
- 通常の使用には十分耐えられる構造になっていますが、部分的に衝撃を与えますと、破損する恐れがありますので乱暴な取り扱いは避けるようにしてください。

## ■ 汚れの程度と清掃方法

汚れの程度	表面の種類	用具及び洗剤	清掃方法	備考
軽度の汚れ	アルミ型材	中性洗剤 (注1) クリーナー (注2)	クリーナーまたは中性洗剤を含ませた布で筋目方向に表面を軽くこすって汚れを除去した後、水洗いし乾拭きします。	一定方向にこすります。コーナー部を過度にこすらないように注意してください。虹模様のおきも同様にしてください。
	塗装仕上げ < 鋳物製品・ホワイト色の商品 >	柔らかい布等と 中性洗剤 (注1)	中性洗剤を含ませた布などで表面の汚れを除去して、水洗いし乾拭きします。	ベンジン・トルエン等有機溶剤は塗料等の表面を溶かすので使用しないでください。
	樹脂部品	柔らかい布等と水		
汚れがめだつ場合	樹脂部品	柔らかい布等と 中性洗剤 (注1)	中性洗剤を含ませた布などで表面の汚れを除去して、水洗いし乾拭きします。	ベンジン・トルエン等有機溶剤は塗料等の表面を溶かすので使用しないでください。
汚れが著しく腐食 (点食) を含む場合	アルミ型材	スコッチブライト (注3)	スコッチブライトで表面をこすり、汚れ、腐食生成物を除去した後乾拭しアクリル系の塗料を塗布し補修してください。	一定方向にこすります。コーナー部を過度にこすらないように注意してください。虹模様のおきも同様にしてください。
	塗装仕上げ < 鋳物製品・ホワイト色の商品 >	スコッチブライト (注3) サンドペーパー #600 中性洗剤 (注1)	洗剤をつけたスコッチブライトまたはサンドペーパーで表面を軽くこすり、汚れや腐食生成物を除去し、水洗後その表面にアクリル系の塗料を塗布し補修してください。	塗料で補修する前に表面をきれいに清掃してください。

(注1) 例えばマレモン (ライオン油脂)、ファミリー、チェリーナ、(花王油脂) の 1~2% 水溶液。

(注2) 例えばイージッシュ (日本シービーケミカル)。

(注3) スコッチブライト (住友スリーエム) の粒度はウルトラファイブ。

### ● 部品の交換について

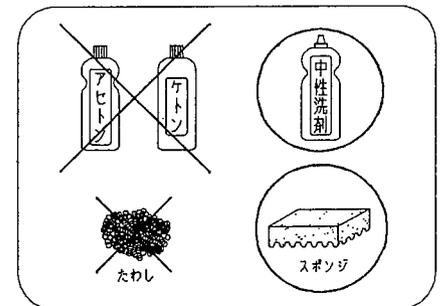
アクリル板のヒビ割れやその他の部品を交換する場合は、最寄りの新日軽 (株) 支店・営業所または新日軽商品 取扱い店にご相談ください。

## ■ 地域別お手入れ回数

地域	回数
臨海工業地帯	年に 2~3 回
工業・商業・温泉地帯	年に 2 回
海岸・街道地帯	年に 1~2 回
田園・山間地帯	年に 1 回

### ⚠ 注意

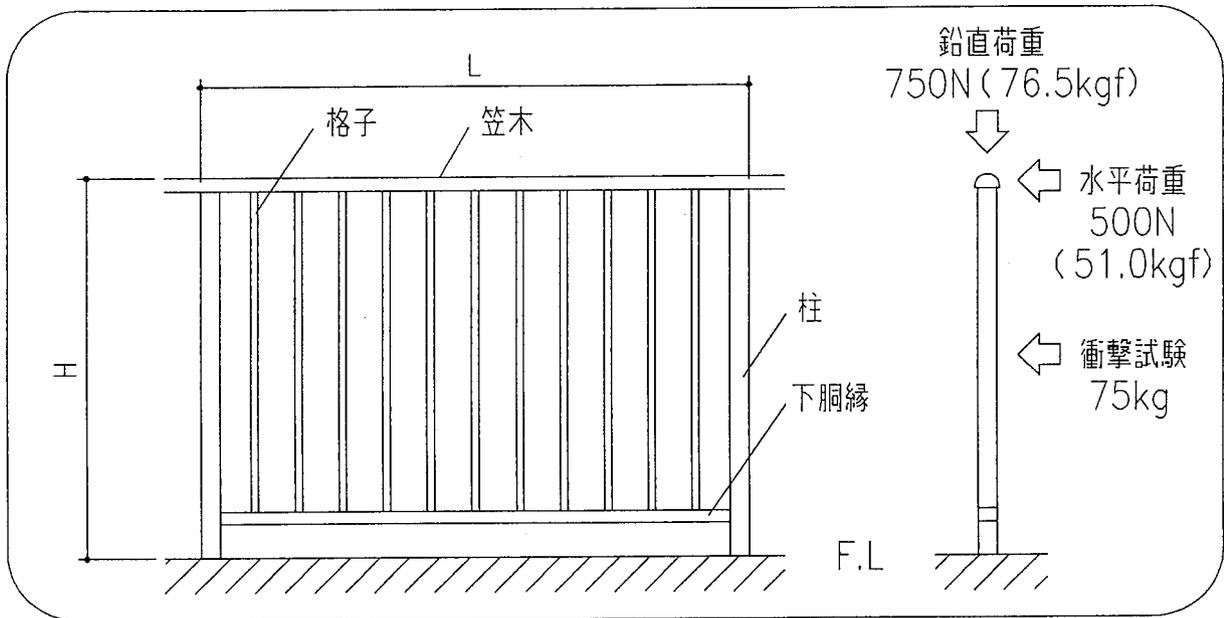
家具・床等に使用する溶剤系のクリーニング剤や便器・タイル洗浄剤は、表面の被膜をおかしますので、使用しないでください。みがき粉、たわし等の固いものでこすらないでください。





## 設計基準

◎ この製品は、JIS規格の手すり強度L型の強度性能及び安全規定に準じた設計です。



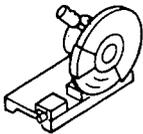
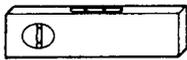
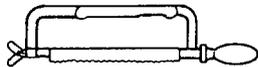
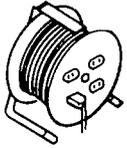
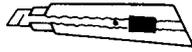
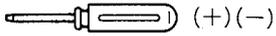
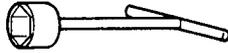
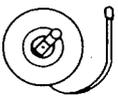
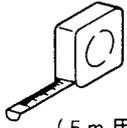
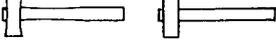
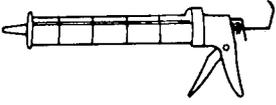
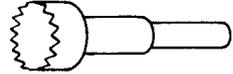
### ●手すりの強度による種類

種類	使用範囲
L 型	主として戸建住宅に使用するもの。
M 型	主として集合住宅の非共用部分に使用するもの。
H 型	主として集合住宅の共用部分及び非共用部分に使用するもの。

### ●手すりの性能

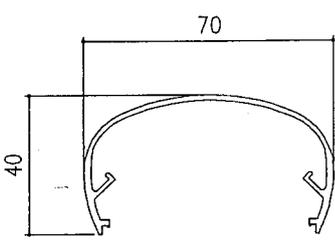
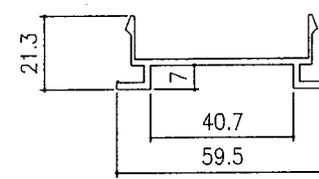
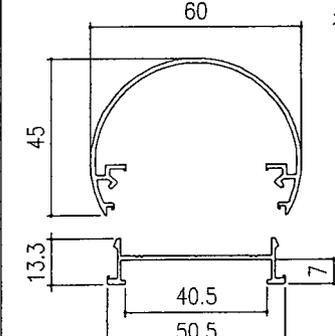
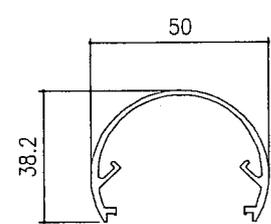
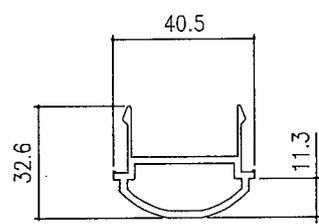
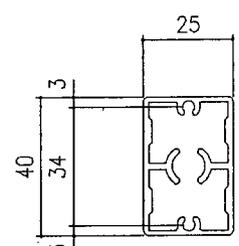
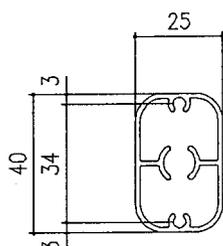
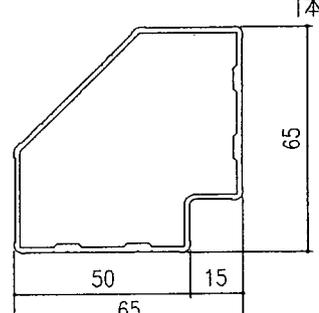
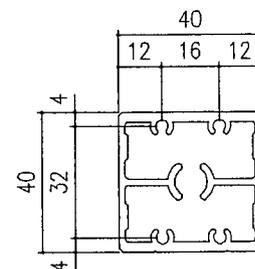
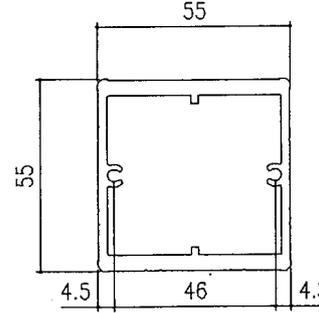
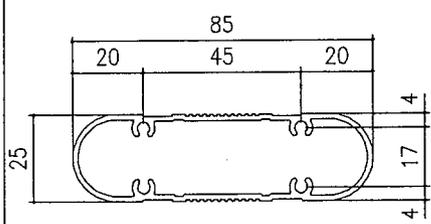
試験項目		性能		
		L	M	H
強度試験	笠木の鉛直荷重試験	最大たわみ量はL/120以下 最大残留たわみ量はL/1000(最大3mm)以下 緩みはずれがないこと。	最大たわみ量はL/250以下 最大残留たわみ量はL/1000(最大2mm)以下 緩みはずれがないこと。	最大たわみ量はL/500以下 最大残留たわみ量はL/1000(最大1mm)以下 緩みはずれがないこと。
	笠木の水平荷重試験	最大たわみ量はL/120以下 最大残留たわみ量はL/1000(最大3mm)以下 緩みはずれがないこと。	最大たわみ量はL/250以下 最大残留たわみ量はL/1000(最大2mm)以下 緩みはずれがないこと。	最大たわみ量はL/500以下 最大残留たわみ量はL/1000(最大1mm)以下 緩みはずれがないこと。
衝撃試験	笠木 格子	部材の折れ及び接合部の緩み、はずれがないこと。		

■ 使用工具一覧表

サッシャー	水平器	金 鋸
		
電気コード	指 金	カッターナイフ
		
電気ドリル	ドライバー/電気ドライバー	ソケットレンチ (スパナ)
	 (+)(-)  (+)(-) 短い方は 2 段笠木に必要	 (M8 用)
巻尺(コンベックス)	ハンマー	ドリル刃
  (5m 用)	  (木ハンマ)	 $\phi 3.5 \phi 4.5 \phi 10$ コンクリートドリル ( $\phi 4.5, \phi 6, \phi 8$ )
(赤) 墨つぼ	コーキングガン	ホールインカッター
		$\phi 20$ 
さげ振り(水糸)	脚 立	ヤスリ
		 細目、並目

部材一覧表

●：製品色色記号

笠木部材	笠木カバー ●YBLKK 4 L=4000 6 L=6000	笠木 ●YBLK 4 L=4000 6 L=6000	半丸笠木 ●KTK 4 L=4000 6 L=6000
	こはく、ホワイト：2本入 セピアブラック：1本入 	こはく、ホワイト：2本入 セピアブラック：1本入 	各1本入 
丸笠木部材	丸笠木カバー ●YBLKMK 4 L=4000 6 L=6000	丸笠木 ●YBLKM 4 L=4000 6 L=6000	
	こはく、ホワイト：2本入 セピアブラック：1本入 	こはく、ホワイト：2本入 セピアブラック：1本入 	
柱部材	25X40柱 ●KTHA L=4000	25X40束柱 ●KTHB L=4000	コーナー柱 ●KTHC L=4000
	1本入 	1本入 	1本入 
	40X40柱 ●KTHD L=4000	55X55柱 ●KTHE L=4000	階段用柱 ●YBLHF L=2000
1本入 	1本入 	こはく、ホワイト：2本入 セピアブラック：1本入 	

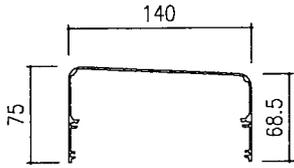
●：製品色色記号

パネル 枠 部 材	上下胴縁（加工無し） ●YBLBYA L=4000	上下胴縁（加工有り） ●YBLD4AK L=4000	パネル枠 ●KTD1 L=4000
	<p>上胴縁 各2本入</p> <p>下胴縁 各2本入</p>	<p>上胴縁 各2本入</p> <p>下胴縁 各2本入</p> <p>格子取付け孔ピッチ P=125mm</p>	<p>各1本入</p> <p>各1本入</p>
	上枠カバー ●KTDK L=4000	パネル縦枠（増枠） ●PLPT4 L=4000	パネル縦枠（框型） ●PLPTS4 L=4000
	1本入	各2本入	各2本入
溝カバー14mm開口用 ●KTD2 L=1000	横格子用縦材 ●YBLYTD L=2000		
1本入	2本入		
格子 部 材	格子 ●PLLB4 L=4000	横格子 ●YBLYC L=6000	丸横格子 ●YBLYCDN L=6000
	9本入	3本入	3本入

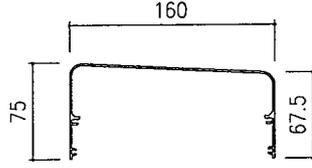
● : 製品色記号

片流れパラペット

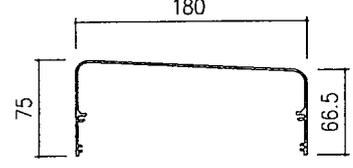
パラベット 140巾 ●KT14P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



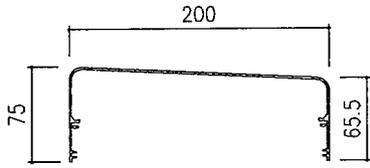
パラベット 160巾 ●KT16P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



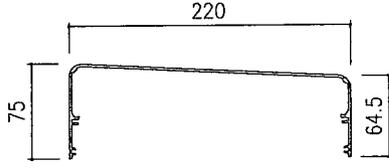
パラベット 180巾 ●KT18P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



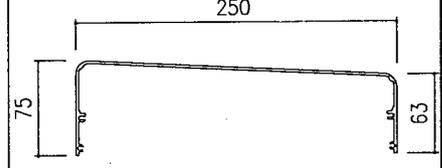
パラベット 200巾 ●KT20P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



パラベット 220巾 ●KT22P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000

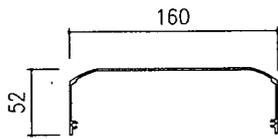


パラベット 250巾 ●KT25P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000

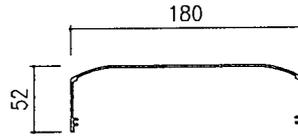


平型パラペット

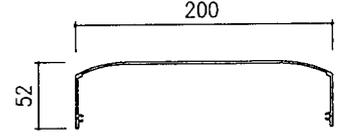
パラベット 160巾 ●KG16P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



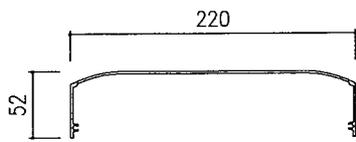
パラベット 180巾 ●KG18P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



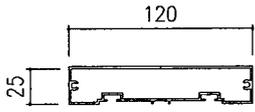
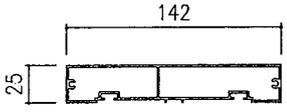
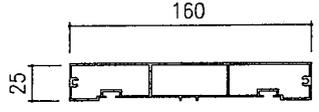
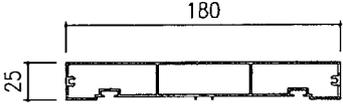
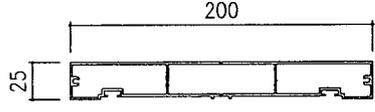
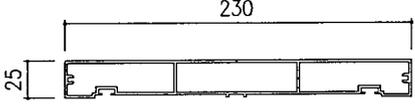
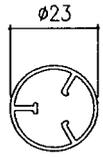
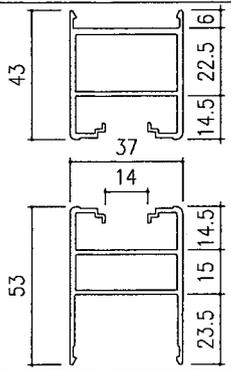
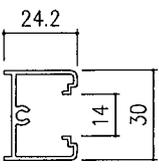
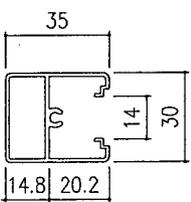
パラベット 200巾 ●KG20P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



パラベット 220巾 ●KG22P  $\frac{4}{6}$  L=4000  
L=6000



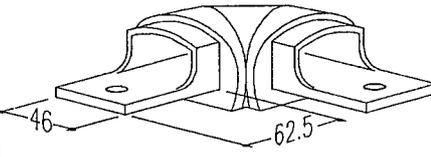
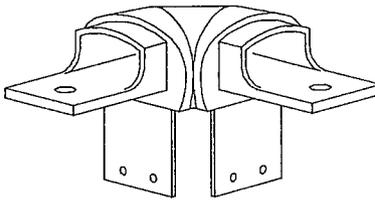
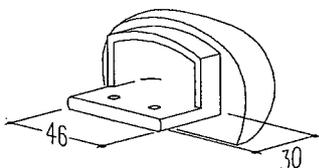
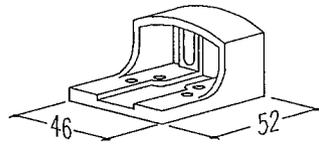
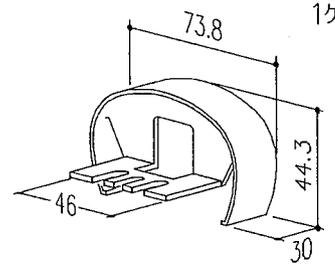
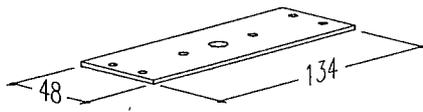
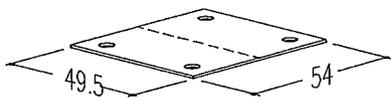
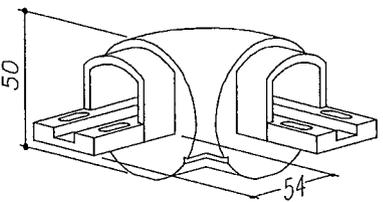
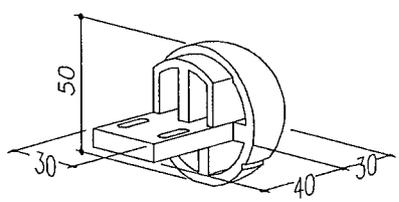
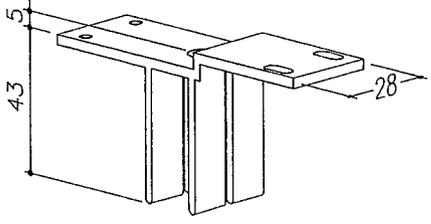
●：製品色色記号

側 枠	側 枠 (140巾用) ●KT14G L=4000	側 枠 (160巾用) ●YB16LSP L=4000	側 枠 (180巾用) ●KT18G L=4000
			
	側 枠 (200巾用) ●KT20G L=4000	側 枠 (220巾用) ●KT22G L=4000	側 枠 (250巾用) ●KT25G L=4000
			
	丸束柱 ●KTHG L=4000		
			
階 段 用 パ ネ ル 枠	胴縁セット ●KGDK1 L=4000	縦材セット(増枠型) ●KGDK2 L=4000	縦材セット(框枠型) ●KGDK3 L=4000
			



部品一覧表

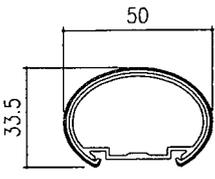
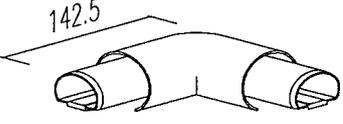
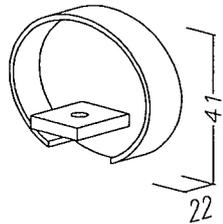
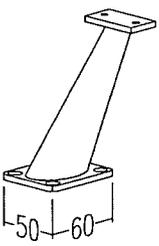
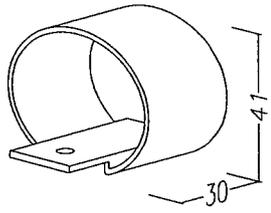
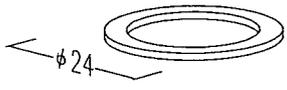
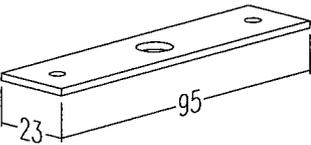
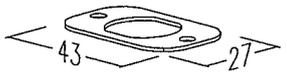
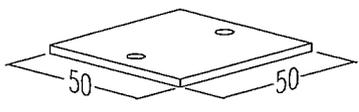
●：製品色色記号

楕円笠木用部品	笠木コーナーギボシ ●YBBOX22 1ヶ入  ボルト M8X20 2ヶ $\phi$ 4X35トラスビス 2ヶ ナット M8 2ヶ ワッシャー M8 4ヶ	笠木コーナーギボシ ●PLBOX2 コーナー柱用 1ヶ入  ボルト M8X20 2ヶ    M4X10トラス小ネジ 5ヶ ナット M8 2ヶ    柱固定ブラケット 1ヶ付き ワッシャー M8 4ヶ			
	笠木エンドギボシ ●YBBOX23 2ヶ入  $\phi$ 4X12ナベビス 4ヶ	笠木壁直付ブラケット ●YBBOX21 1ヶ入  $\phi$ 4X12ナベビス 4ヶ    ワッシャー M5用 2ヶ M5X35トラス小ネジ 2ヶ $\phi$ 4X30ナベビス 4ヶ ナット M5用 2ヶ $\phi$ 4X35トラスビス 4ヶ	笠木ジョイントカバー（直線部） ●YBBOX68 1ヶ入  $\phi$ 4X10トラスビス 2ヶ $\phi$ 4X13セルフドリリングネジ 2ヶ $\phi$ 4X25バインドネジ 1ヶ		
	笠木ジョイントセット ●PLBOX3 1ヶ入  $\phi$ 4X10トラスビス 5ヶ	笠木固定プレート（階段用） ●YBBOX17 1ヶ入  $\phi$ 4X6ナベネジ 8ヶ			
	丸笠木用部品	丸笠木コーナーギボシ ●YBBOX22M 1ヶ入  $\phi$ 4X12ナベビス 5ヶ	丸笠木エンドギボシ ●YBBOX23M 2ヶ入  $\phi$ 4X12ナベビス 5ヶ	丸笠木連結ブラケット（柱部用） ●YBBOX41M 1ヶ入  $\phi$ 4X12ナベビス 4ヶ	

●：製品色色記号

丸笠木用部品	丸笠木ジョイントカバー ●YBBOX68M	丸笠木柱取付部品 ●YBBOX61M	丸笠木取付部品（直付用） ●YBBOX63M
	1ヶ入  φ4X13ヒルドリリングネジ 2ヶ	丸笠木取付ブラケット 各1ヶ入 角ワッシャー φ4X12ナベビス 5ヶ 柱ソーラー φ4X12トラスビス 9ヶ	丸笠木取付ブラケット 各1ヶ入 角ワッシャー φ4X12ナベビス 5ヶ 柱ソーラー φ4X12トラスビス 9ヶ 通しボルト (M8X35) 1ヶ φ4X25ナベビス 3ヶ ナット M8用 1ヶ
	丸笠木連結プレート ●YBBOX17M	丸笠木壁付けブラケット ●YBBOX40M	
	2ヶ入  φ4X12トラスビス 9ヶ	2ヶ入  φ4X12ナベビス 5ヶ	
半丸笠木用部品	コーナーギボン ●KTKB1	エンドキャップ ●KTKB2	ジョイントカバー ●KTKB3
	1ヶ入  φ4X8トラス小ネジ 4ヶ	2ヶ入  φ4X8トラスビス 4ヶ	1ヶ入  φ4X13ヒルドリリングネジ 2ヶ
	連結プレート ●KTKB4		
1ヶ入  φ4X8トラス小ネジ 4ヶ			

●：製品色記号

木調笠木	木調笠木 TKGK4H L=4000	コーナーブロック TKGKB1H	エンドキャップ TKGKB2H
	1本入	1ヶ入	2ヶ入
			
		φ5×12トラス3種 4ヶ	φ5×12トラス3種 2ヶ
木調笠木	腕木 TKGKB3H	ジョイントカバー TKGKB4H	
	4ヶ入	1ヶ入	
			
	φ4×16皿3種 24ヶ	連結裏板 1ヶ φ4×12トラス小ネジ 4ヶ	
丸束柱用部品	丸束柱ソーラーセット TKTHGB1	固定ブラケットセット TKTHGB2H	
	20ヶ入	10ヶ入	
			
		通しボルトセット 10ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 20ヶ	
束柱用部品	ソーラーセット(束柱25×40用) ●KTHBB2	束柱取付け部品 ●KTHAB5	
	20ヶ入	10ヶ入	
			
		柱用ソーラー 10ヶ φ4×30バインドネジ 40ヶ	

●：製品色記号

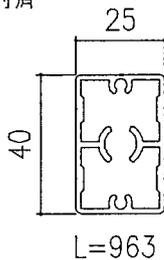
柱  
セ  
ット

25X40柱 単体柱 (H=1000用)

●KTHA10T

部品取付済

2本入

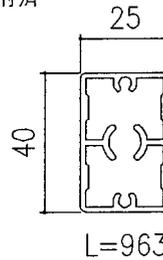


25X40柱 連結柱 (H=1000用)

●KTHA10M

部品取付済

1本入

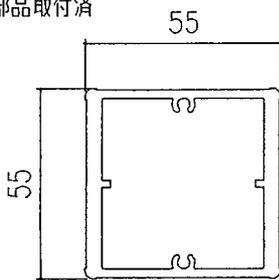


55X55柱 (H=1000用)

●KTHE10M

部品取付済

1本入

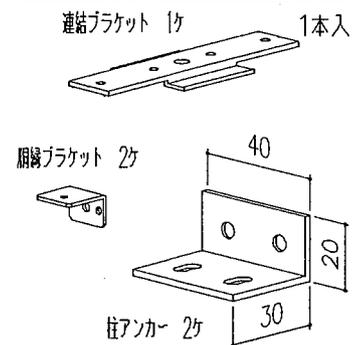
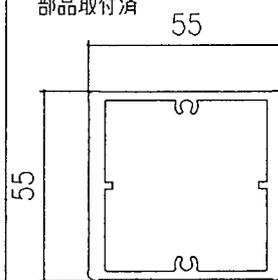


55X55柱 埋め込み用 (H=1100用)

●KTHE11M

部品取付済

1本入

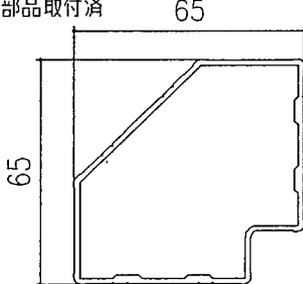


コーナー柱 (H=1000用)

●KTHC10C

部品取付済

1本入

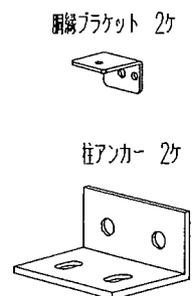
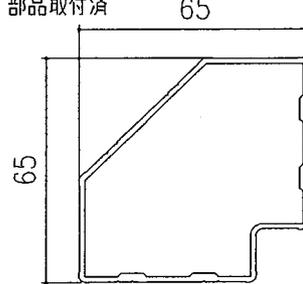


コーナー柱 埋め込み用 (H=1100用)

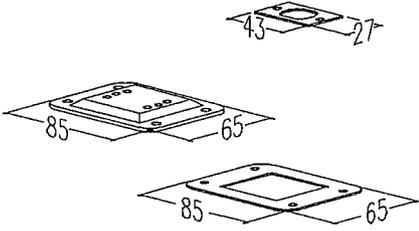
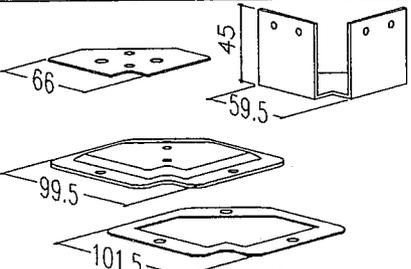
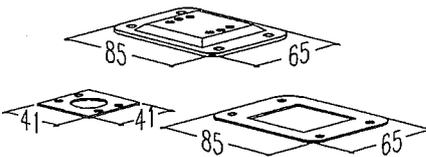
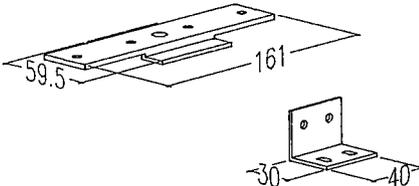
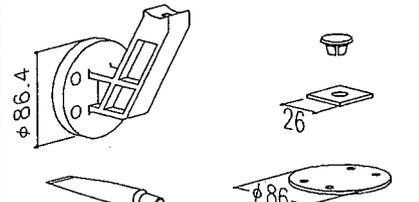
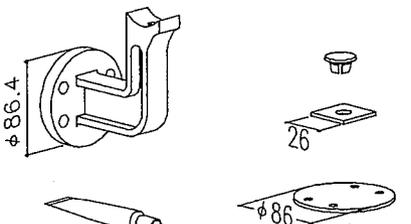
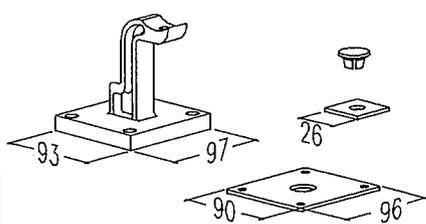
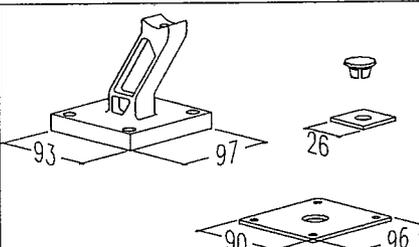
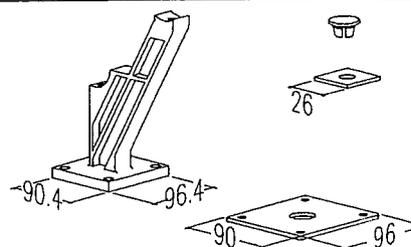
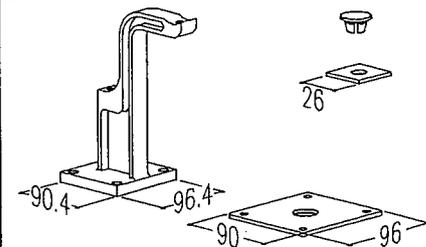
●KTHC11C

部品取付済

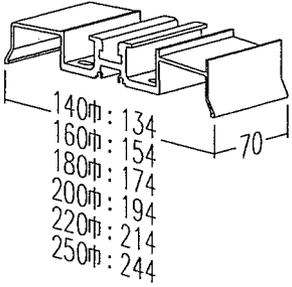
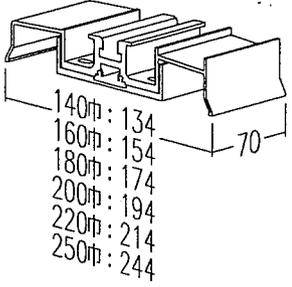
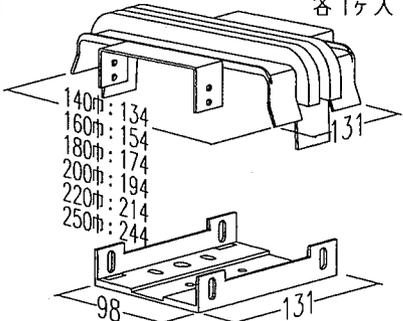
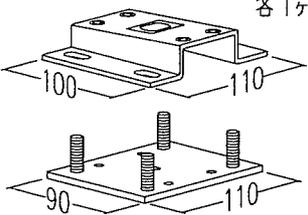
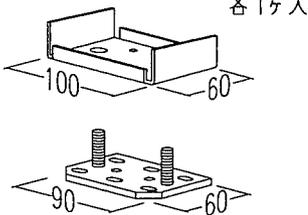
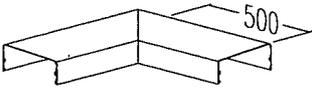
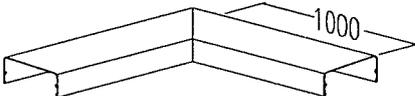
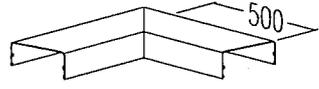
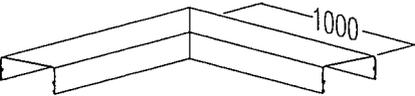
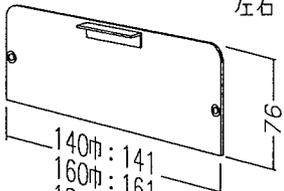
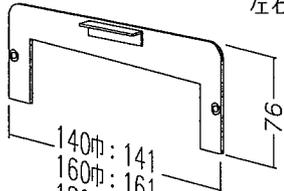
1本入



● : 製品色色記号

柱直付け用部品	柱直付けセット 柱25X40用 ●KTHAB3	柱直付けセット コーナー柱用 ●KTHCB3	柱直付けセット 柱40X40用 ●KTHDB3
	 <p>直付金具 1ヶ 直付ソーラー 1ヶ 柱用ソーラー 1ヶ</p> <p>φ4X30バインドネジ 5本 ワッシャー-M6 5ヶ</p>	 <p>直付金具 1ヶ 直付ソーラー 1ヶ 柱用ソーラー 1ヶ</p> <p>柱固定ブラケット 1ヶ φ4X10トラスネジ 7本 ワッシャー-M6 4ヶ</p>	 <p>直付金具 1ヶ 直付ソーラー 1ヶ 柱用ソーラー 1ヶ</p> <p>φ4X30バインドネジ 9本 ワッシャー-M6 5ヶ</p>
柱埋め込み用部品	ベランダ用部品セット ●KTHEB4		
	 <p>連結ブラケット 1ヶ 柱アソカー 2ヶ</p> <p>φ4X25バインドネジ 2本 φ4X12トラスネジ 6本</p>		
腕木用部品	壁付1段腕木 S型 ●YBAKS	壁付1段腕木 R型 ●YBAKR	1段腕木 R型 ●YBA1R
	 <p>腕木 1ヶ 接着剤 1ヶ 角型ワッシャー 1ヶ</p> <p>腕木 φ86 ボルトM8X30 1ヶ ビスカバー 4ヶ 腕木ソーラー 1ヶ</p>	 <p>腕木 1ヶ 接着剤 1ヶ 角型ワッシャー 1ヶ</p> <p>腕木 φ86 ボルトM8X30 1ヶ ビスカバー 4ヶ 腕木ソーラー 1ヶ</p>	 <p>腕木 1ヶ 接着剤 1ヶ 角型ワッシャー 1ヶ</p> <p>腕木 φ93 腕木 φ97 腕木 φ26 ボルトM8X30 1ヶ ビスカバー 4ヶ 腕木直付ソーラー 1ヶ</p>
	1段腕木 S型 ●YBAIS	2段腕木 S型 ●YBA2S	2段腕木 R型 ●YBA2R
	 <p>腕木 1ヶ φ5X35ナベビス 5ヶ 角型ワッシャー 1ヶ</p> <p>ボルトM8X30 1ヶ ビスカバー 4ヶ 腕木直付ソーラー 1ヶ</p>	 <p>腕木 1ヶ φ5X35ナベビス 5ヶ 角型ワッシャー 2ヶ</p> <p>ボルトM8X30 2ヶ ビスカバー 4ヶ 腕木直付ソーラー 1ヶ</p>	 <p>腕木 1ヶ φ5X35ナベビス 5ヶ 角型ワッシャー 2ヶ</p> <p>ボルトM8X30 2ヶ ビスカバー 4ヶ 腕木直付ソーラー 1ヶ</p>

●：製品色記号

片流れ パラ ペット 用 ベ ー ス ア ン カ ー	ベースアンカーセット (高さ調整無し)     AKT■BE 1ヶ入 	ベースアンカーセット (高さ調整付き)     AKT■BA 1ヶ入 	パラペット連結セット     AKT■JS 各1ヶ入 
	55×55柱用ベースアンカー     AKTPB2A 各1ヶ入  <p>スプリングワッシャー-M8用 4ヶ 六角ナットM8用 8ヶ ワッシャー-M8用 8ヶ</p>	コーナー柱用ベースアンカー     AKTPB3A 各1ヶ入  <p>スプリングワッシャー-M8用 2ヶ 六角ナットM8用 4ヶ ワッシャー-M8用 6ヶ</p>	
	出隅コーナーパラペット (L=500)     ●KT■D05 1ヶ入 	出隅コーナーパラペット (L=1000)     ●KT■D10 1ヶ入 	入隅コーナーパラペット (L=500)     ●KT■N05 1ヶ入 
	入隅コーナーパラペット (L=1000)     ●KT■N10 1ヶ入 	パラペット小口フタ(上用)     ●KT■KA 左右1ヶ入  <p>140巾: 141 160巾: 161 180巾: 181 200巾: 201 220巾: 221 250巾: 251</p> <p>φ4×16皿2種 4ヶ φ4×10トラス3種 2ヶ ゴムワッシャー 2ヶ シーラー 2ヶ</p>	パラペット小口フタ(下用)     ●KT■KB 左右1ヶ入  <p>140巾: 141 160巾: 161 180巾: 181 200巾: 201 220巾: 221 250巾: 251</p> <p>φ4×16皿2種 4ヶ φ4×10トラス3種 2ヶ ゴムワッシャー 2ヶ シーラー 2ヶ</p>

片流れ  
パラ  
ペット  
用  
部  
品

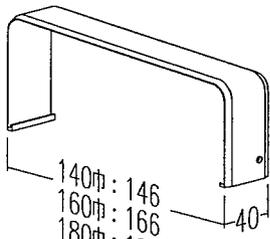
●：製品色記号

片流れ  
パラ  
ペット  
用  
部  
品

パラペット連結カバー（直線用） ●KT■JC

パラペット連結カバー（コーナー用） ●KT■CK

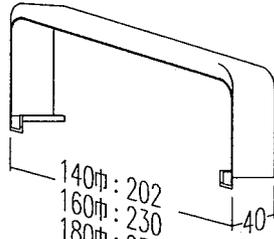
パラペットコーナーカバー（出隅） ●KTCKD



2ヶ入

140巾：146  
160巾：166  
180巾：186  
200巾：206  
220巾：226  
250巾：256

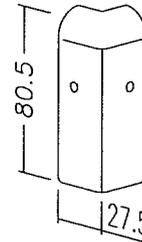
φ4×13セルフドリリング 2ヶ  
バックアップ材 4ヶ



2ヶ入

140巾：202  
160巾：230  
180巾：258  
200巾：287  
220巾：315  
250巾：357

φ4×13セルフドリリング 3ヶ



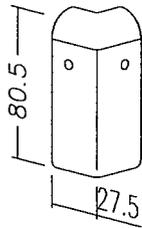
2ヶ入

φ4×13セルフドリリング 4ヶ

パラペットコーナーカバー（入隅） ●KTCKN

高さ調整ライナー YBBOX47

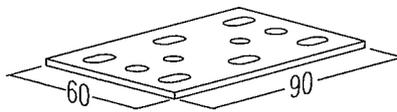
自在ソール受け AKTPB5



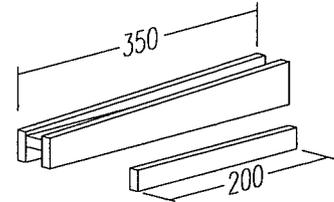
2ヶ入

φ4×13セルフドリリング 4ヶ

t=2.3



5ヶ入

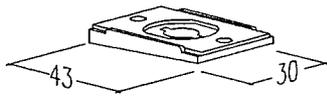


各1ヶ入

● : 製品色記号

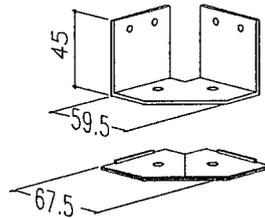
片流れ  
パラ  
ペット  
用柱  
取付  
部品

ライナーセット  
柱25X40用 ●KTHAB1



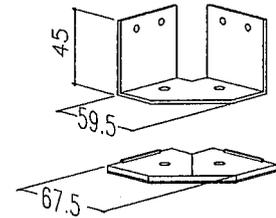
柱ライナー (25X40) 4ヶ  
シーラー (25X40) 8枚

ライナーセット  
出隅コーナー柱用 ●KTHCB1D



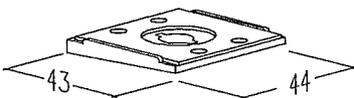
コーナー柱ライナー 1ヶ  $\phi$ 4X10トラスネジ 4本  
コーナーブラケット 1ヶ  $\phi$ 5X35トラスネジ 2本  
コーナー柱シーラー 2ヶ

ライナーセット  
入隅コーナー柱用 ●KTHCB1N



コーナー柱ライナー 1ヶ  $\phi$ 4X10トラスネジ 4本  
コーナーブラケット 1ヶ  $\phi$ 5X35トラスネジ 2本  
コーナー柱シーラー 2ヶ

ライナーセット  
柱40X40用 ●KTHDB1



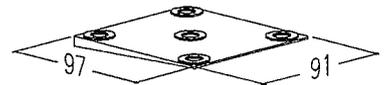
柱ライナー (40X40) 4ヶ  
シーラー (25X40) 8枚

ライナーセット  
階段柱用 ●KTHFB1



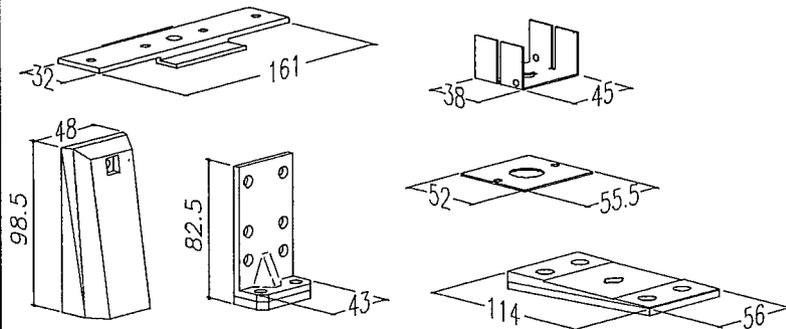
階段柱用ライナー 4ヶ  
階段柱用シーラー 8枚

ライナーセット  
腕木用 ●KTHGB1



腕木用ライナー 4ヶ  
 $\phi$ 5X16トラスネジ 16本

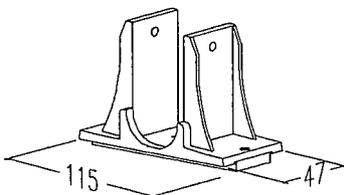
ライナーセット  
柱55X55用 ●KTHEB1



柱ライナー (55X55) 1ヶ  
シーラー (55X55) 1枚  
連結ブラケット 1ヶ  
柱ライナーバックアップ材 1ヶ  
ボルトM6X70 4ヶ  
ボルトM6X25 4ヶ  
ナットM6 4ヶ  
ワッシャー-M6 12ヶ  
スプリングワッシャー-M6 8ヶ

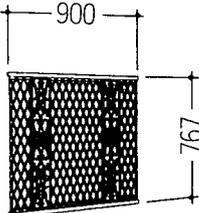
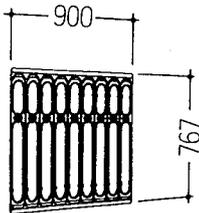
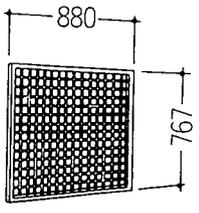
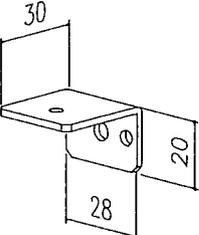
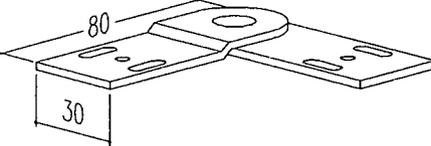
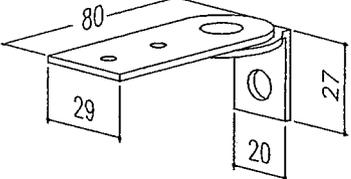
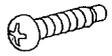
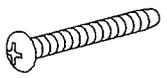
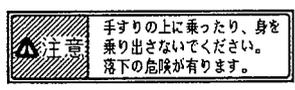
柱固定ブラケット 1ヶ  
柱固定ブラケットカバー 2ヶ  
補強ブラケット 2ヶ  
 $\phi$ 4X12トラスネジ 4本  
 $\phi$ 4X16トラスネジ 2本  
 $\phi$ 4X25バインドネジ 2本

柱40X40補強セット ●KTHDB5



柱補強ブラケット 1ヶ  $\phi$ 4X12ナベネジ 2本  
柱用シーラー 1ヶ  $\phi$ 4X20ナベネジ 2本  
柱バックアップ材 1ヶ

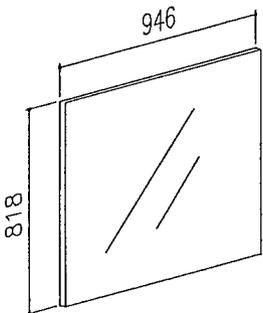
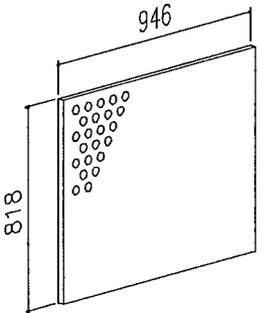
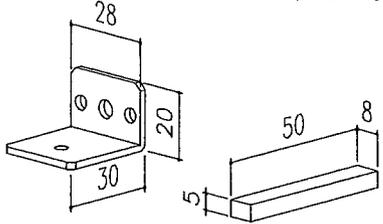
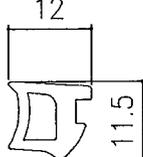
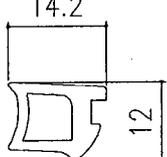
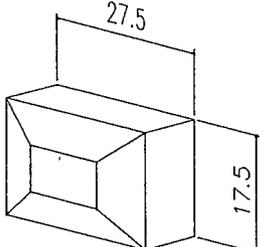
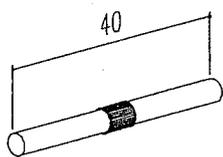
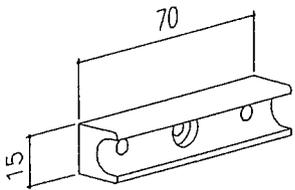
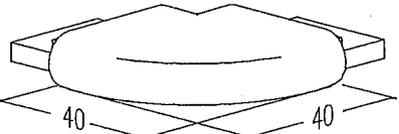
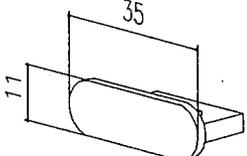
●：製品色色記号

鋳物パネル	鋳物パネル マルタ ●YBE0908A	鋳物パネル フォート ●YBE0908B	鋳物パネル カフス ●YBE0908C
	1枚入	1枚入	1枚入
	 <p>材質：アルミ鋳物 (W900XH767)</p>	 <p>材質：アルミ鋳物 (W900XH767)</p>	 <p>材質：アルミ鋳物 (W880Xh767)</p>
その他共通部品	胴縁ブラケット ●YBBOX28	笠木角度フリージョイント YBBOX60	壁直付角度自在ブラケット ●NBLBOX4
	8ヶ入	1ヶ入	2ヶ入
	 <p>φ4X10トラスビス 8ヶ φ4X12トラスビス 16ヶ</p>	 <p>φ4X12トラスビス 5ヶ</p>	 <p>コンクリート用アンカーボルト 2ヶ M8用ワッシャー 2ヶ シーリング剤 1ヶ M4X16トラス小ネジ 2ヶ M4用ナット 2ヶ φ4X19セルフドリリングネジ 4ヶ</p>
	格子組立ビス PLBOX7	横格子組立ビス ●YBBOX9	横格子組立ビス ●YBBOX91
	100本入	10ヶ入	50ヶ入
 <p>φ4X20ナベビス 100ヶ</p>	 <p>φ4X35トラス3種</p>	 <p>φ4X16トラス3種</p>	
注意表示ラベル AKTML			
50枚入			
 <p>注意表示ラベル 5シート(50枚)入り</p>			

●：製品色色記号

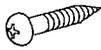
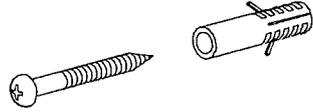
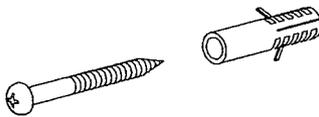
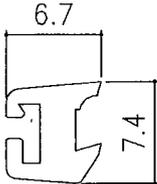
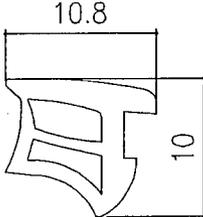
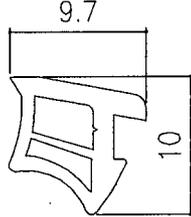
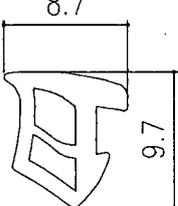
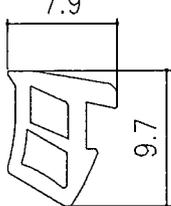
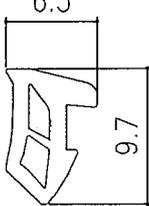
たて格子パネル	たて格子パネル ●KT(TA/TB) 1010	たて格子パネル ●KTTA(2010/2011)														
	<p>組立完成品</p> <p>上側縁 7 37 下側縁 25 37</p> <p>●4X8トラスビス 3ヶ ●4X13セルフドリリングネジ 3ヶ</p>	<p>組立完成品</p> <p>上側縁 21.3 37 59.5 下側縁 25 37</p> <p>●4X8トラスビス 3ヶ ●4X13セルフドリリングネジ 3ヶ</p>														
セゾンダクロス	セゾンダクロスパネル ●KTSP															
	<p>組立完成品</p> <p>増枠 24 18 クロス格子 100</p>															
ダイヤクロス格子2型	ダイヤクロス格子2型 ●JKC(0406/0407) ●JKC(0606/0607) ●JKC(0706/0707)															
	<p>組立完成品</p> <p>ダイヤクロス格子2型寸法表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>MW X MH</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0406</td> <td>465 X 642</td> </tr> <tr> <td>0407</td> <td>465 X 795</td> </tr> <tr> <td>0606</td> <td>660 X 642</td> </tr> <tr> <td>0607</td> <td>660 X 795</td> </tr> <tr> <td>0706</td> <td>847 X 642</td> </tr> <tr> <td>0707</td> <td>847 X 795</td> </tr> </tbody> </table> <p>枠力バー材 26.5 5 格子 10 10 格子取付けブラケット 左右各2ヶ ●4X10トラスネジ 16ヶ フィッシャープラグ 8ヶ 木ネジφ5.1X50 8ヶ M4X10トラス小ネジ 8ヶ ワッシャーM5用 8ヶ φ4X25バインドネジ 4ヶ</p>		MW X MH	0406	465 X 642	0407	465 X 795	0606	660 X 642	0607	660 X 795	0706	847 X 642	0707	847 X 795	
		MW X MH														
0406	465 X 642															
0407	465 X 795															
0606	660 X 642															
0607	660 X 795															
0706	847 X 642															
0707	847 X 795															
ダイヤクロス格子2型	<p>ダイヤクロス2型裏打ち部品 ●JKCB2</p> <p>たて枠 26 L=729 2本 上下枠 8.6 L=773 2本 グレチャン 8.4 12.9 3.1M 1本</p> <p>●4X45ナベビス 5ヶ ●4X25トラスビス 6ヶ スプリングワッシャーM4 6ヶ ワッシャーM4 6ヶ 六角ナットM4 6ヶ クッション材 4ヶ</p>	<p>ダイヤクロス2型取付部品セット ●JKCB1</p> <p>枠力バー材 26.5 5 L=747 2本 格子取付けブラケット 左右各2ヶ ●4X10トラスネジ 16ヶ フィッシャープラグ 8ヶ 木ネジφ5.1X50 8ヶ M4X10トラス小ネジ 8ヶ ワッシャーM5用 8ヶ φ4X25バインドネジ 4ヶ</p>														

●：製品色色記号

面材 パネル 用 部 品	アクリルパネル AKTAP (A/B) 1枚入 t=5mm A:ライトブロンズ B:ブルースモーク	パンチングパネル ●KTPP 1枚入 t=2mm	パネル組立部品セット ●PLBOX18 4セット分
			
	後付けビード (アクリル用) ●AGB5B 20M巻	後付けビード (パンチング用) ●PGB2B 20M巻	
			
横 格 子 用 部 品	横格子キャップ ●YBBOX45 20ヶ入 接着剤 1ヶ	ジョイントピン YBBOX19 10ヶ入	
			
丸 横 格 子 用 部 品	丸横格子ジョイント ●YBBOX82 10ヶ入 φ4X12トラスビス 24ヶ φ4X16トラスビス 12ヶ	丸横格子コーナーギボシ ●YBBOX80 10ヶ入 φ4X8トラスビス 24ヶ	丸横格子エンドギボシ ●YBBOX81 10ヶ入 φ4X8トラスビス 12ヶ
			

●：製品色色記号

●その他

取付けビス	木ビスセット30 ●YBBOX5 50ケ入  丸木ネジφ5.1X32	木ビスセット70 ●YBBOX6 50ケ入  丸木ネジφ5.1X70	プラグビスセット50 PLBOX6 各50ケ入  丸木ネジφ5.1X40 フィッシャープラグS6	
	プラグビスセット50 YBBOX7 各50ケ入  丸木ネジφ5.1X50 フィッシャープラグS8 ワッシャーM5	テクスビス13 ●YBBOX8 40ケ入  セルフドリリングネジφ4X13		
	先付けビード ●BGB14B 20M巻  6.7 7.4	後付けビード 3mm用 ●GBY3 (A/B) GBY3B 20M巻 GBY3 50M巻 GAY3A 100M巻  10.8 10	後付けビード 4mm用 ●GBY4 (A/B) GBY4B 20M巻 GBY4 50M巻 GAY4A 100M巻  9.7 10	
	後付けビード 5mm用 ●GBY5 (A/B) GBY5B 20M巻 GBY5 50M巻 GAY5A 100M巻  8.7 9.7	後付けビード 6mm用 ●GBY6 (A/B) GBY6B 20M巻 GBY6 50M巻 GAY6A 100M巻  7.9 9.7	後付けビード 6.8mm用 ●GBY7 (A/B) GBY7B 20M巻 GBY7 50M巻 GAY7A 100M巻  6.5 9.7 ※網入りガラスにご使用ください	

先付け・後付けビード

●：製品色記号  
■：パラペット巾

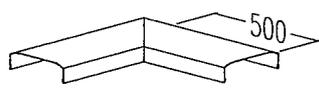
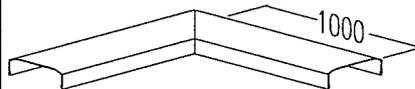
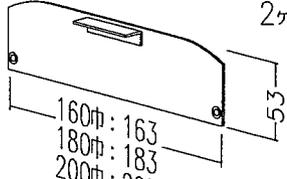
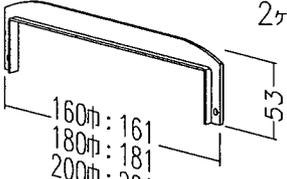
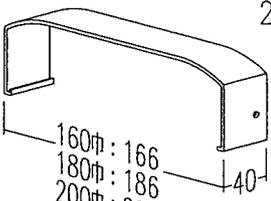
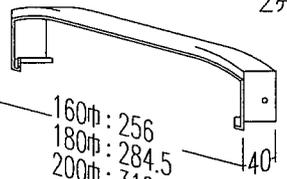
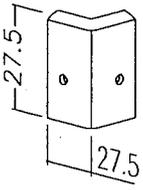
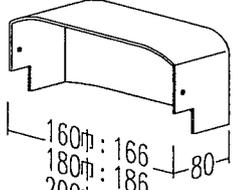
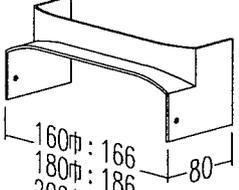
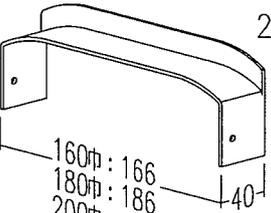
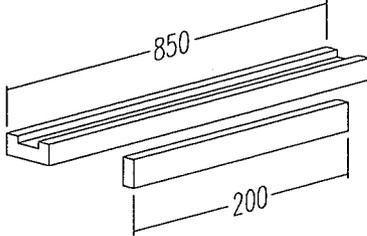
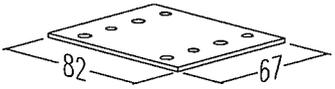
平型  
パラ  
ペ  
ット  
用  
柱  
取  
付  
部  
品

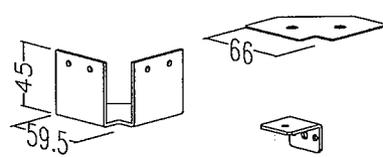
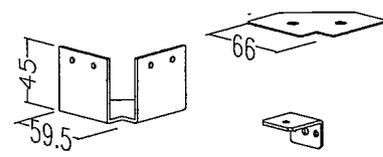
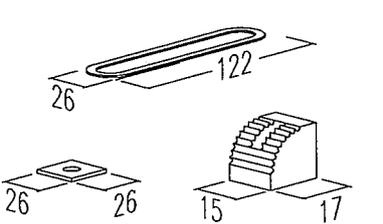
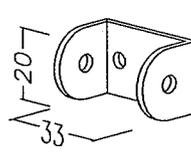
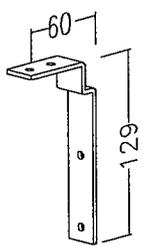
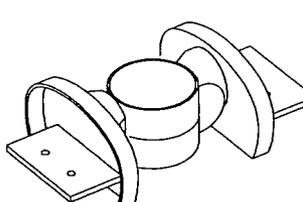
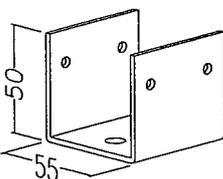
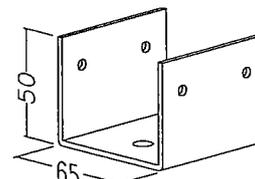
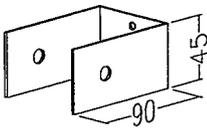
平型  
パラ  
ペ  
ット  
用  
ベ  
ー  
ス  
ア  
ン  
カ  
ー

柱用シーラーセット (柱 25×40用)	AKTHAB2	柱用シーラーセット (柱 40×40用)	AKTHDB2	柱用シーラーセット (コーナー柱用)	AKTHCB2
20ヶ入		10ヶ入		10ヶ入	
55×55柱用シーラーセット ●KTHEB2N				柱補強セット ●YBBOX27	
		連結ブラケット 1ヶ 補強ブラケット 2ヶ 柱シーラー (55×55) 1ヶ 六角ボルトM6×70 4ヶ ナットM6用 4ヶ フッジャーM6用 8ヶ スプリングフッジャーM6用 4ヶ 柱固定ブラケットカバー 2ヶ 柱固定ブラケット 1ヶ φ4X12ナベネジ 4ヶ φ4X20ナベネジ 2ヶ φ4X25バインド 2ヶ		柱固定ブラケット 1ヶ シーラー 2ヶ φ4X10トラスネジビス 5ヶ φ4X35トラスネジビス 5ヶ φ4X20トラスネジビス 5ヶ	
ベースアンカーセット (高さ調整無し)	TKG■BE	パラペット連結セット(直線用)	TKG■JS	パラペット連結セット(コーナー用)	TKG■CS
1ヶ入		1ヶ入		1ヶ入	
55×55柱用ベースアンカー		コーナー柱用ベースアンカー			
1ヶ入					

●：製品色記号  
■：パラベットの巾

平型  
パラ  
ベッ  
ト用  
部品

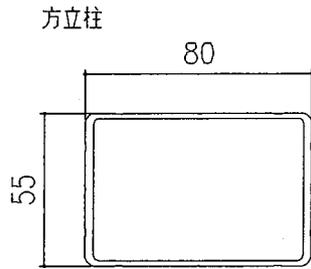
コーナーパラベット (L=500) ●KG■D05	コーナーパラベット (L=1000) ●KG■D10	パラベット小口フタ(上用) ●KG■KA
1ヶ入 	1ヶ入 	2ヶ入  <p>160巾: 163 180巾: 183 200巾: 203 220巾: 223</p> <p>φ4×16皿2種 4ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 2ヶ ゴムワッシャー 2ヶ シーラー 2ヶ</p>
パラベット小口フタ(下用) ●KG■KB	パラベット連結カバー(直線用) ●KG■JC	パラベット連結カバー(コーナー用) ●KG■CK
2ヶ入  <p>160巾: 161 180巾: 181 200巾: 201 220巾: 221</p> <p>φ4×16皿2種 4ヶ シーラー 2ヶ</p>	2ヶ入  <p>160巾: 166 180巾: 186 200巾: 206 220巾: 226</p> <p>φ4×13セルフドリリングネジ 2ヶ シーラー 4ヶ</p>	2ヶ入  <p>160巾: 256 180巾: 284.5 200巾: 312.5 220巾: 339.5</p> <p>φ4×13セルフドリリングネジ 3ヶ シーラー 4ヶ</p>
パラベットコーナーカバー ●KGCK	パラベッたてコーナーカバー(出隅用) ●KG■CA	パラベッたてコーナーカバー(入隅用) ●KG■CB
2ヶ入  <p>27.5 27.5</p> <p>φ4×13セルフドリリングネジ 4ヶ</p>	1ヶ入  <p>160巾: 166 180巾: 186 200巾: 206 220巾: 226</p> <p>80</p> <p>シーラー 2ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 3ヶ</p>	1ヶ入  <p>160巾: 166 180巾: 186 200巾: 206 220巾: 226</p> <p>80</p> <p>シーラー 2ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 3ヶ</p>
パラベットエンドカバー ●KG■CE	自在ソール受け TKGPB4	高さ調整ライナー TKGPB3
2ヶ入  <p>160巾: 166 180巾: 186 200巾: 206 220巾: 226</p> <p>40</p> <p>φ4×13セルフドリリングネジ 4ヶ シーラー 4ヶ</p>	各1ヶ入  <p>850 200</p>	5ヶ入  <p>t=2.0 82 67</p>

平型 パラ ペット 用 部 品	コーナー柱部品セット ●PLBOX10  <p>                     胴縁ブラケット 2ヶ <math>\phi 4 \times 10</math>トラス3種 5ヶ                      柱固定ブラケット 1ヶ <math>\phi 4 \times 12</math>トラス3種 4ヶ                      柱用ソーラー 1ヶ <math>\phi 5 \times 30</math>トラス3種 3ヶ                 </p>	コーナー柱部品セット ●PLBOX11  <p>                     胴縁ブラケット 4ヶ <math>\phi 4 \times 10</math>トラス3種 5ヶ                      柱固定ブラケット 1ヶ <math>\phi 4 \times 12</math>トラス3種 4ヶ                      柱用ソーラー 1ヶ <math>\phi 5 \times 30</math>トラス3種 3ヶ                 </p>		
	階段用柱部品セット ●YBBOX34F  <p>                     ソーラー 1ヶ 角型ワッシャー 1ヶ                      角度切りライナー 2ヶ <math>\phi 4 \times 40</math>ナベビス 2ヶ  <math>\phi 4 \times 13</math>ヒルフロドリリングネジ 1ヶ                 </p>	階段用胴縁ブラケット ●KGDB1 8ヶ入  <p> <math>\phi 4 \times 12</math>トラス3種 16ヶ  <math>\phi 4 \times 10</math>トラス3種 16ヶ                 </p>		
標準 笠木 用 部 品	袖壁取付ブラケット ●KGKB5 2ヶ入  <p> <math>\phi 4 \times 12</math>トラス3種 4ヶ                      裏板 2ヶ                 </p>	自在コーナー部品 ●KGKB6 1ヶ入  <p> <math>\phi 4 \times 12</math>トラス3種 4ヶ                 </p>		
	柱固定金具 (60角柱用) ●KGJT1  <p>                     柱固定金具 1ヶ M8スプリングワッシャー 2ヶ                      通しボルト 2ヶ M8ワッシャー 2ヶ                      柱用ソーラー 1ヶ <math>\phi 5 \times 10</math>トラス小ネジ 4ヶ                 </p>	柱固定金具 (70角柱用) ●KGJT2  <p>                     柱固定金具 1ヶ M8スプリングワッシャー 2ヶ                      通しボルト 2ヶ M8ワッシャー 2ヶ                      柱用ソーラー 1ヶ <math>\phi 5 \times 10</math>トラス小ネジ 4ヶ                 </p>	テラス・物干し柱取付部品 ●JTJTB2  <p>                     柱キャップ 1ヶ 柱固定ブラケット 2ヶ                      六角ボルトM8X75 2ヶ M8袋ナット 2ヶ                      M8スプリングワッシャー 2ヶ <math>\phi 5 \times 65</math>ナベビス 5ヶ                      M8ワッシャー 2ヶ M5ワッシャー 4ヶ                 </p>	
共通 部 品				

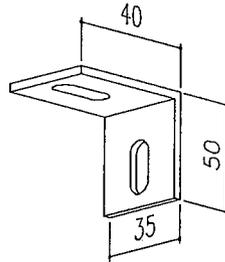
●：製品色色記号

方立柱 ●PLHP L=2780

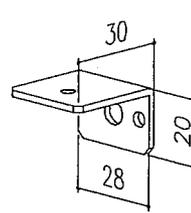
方立柱



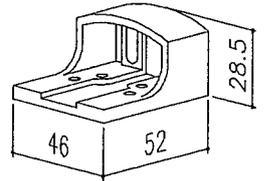
方立柱取付け金具(上)



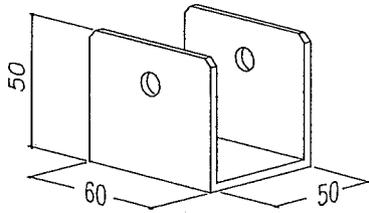
胴縁ブラケット



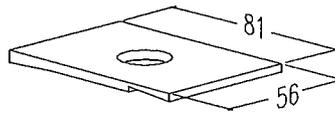
笠木直付ブラケット



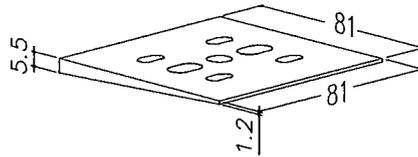
方立柱取付け金具(下)



方立柱用ライナー(平型パラペット用)



方立柱用ライナー(片流れパラペット用)

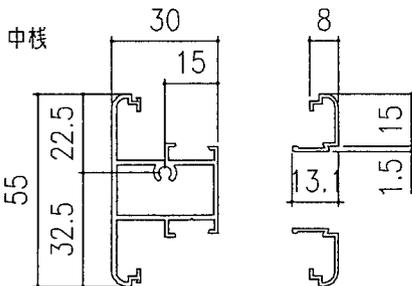
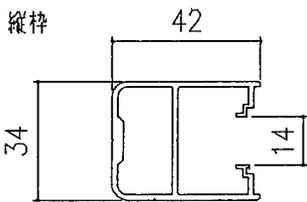
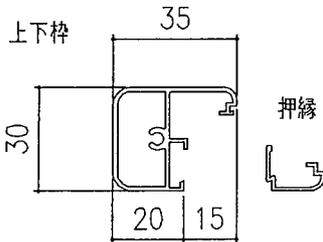


セット部品

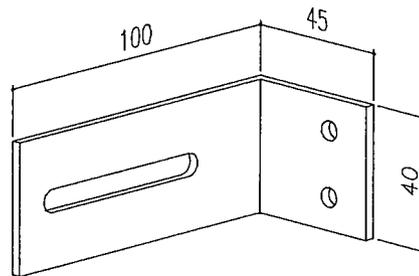
部品名	個数
通しボルト M8X65	2ヶ
袋ナット M8用	2ヶ
ワッシャー M8用	2ヶ
スプリングワッシャーM8	4ヶ
コンクリート用アンカーボルト	1ヶ
特殊ボルトM8X30	1ヶ
六角ナット M8用	1ヶ
ワッシャー M8用	1ヶ
方立柱取付け金具(上)	1ヶ
方立柱取付け金具(下)	1ヶ
方立柱用パラペットライナー(平型用)	1ヶ
方立柱用パラペットライナー(片流れ用)	1ヶ
胴縁ブラケット	4ヶ
笠木直付ブラケット	2ヶ
セルフドリリングネジφ4X16	12ヶ
笠木取付けビスM4X12ナベ	4ヶ

隔て板枠セット ●PLPW0918

隔て板



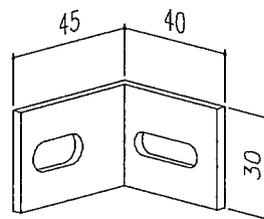
隔て板取付け金具(方立側)



ビス孔フサギφ9用



隔て板壁直付金具



セット部品

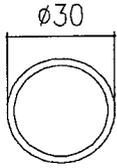
部品名	個数
組立ビスφ4X40ナベ	6ヶ
ビス孔フサギφ9用	6ヶ
隔て板壁直付金具	2ヶ
隔て板取付け金具(方立側)	2ヶ
通しボルト M6X65	2ヶ
通しボルト M6X45	2ヶ
袋ナット M6用	4ヶ
ワッシャー M6用	8ヶ
セルフドリリングネジφ5X16	4ヶ
コンクリート用アンカーボルト	2ヶ

● : 製品色色記号

オープン

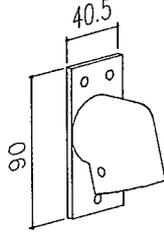
控え柱

●BMSP

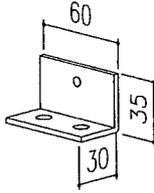


控え柱 L=925

- φ5X15トラス3種 5ヶ
- φ5X40トラス3種 1ヶ
- M5用ナット 1ヶ
- M5用ワッシャー 2ヶ



控え柱ブラケット 1ヶ

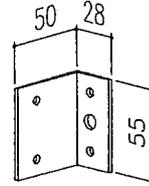


控え柱アンカー 2ヶ

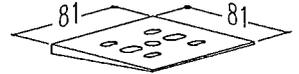
テラス柱取付け部品

●KTJT

テラス柱用  
ブラケット 2ヶ



テラス柱用ライナー 1ヶ



- φ4.5X45丸木ネジ 4本
- コーチスクリューφ8X75 2本
- M8用ワッシャー 2ヶ
- M8用ナット 2ヶ
- M8用スプリングワッシャー 2ヶ

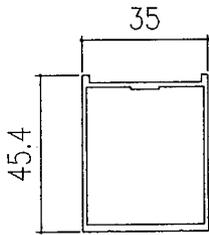
- M4用ワッシャー 4ヶ
- M4用ナット 2ヶ
- M4用スプリングワッシャー 2ヶ
- M4用袋ナット 2ヶ
- M5X10トラス小ネジ 4本

- M4X75ナベ小ネジ 2本
- M4X90ナベ小ネジ 2本
- 差しボルト 2ヶ
- 油性コーキング 1ヶ
- 施工マニュアル 1ヶ

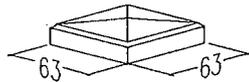
壁付け物干しセット

●KTMO

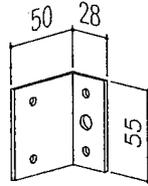
物干し横材 L=1830



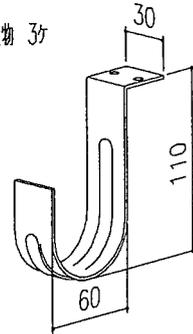
物干し柱キャップ 1ヶ



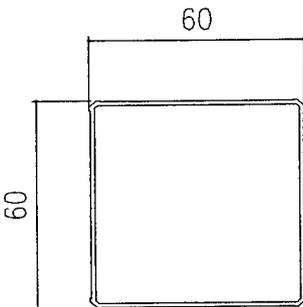
テラス柱用ブラケット 4ヶ



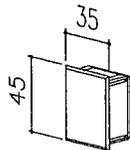
物干し金物 3ヶ



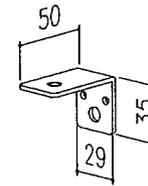
物干し柱 L=2100



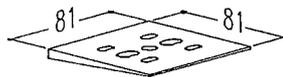
物干し柱横材キャップ 1ヶ



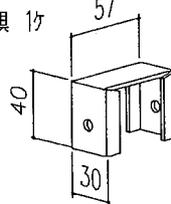
物干し取付けブラケット 1ヶ



テラス柱用ライナー 1ヶ



物干し柱頭金具 1ヶ



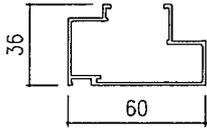
セットビス

- φ4X12トラス1種 9ヶ
- 六角ボルトMGX70 1ヶ
- M6用ワッシャー 2ヶ
- M6用ナット 1ヶ
- 六角ボルトM8X16 1ヶ
- M8用ワッシャー 5ヶ
- φ8X75コーチスクリュー 5ヶ
- φ4.5X45丸木ネジ 8ヶ
- 差しボルトL=35 2ヶ
- M8用ナット 2ヶ
- M8用スプリングワッシャー 4ヶ
- M5X10トラス小ネジ 4ヶ
- M4X75ナベ小ネジ 4ヶ
- M4用ワッシャー 4ヶ
- M4用スプリングワッシャー 4ヶ
- M4用袋ナット 4ヶ
- M4用ナット 4ヶ
- 油性コーキング 1ヶ
- 施工マニュアル 1ヶ

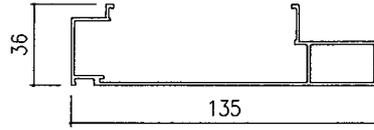
●：製品色記号

下笠木

下笠木 60巾 ●KT06SK  $\frac{4}{6}$  L=4000 L=6000

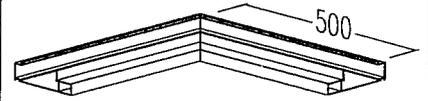


下笠木 135巾 ●KT13SK  $\frac{4}{6}$  L=4000 L=6000



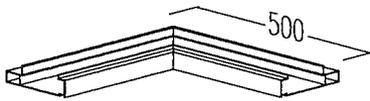
出隅下笠木 (L=500) ●KT  $\frac{06}{13}$  SKD

1ヶ入

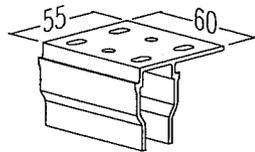


入隅下笠木 (L=500) ●KT  $\frac{06}{13}$  SKN

1ヶ入

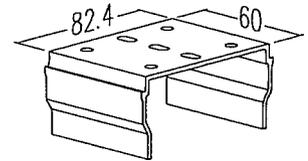


下笠木ベースアンカーセット (60巾) AKT06SKB



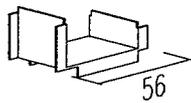
ベースアンカー 2ヶ  
φ5×16セルフドリリングネジ 4ヶ

下笠木ベースアンカーセット (135巾) AKT13SKB



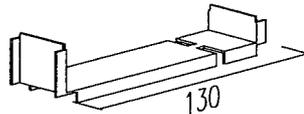
ベースアンカー 2ヶ  
φ5×16セルフドリリングネジ 4ヶ

下笠木コーキング受け (60巾) AKT06SKJ



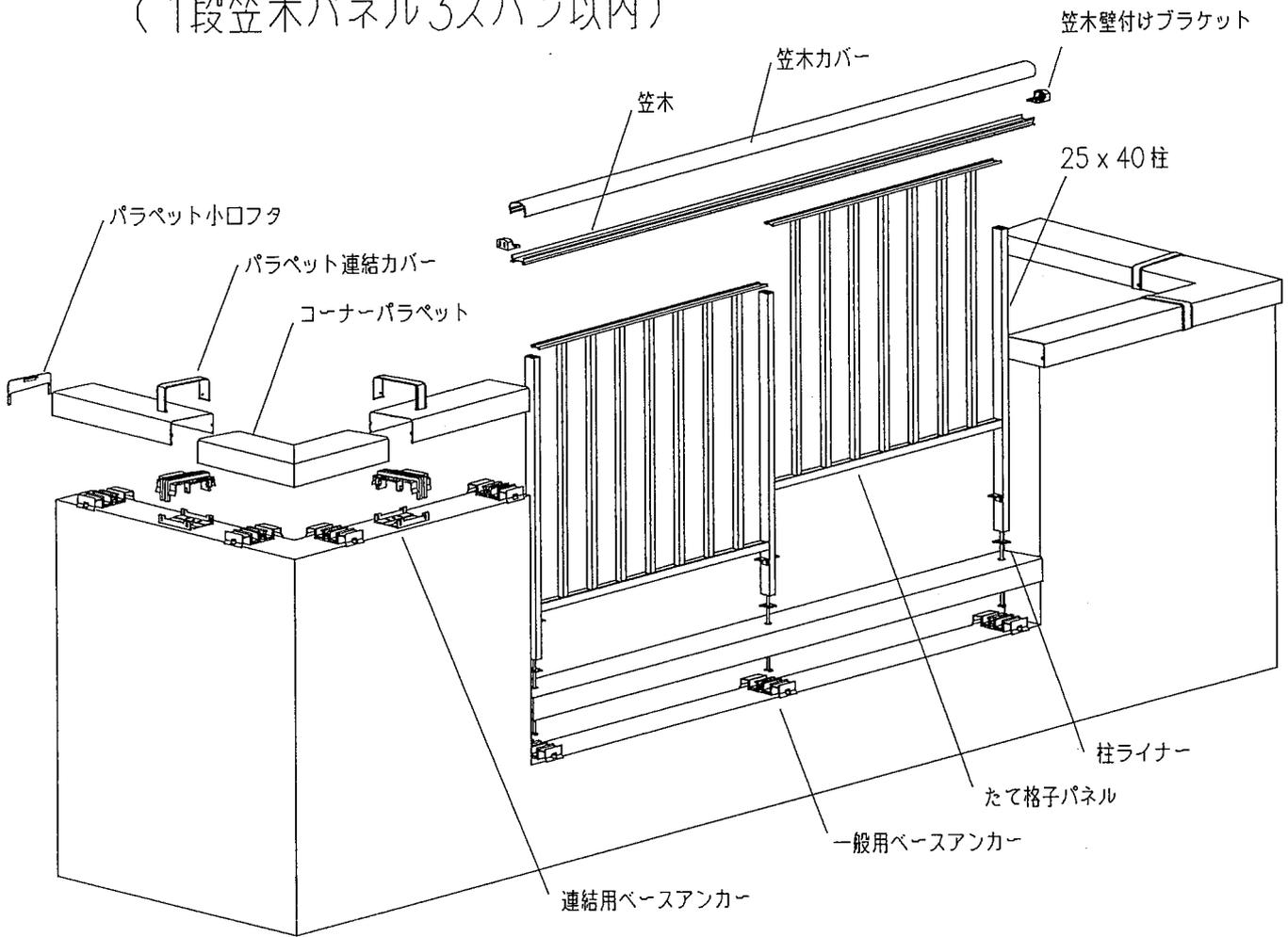
連結受け 1ヶ

下笠木コーキング受け (135巾) AKT13SKJ

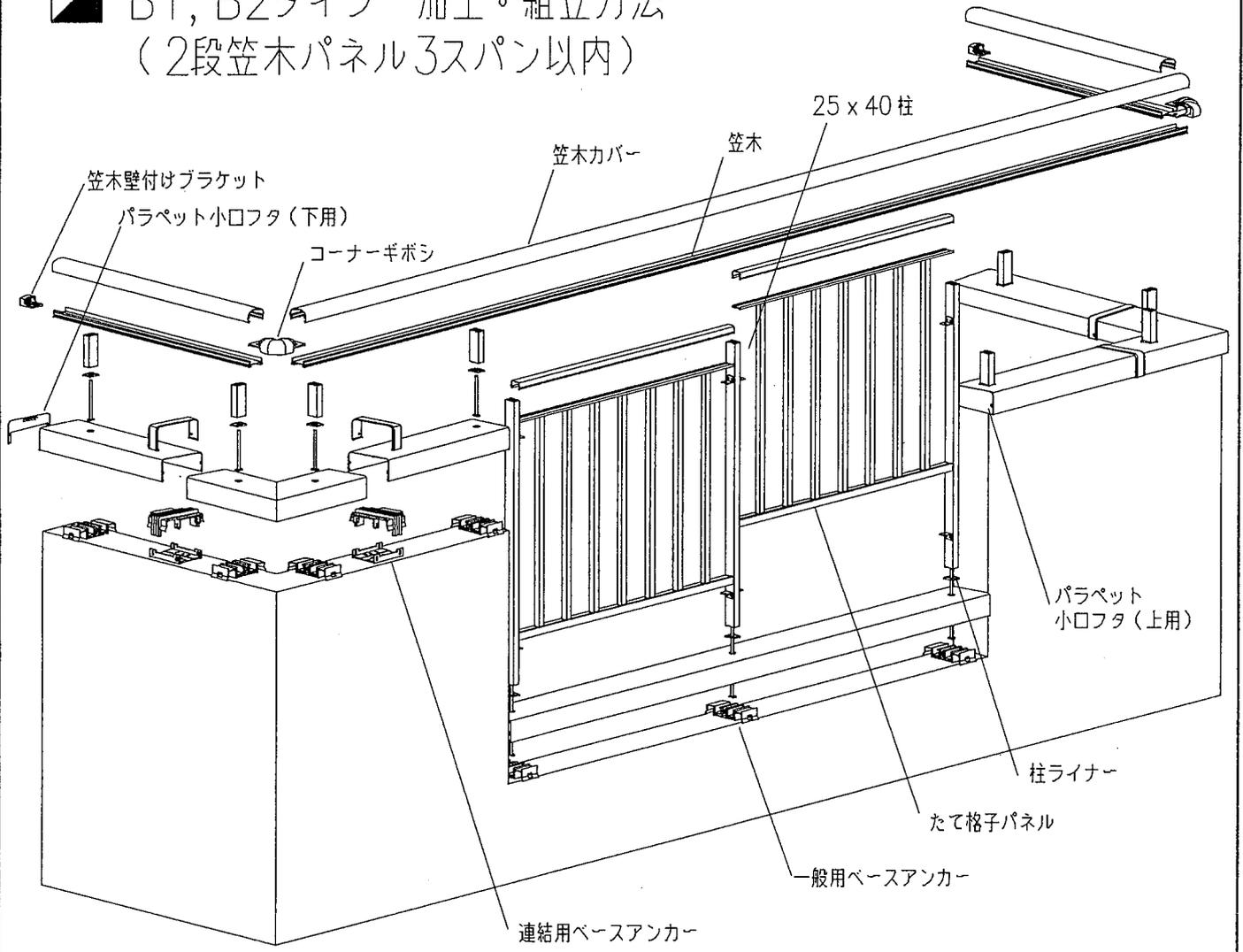


連結受け 1ヶ

■ A1, A2タイプ 加工・組立方法  
(1段笠木パネル3スパン以内)



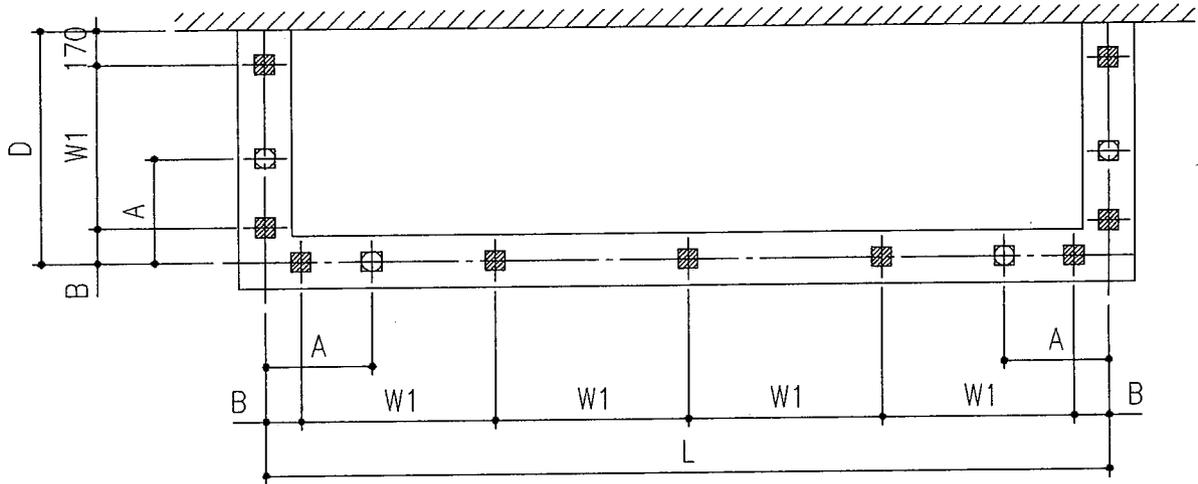
B1, B2タイプ 加工・組立方法  
 (2段笠木パネル3スパン以内)



# A1・B1タイプ ベースアンカーの取付け位置

- 一般用ベースアンカー
- 連結用ベースアンカー

<ベースアンカー割り付け図>



W : 3400以内

W1 : 1000以内

A : コーナーパラペット500用 : 500  
 コーナーパラペット1000用 : 1000

( A=1000の時 □ はナシ )

B : 170 以内

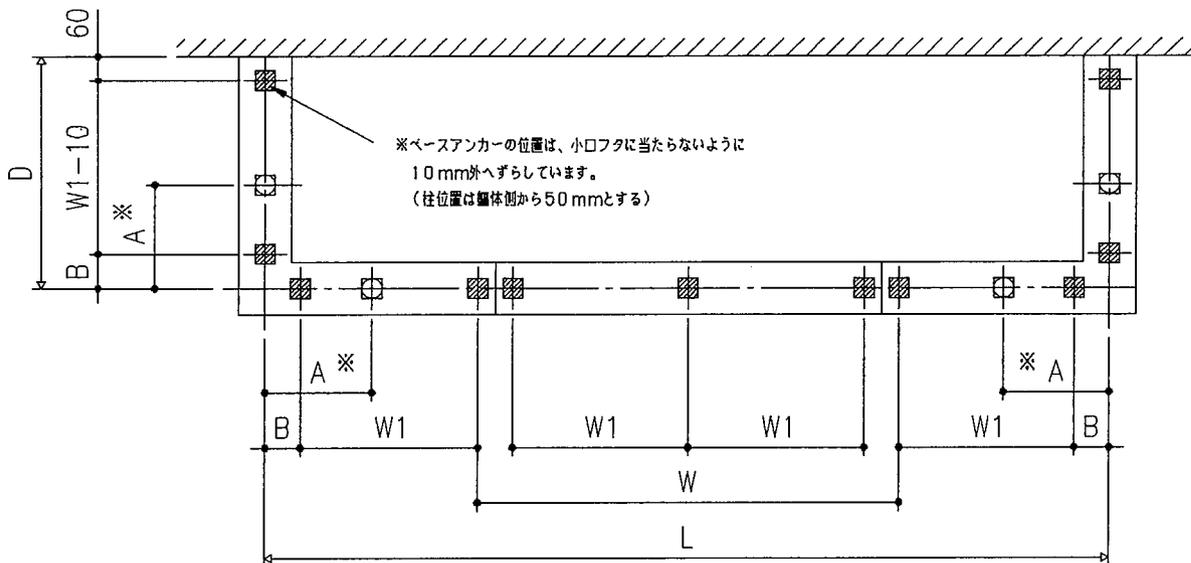
◎ ベースアンカー取付けの際には、必ずベースアンカー割り付け図を作成してください。

- 1) パラペット取付け面の寸法を確認の上、躯体の中心を割り出し、墨出しをしてください。
- 2) ベースアンカーを割り付け図に従って、躯体に取付けてください。
- 3) ベースアンカー取付け後、ベースアンカーの高さ（レベル）調整を行ってください。

## A2・B2タイプ ベースアンカーの取付け位置

- ▨ 一般用ベースアンカー
- 連結用ベースアンカー

＜ベースアンカー割り付け図＞



W : 3400以内

W1 : 1200以内 (木調笠木の場合は W1 : 1000以内)

A : コーナーパラペット500用 : 500  
 コーナーパラペット1000用 : 1000

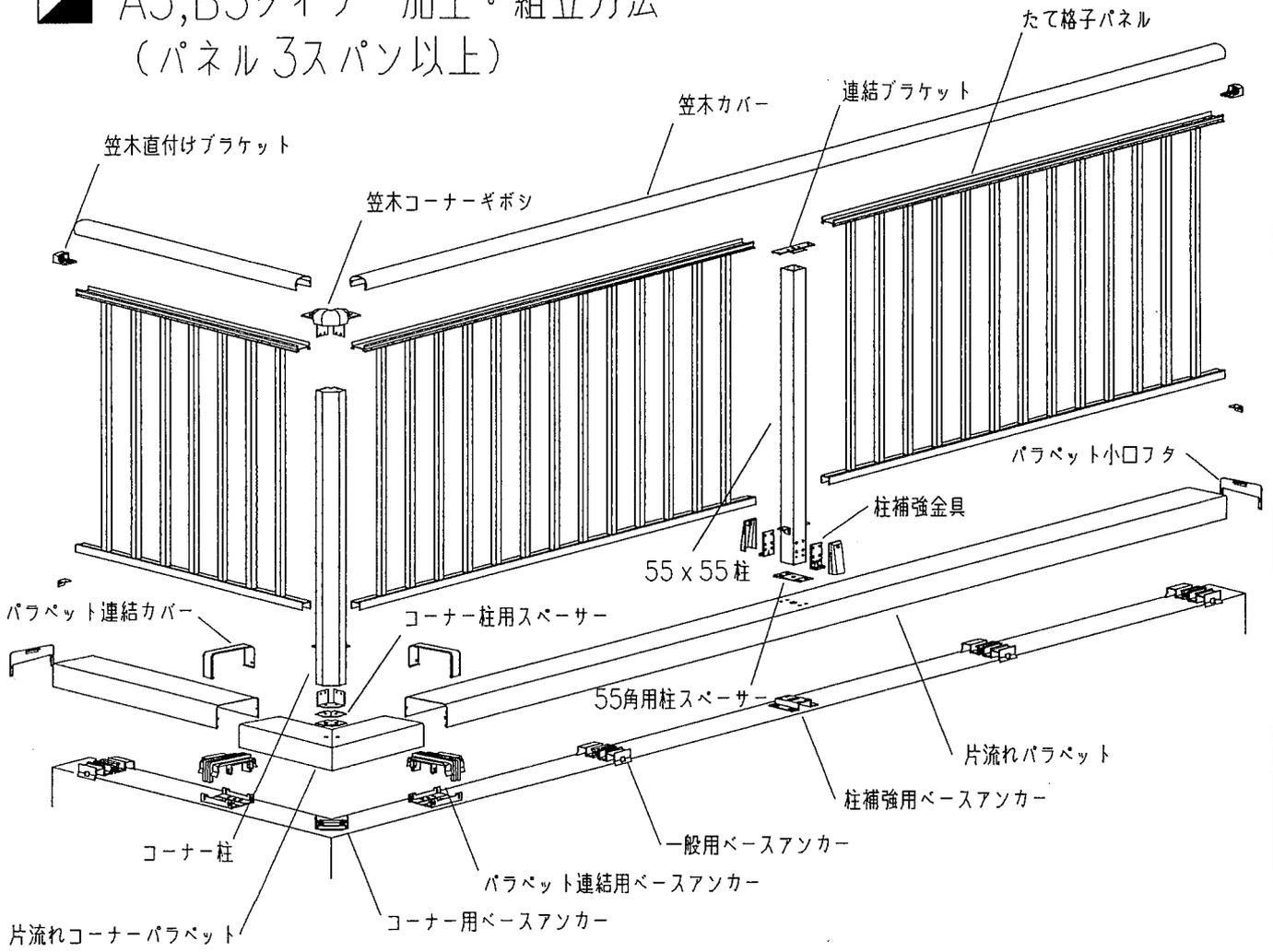
( A=1000の時 □ はナシ)

B : 170以内

◎ ベースアンカー取付けの際には、必ずベースアンカー割り付け図を作成してください。

- 1) パラペット取付け面の寸法を確認の上、躯体の中心を割り出し、墨出しをしてください。
- 2) ベースアンカーを割り付け図に従って躯体に取付けてください。
- 3) ベースアンカー取付け後ベースアンカーの高さ(レベル)調整を行ってください。

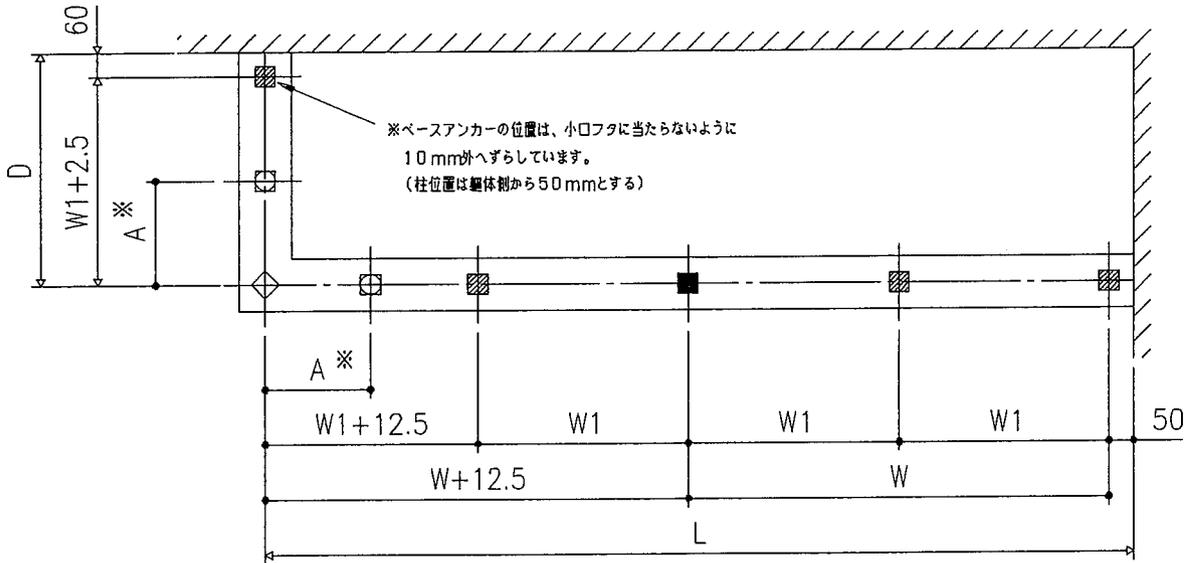
**A3,B3タイプ 加工・組立方法**  
 (パネル3スパン以上)



# A3・B3タイプ ベースアンカーの取付け位置

- 柱補強用ベースアンカー
- ▨ 一般用ベースアンカー
- 連結用ベースアンカー
- ◇ コーナー用ベースアンカー

ベースアンカー割り付け図



W : 2000以内

W1 : 1000以内

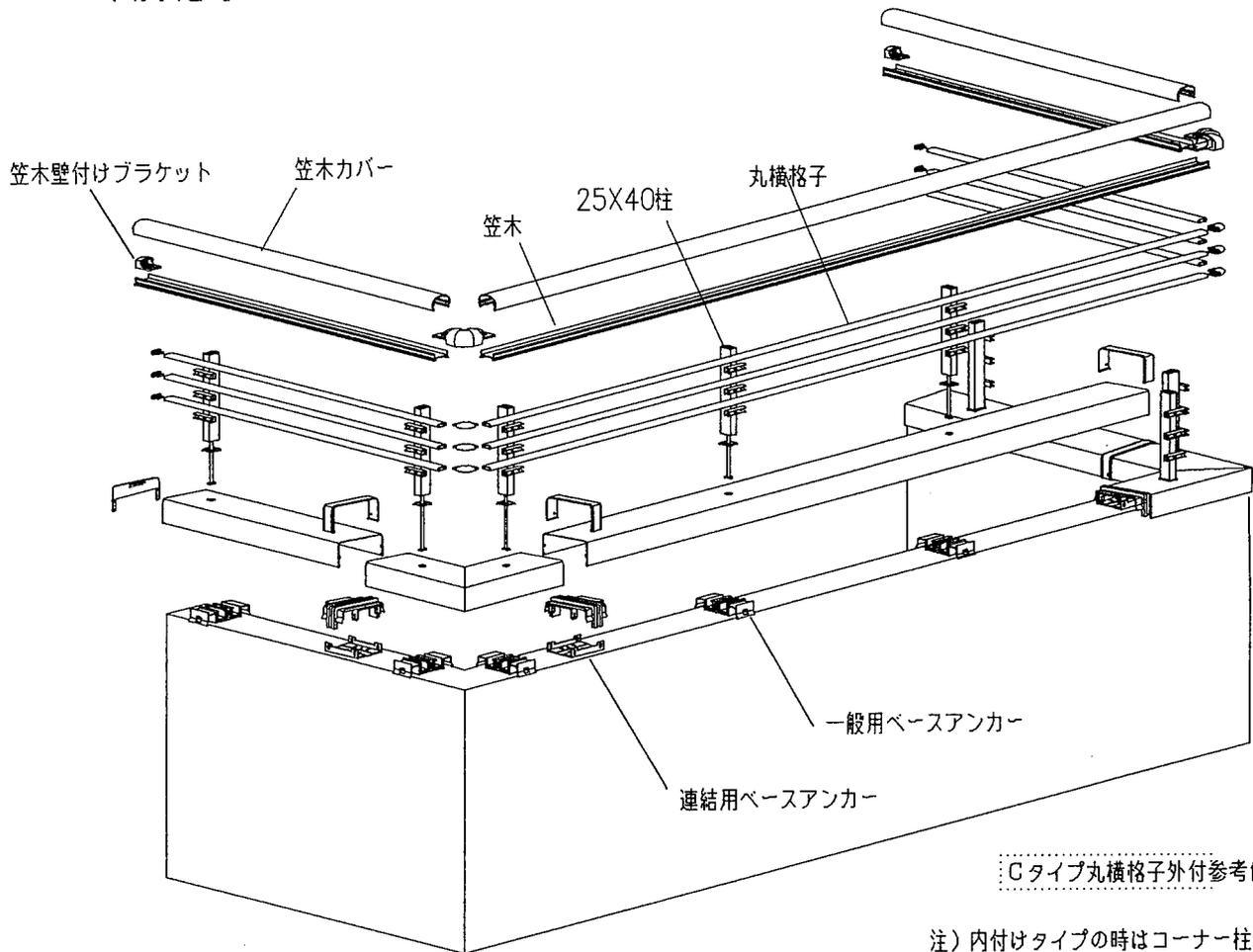
A : コーナーパラペット 500用 : 500  
 コーナーパラペット 1000用 : 1000

※ : A=1000の時W1+12.5はナシ

◎ ベースアンカー取付けの際に、必ずベースアンカー割り付け図を作成してください。

- 1) パラペット取付け面の寸法を確認の上、躯体の中心を割り出し、墨出しをしてください。
- 2) ベースアンカーを割り付け図に従って躯体に取付けてください。
- 3) ベースアンカー取付け後ベースアンカーの高さ(レベル)調整を行ってください。

Cタイプ・Dタイプ 加工・組立方法  
 (横格子パネル)



Cタイプ丸横格子外付参考例

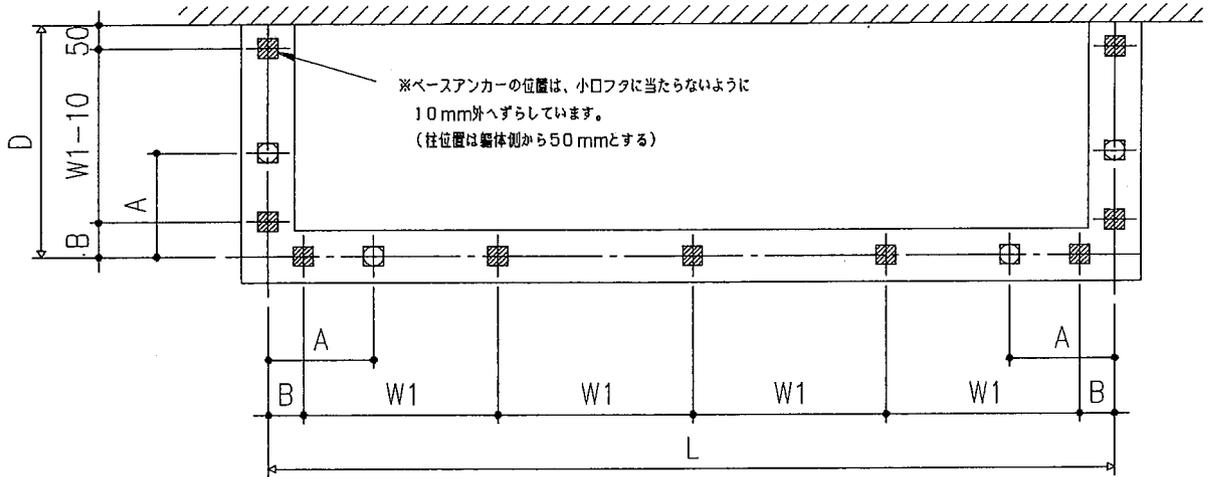
注) 内付けタイプの際はコーナー柱を使用します。

## C・Dタイプベースアンカーの取付け位置

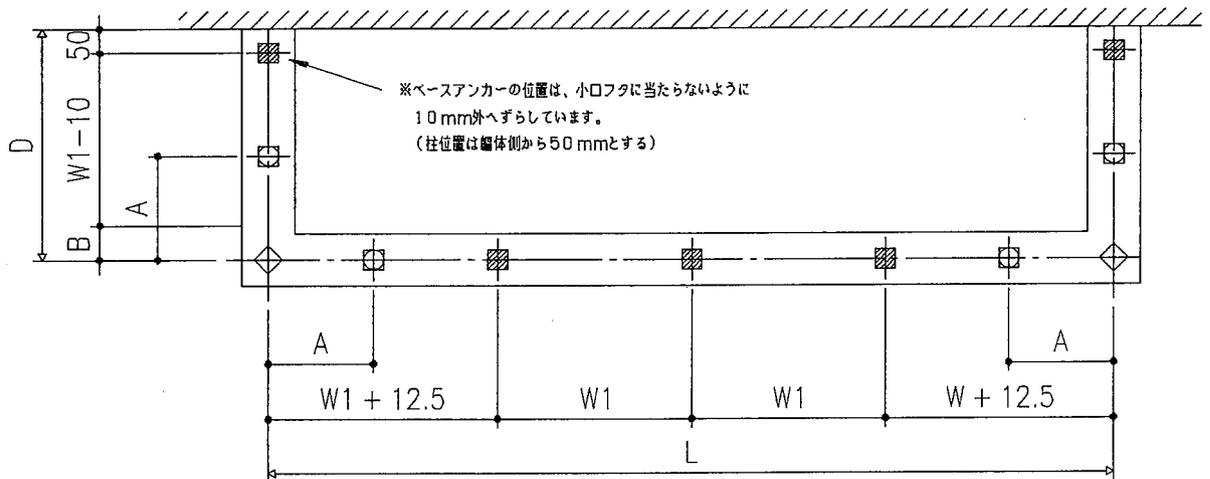
<ベースアンカー割り付け図>

① Cタイプ 外付納まり

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>▨ 一般用ベースアンカー</li> <li>□ 連結用ベースアンカー</li> <li>◇ コーナー用ベースアンカー</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>( W1 : 1000以内</li> <li>  A : コーナーパラペット500用 : 500</li> <li>  B : 170以内</li> </ul> |
|--|---|



② Cタイプ 内付納まり・Dタイプ



◎ ベースアンカー取付けの際には、必ずベースアンカー割り付け図を作成してください。

- 1) パラペット取付け面の寸法を確認の上、躯体の中心を割り出し、墨出しをしてください。
- 2) ベースアンカーを割り付け図に従って躯体に取付けてください。
- 3) ベースアンカー取付け後ベースアンカーの高さ(レベル)調整を行ってください。

## 1) 各種パネルの取付け

### ① Cタイプ

丸横格子内付けタイプ

#### ◎丸横格子の組立

- 丸横格子たて材に孔加工をしてください。  
※加工図一覧表を参照してください。
- 丸横格子たて材と格子をφ4x20ナベで組立ます。

#### ●横格子組立ビスセット

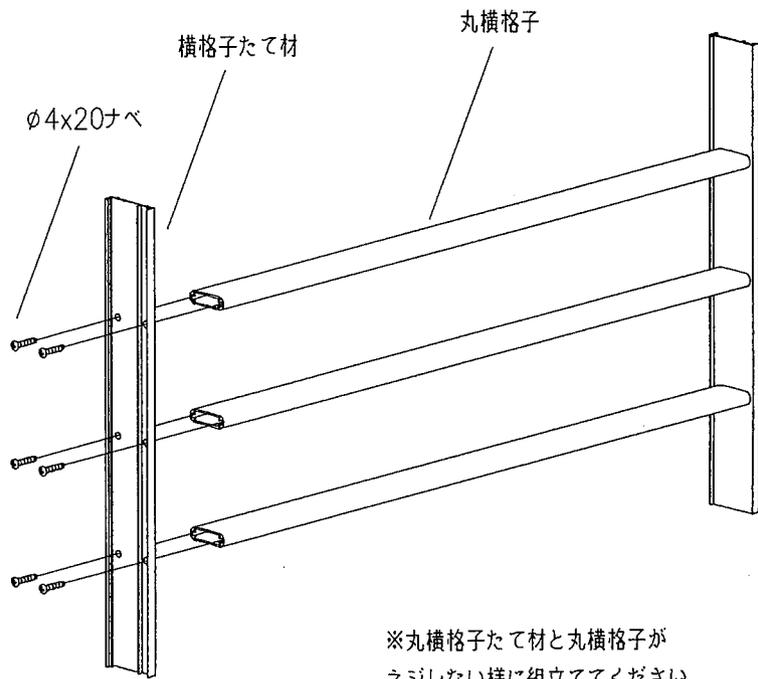
$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  PLBOX7

#### ◎柱との取付け

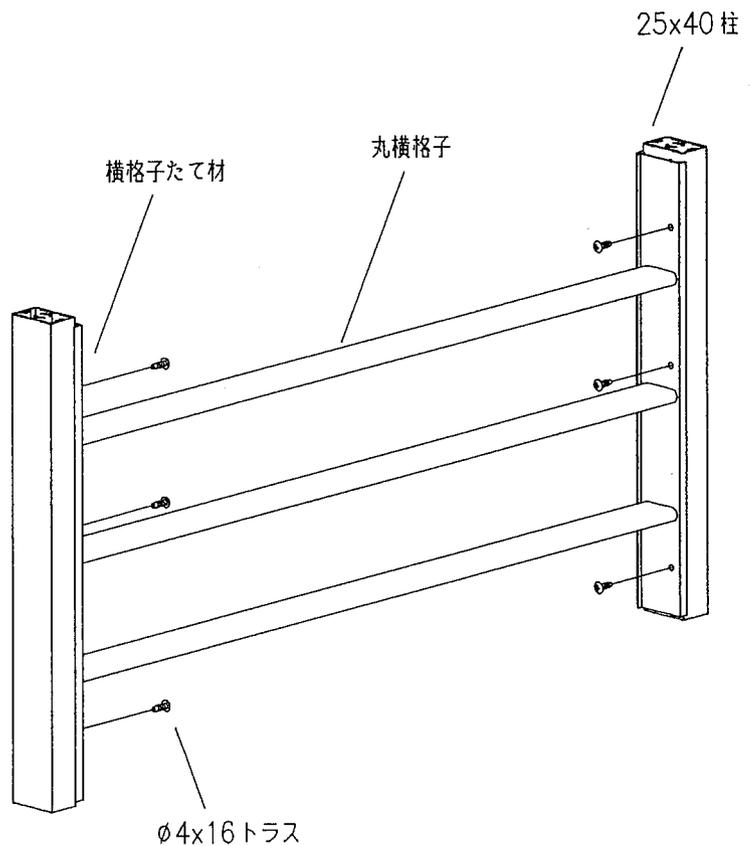
- 丸横格子パネルを柱内々に上側から差込んでください。
- 丸横格子たて材を柱にφ4x16トラスで固定します。
- 笠木を柱の上のセナットで固定してから笠木カバーを嵌込んでください。

#### ●横格子たて材取付ビスセット

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX91

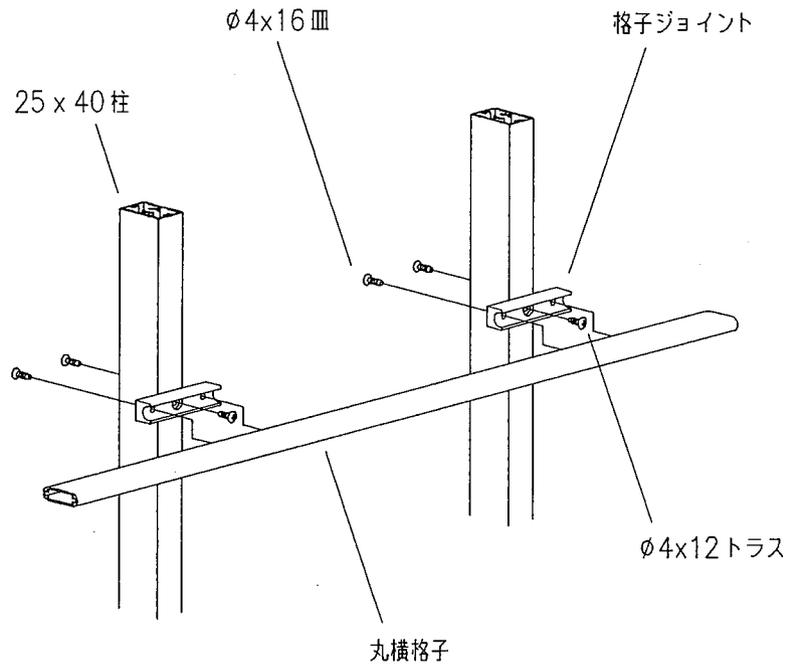


※丸横格子たて材と丸横格子がネジれない様に組立ててください。



② Gタイプ丸横格子外付けタイプ

- 柱に丸横格子がくる位置に、 $\phi 3.5$ の孔加工をしてください。
  - 格子ジョイントをゲージにして丸横格子に $\phi 3.5$ の孔加工をしてください。
- ※加工図一覧表を参照してください。
- 格子ジョイントと柱を $\phi 4 \times 12$ トラスで取付け、丸横格子を $\phi 4 \times 16$ 皿で固定してください。



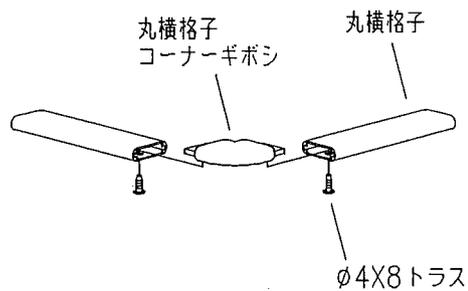
●丸横格子ジョイントセット

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX82

※丸横格子の間隔が狭い場合は、組立てる前にエンドギボシやコーナギボシを取付けてください。

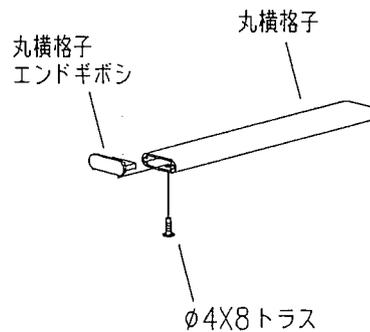
<コーナー部の取付け>

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX80



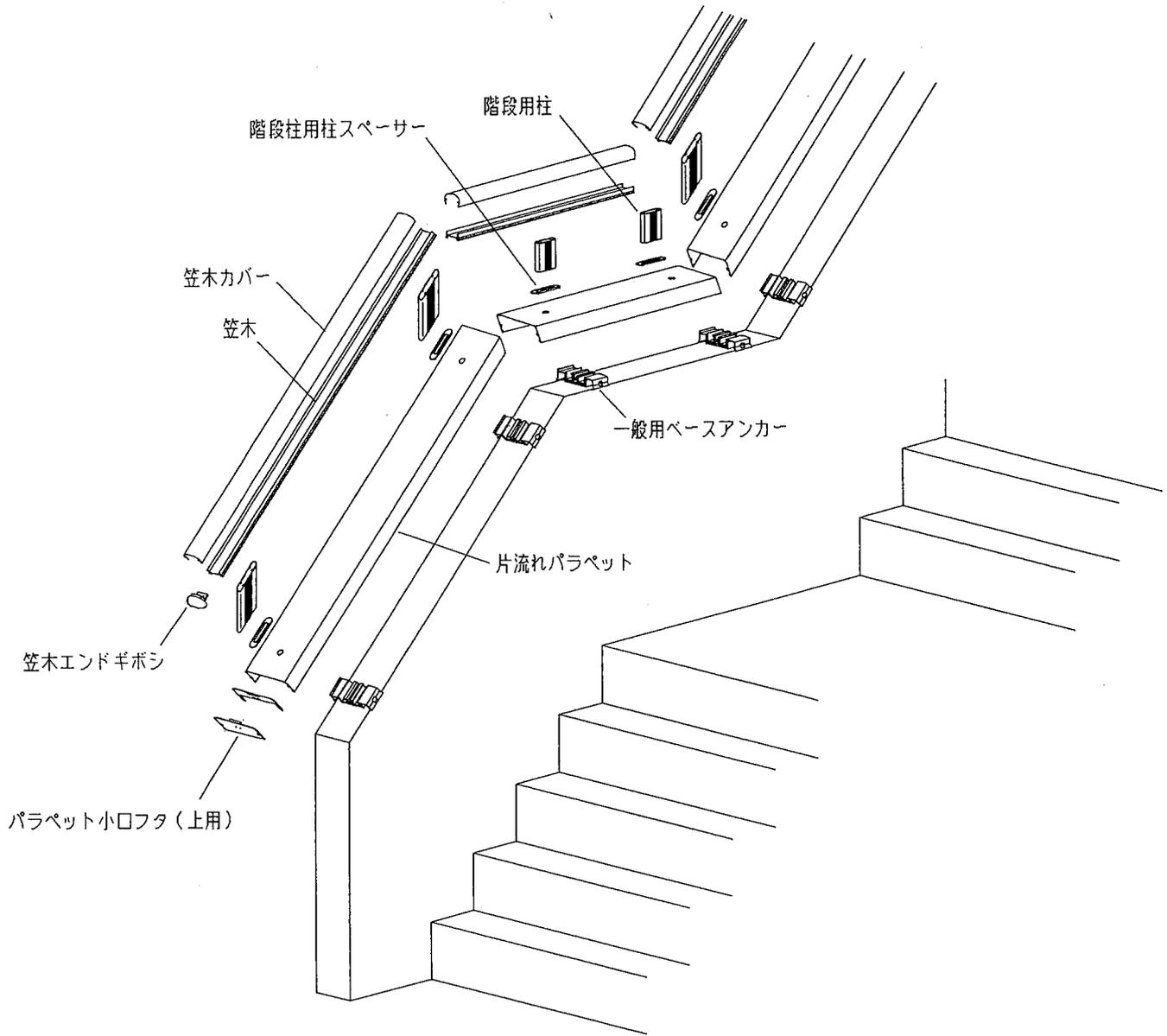
<端部の取付け>

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX81



- 丸横格子の端部より10mmの位置に、 $\phi 4.5$ の孔を明けてください。
- 取付ビスの $\phi 4 \times 8$ トラスでギボシを丸横格子に取付けます。

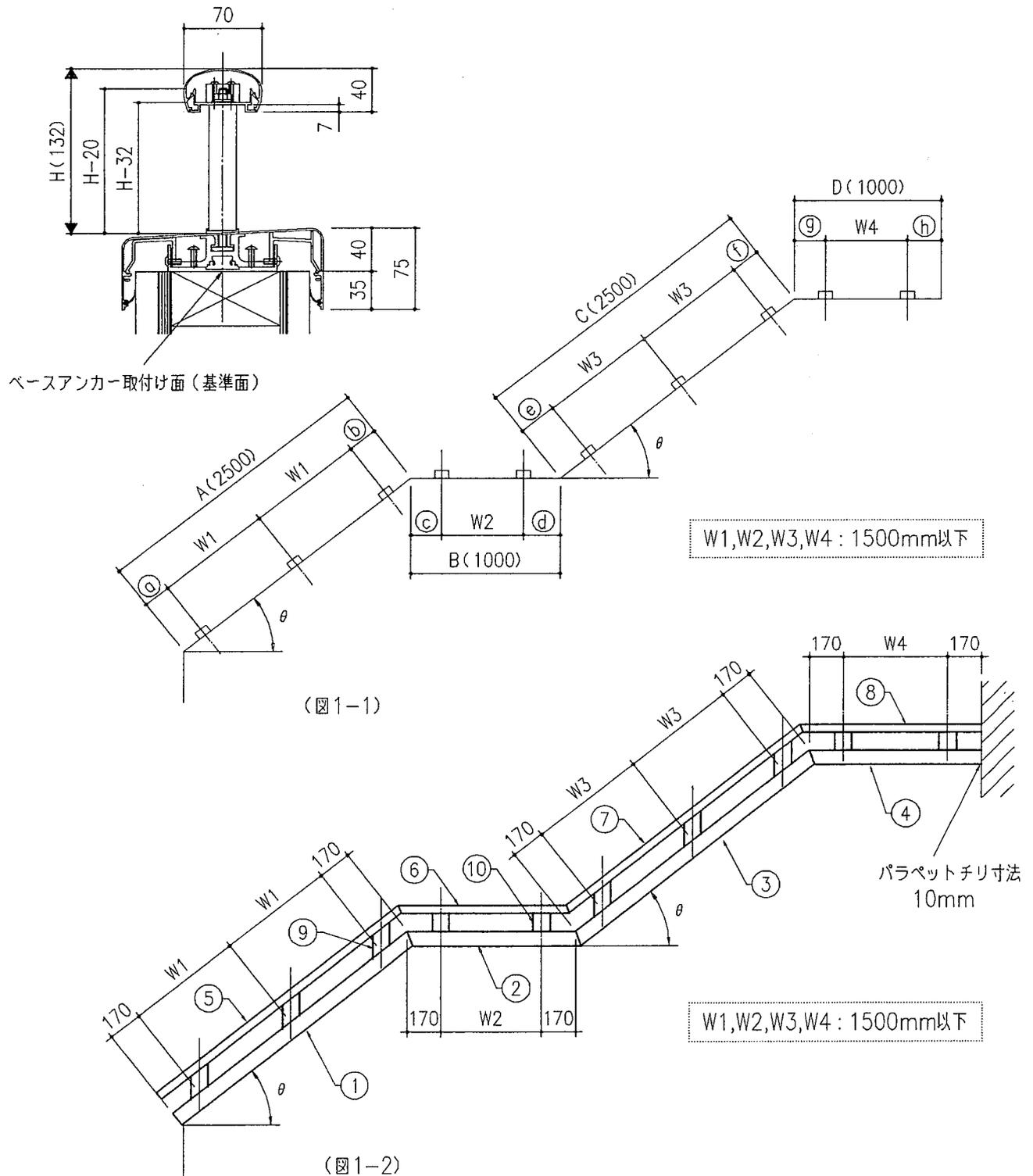
■ Fタイプ 加工・組立方法  
(階段手摺)



## ■ ベースアンカー取付け位置、部材加工寸法の算出

◎ ベースアンカーの取付け及び部材加工寸法の算出方法は以下の条件で行います。

- 1) パラペットの通しボルト加工位置は、端部より 170mm とする。
- 2) 中間ベースアンカーは等分とする。
- 3) パラペット小口フタと躯体及びパラペット連結部のチリ寸法は10mmとする。
- 4) 各部材の加工寸法の算出方法はベースアンカー取付け面を基準とする。
- 5) パラペットの呑み込みはベースアンカー取付け面より 40mm とする。



## 1. ベースアンカーの取付け位置の算出方法

- (表1-1)を参考にして次の計算式によりベースアンカーの取付け位置を算出してください。  
計算式及び計算例は(図1-1)を参照してください。

計算式一覧表

	計算式	例 $\theta = 38^\circ$ の場合
㉑	$170 - \{10 + 35 \times \tan\theta\}$	$170 - 37 = 133$
㉒	$170 - \tan(\theta/2) \times 40$	$170 - 14 = 156$
㉓	$170 - \tan(\theta/2) \times 40$	$170 - 14 = 156$
㉔	$170 + \tan(\theta/2) \times 40$	$170 + 14 = 184$
㉕	$170 + \tan(\theta/2) \times 40$	$170 + 14 = 184$
㉖	$170 - \tan(\theta/2) \times 40$	$170 - 14 = 156$
㉗	$170 - \tan(\theta/2) \times 40$	$170 - 14 = 156$
㉘	170	170
W1	$\{A - (\text{㉑} + \text{㉒})\} \div n$	$\{2500 - 289\} \div 2 = 1105.5$
W2	$\{B - (\text{㉓} + \text{㉔})\} \div n$	$\{1000 - 340\} = 660$
W3	$\{C - (\text{㉕} + \text{㉖})\} \div n$	$\{2500 - 340\} \div 2 = 1080$
W4	$\{D - (\text{㉗} + \text{㉘})\} \div n$	$\{1000 - 326\} = 674$

※W1,W2,W3,W4: 1500mm以内

(表1-1)

$\theta$	$\tan\theta$	$\tan(\theta/2)$	$\cos\theta$
30	0.58	0.27	0.87
32	0.62	0.29	0.85
34	0.67	0.31	0.83
36	0.73	0.32	0.81
38	0.78	0.34	0.79
40	0.84	0.36	0.77
42	0.90	0.38	0.74
44	0.97	0.40	0.72
45	1.00	0.41	0.71

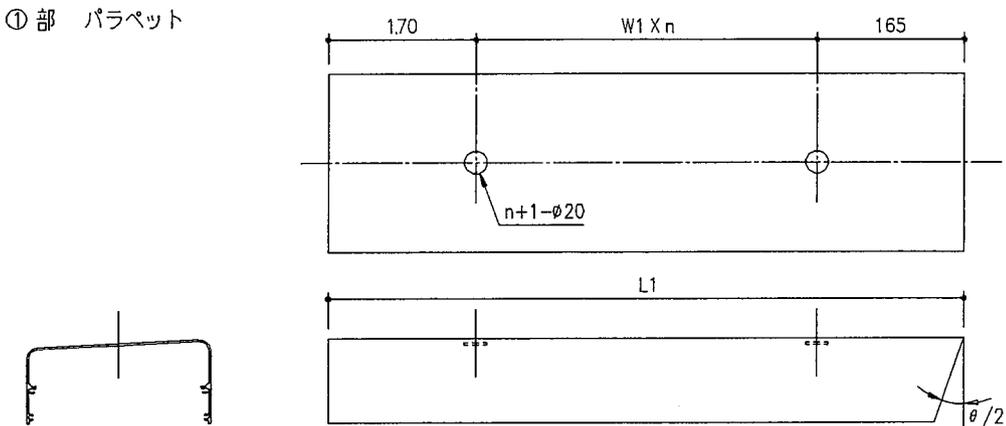
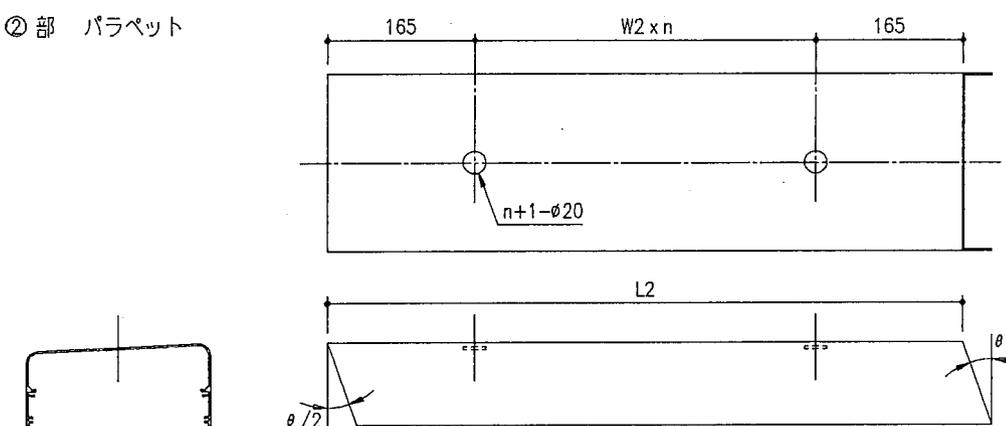
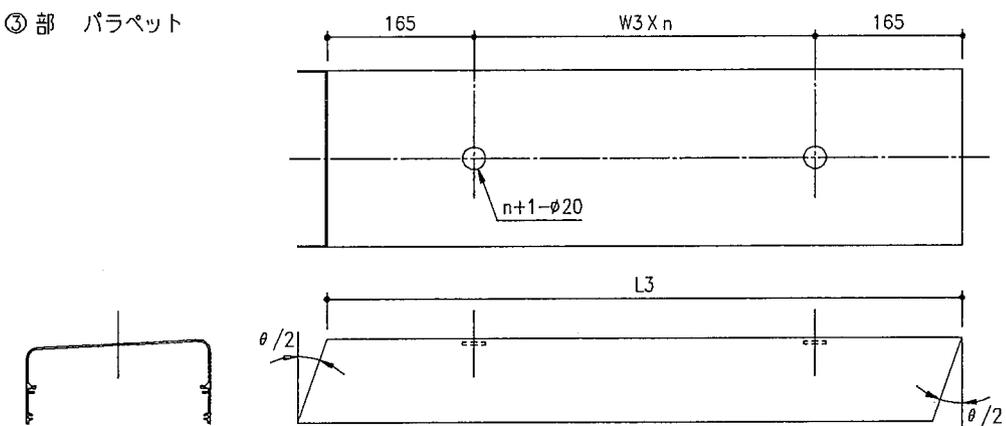
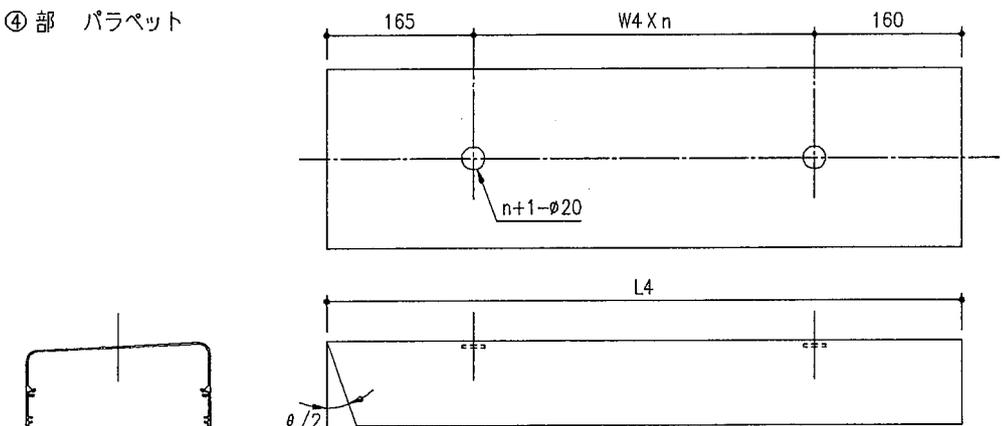
㉑~㉘: ベースアンカー各部取付け寸法  
W1~W4: 柱ピッチ  
A~D: 躯体寸法  
 $\theta$ : 階段傾斜角度  
n: 柱のピッチ数

## 2. 部材の切断寸法及び加工寸法の算出方法

- 上表のベースアンカー取付け寸法と(表1-1)を参考にして次の計算式により部材の切断寸法及び加工寸法を算出してください。  
計算式及び計算例は(図1-2)を参照してください。

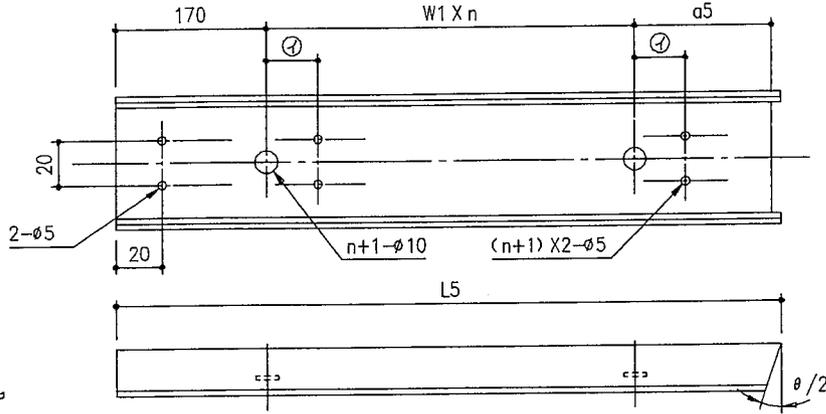
部材	切断寸法計算式	$\theta = 38^\circ$ の場合の切断寸法	通しボルト孔加工寸法		
パラベット	①	$W1 \times 2 + 170 + 170 - 5$	$1105.5 \times 2 + 340 - 5 = 2546$	パラベット端部より170mm - 各部チリ寸法 パラベット中間部孔加工はベースアンカー取付け寸法に準ずる。	
	②	$W2 + 170 + 170 - 10$	$660 + 340 - 10 = 990$		
	③	$W3 \times 2 + 170 + 170 - 10$	$1080 \times 2 + 340 - 10 = 2490$		
	④	$W4 + 170 + 170 - 15$	$674 + 340 - 15 = 999$		
笠木	⑤	$\text{①} + (H-20) \times \tan(\theta/2) + 5$	$2546 + 112 \times 0.34 + 5 = 2589$	170	$170 + (H-32) \times \tan(\theta/2)$
	⑥	$\text{②} + 10$	$660 + 340 = 1000$	$170 + (H-32) \times \tan(\theta/2)$	$170 - (H-32) \times \tan(\theta/2)$
	⑦	$\text{③} + 10$	$1080 \times 2 + 340 = 2500$	$170 - (H-32) \times \tan(\theta/2)$	$170 + (H-32) \times \tan(\theta/2)$
	⑧	$\text{④} + (H-20) \times \tan(\theta/2) + 15$	$999 + 112 \times 0.34 + 15 = 1052$	$170 + (H-32) \times \tan(\theta/2)$	170
笠木カバー	⑤	$\text{①} + H \times \tan(\theta/2) + 5$	$2546 + 132 \times 0.34 + 5 = 2596$	/	
	⑥	$\text{②} + 10$	$660 + 340 = 1000$		
	⑦	$\text{③} + 10$	$1080 \times 2 + 340 = 2500$		
	⑧	$\text{④} + H \times \tan(\theta/2) + 15$	$999 + 132 \times 0.34 + 15 = 1059$		

笠木手摺階段加工図

<p>①部 パラペット</p> 	<p>公式</p> <p>W1 : ベースアンカー取付け寸法に準ずる。 (W1=1500mm以内) <math>L1 = W1 \times n + 170 + 165</math></p> <p><math>\theta = 38^\circ</math> の場合 (図1-1)</p> <p>W1 = 1105.5 n = 2 <math>L1 = 1105.5 \times 2 + 170 + 165</math> L1 = 2546</p>
<p>②部 パラペット</p> 	<p>公式</p> <p>W2 : ベースアンカー取付け寸法に準ずる。 (W2=1500mm以内) <math>L2 = W2 \times n + 165 + 165</math></p> <p><math>\theta = 38^\circ</math> の場合 (図1-1)</p> <p>W2 = 660 n = 1 <math>L2 = 660 \times 1 + 165 + 165</math> L2 = 990</p>
<p>③部 パラペット</p> 	<p>公式</p> <p>W3 : ベースアンカー取付け寸法に準ずる。 (W3=1500mm以内) <math>L3 = W3 \times n + 165 + 165</math></p> <p><math>\theta = 38^\circ</math> の場合 (図1-1)</p> <p>W3 = 1080 n = 2 <math>L3 = 1080 \times 2 + 165 + 165</math> L3 = 2490</p>
<p>④部 パラペット</p> 	<p>公式</p> <p>W4 : ベースアンカー取付け寸法に準ずる。 (W4=1500mm以内) <math>L4 = W4 \times n + 165 + 160</math></p> <p><math>\theta = 38^\circ</math> の場合 (図1-1)</p> <p>W4 = 1080 n = 1 <math>L4 = 1080 \times 1 + 165 + 160</math> L4 = 1405</p>

笠木手摺階段加工図

⑤部 笠木



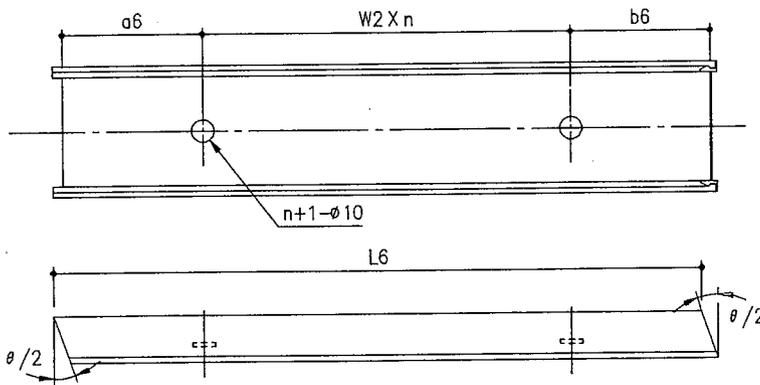
公式

W1: ベースアンカー取付け寸法に準ずる。  
(W1=1500mm以内)  
a5 = 170 + (H-32) X tan(θ/2)  
L5 = L1 + 5 + (H-20) X tan(θ/2)  
④ = (H-32) / tanθ + 22.5 / cosθ

θ = 38° の場合 (図1-1)

L1 = 2546, H = 132  
a5 = 170 + 100 X 0.34  
= 204  
L5 = 2546 + 5 + 112 X 0.34  
= 2589  
④ = 100 ÷ 0.78 + 22.5 ÷ 0.79  
= 157

⑥部 笠木



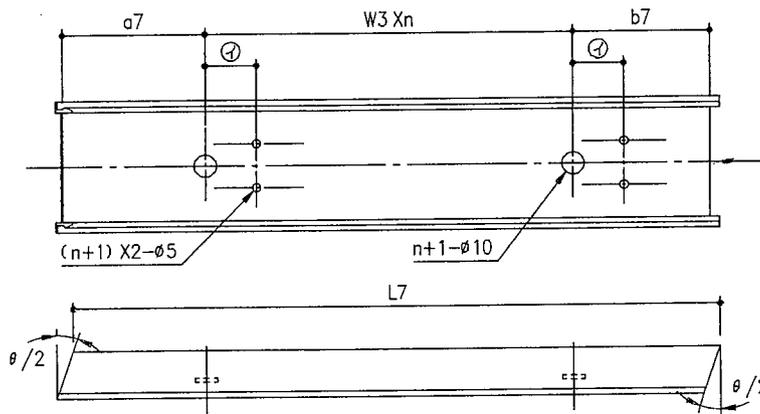
公式

W2: ベースアンカー取付け寸法に準ずる。  
(W2=1500mm以内)  
a6 = 170 + (H-32) X tan(θ/2)  
b6 = 170 - (H-32) X tan(θ/2)  
L6 = L2 + 10

θ = 38° の場合 (図1-1)

L2 = 990, H = 132  
a6 = 170 + 100 X 0.34  
= 204  
b6 = 170 - 100 X 0.34  
= 136  
L6 = 990 + 10  
= 1000

⑦部 笠木



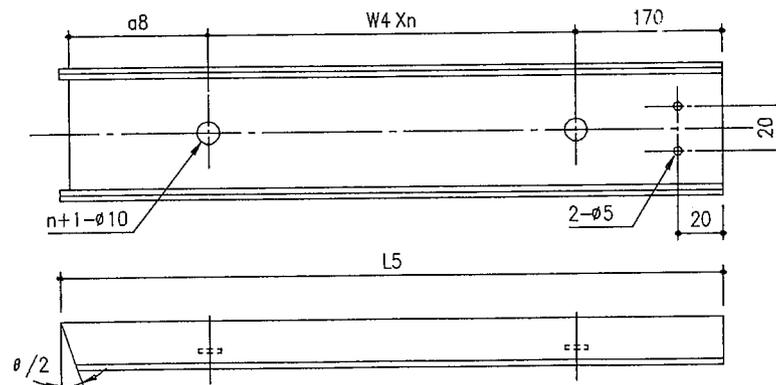
公式

W3: ベースアンカー取付け寸法に準ずる。  
(W3=1500mm以内)  
a7 = 170 - (H-32) X tan(θ/2)  
b7 = 170 + (H-32) X tan(θ/2)  
L7 = L3 + 10

θ = 38° の場合 (図1-1)

L3 = 2490, H = 132  
a7 = 170 + 100 X 0.34  
= 204  
b7 = 170 - 100 X 0.34  
= 136  
L7 = 2490 + 10  
= 2500

⑧部 笠木



公式

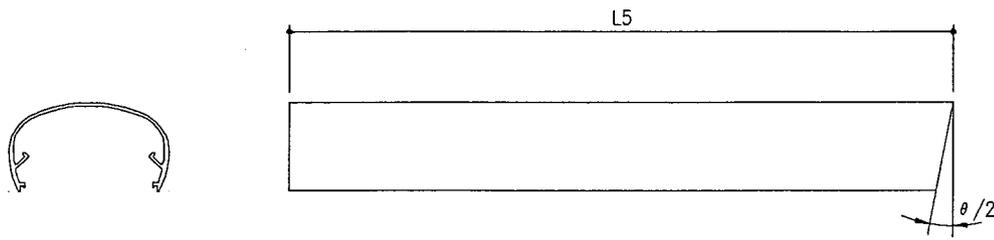
W4: ベースアンカー取付け寸法に準ずる。  
(W4=1500mm以内)  
a8 = 170 + (H-32) X tan(θ/2)  
L8 = L4 + 15 + (H-20) X tan(θ/2)

θ = 38° の場合 (図1-1)

L4 = 999, H = 132  
a8 = 170 + 100 X 0.34  
= 204  
L8 = 999 + 15 + 112 X 0.34  
= 2589

笠木手摺階段加工図

⑤部 笠木カバー



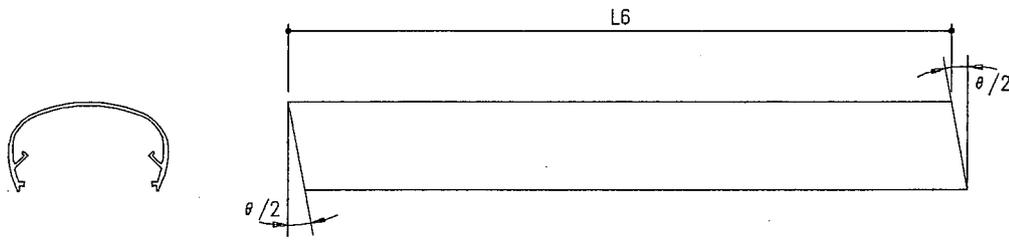
公式

$$L5 = L1 + 5 + (H-20) \times \tan(\theta/2)$$

$\theta = 38^\circ$  の場合 (図1-1)

$$\begin{aligned} L1 &= 2546 \\ H &= 132 \\ L5 &= 2546 + 5 + 112 \times 0.34 \\ &= 2589 \end{aligned}$$

⑥部 笠木カバー



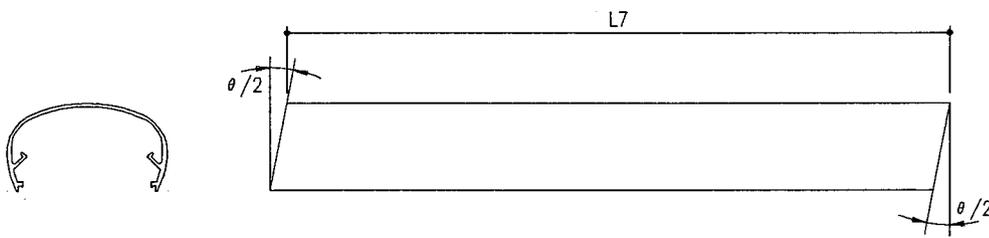
公式

$$L6 = L2 + 10$$

$\theta = 38^\circ$  の場合 (図1-1)

$$\begin{aligned} L2 &= 990 \\ H &= 132 \\ L6 &= 990 + 10 \\ &= 1000 \end{aligned}$$

⑦部 笠木カバー



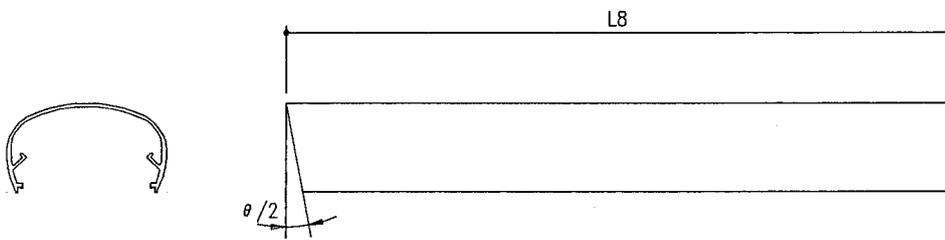
公式

$$L7 = L3 + 10$$

$\theta = 38^\circ$  の場合 (図1-1)

$$\begin{aligned} L3 &= 2490 \\ H &= 132 \\ L7 &= 2490 + 10 \\ &= 2500 \end{aligned}$$

⑧部 笠木カバー



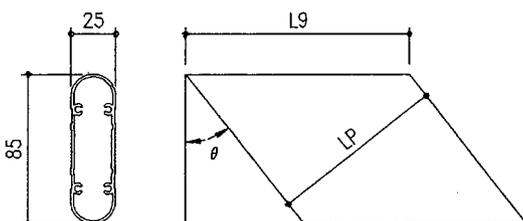
公式

$$L8 = L4 + 15 + (H-20) \times \tan(\theta/2)$$

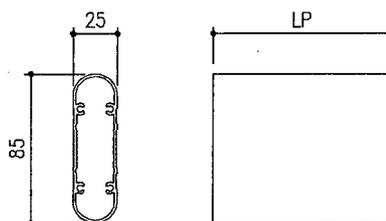
$\theta = 38^\circ$  の場合 (図1-1)

$$\begin{aligned} L4 &= 999 \\ H &= 132 \\ L8 &= 999 + 15 + 112 \times 0.34 \\ &= 2589 \end{aligned}$$

⑨部 傾斜部柱



⑩部 水平部柱



公式

$$\begin{aligned} LP &= H - 37 \\ L9 &= LP / \cos\theta \end{aligned}$$

$\theta = 38^\circ$  の場合 (図1-1)

$$\begin{aligned} H &= 132 \\ LP &= 132 - 37 & L9 &= 95 \div \cos 38 \\ &= 95 & &= 120.5 \end{aligned}$$

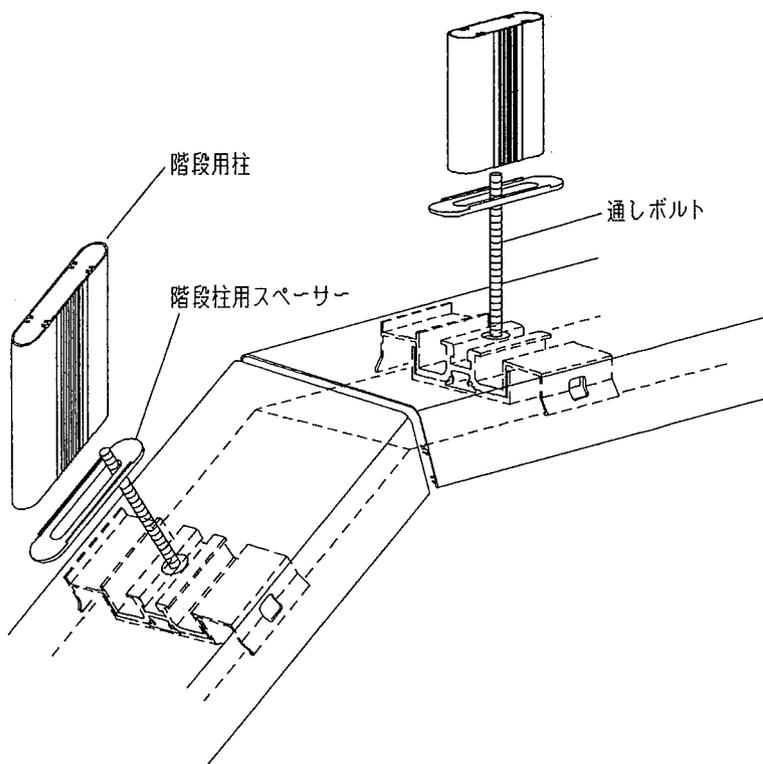
## 1) 片流れパラペット

### ① 柱の取付け

- 階段柱用スペーサー、階段用柱の順番で  
通しボルトにセットしてください。

\*スペーサーの方向に気を付けてください。

\*階段用スペーサーは、角度40度まで  
孔明けしてあります。40度以上は孔明けを  
追加してください。

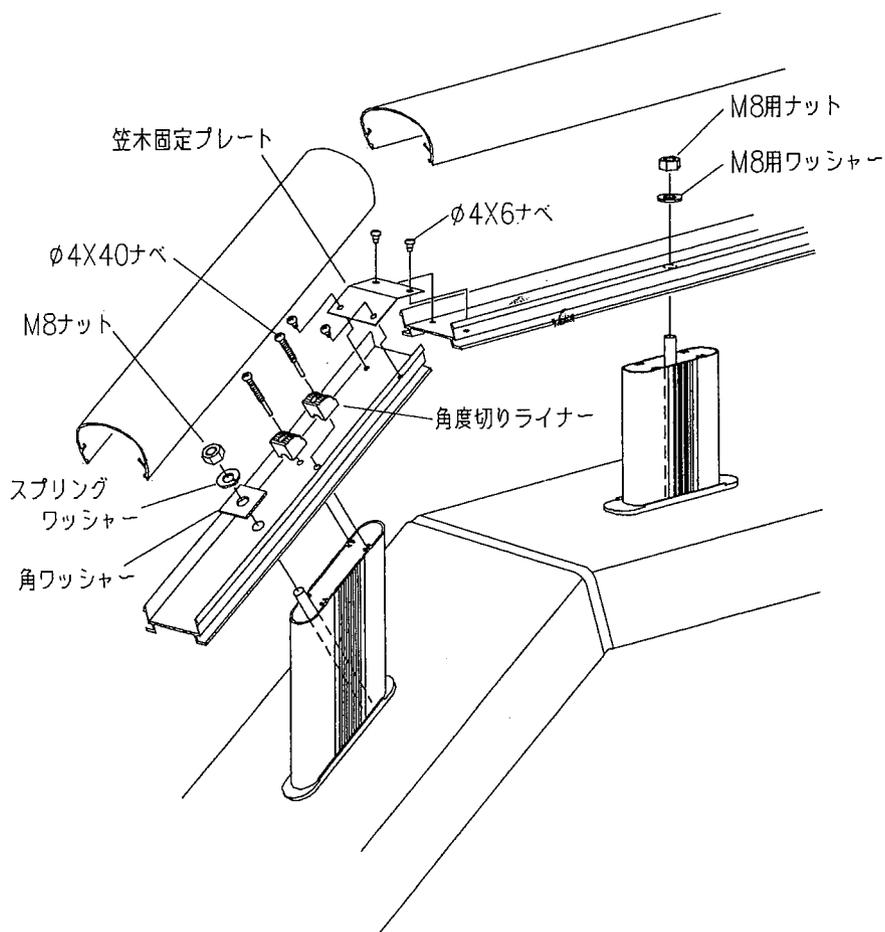


### ② 笠木の取付け

- 階段用柱に角度切りライナーと $\phi 4 \times 40$ ナベで  
笠木を固定してください。  
この時、通しボルトは締めないでください。

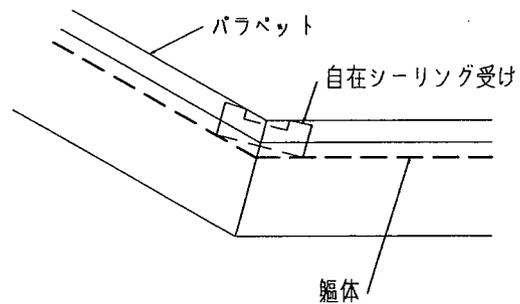
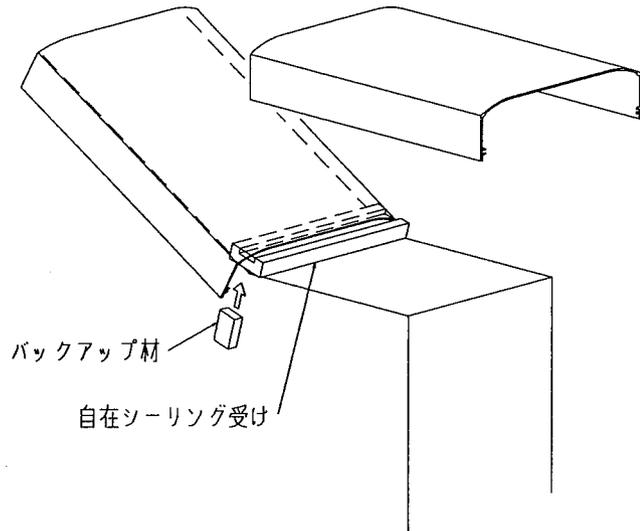
- 笠木固定プレートで笠木の接続部分を  
固定してください。

- 笠木の位置が決まりましたら、それぞれの  
通しボルトを締めて柱を固定してください。



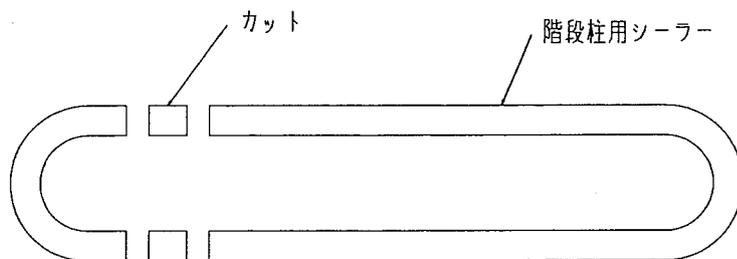
## 平型パラペット 自在シーリング受け

- ・ パラペット自在コーキング受け 及び  
バックアップ材を現場に合わせて  
切断してご使用ください。



< 平型パラペットの場合 >

階段用柱シーラーの取付は角度によって  
柱の断面形状の大きさが異なりますので  
現物に合わせてカットしてください。



### 3) 壁付け腕木の取付け

- 腕木を木ビス（別途）で躯体に取付けます。
- ※ 取付箇所に柱があることを確認してください。
- 腕木の孔に孔塞ぎキャップを、嵌めてください。

ビスは壁仕上げ厚により  
選び出してください。

木ビスセット30

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX5

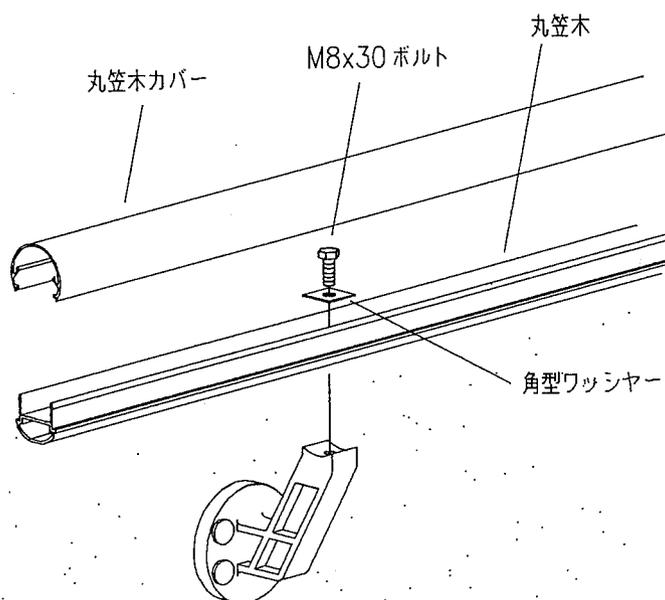
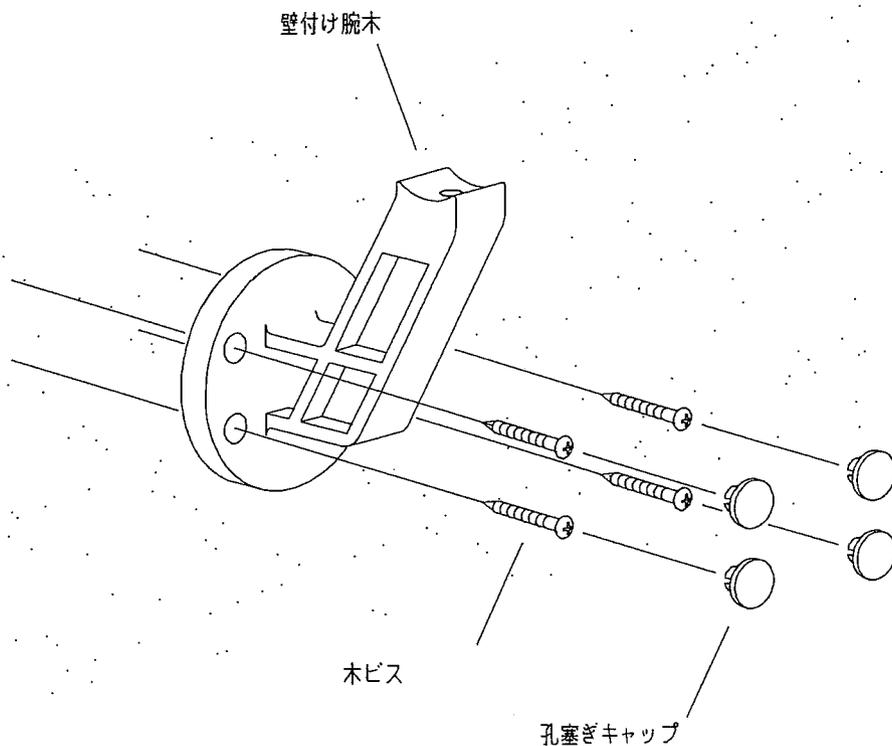
木ビスセット70

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX6

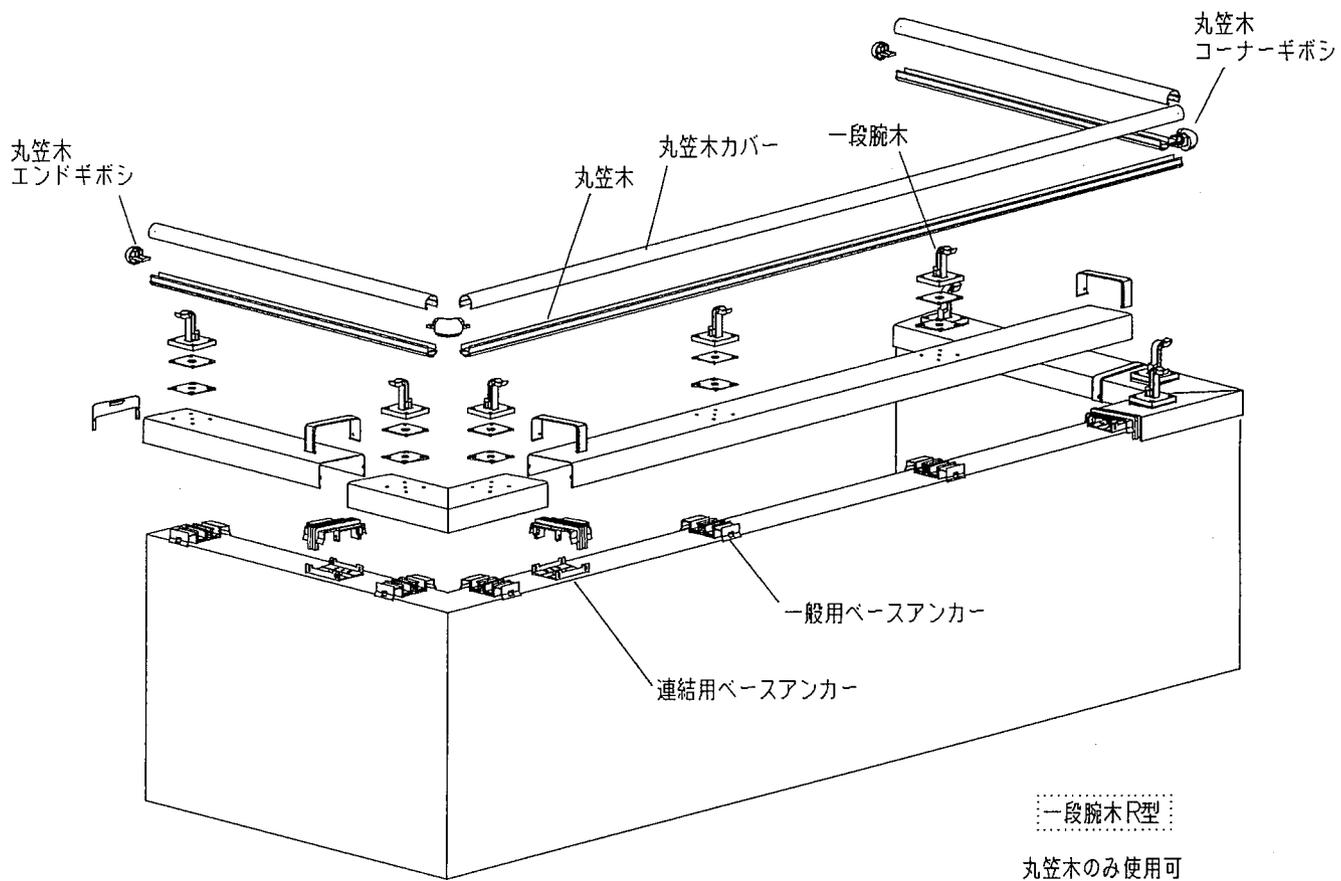
注) 孔塞ぎキャップを嵌める前に、  
腕木の孔に十分にコーキングを  
施してください。

### 4) 笠木の取付け

- 丸笠木にφ10の孔加工を  
してください。
- M8x30 ボルトで腕木と笠木を固定し、  
丸笠木カバーを嵌合させてください。



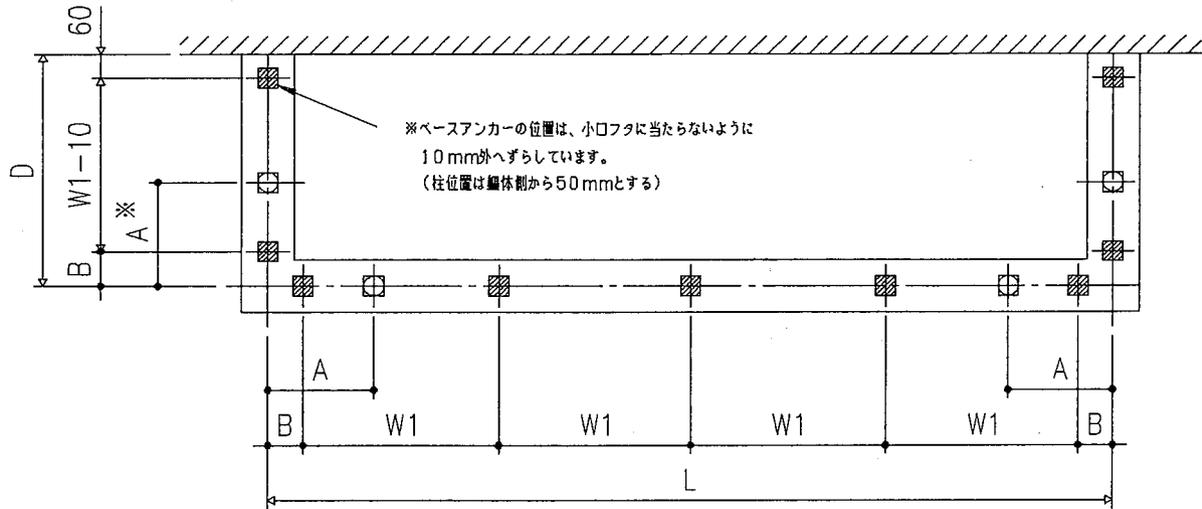

**Gタイプ 加工・組立方法**  
**(腕木タイプ)**



## Gタイプ ベースアンカーの取付け位置

- ▣ 一般用ベースアンカー
- 連結用ベースアンカー

<ベースアンカー割り付け図>



W : 3400以内

W1 : 1200以内

A : コーナーパラペット 500用 : 500  
 コーナーパラペット 1000用 : 1000

B : 170 以内

◎ ベースアンカー取付けの際には、必ずベースアンカー割り付け図を作成してください。

- 1) パラペット取付け面の寸法を確認の上、躯体の中心を割り出し、墨出しをしてください。
- 2) ベースアンカーを割り付け図に従って躯体に取付けてください。
- 3) ベースアンカー取付け後ベースアンカーの高さ(レベル)調整を行ってください。

## 1) 腕木の取付け

### ① 片流れパラペットの場合

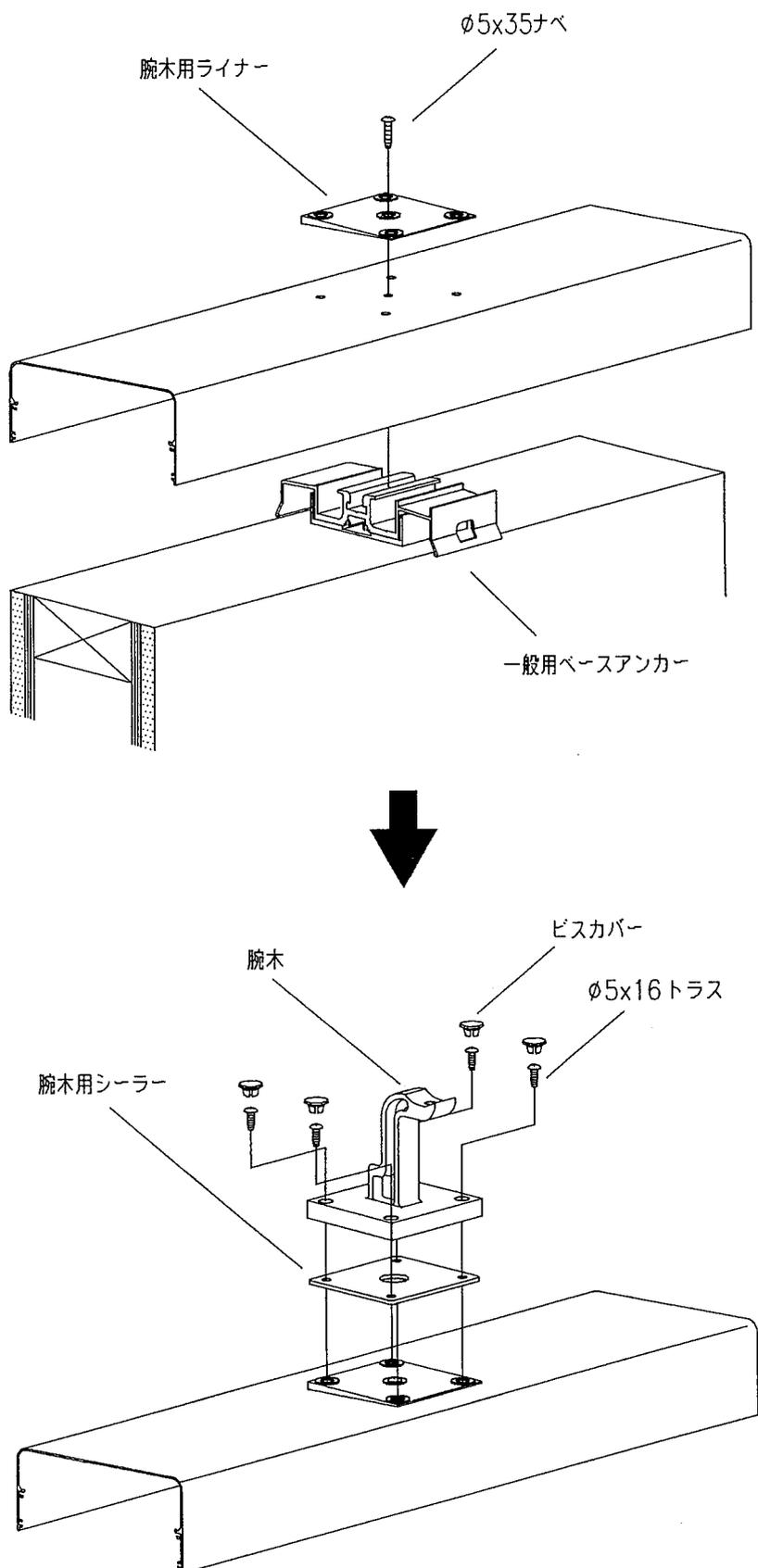
- 腕木を取付けるベースアンカーに  
φ4.5の孔加工をしてください。
- 腕木用ライナーをφ5x35ナベで  
パラペットとベースアンカーに  
固定してください。

### ● 腕木ライナーセット

( $\begin{matrix} S \\ H \\ C \end{matrix}$ ) KTHGB1

- 腕木とパラペットをφ5x16トラス  
で固定してください。
- ビスカバーをはめ込んでください

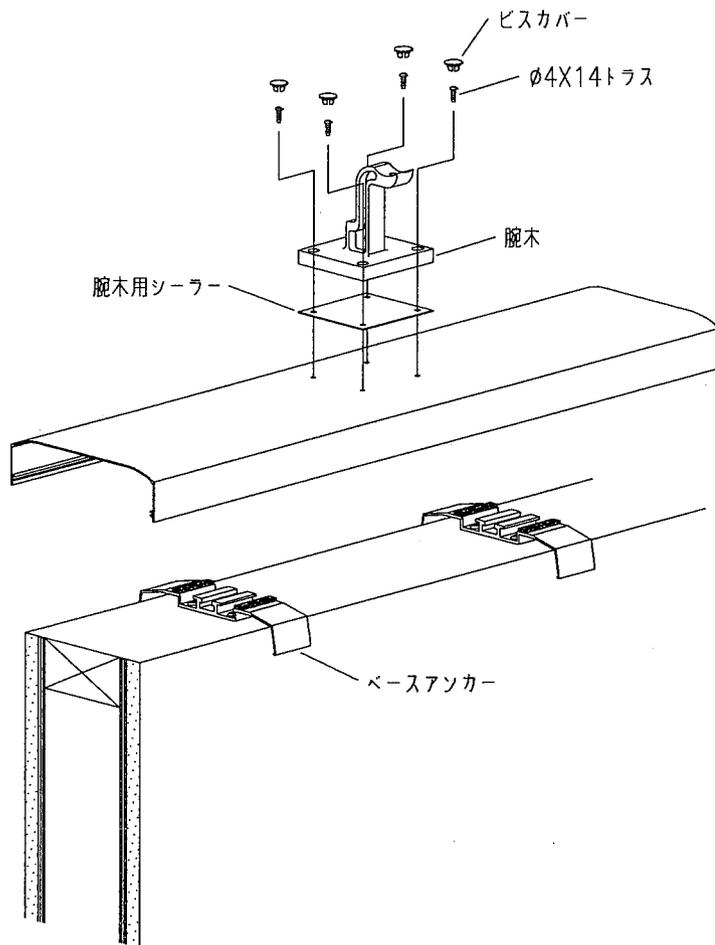
注) ビスカバーをはめる前に、  
腕木の孔に十分にコーキングを  
施してください。



## ② 平型パラペットのの場合

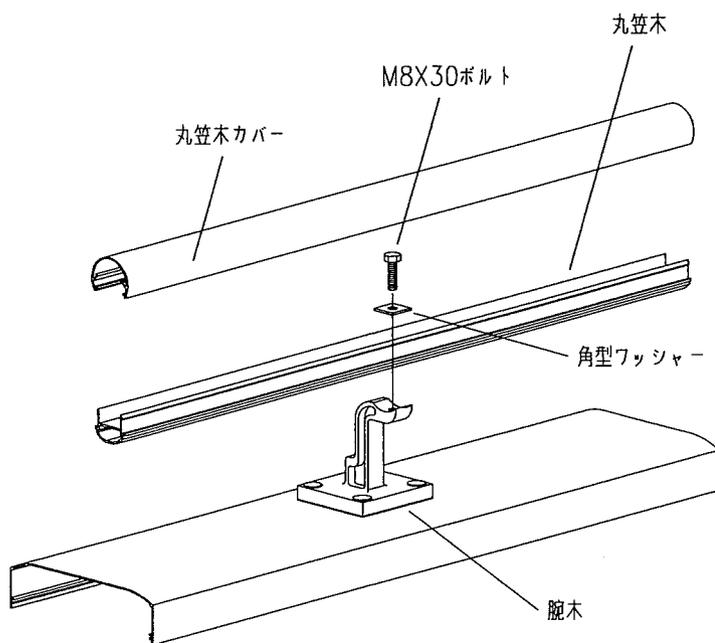
- ・パラペットに加工した $\phi 5.5$ の孔を利用して、腕木を取付けるための下孔( $\phi 3.5$ )を、ベースアソカーにあけます。
- ・パラペットと腕木の間にシーラーをはさみこみ、 $\phi 4 \times 14$ トラスで取付けしビスカバーをはめこみます。あけます。

注) 孔塞ぎキャップ嵌める前に、腕木の孔に十分にシーリングを施してください。

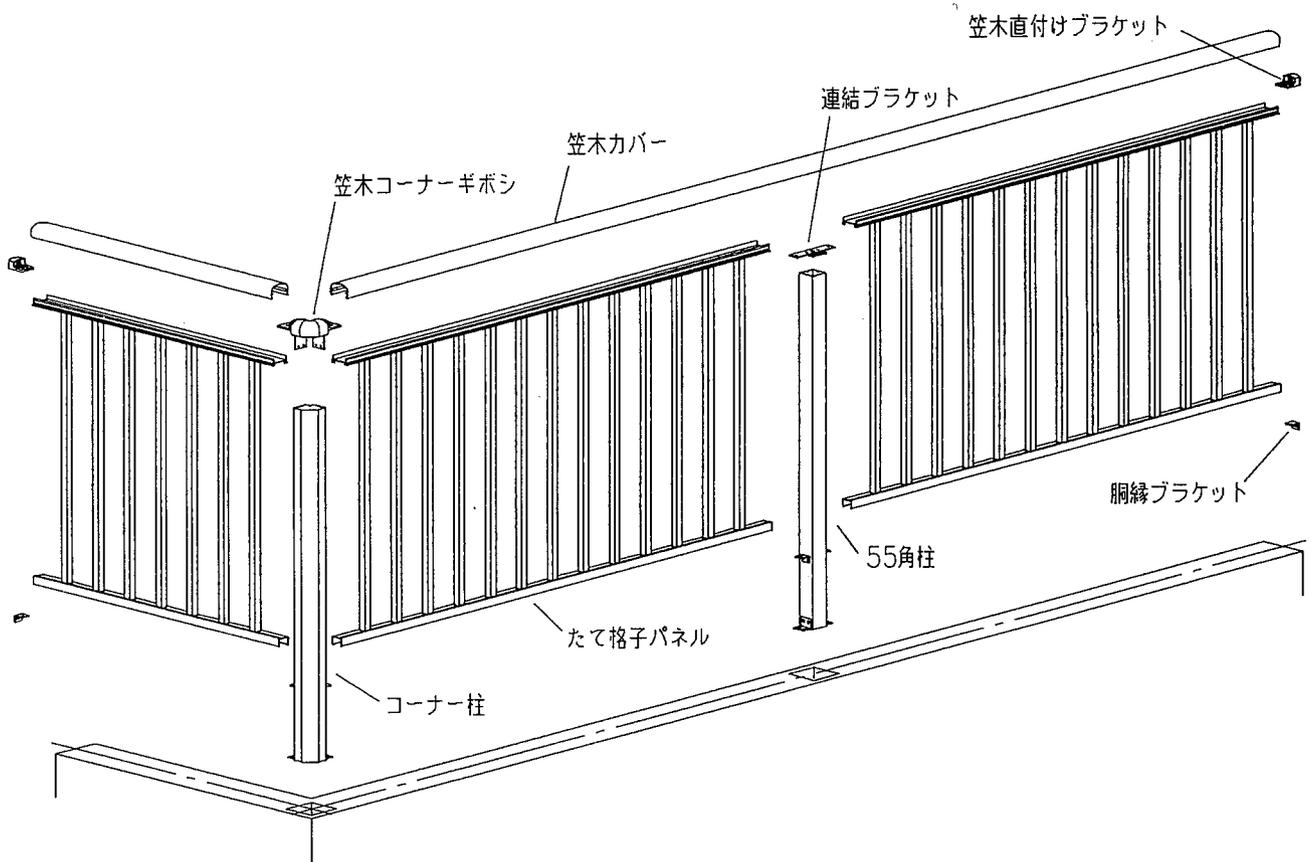


## 2) 笠木の取付

- ・丸笠木に $\phi 10$ の孔加工をしてください。
- ・M8X30ボルトで腕木と笠木を固定し丸笠木カバーを嵌ませてください。

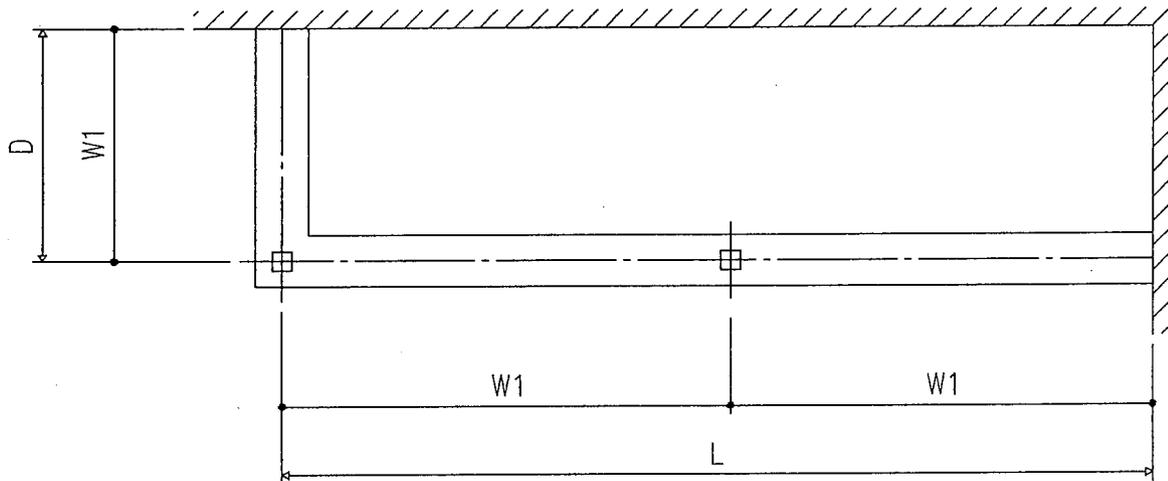


■ Hタイプ 加工・組立方法  
(柱埋め込みタイプ)



## 柱の取付け位置

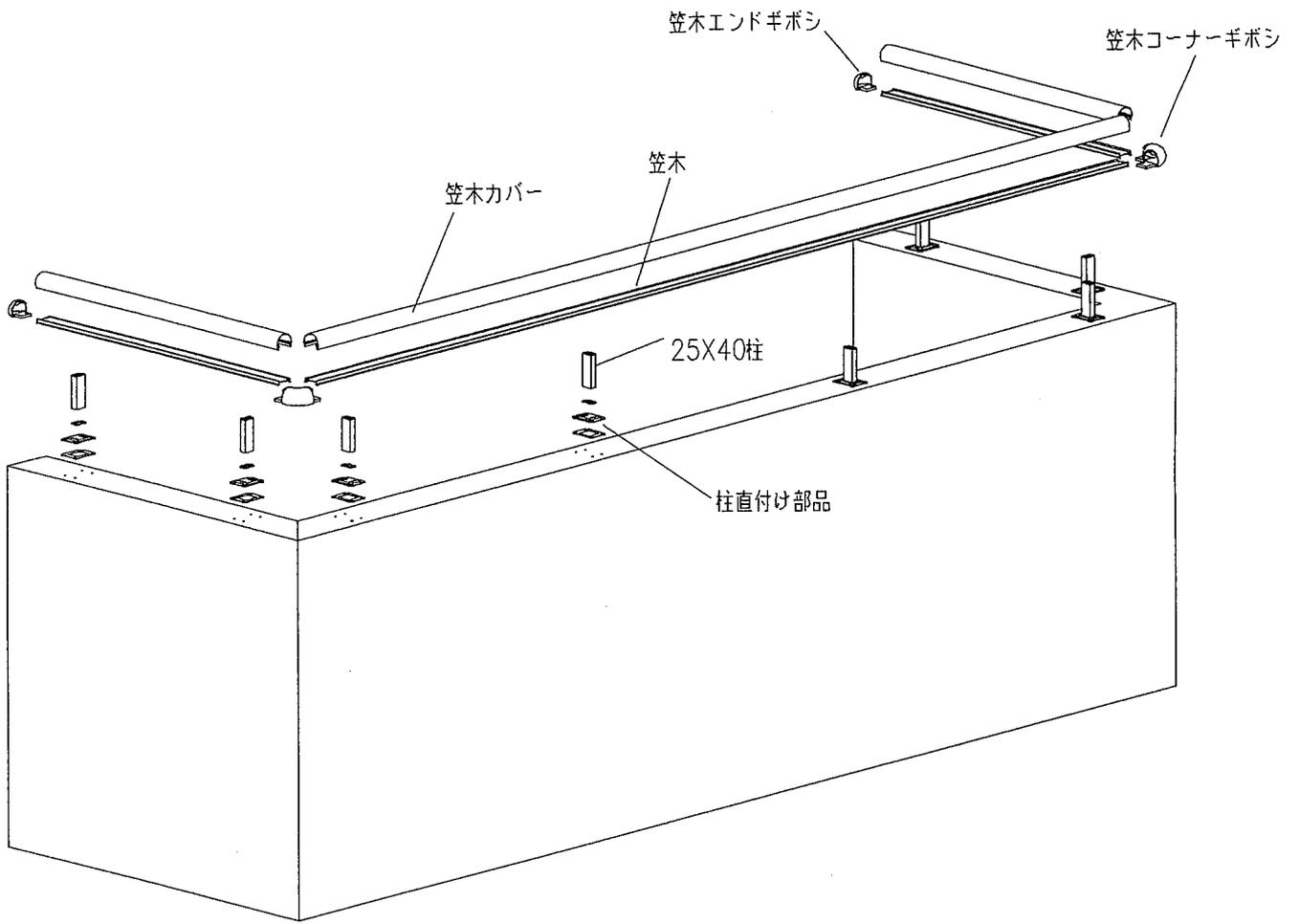
<柱埋め込み割り付け図>



$W1$  : 2000以内

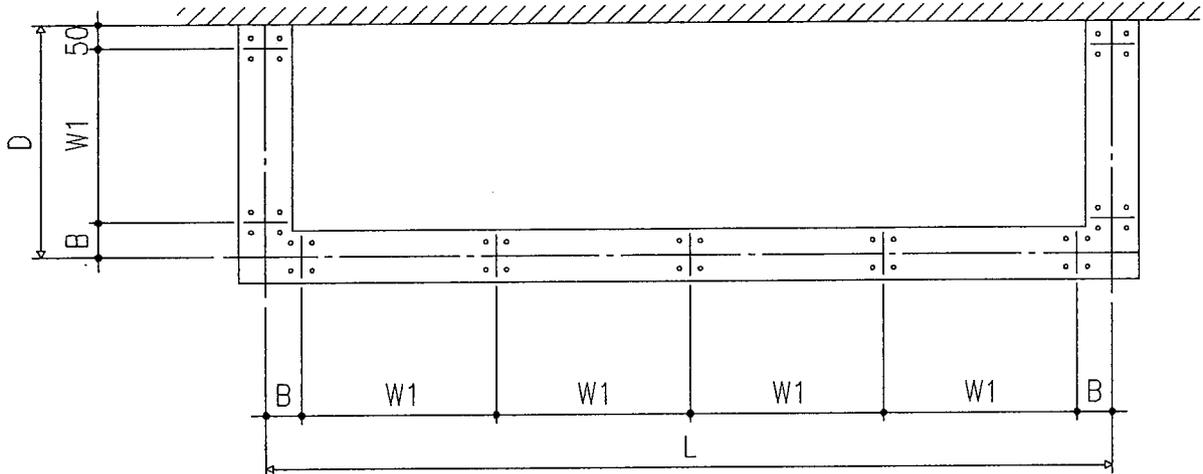
- ◎ 柱を埋め込む際には、必ず割り付け図を作成してください。
- 1) 柱埋め込み面の寸法を確認の上、躯体の中心を割り出し、墨出しをしてください。
  - 2) 柱を割り付け図に従って躯体に取付けてください。

■ |タイプ 加工・組立方法  
(直付けタイプ)



## 直付けブラケット取付け位置

<直付けブラケット割り付け図>



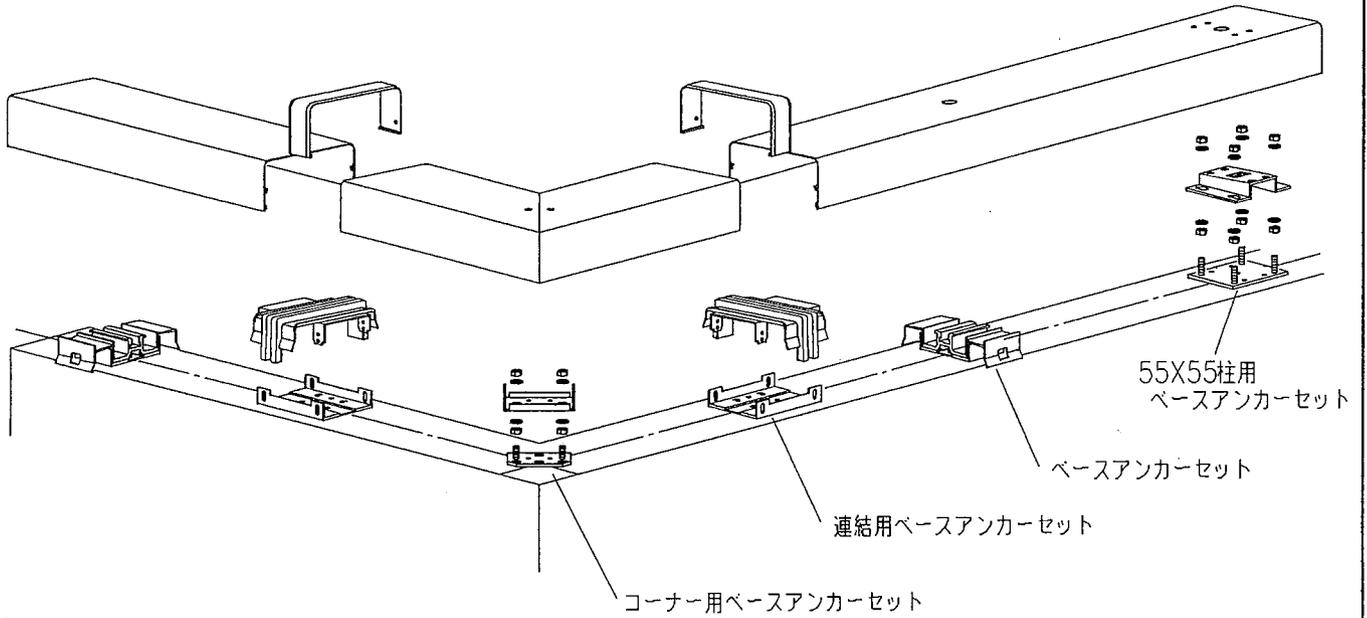
( W1 : 1000以内  
B : 170以内

◎ 直付けブラケット取付けの際には、必ず割り付け図を作成してください。

- 1) 躯体の中心を割り出し 墨出しをしてください。
- 2) 直付けブラケット割り付け図に従って躯体に取付けてください。

# 1 ベースアンカーの取付け

## 1) 片流れパラペット用ベースアンカー

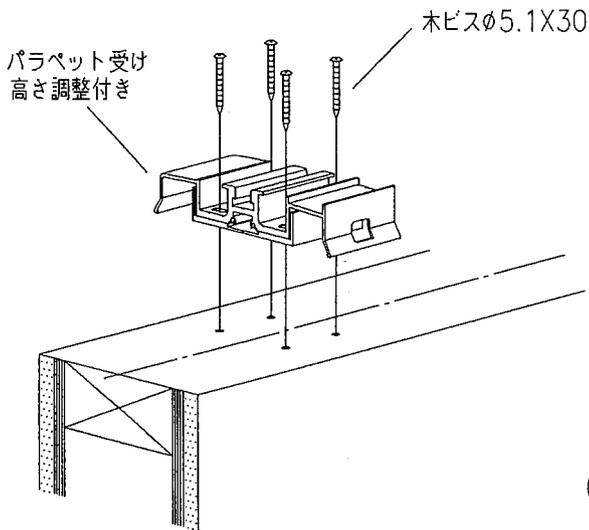


ベースアンカーセット (高さ調整付き) AKT  $\begin{pmatrix} 16 \\ 18 \\ 20 \end{pmatrix}$  BA

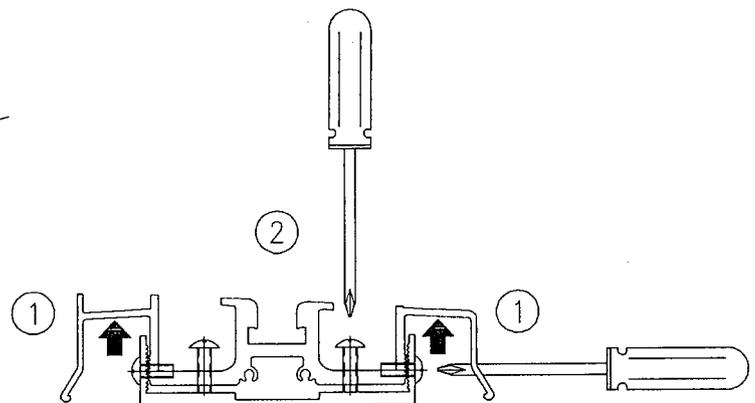
※高さ調整範囲は10mmまで可能です。

### <高さ調整の仕方>

- はじめに、①のビスを緩めてください。
- 次に、②のビスを締めながら高さ調整を行ってください。
- ①のビスを締め直し、固定してください。



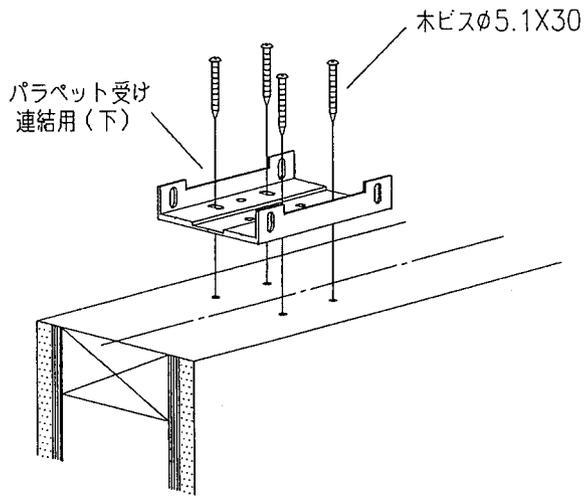
(木造)



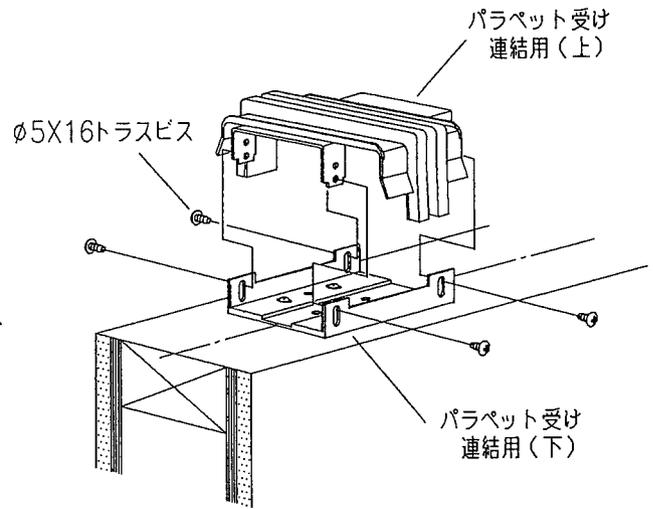
パラペット連結セット

AKT<sup>16</sup><sub>(18)</sub><sub>20</sub> JS

※高さ調整範囲は10mmまで可能です。

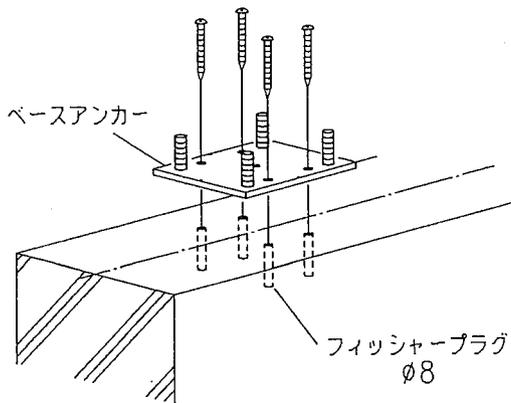


(木造)

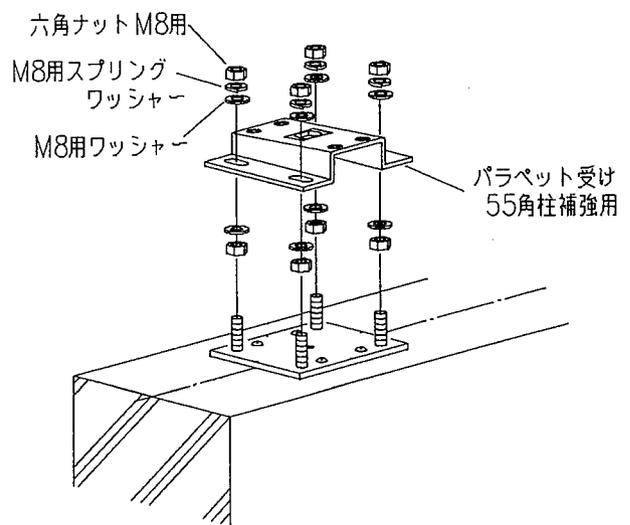


55角柱補強用ベースアンカー AKTPB2A

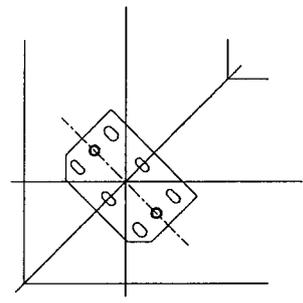
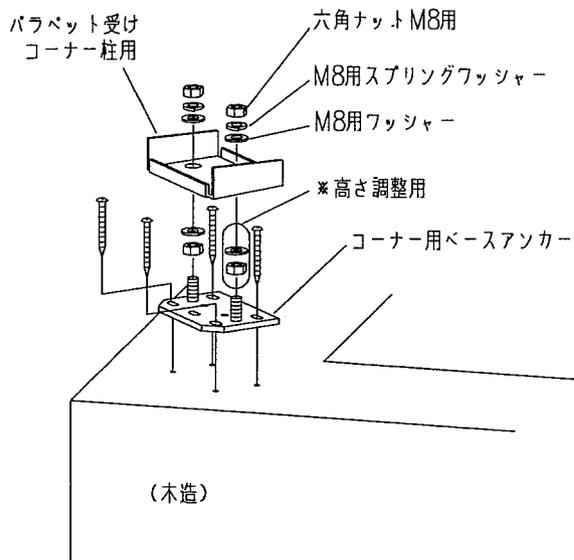
- A, Bタイプパネル3スパン以上の場合  
使用します。



(RC)



コーナー柱用ベースアンカー

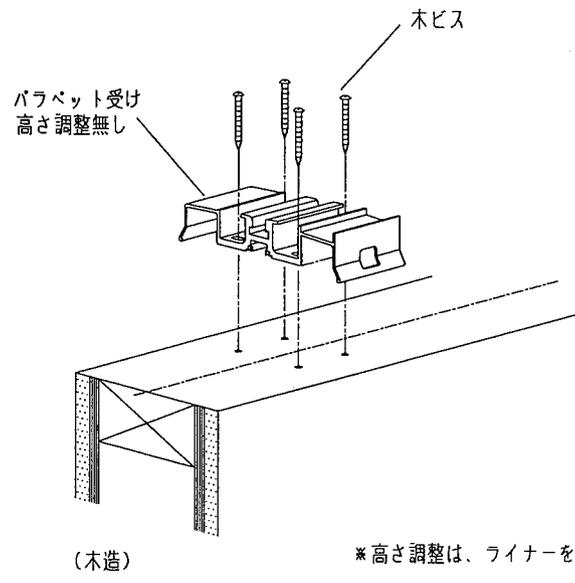


ベースアンカーの芯を躯体の芯に合わせて取付けてください。

※ベースアンカーセット（高さ調整無し）と併用する場合  
ナットのかわりにM8用ワッシャーを3枚セットしてください。

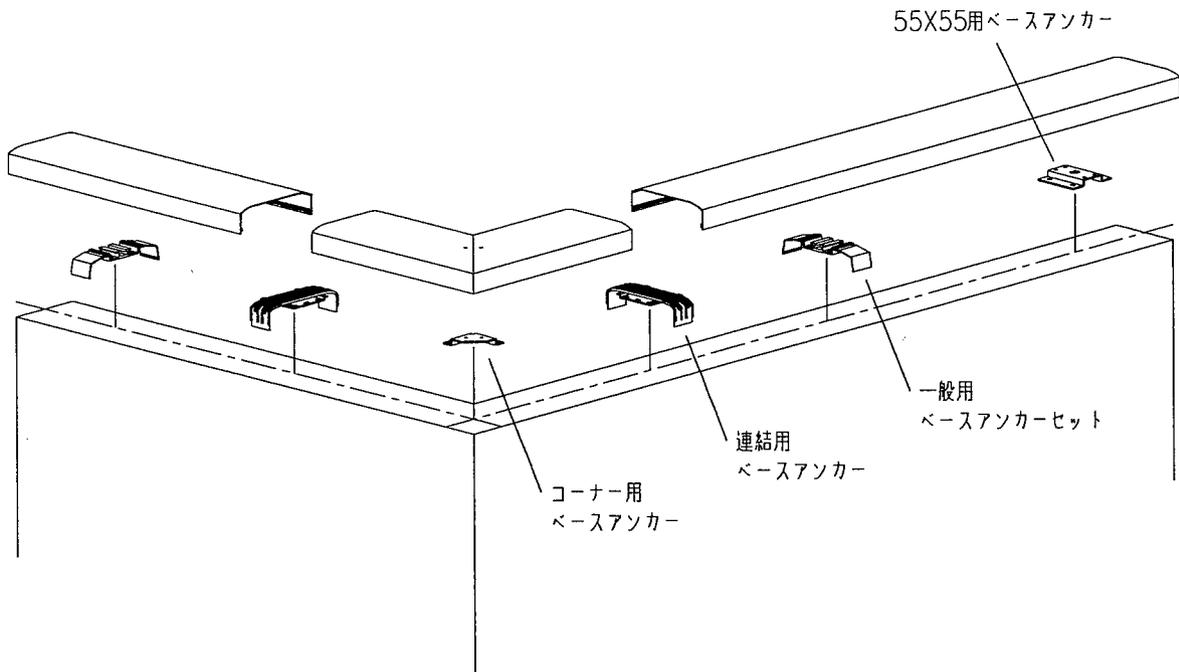
ベースアンカーセット（高さ調整無し）

● パネル3スパン以上の場合使用できません。

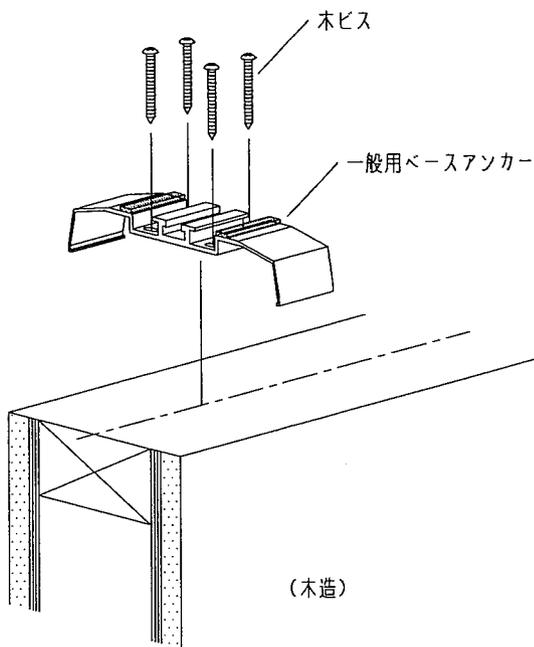


※高さ調整は、ライナーを使用してください。

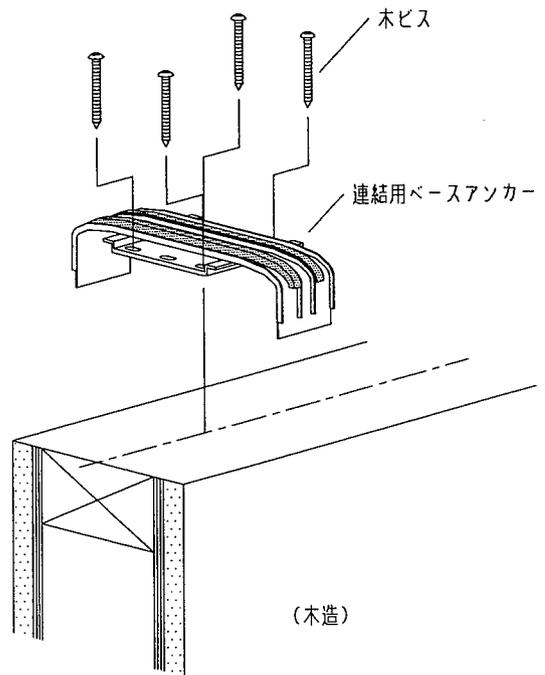
2) 平型パラペット用ベースアンカー



一般用ベースアンカー

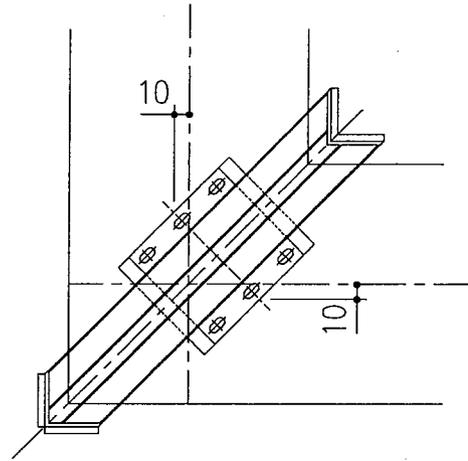
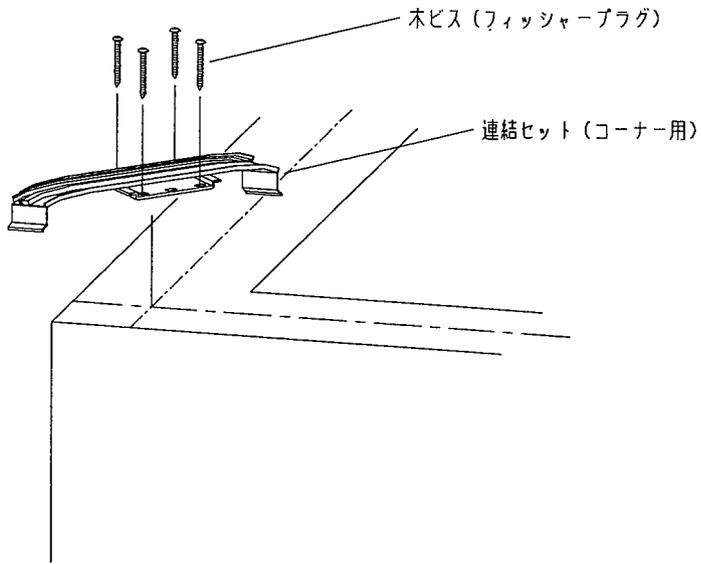


連結用ベースアンカー



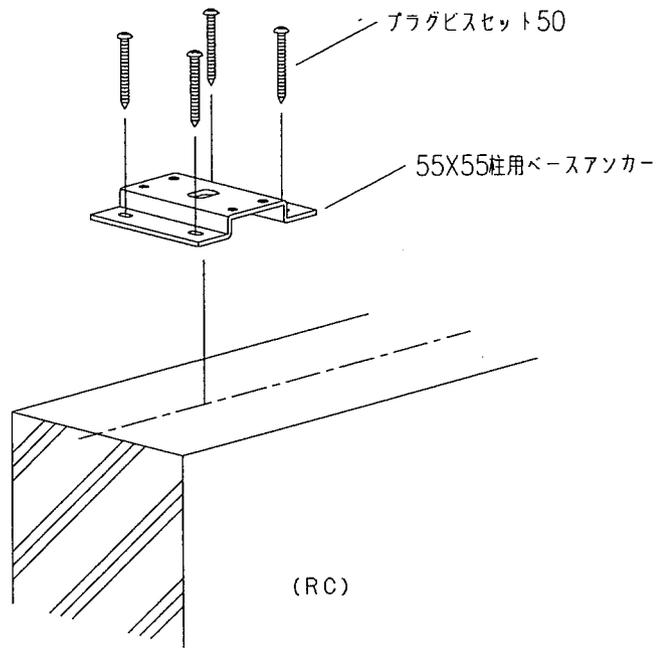
コーナー柱用ベースアンカー

バラベツト連結コーナーカバーと一緒にご使用ください

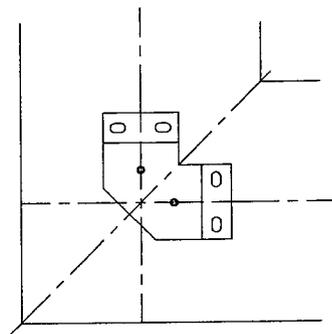
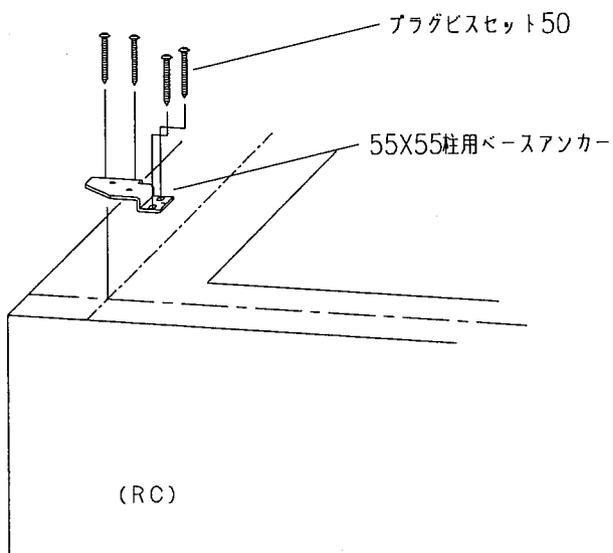


連結セツト下 (軀体取付部) の中心を  
躯体の中心より10mm入隅側にずらした位置に  
取付けてください。

55X55柱用ベースアンカー



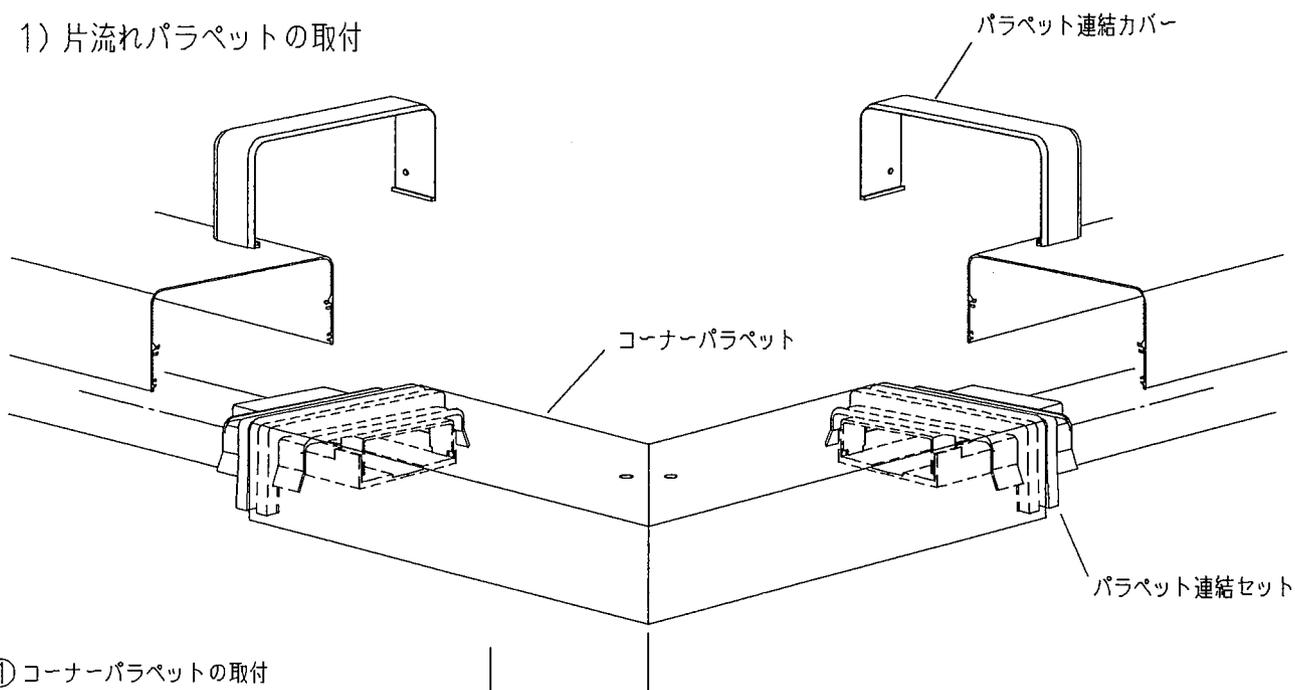
コーナー柱用ベースアンカー



ベースアンカーの芯を躯体の芯に合わせて取付けてください。

## ② パラペットの取付け

### 1) 片流れパラペットの取付



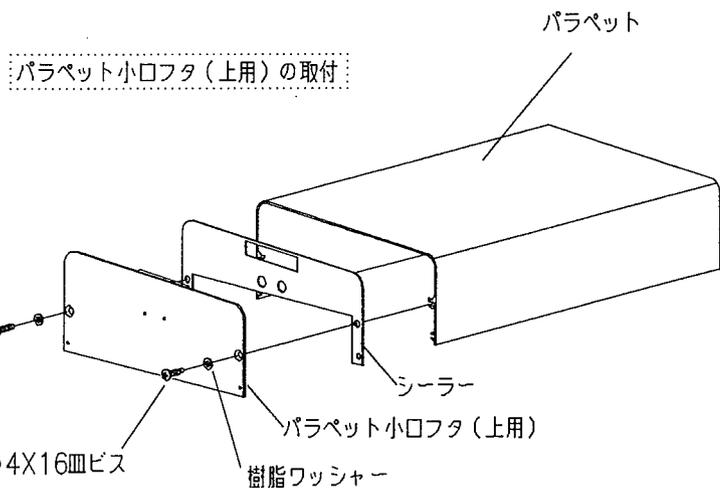
#### ① コーナーパラペットの取付

- パラペット連結部を10mm開けるようにして取付けてください。

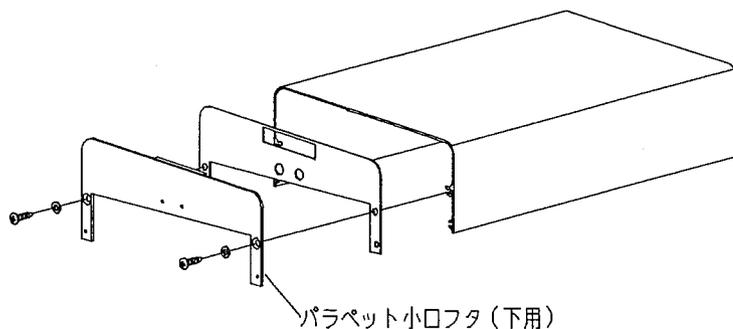
#### ② 直線部パラペットの取付

- パラペットエンド部分に小口フタを取付け後、パラペットを取付けてください。

パラペット小口フタ(上用) KT $\begin{smallmatrix} 16 \\ 18 \\ 20 \end{smallmatrix}$ KA



#### パラペット小口フタ(下用)の取付



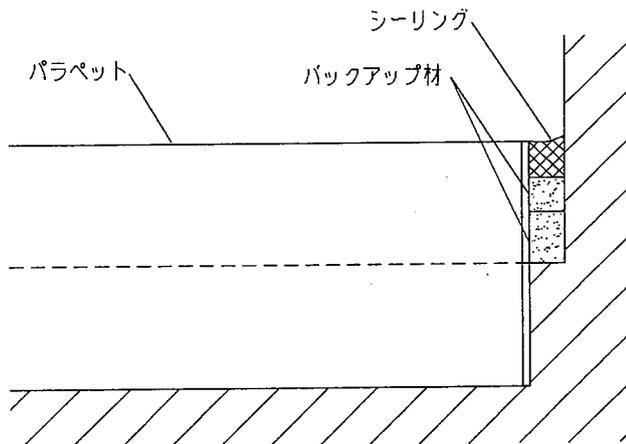
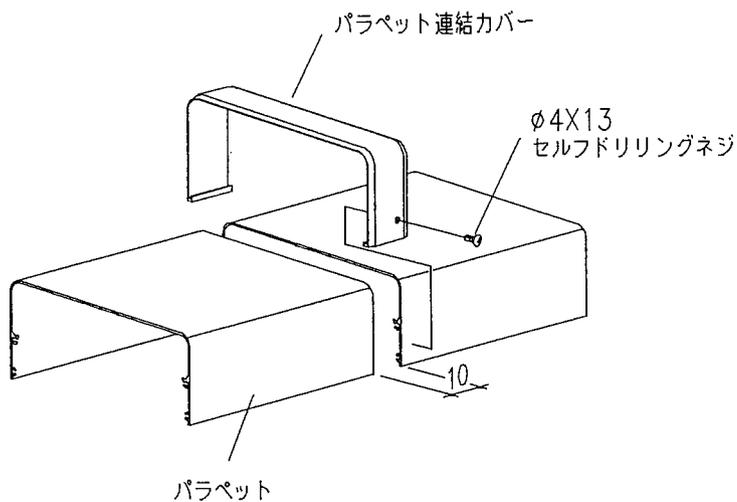
パラペット小口フタ(下用) KT $\begin{smallmatrix} 16 \\ 18 \\ 20 \end{smallmatrix}$ KB

- パラペットは連結部及び端部（壁面）を、10mmあけて取付けてください。  
（熱によるパラペットの伸縮がある為）

- パラペットの連結及び端部にシーリングをしてください。  
シーリング完了後、パラペットの連結部に、パラペット連結カバーを取付けてください。

パラペット連結カバー KT $\begin{pmatrix} 16 \\ 18 \\ 20 \end{pmatrix}$ JC

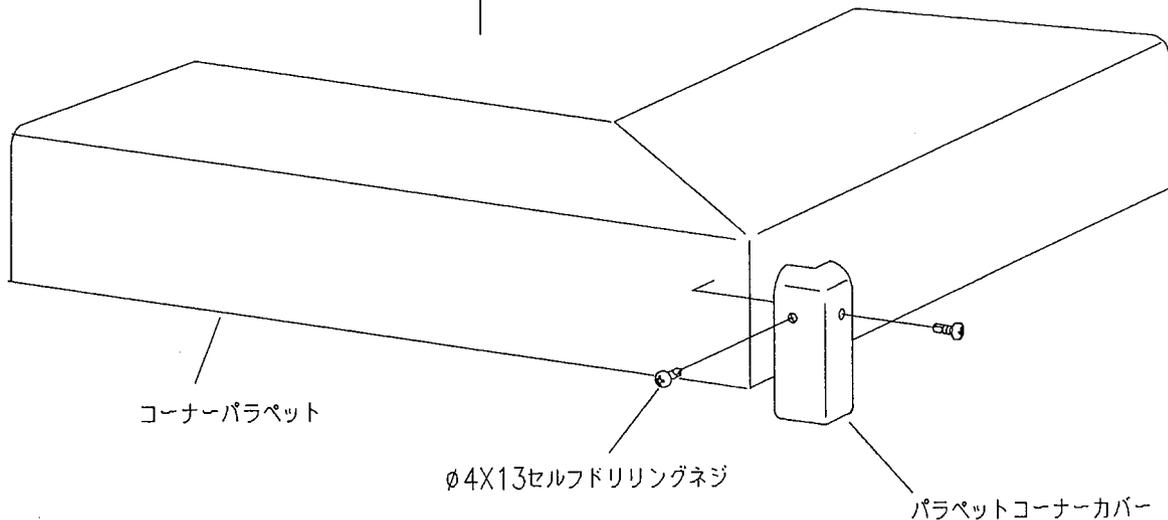
パラペット連結カバーの取付け



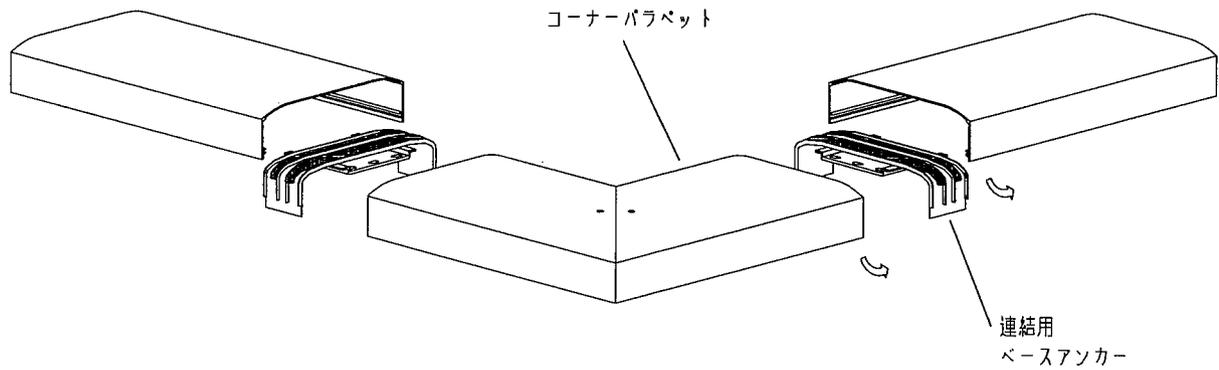
- パラペットのコーナー部に、コーナーカバーを取付けてください。

パラペットコーナーカバー

出隅用 KTCKD  
入隅用 KTCKN



## 2) 平型パラペットの取付

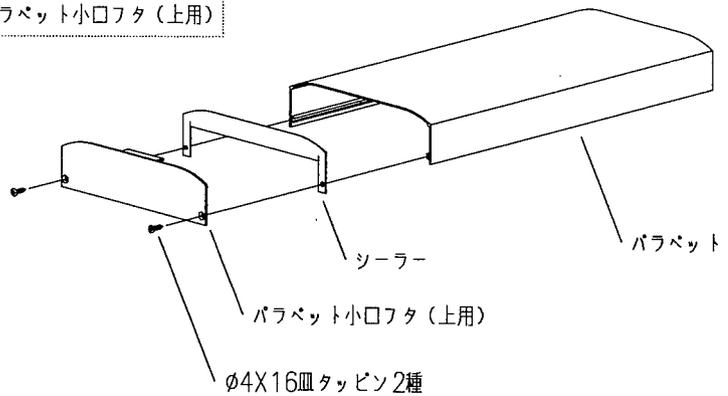


パラペット端部を広げながら  
嵌め込んでください。

### ① コーナーパラペットの取付

- ・パラペット連結部を10mm開けるようにしてパラペットを取付してください。  
(熱によるパラペットの伸縮があるため)

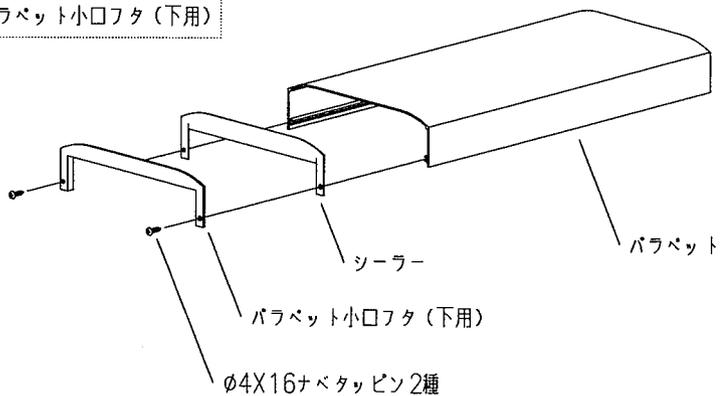
パラペット小口フタ(上用)



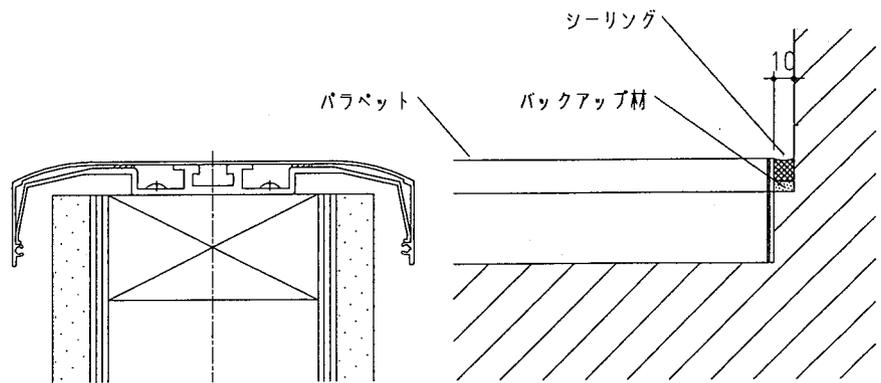
### ② 直線部パラペットの取付

- ・パラペットエンド部分に小口フタを取付け後、パラペットを取り付けてください。

パラペット小口フタ(下用)



バラベットの端部納まり

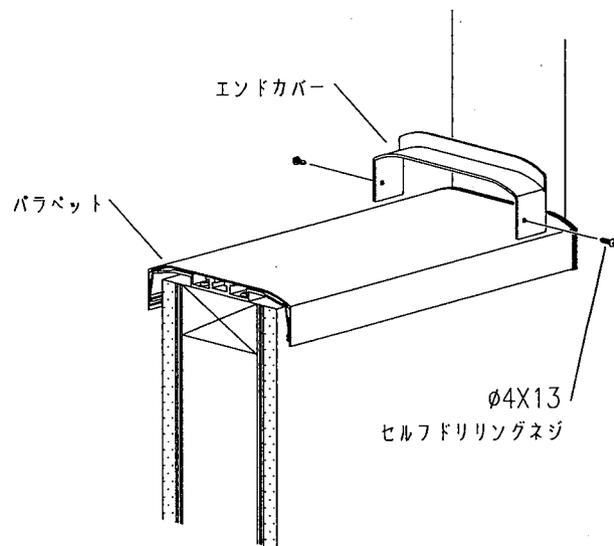


③ バラベットの端部の取付

- ・バラベットの端部を10mm開けるようにしてバラベットの取付してください。

(熱によるバラベットの伸縮があるため)

- ・バラベットの連結部及び端部にシーリングしてください。

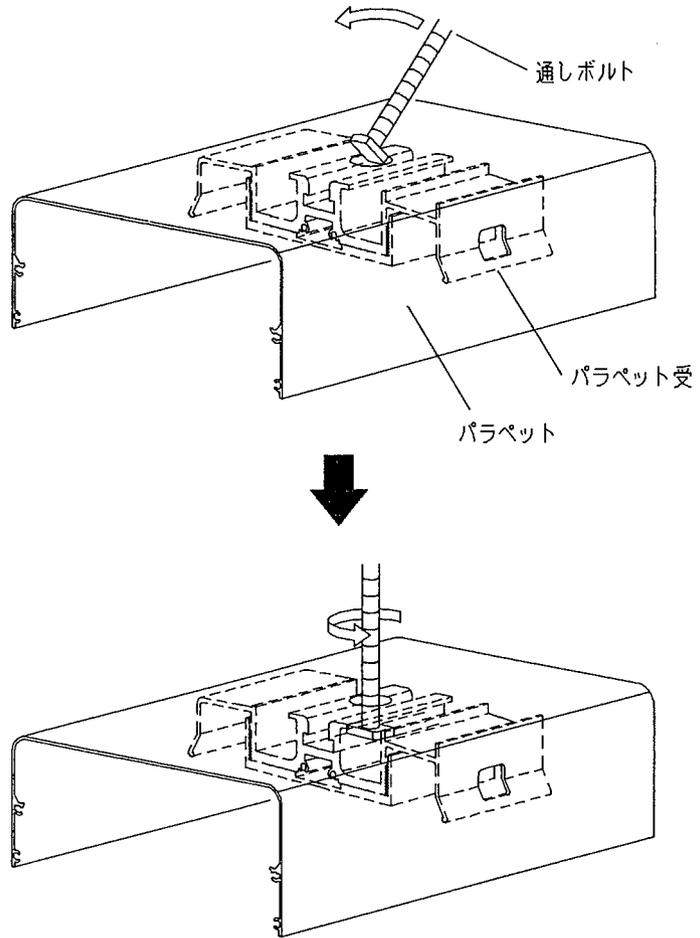


### 3 柱の取付け

#### 1) 片流れパラペット

##### ① 通しボルトの取付

- 通しボルトをパラペットに差し込み、ボルトの頭がパラペット受に引っ掛かるように、回転させて取付けてください。

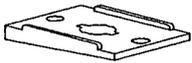


##### ② 25X40柱の取付け

- 取付けておいた通しボルトに、柱ライナー、柱シーラー、柱の順番で差し込んでください。

※柱ライナーの向きに注意して、取付けてください。

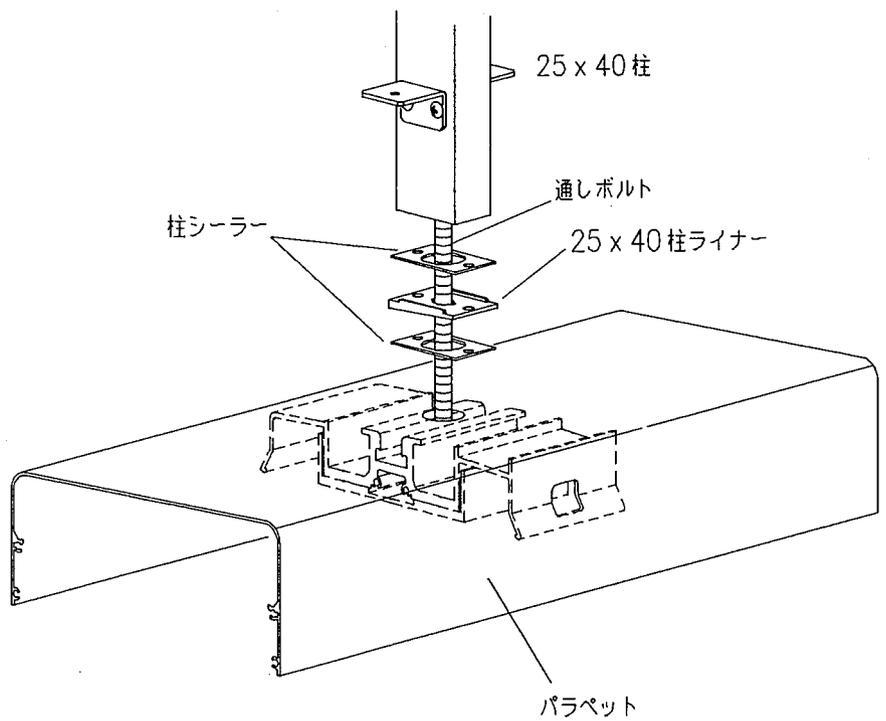
内



外

- 25 x 40 柱ライナーセット

( $\begin{matrix} S \\ H \\ C \end{matrix}$ ) KTHAB1



### ③ 40X40柱の取付け

- 取付けておいた通しボルトに、柱ライナー、柱シーラー、柱の順番で差し込んでください。

※柱ライナーの向きに注意して、取付けてください。

内



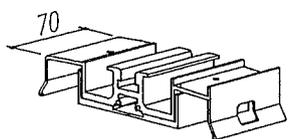
外

- 40 x 40 柱ライナーセット

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  KTHDB1

- 柱を取付けるベースアンカーとパラペットに、柱補強ブラケットを取付けるための孔加工をしてください。

ベースアンカーのVノッチ上に  
φ3.5の孔加工です。



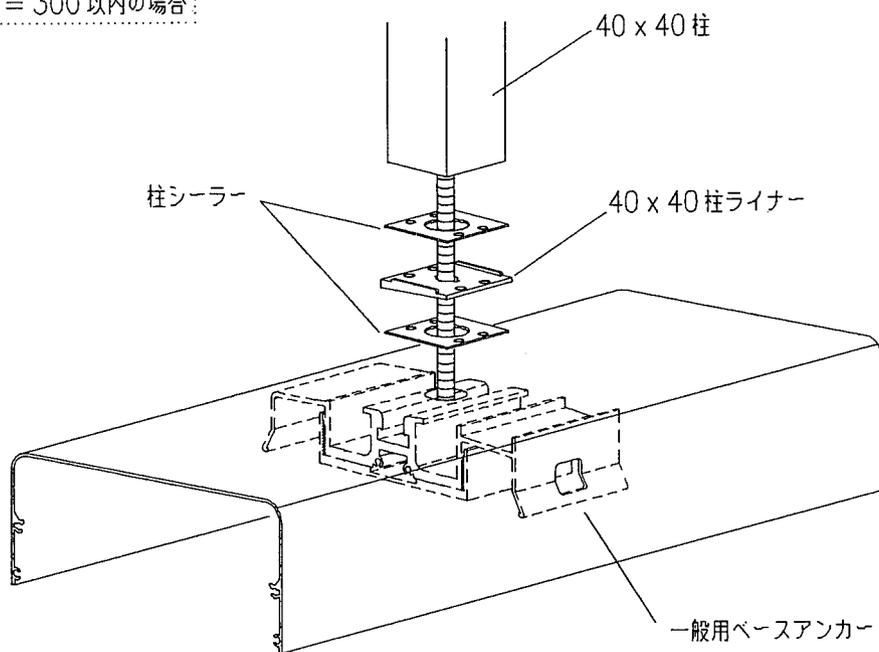
※パラペットの孔位置は、加工図一覧を参照してください。

- 通しボルトに、柱補強ブラケットと柱を通しビス止めをして、固定してください。

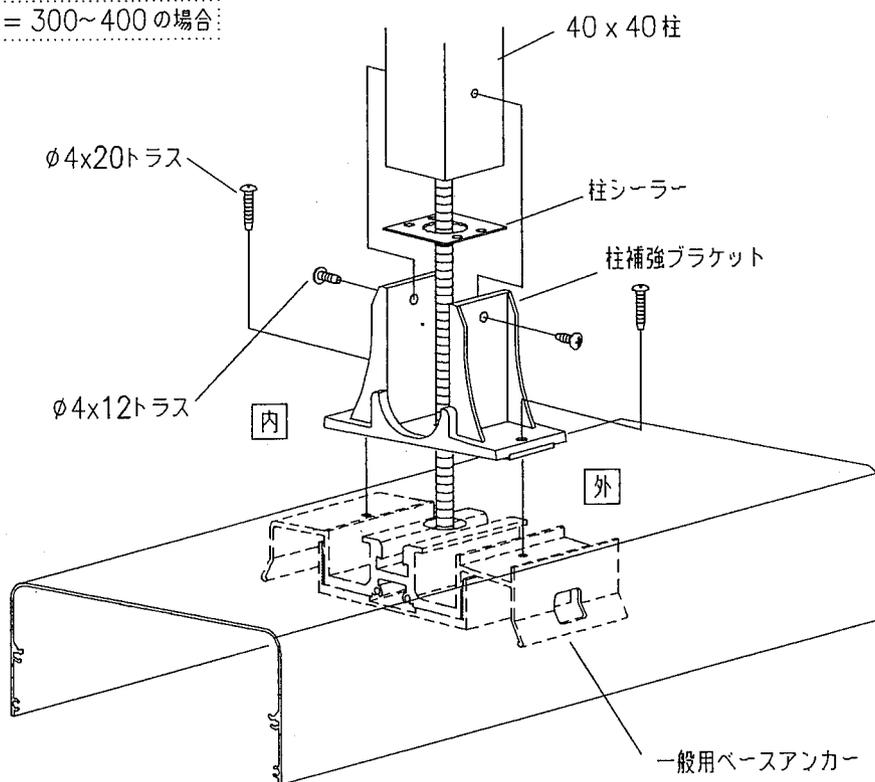
- 柱補強セット

$\begin{pmatrix} C \\ H \\ S \end{pmatrix}$  KTHDB5

H = 300 以内の場合



H = 300~400 の場合

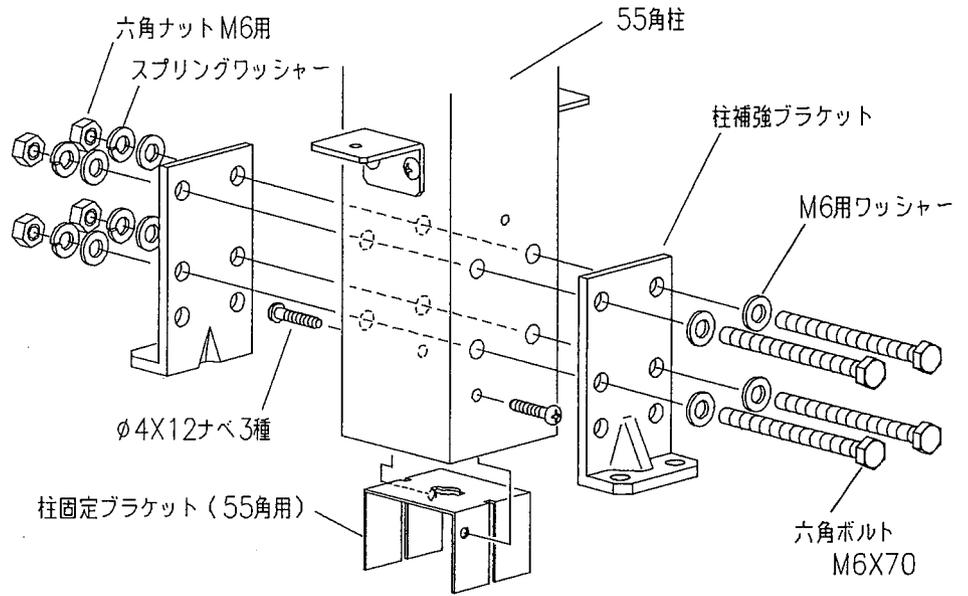


※柱補強ブラケットの向きに注意して取付けてください。

#### ④ 55X55柱の取付

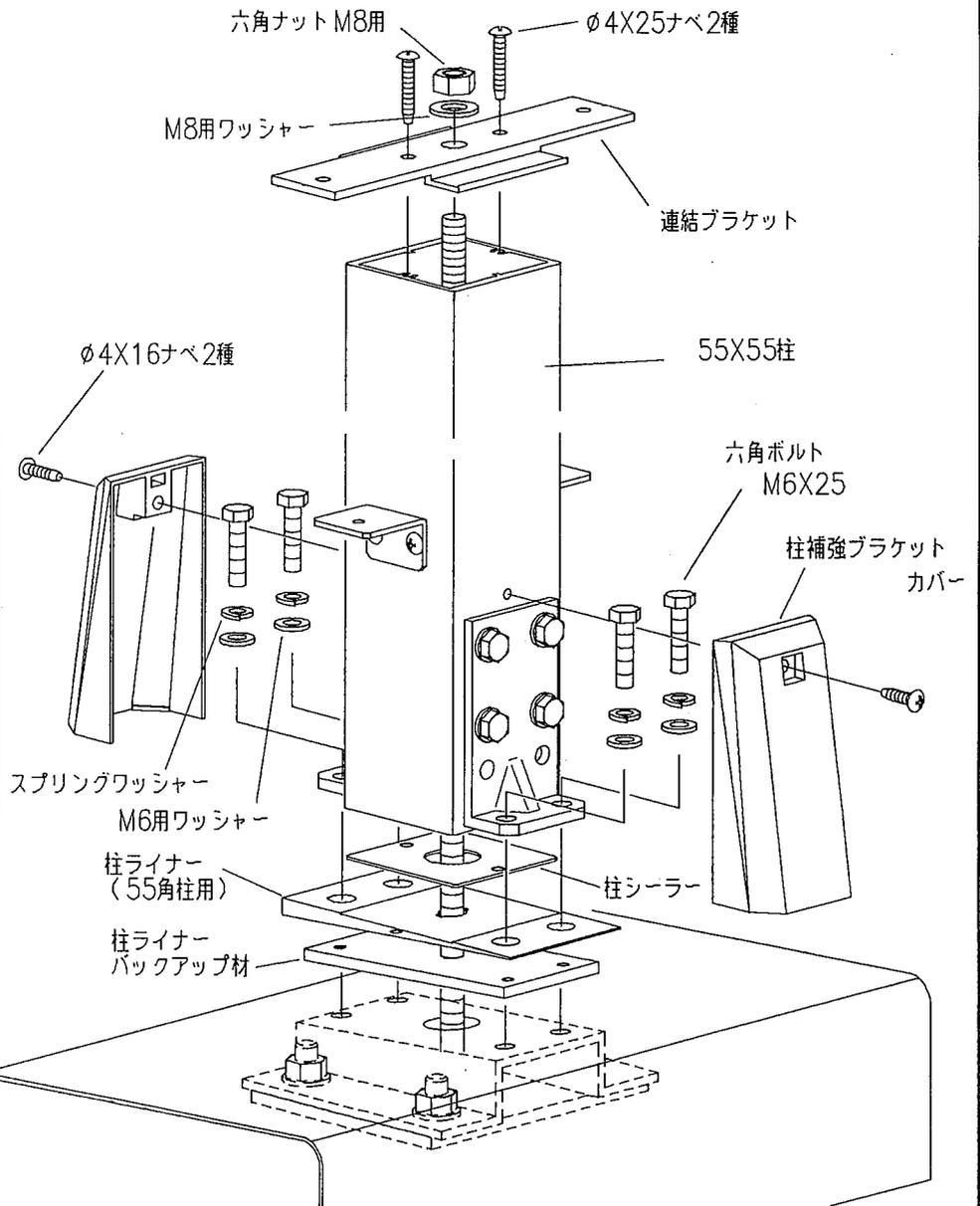
##### (1) 部品付け

- 柱固定ブラケットをφ4X12ナベで固定してください。
- 柱補強ブラケットを六角ボルトM6X70及び六角ナットM6用で固定してください。



##### (2) 柱の固定

- 取付けておいた通しボルトに柱ラーナー、柱シーラー、柱の順番で差し込み六角ボルトM6X25で柱を固定してください。
- 柱補強ブラケットカバーをφ4X16ナベ2種で柱に、固定してください。
- 通しボルトに連結ブラケットを通してからM8ナット及びφ4X25ナベ2種で、連結ブラケットを固定してください。

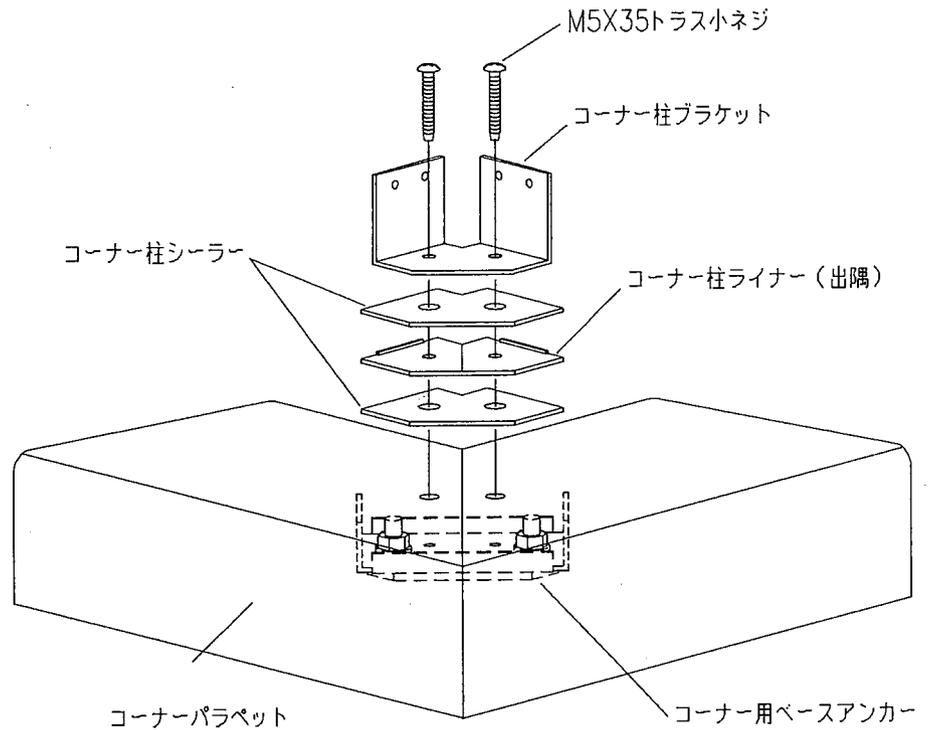


柱ライナーセット 55角柱用

( $\begin{matrix} C \\ H \\ S \end{matrix}$ )KTHEB1

⑤ コーナー柱の取付け

- コーナーパラペットの上にコーナー柱ライナー、コーナー柱ブラケットの順で乗せて、M5X35トラスビスでコーナー用ベースアンカーに固定してください。

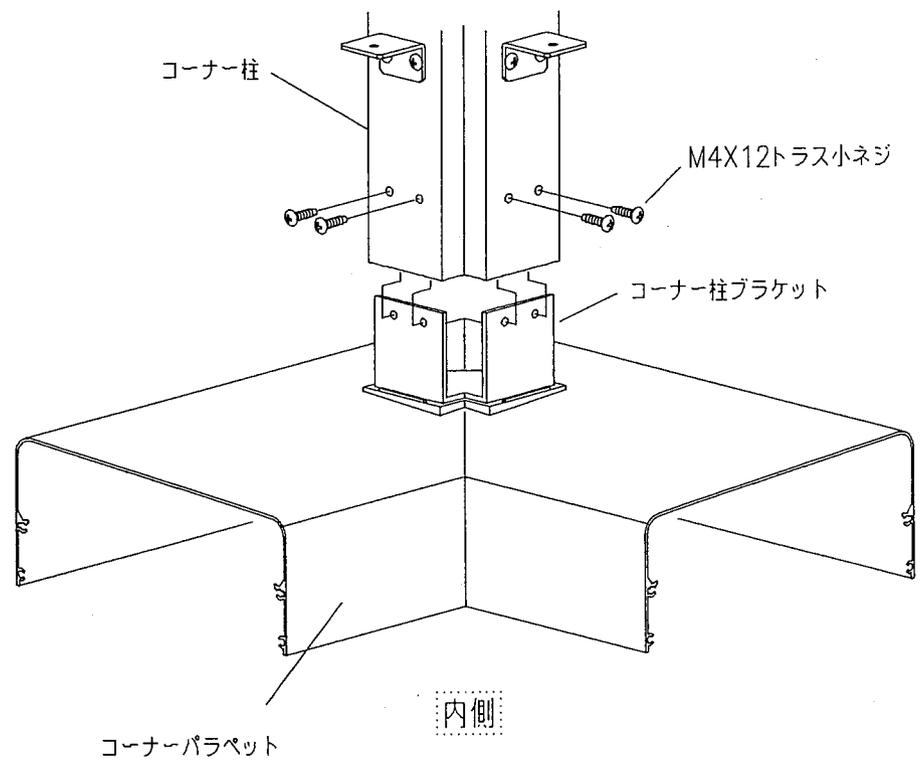


外側

- コーナー柱をコーナー柱ブラケットに差し込み、M4X12トラス小ネジで取付けてください。

コーナー柱ライナーセット

出隅用 (C) KTHCB1D  
 入隅用 (H/S) KTHCB1N



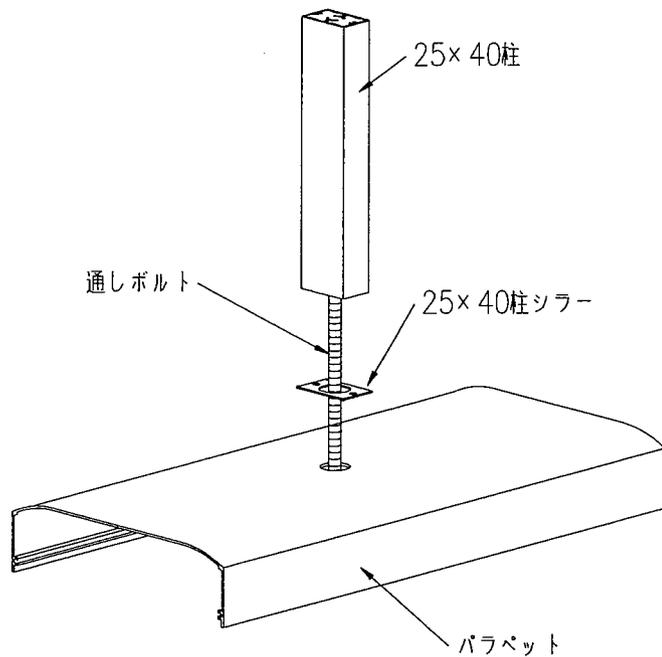
内側

## 2) 平型パラペット

### ① 25×40 柱の取り付け

- 柱とパラペットの間に 25×40用シーラーをセッティングして柱を固定してください。

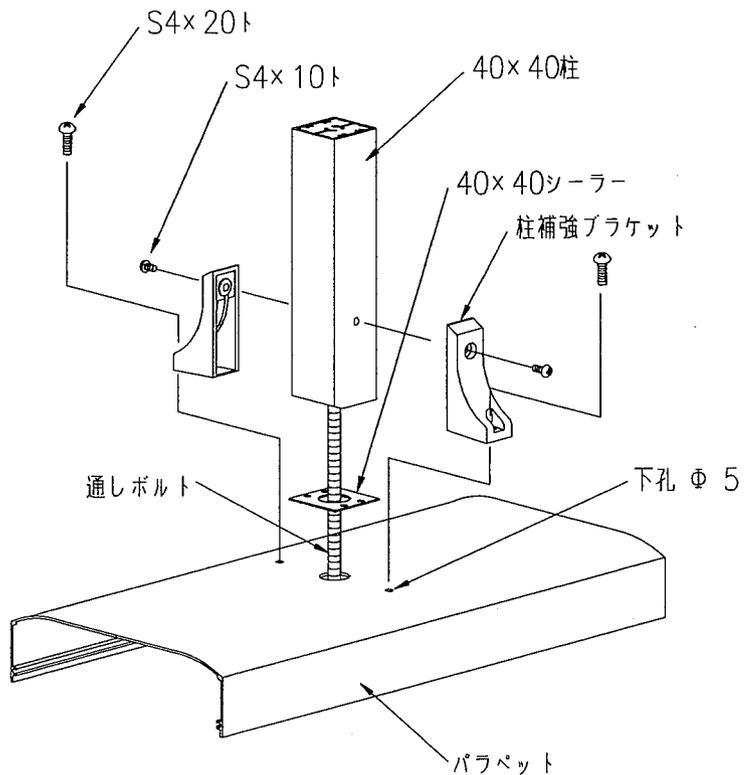
### 25×40 柱の取り付け



### ② 40×40 柱の取り付け

- 柱と柱補強ブラケットを取り付けてください。  
柱 H : 300mm以上の場合
- 柱補強ブラケット取り付け孔に合わせてベースアンカーにΦ 3.5の孔を明けてください。
- 柱とパラペットの間に 40×40柱用シーラーをセッティングして柱を固定してください。

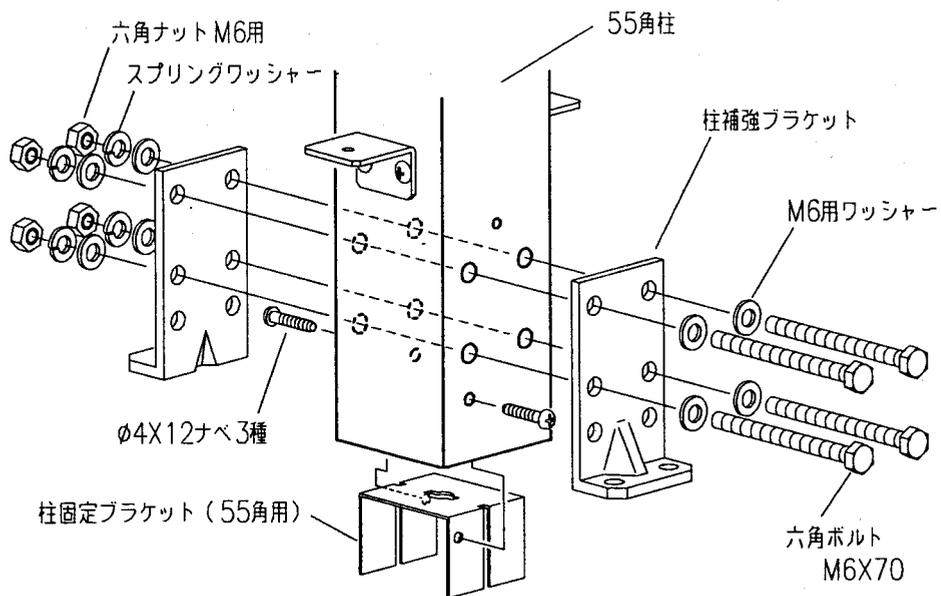
### 40×40 柱の取り付け



### ③ 55X55柱の取付け

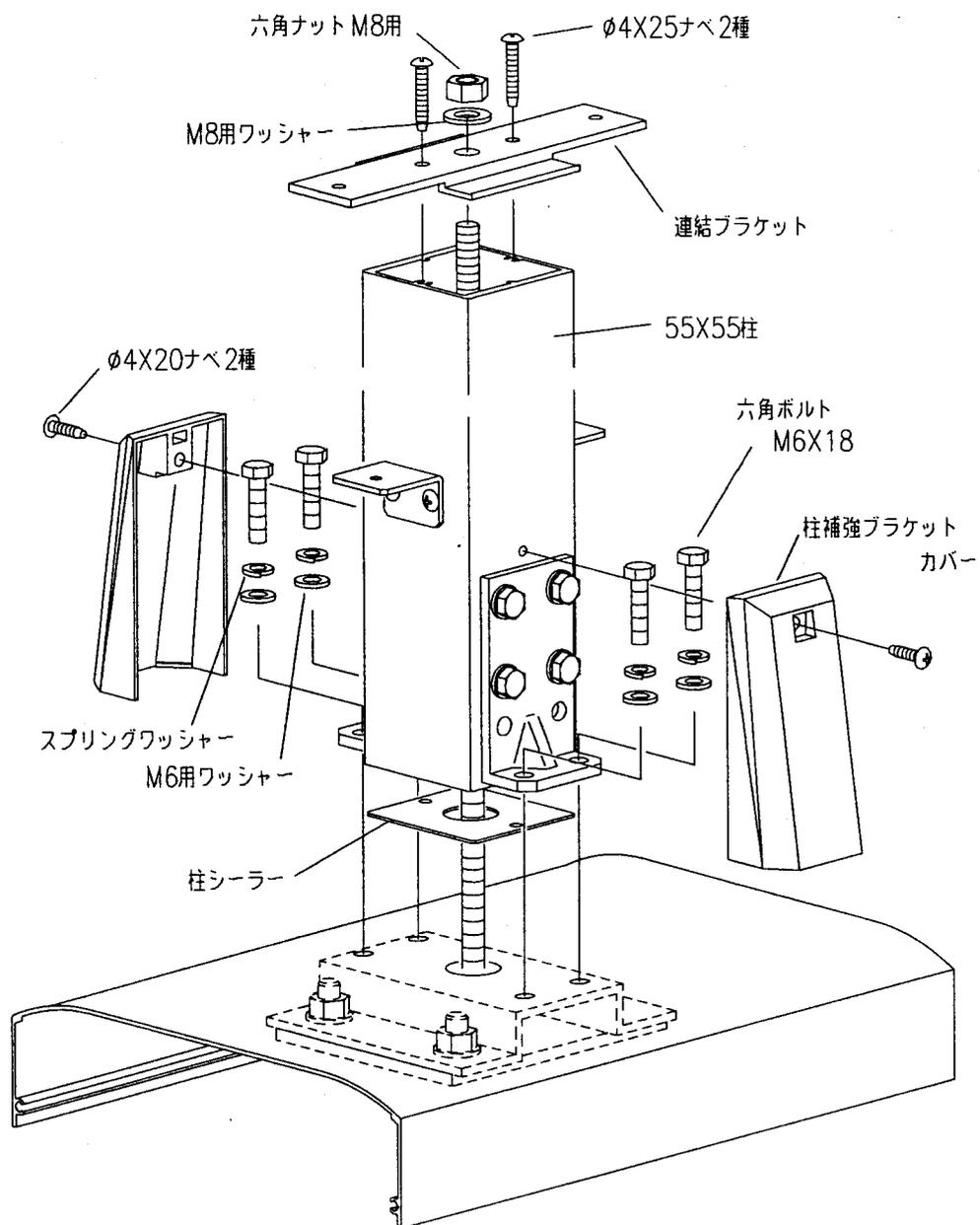
#### (1) 部品付け

- 柱固定ブラケットをφ4X12ナベで固定してください。
- 柱補強ブラケットを六角ボルト M6X70及び六角ナット M6用で固定してください。



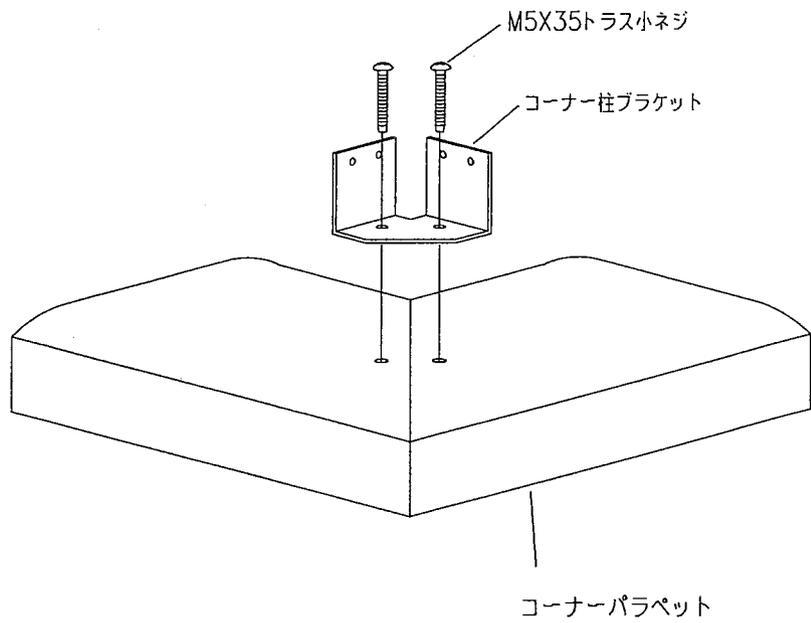
#### (2) 柱の固定

- 取付けておいた通しボルトに柱及びシーラーを差し込み六角ボルト M6X18で固定してください。
- 柱補強ブラケットカバーをφ4X20ナベ2種で柱に固定してください。
- 通しボルトに連結ブラケットを通してM8ナット及びφ4X25ナベ2種で、連結ブラケットを固定してください。

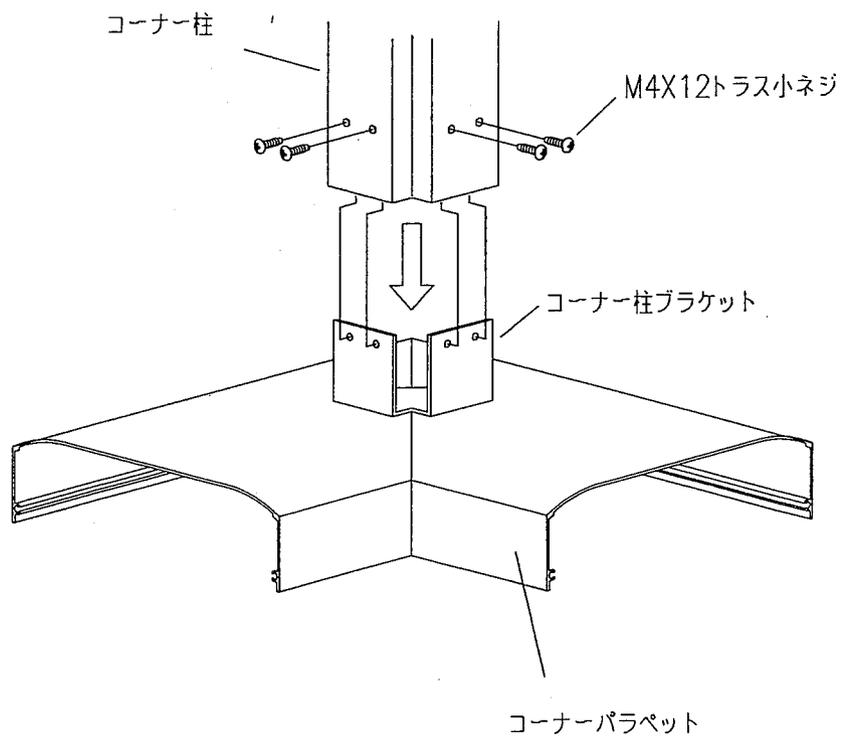


#### ④ コーナー柱の取付け

- コーナーパラペットの上,にコーナー柱  
ブラケットを乗せて、  
M5X35トラスビスで  
コーナー用ベースアンカーに、  
固定してください。



- コーナー柱をコーナー柱ブラケットに  
差し込み、M4X12トラス小ネジで  
取付けてください。



### 3) 柱直付けの取付け

#### ① 25X40, 40X40柱の取付け

- $\phi 4 \times 30$ ナベで柱と直付金具を取付けます。
- 柱の取付いた直付金具を木ビスで取付けてください。

- 25 x 40 柱直付けセット

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  KTHAB3

- 40 x 40 柱直付けセット

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  KTHDB3

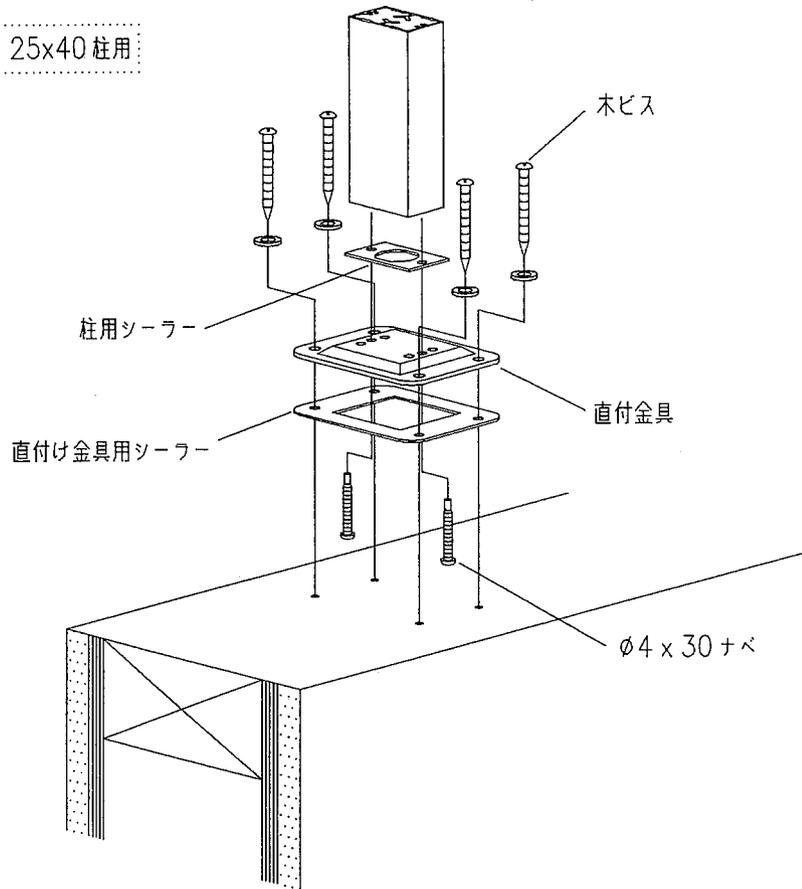
- 木ビスセット30

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX5

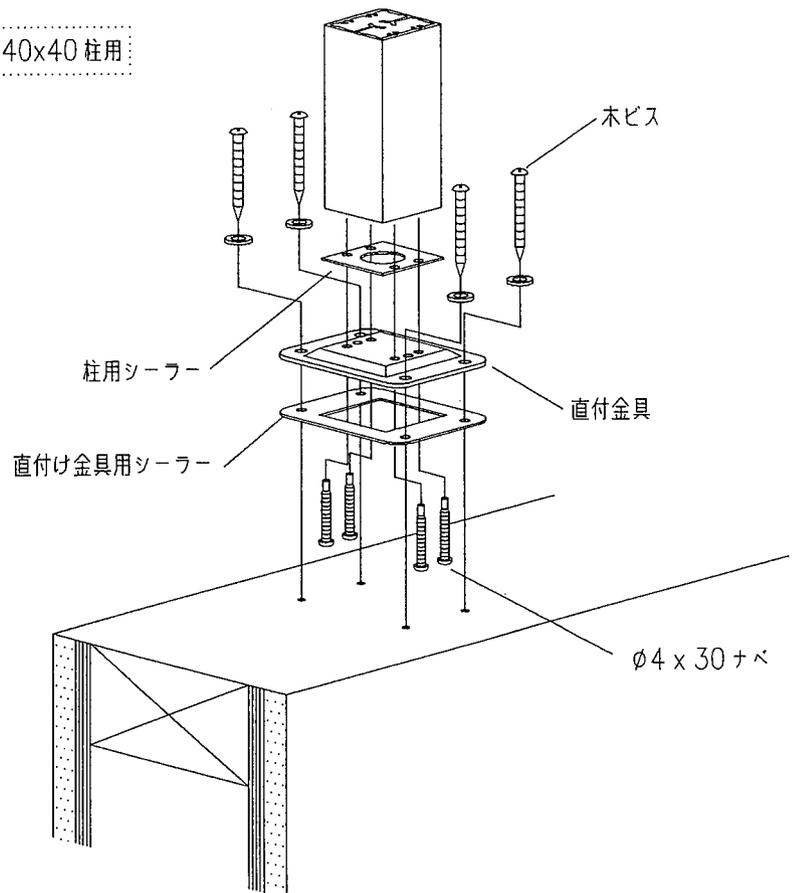
- 木ビスセット70

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX6

25x40 柱用



40x40 柱用



## ②コーナー柱の取付け

- $\phi 4 \times 10$ トラスで柱固定金具と直付金具を取付けます。
- 直付金具の下にシーラーをセットしてから木ビスで固定します。
- 柱固定ブラケットとコーナー柱を $\phi 4 \times 10$ トラスで取付けてください。

### ●コーナー柱直付けセット

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  KTHCB3

### ●木ビスセット30

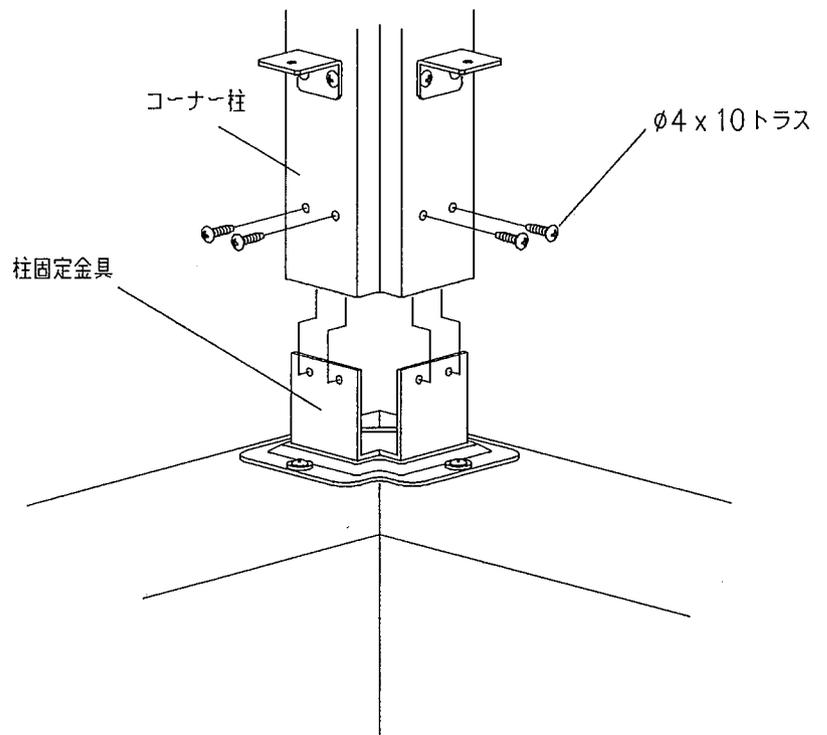
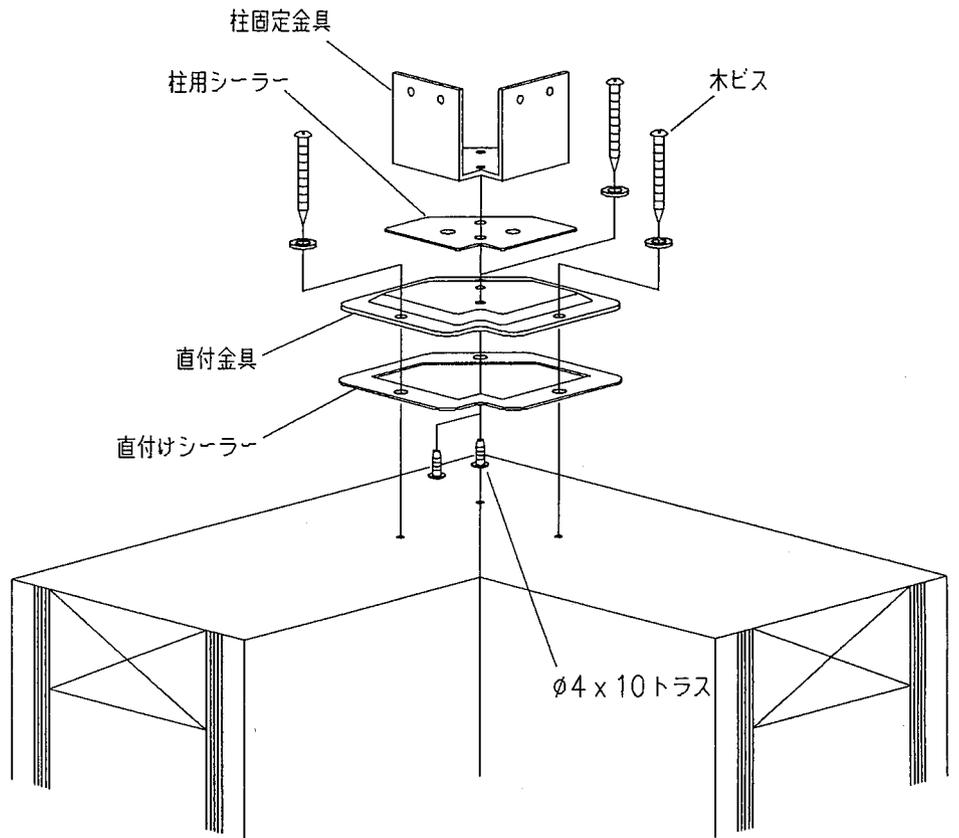
$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX5

### ●木ビスセット70

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  YBBOX6

コーナー柱用

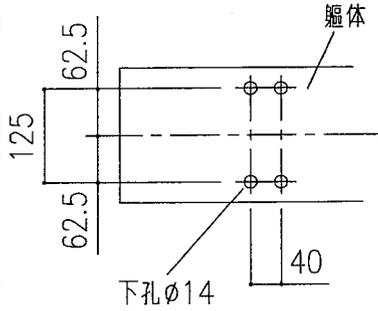
注) コーナー柱を用いる場合に使用  
できる笠木は標準笠木のみです。



### ③ 55x55 柱取付

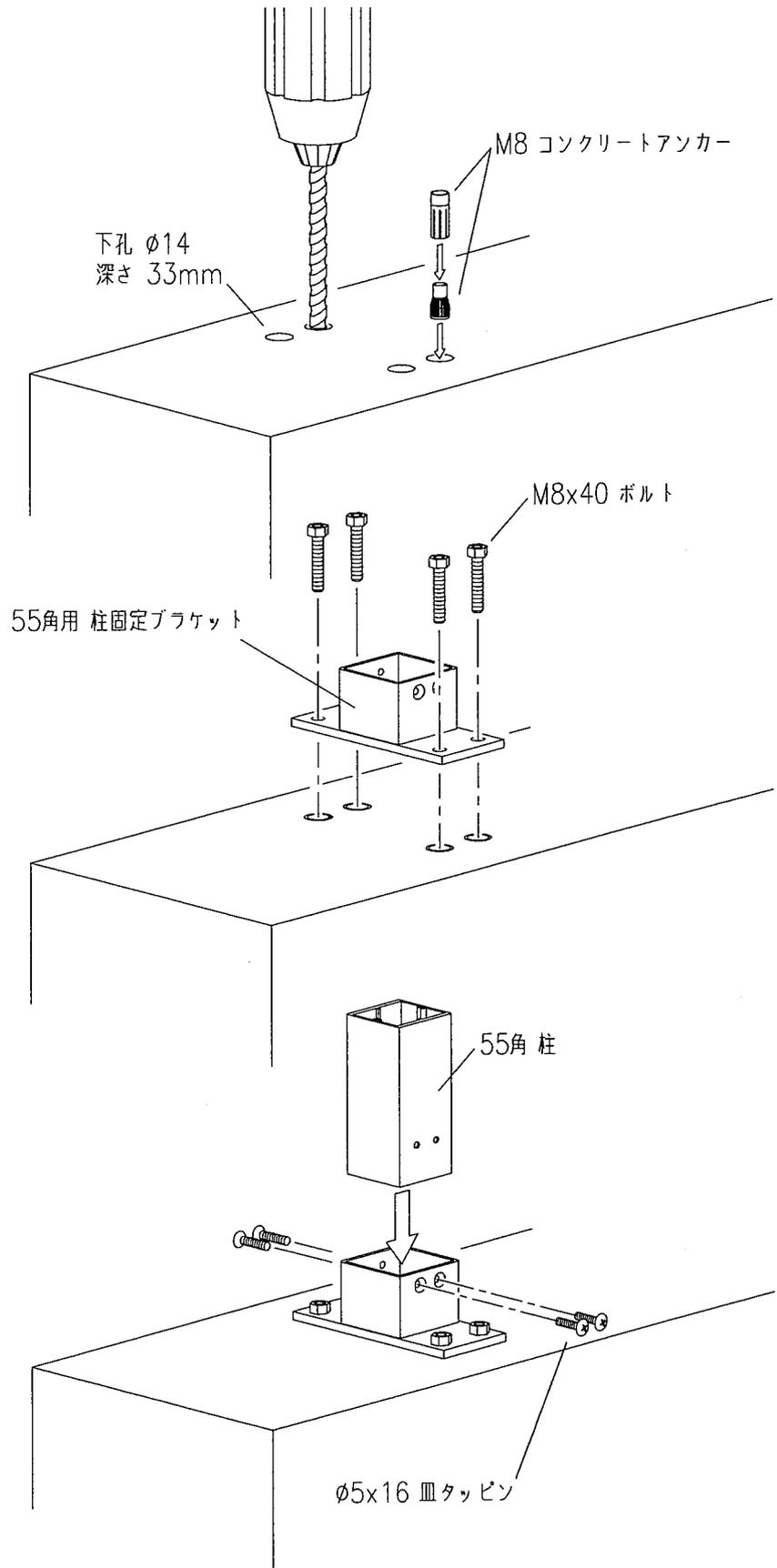
- ・ 躯体に  $\phi 14$  の下孔をあけて、M8 コンクリートアンカーを挿入して下さい。

#### ★ 下孔あけ位置 ★



- ・ 55角用 柱固定ブラケットを、M8x40 ボルトにて固定して下さい。

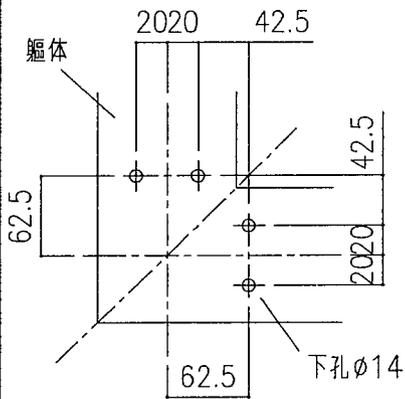
- ・ 55x55 柱を、柱固定ブラケットに挿入して、 $\phi 5 \times 16$  皿タップにて固定して下さい。



④ コーナー 柱取付

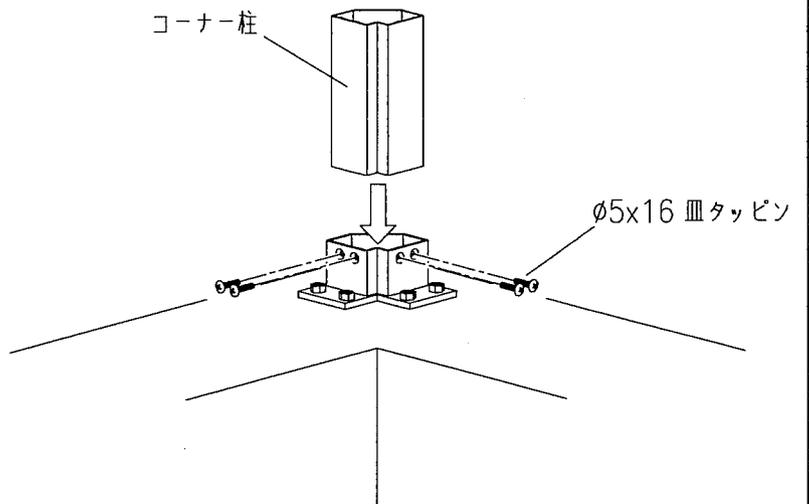
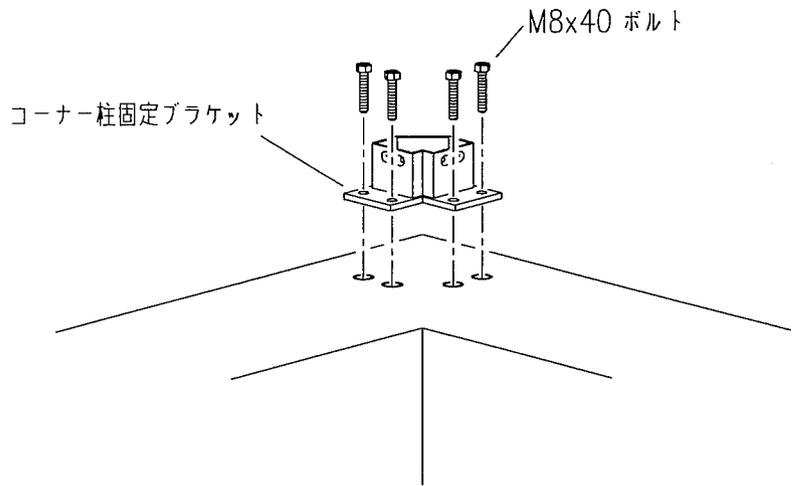
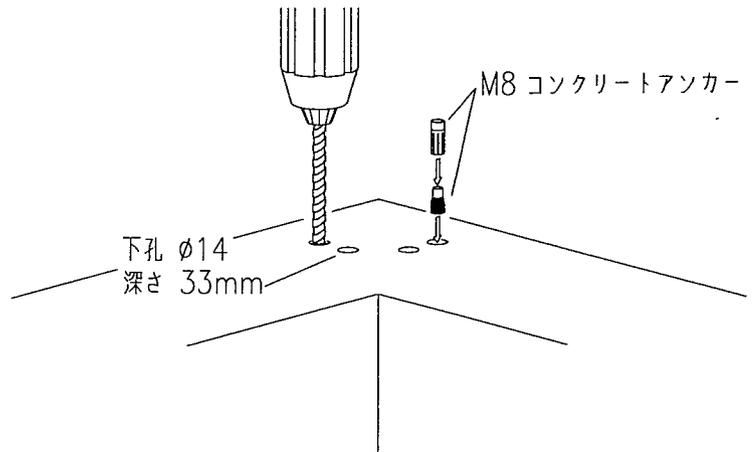
- ・ 躯体に  $\phi 14$  の下孔をあけて、  
M8 コンクリートアンカーを挿入  
して下さい。

★ 下孔あけ位置 ★



- ・ コーナー柱固定ブラケットを、  
M8x40 ボルトにて固定して  
下さい。

- ・ コーナー柱を、柱固定ブラケットに  
挿入して、 $\phi 5 \times 16$  皿タップにて  
固定して下さい。



## 4 笠木の取付

### 1) 標準笠木の取付

#### ① コーナー部

•  $\phi 10$ の孔加工をした笠木に、通しボルトを通し、M8用のワッシャーとナットで柱と笠木を固定してください。

※コーナーギボシは、笠木に $\phi 10$ の孔加工をして、右図のようにM8のワッシャーとナットで固定してください。

●笠木コーナーギボシ

$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  PLBOX22

•  $\phi 10$ の孔加工をした笠木に、通しボルトを通し、M8用のワッシャーとナットで固定してください。

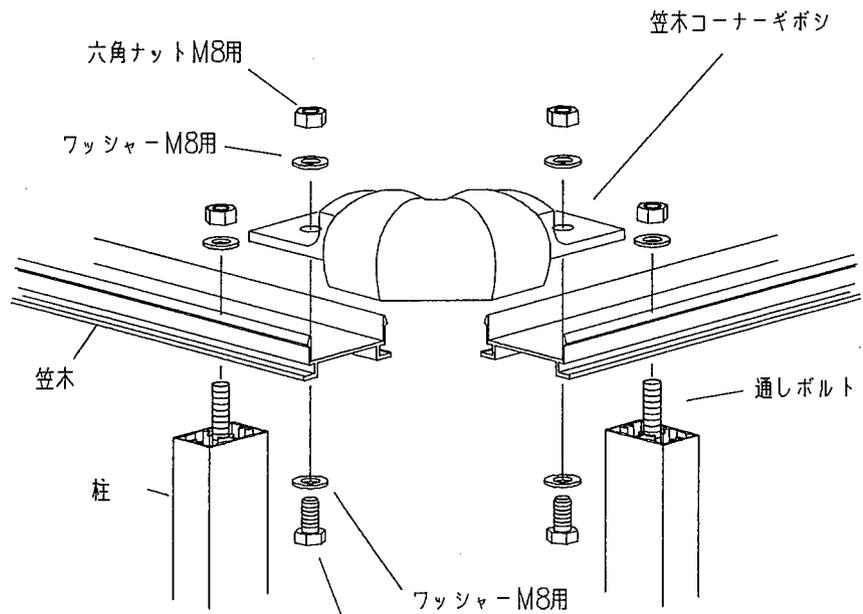
• 柱とコーナーギボシは、 $\phi 4 \times 10$ トラスで取付けてください。

※パネルは、笠木コーナーギボシを取付ける前に、胴縁ブラケットなどに取付けてください。

●笠木コーナーギボシ

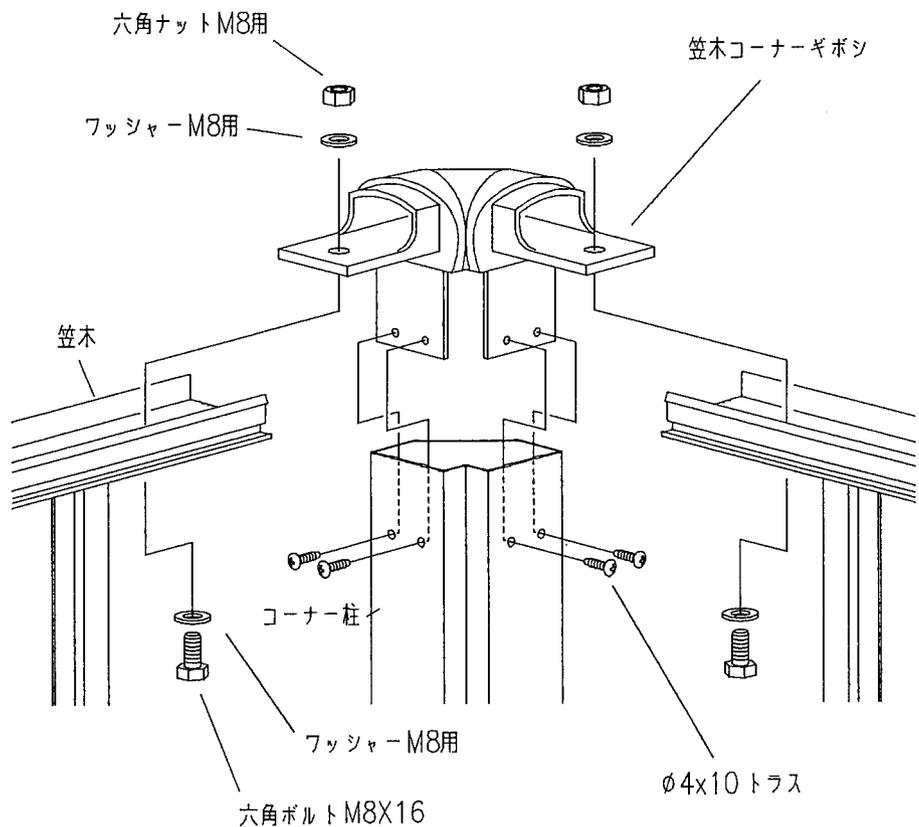
$\begin{pmatrix} S \\ H \\ C \end{pmatrix}$  PLBOX2

#### コーナー柱なしタイプ



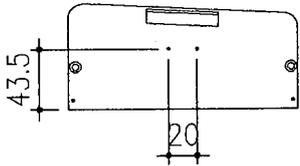
注) 角度自在納まりは、P149を参照してください。六角ボルトM8X16

#### コーナー柱取付けタイプ



## ② 端部

- パラペット小口フタ（上用）は、 $\phi 3.5$ の孔加工をしてから、パラペットに取付けてください。



- 笠木に、 $\phi 4 \times 12$ ナベで笠木壁付けブラケットを取付けてください。
- パラペット小口フタ（上用）に、 $\phi 4 \times 12$ トラスで取付けてください。

- 笠木に笠木壁付けブラケットを $\phi 4 \times 12$ ナベで取付けてから、躯体に取付けてください。

### ●笠木壁付けブラケット

(S)  
(H) YBBOX21  
(C)

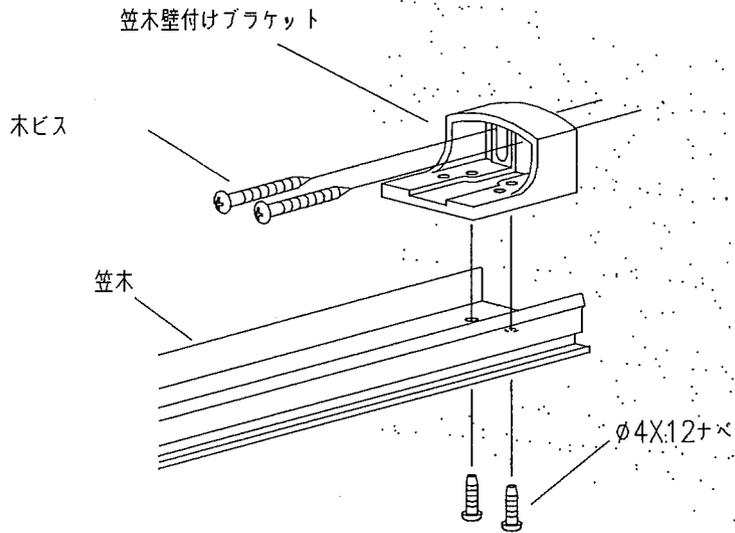
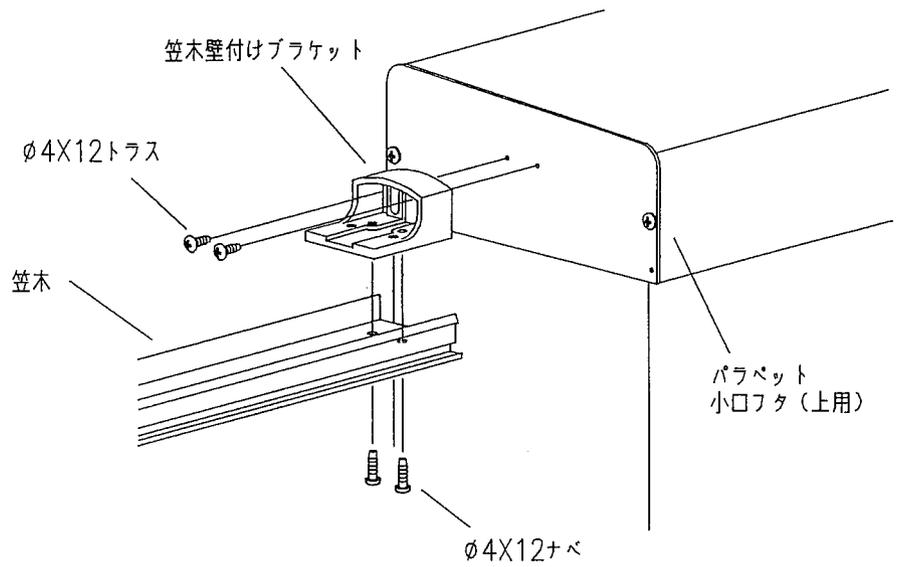
注) PLBOX5を使用する場合も同様に取付けてください。

- 笠木に $\phi 4 \times 12$ ナベで取付けてください。

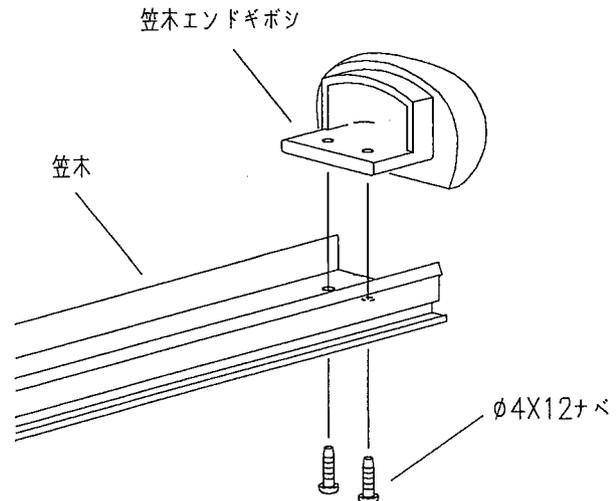
### ●笠木エンドギボシ

(S)  
(H) YBBOX23  
(C)

### 笠木壁付けブラケット



### 笠木エンドギボシ

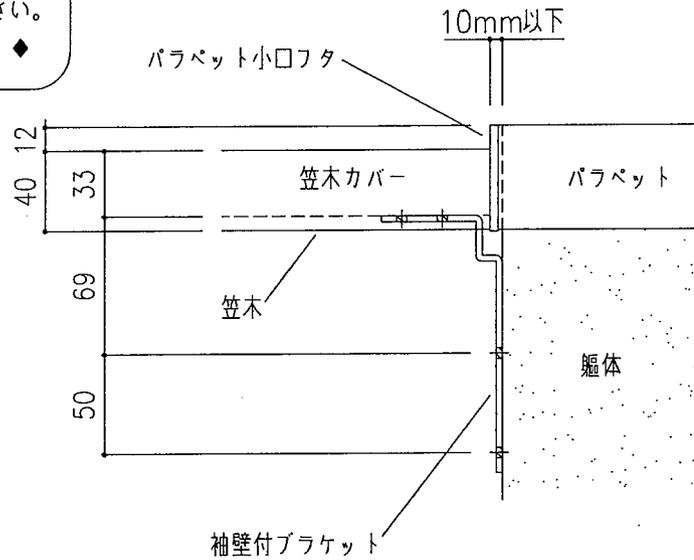


# 袖壁付ブラケット

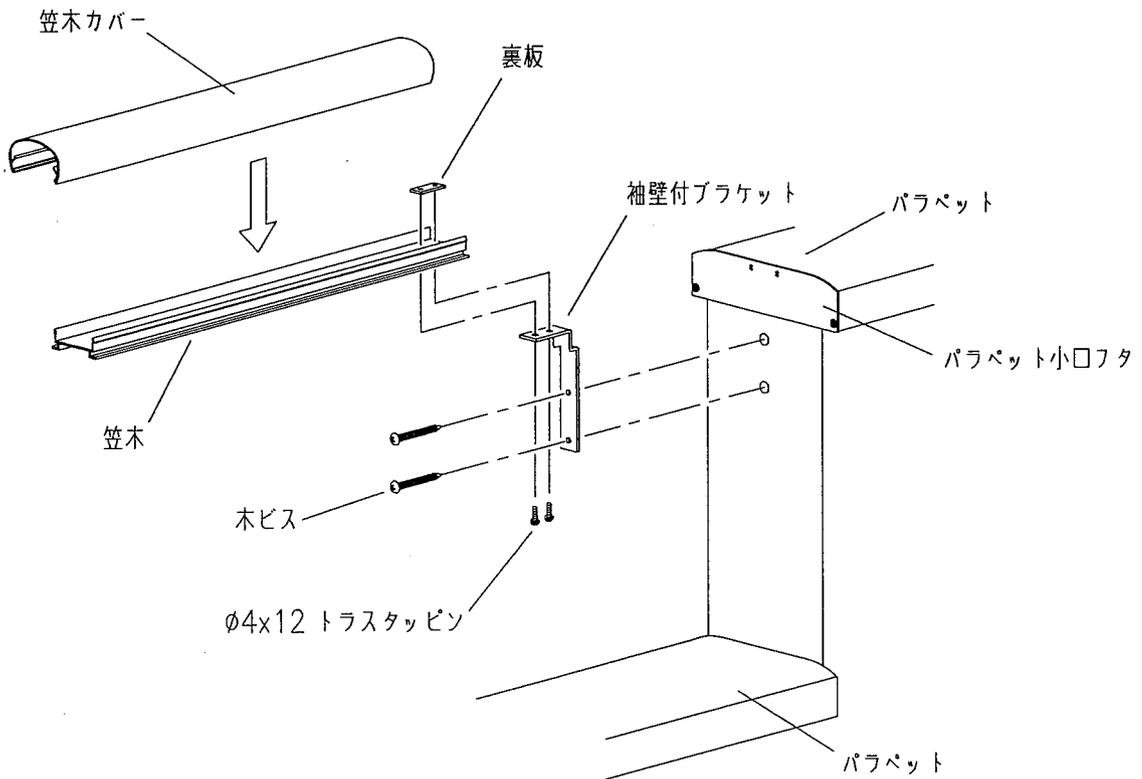
## 注意

◆ 躯体から、パラペットの出る寸法は、パラペット小口フタを入れて10mm以下にして下さい。袖壁付ブラケットが取付かなくなる恐れがあります。◆

## ★袖壁付ブラケット取付寸法図★



- 躯体に袖壁付ブラケットを木ビスで固定して下さい。(取付位置寸法は、右図参照して下さい。)
- 袖壁付ブラケットに、 $\phi 4 \times 12$  トラストッピンで笠木を固定して下さい。
- 最後に笠木カバーを笠木に嵌め込んで下さい。



### ③ ジョイント部

連結ブラケット、笠木兼上胴縁、笠木ジョイントの順番で笠木連結カバーを取付けます。

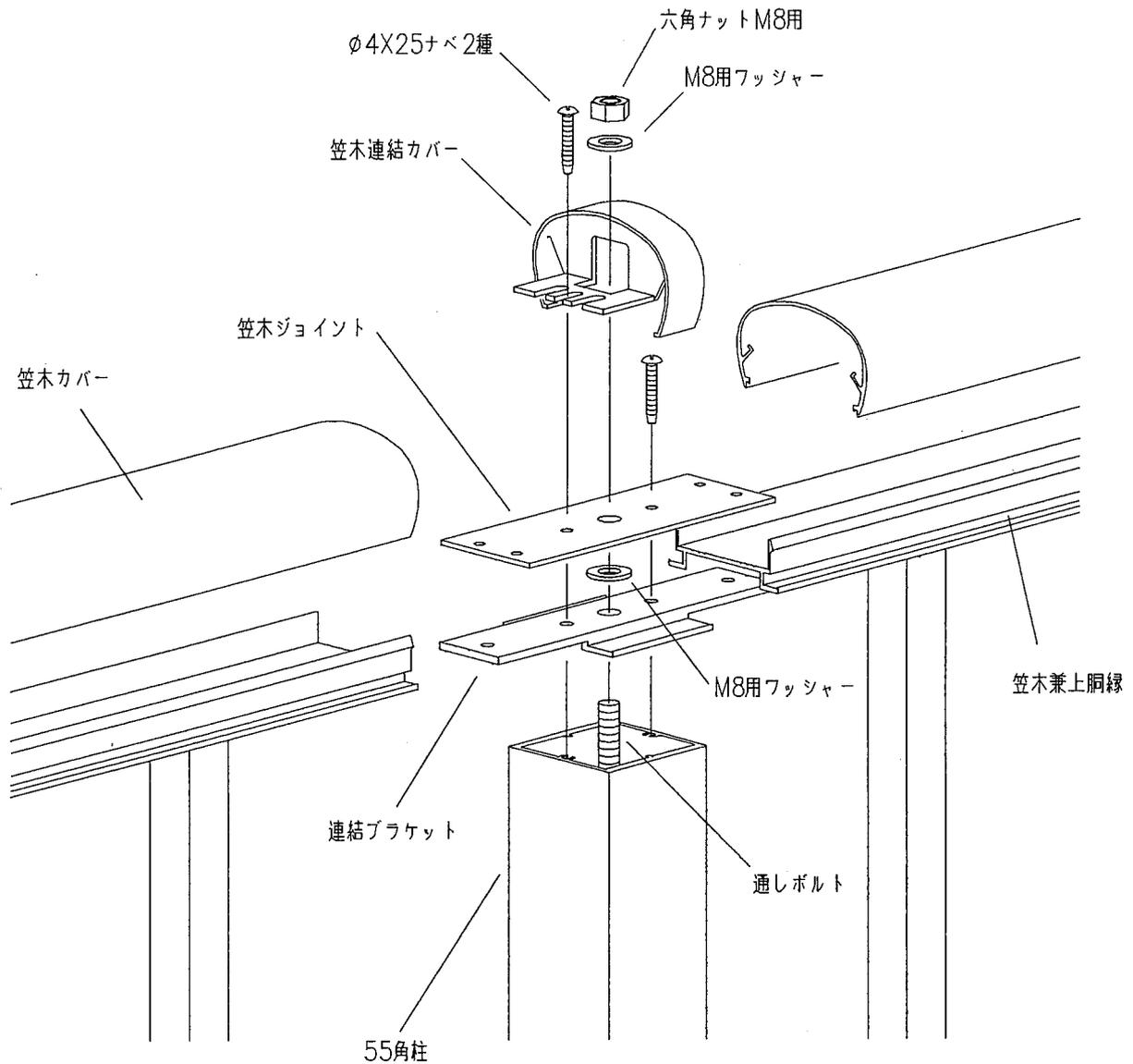
笠木カバーは連結ブラケットを柱に取付けるビス(φ4X25ナベ)を、とめる時に固定してください。

●笠木連結カバー

(C)  
(H)  
(S) YBBOX68

●笠木ジョイントセット

(C)  
(H)  
(S) PLBOX3



④ 角度自在納まりは、P149を参照してください。

## 2) 丸笠木の取付け

### ① 柱取付け部

- 通しボルトに丸笠木柱取付けブラケットと丸笠木を差し込み、ワッシャーとナットで固定してください。

#### ● 丸笠木柱取付け部品

( $\begin{matrix} C \\ H \\ S \end{matrix}$ ) TBB0X61M

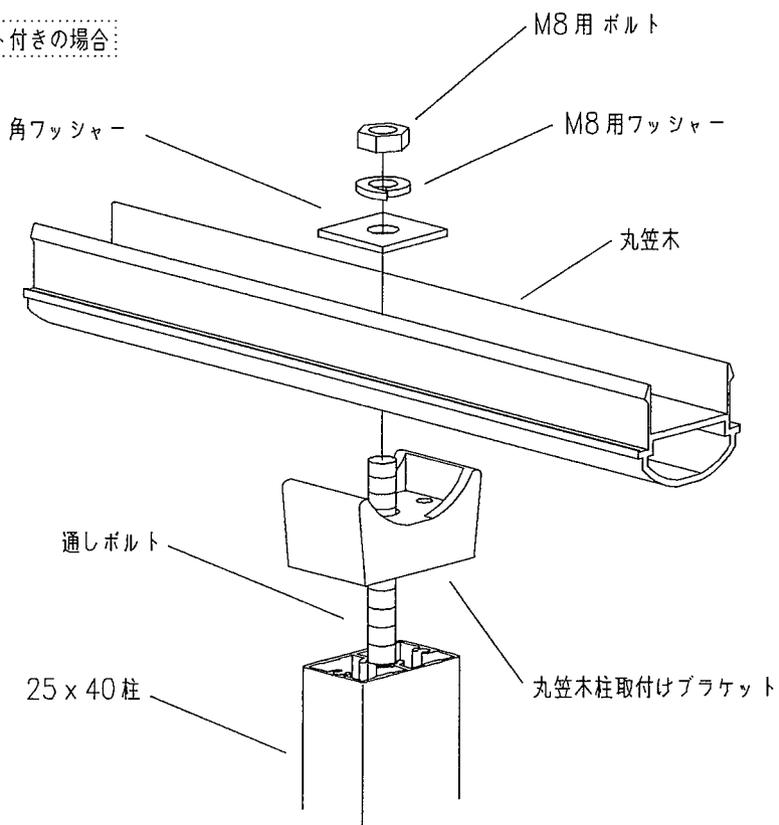
- 通しボルトを丸笠木柱取付けブラケットの下から差し込み、 $\phi 4 \times 25$  ナベで柱に固定してください。

- 丸笠木を通しボルトに通し、ワッシャーとナットで固定します。

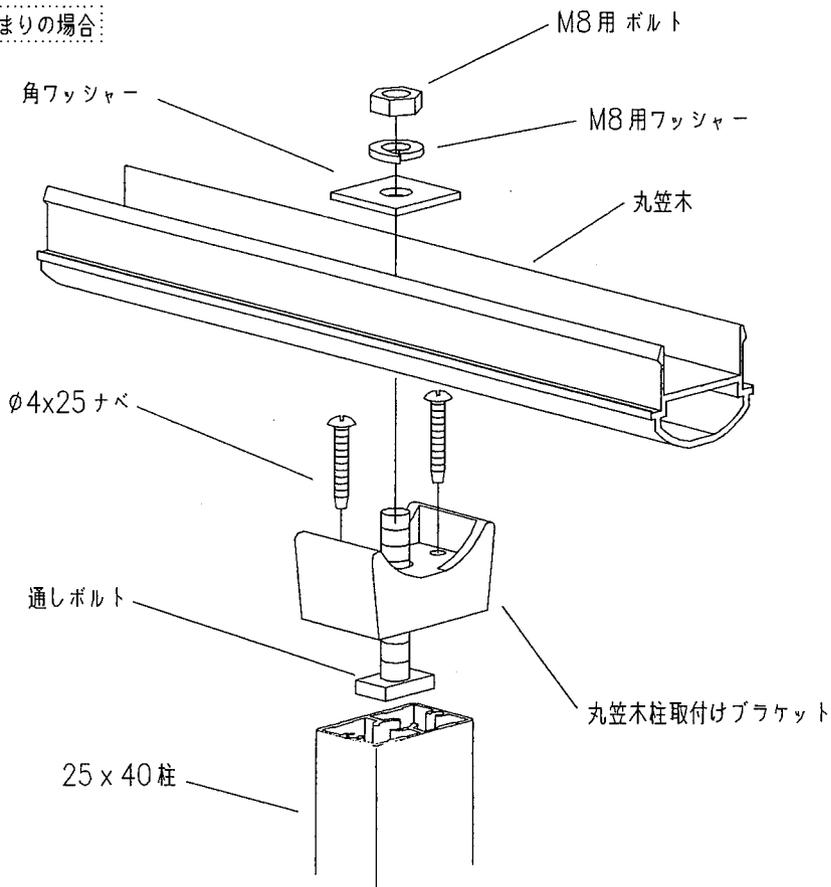
#### ● 丸笠木柱取付け部品 (直付用)

( $\begin{matrix} C \\ H \\ S \end{matrix}$ ) TBB0X63M

#### パラペット付きの場合



#### 直付け納まりの場合

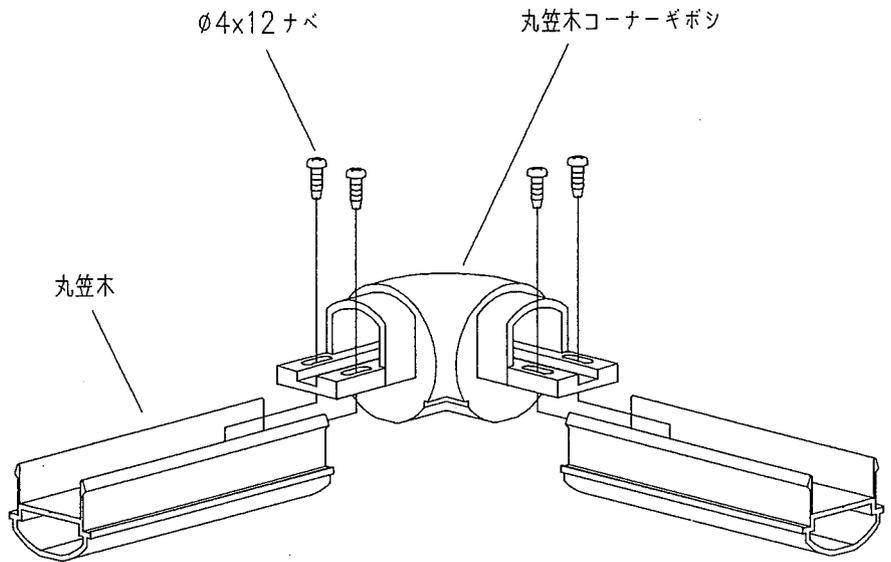


② コーナー部

- 丸笠木に孔加工をし、 $\phi 4 \times 12$ ナベで丸笠木コーナーギボシ取付けてください。

- 笠木コーナーギボシ

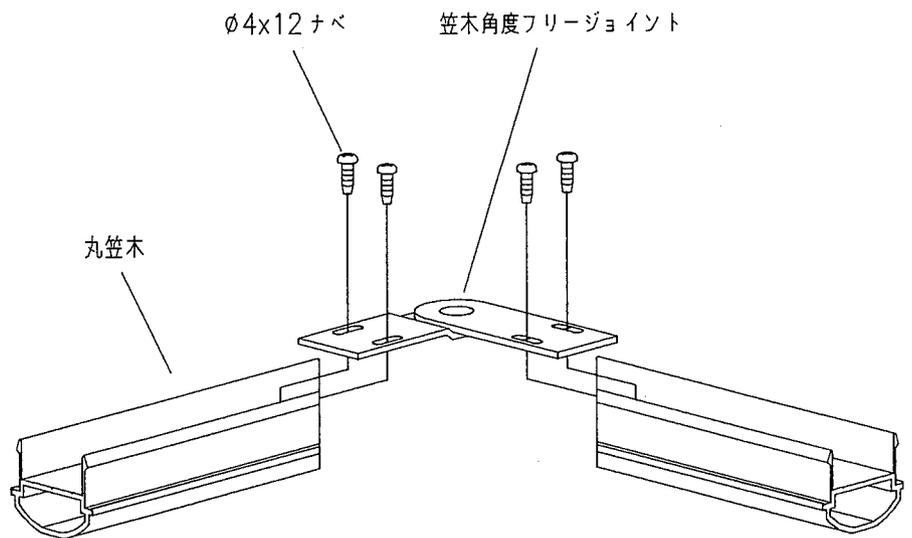
(S)  
(H) YBBOX22M  
(C)



- 丸笠木を角度切りし、孔加工をして角度フリースジョイントを $\phi 4 \times 12$ ナベで取付けてください。

- 笠木角度フリースジョイント

YBBOX60

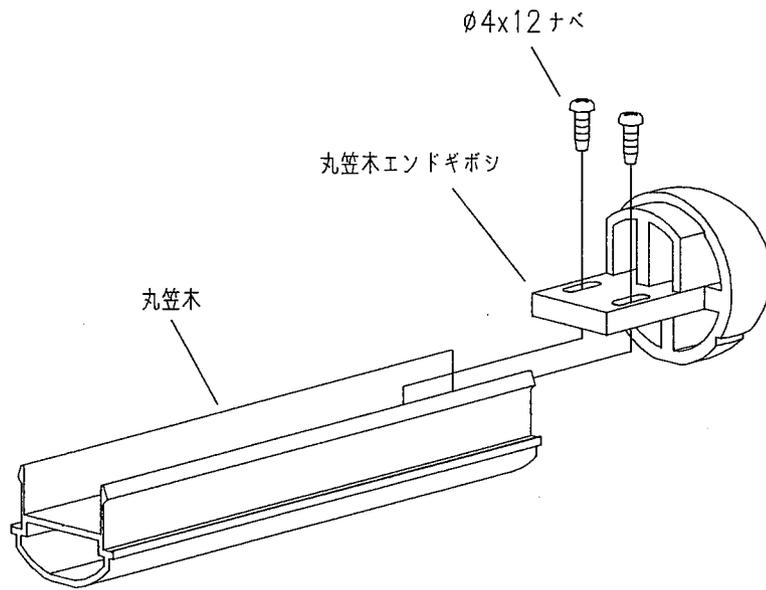


### ③ 端部

- 丸笠木に孔加工をし、 $\phi 4 \times 12$ ナベで丸笠木エンドギボシ取付けてください。

- 丸笠木エンドギボシ

(S)  
(H)  
(C) YBBOX23M



### ④ ジョイント部

- 連結ブラケットを柱に差し込み、 $\phi 4 \times 13$ テクスで固定してください。
- 連結ブラケットと丸笠木を $\phi 4 \times 12$ ナベで取付けてください。

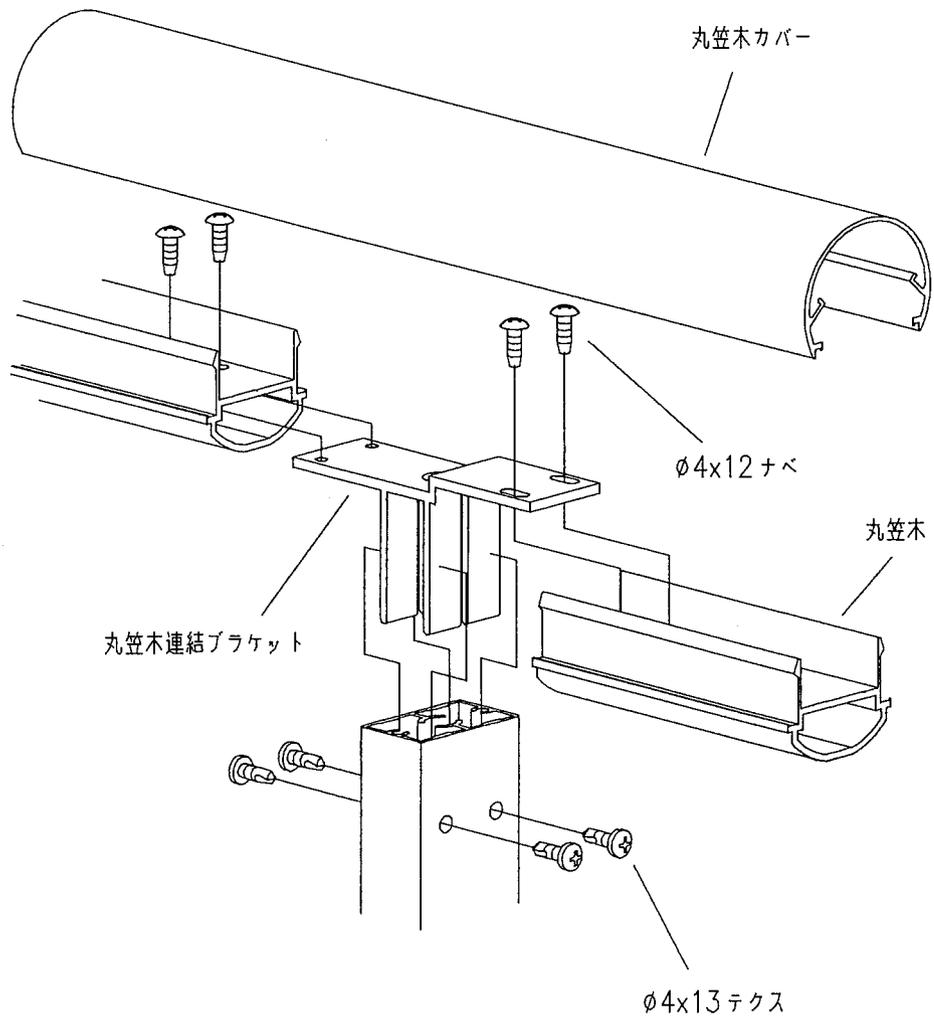
\* 丸笠木連結ブラケットを差し込む方を最初に取付けてください。

- 丸笠木連結ブラケット

(C)  
(H)  
(S) TBBOX41M

- テクスビスセット13

(C)  
(H)  
(S) YBBOX8





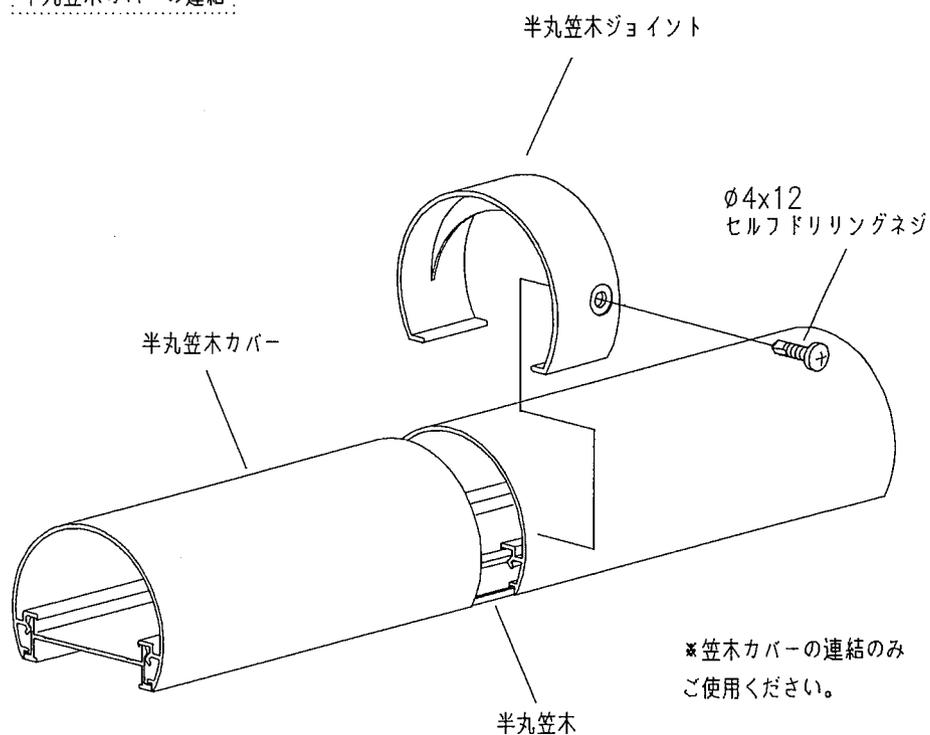
### ③ ジョイント部

- 半丸笠木カバーの連結部に隙間を空けて、半丸笠木ジョイントをかぶせてください。
- $\phi 4 \times 12$ セルフドリリングネジで半丸笠木に取付けてください。

● 半丸笠木ジョイントカバー

$\begin{pmatrix} C \\ H \\ S \end{pmatrix}$  KTKB3

#### 半丸笠木カバーの連結

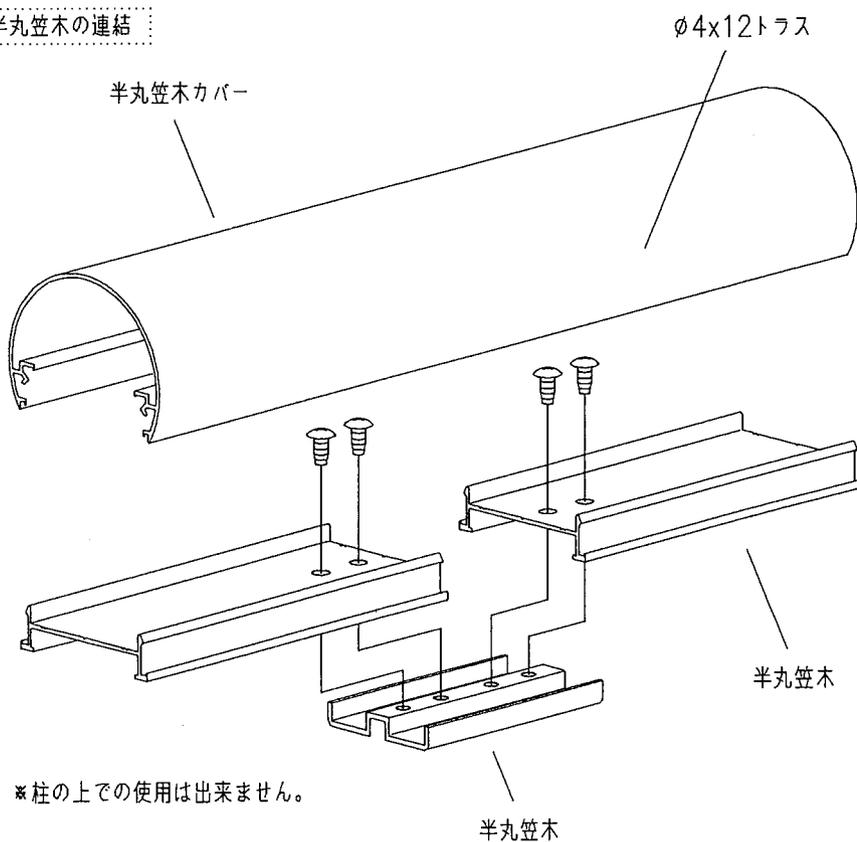


- 半丸笠木に孔加工をして $\phi 4 \times 12$ トラスでブラケットと半丸笠木を固定してください。

● 半丸笠木連結ブラケット

$\begin{pmatrix} C \\ H \\ S \end{pmatrix}$  KTKB4

#### 半丸笠木の連結

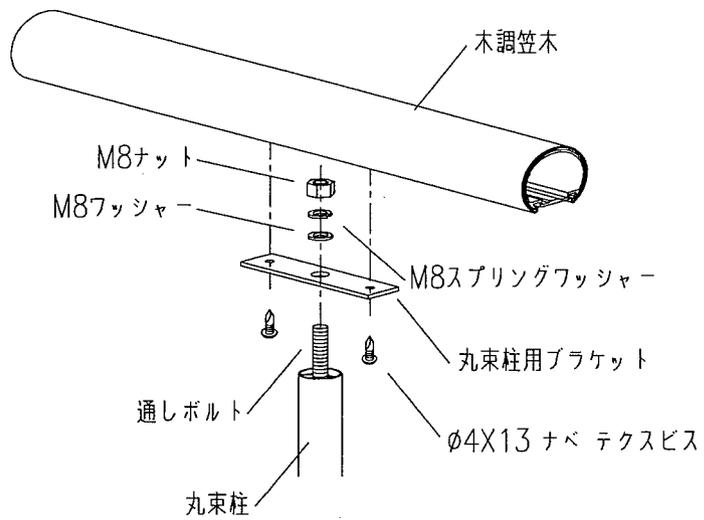


#### 4) 木調笠木

##### ① 丸束柱取付部

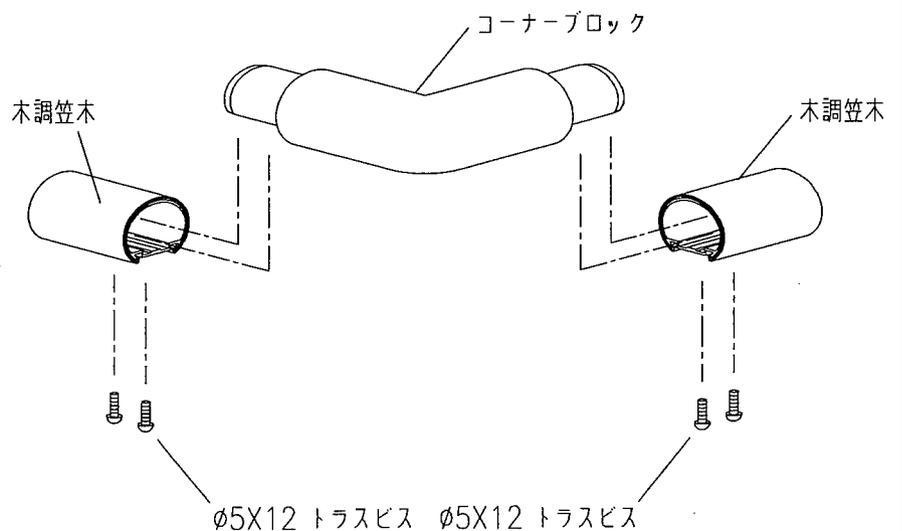
・通しボルトに丸束柱を挿入後、丸束柱用ブラケット、M8ワッシャー、M8スプリングワッシャー、M8ナットの順で、固定して下さい。

・木調笠木を、丸束柱ブラケットに  $\phi 4 \times 13$  ナベテクスビスで固定して下さい。



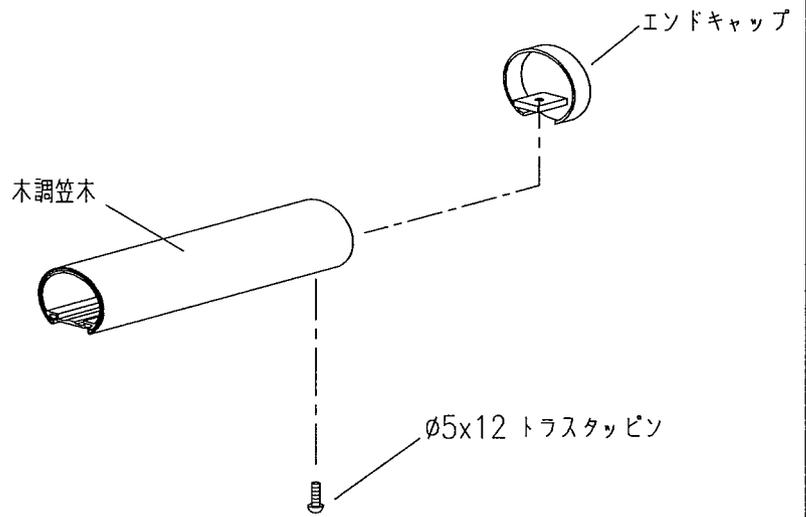
##### ② コーナー部

・木調笠木に孔加工をし、コーナブロックを笠木に差し込んでから  $\phi 5 \times 12$  トラスビスで固定して下さい。



### ③ 端部

- ・エンドキャップを木調笠木に差し込んで、 $\phi 5 \times 12$  トラスタッピンで固定して下さい。

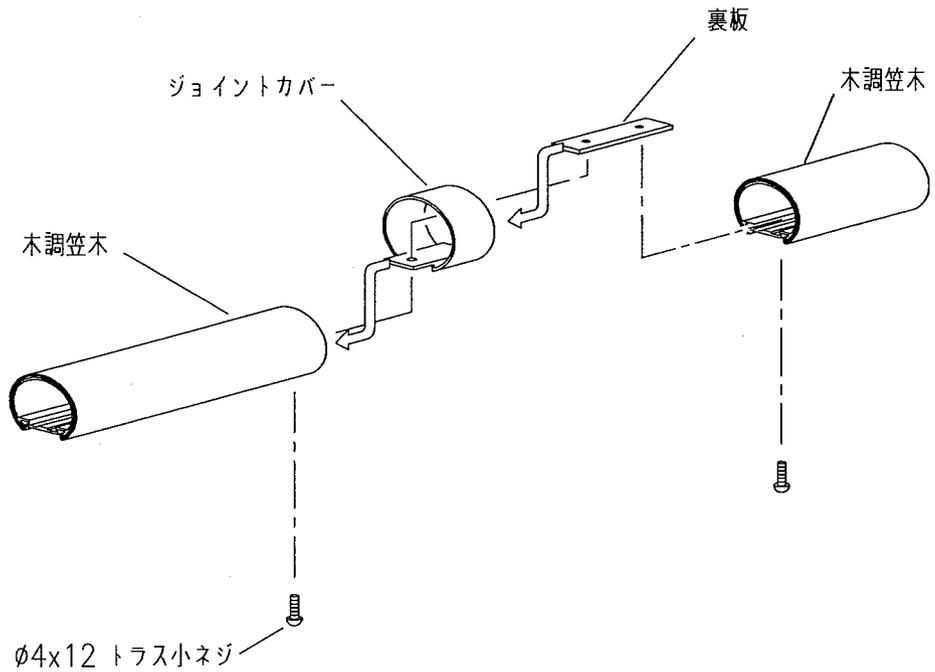


### ④ ジョイント部

- ・木調笠木ジョイント部に孔加工をして、ジョイントカバーを差し込んで下さい。

- ・ジョイントカバーの孔位置と、笠木の孔位置を合わせてから、裏板を挿入し、 $\phi 4 \times 12$  トラス小ネジで固定して下さい。

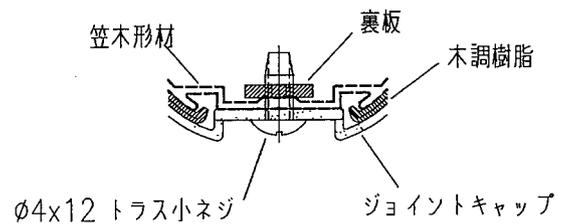
- ・他方もジョイントカバーと裏板の間に笠木を挿入して $\phi 4 \times 12$  トラス小ネジで固定して下さい。



#### ⚠ 注意

裏板の孔と、笠木の孔位置が合わない場合は、先にとめたビスをゆるめて調整して下さい。

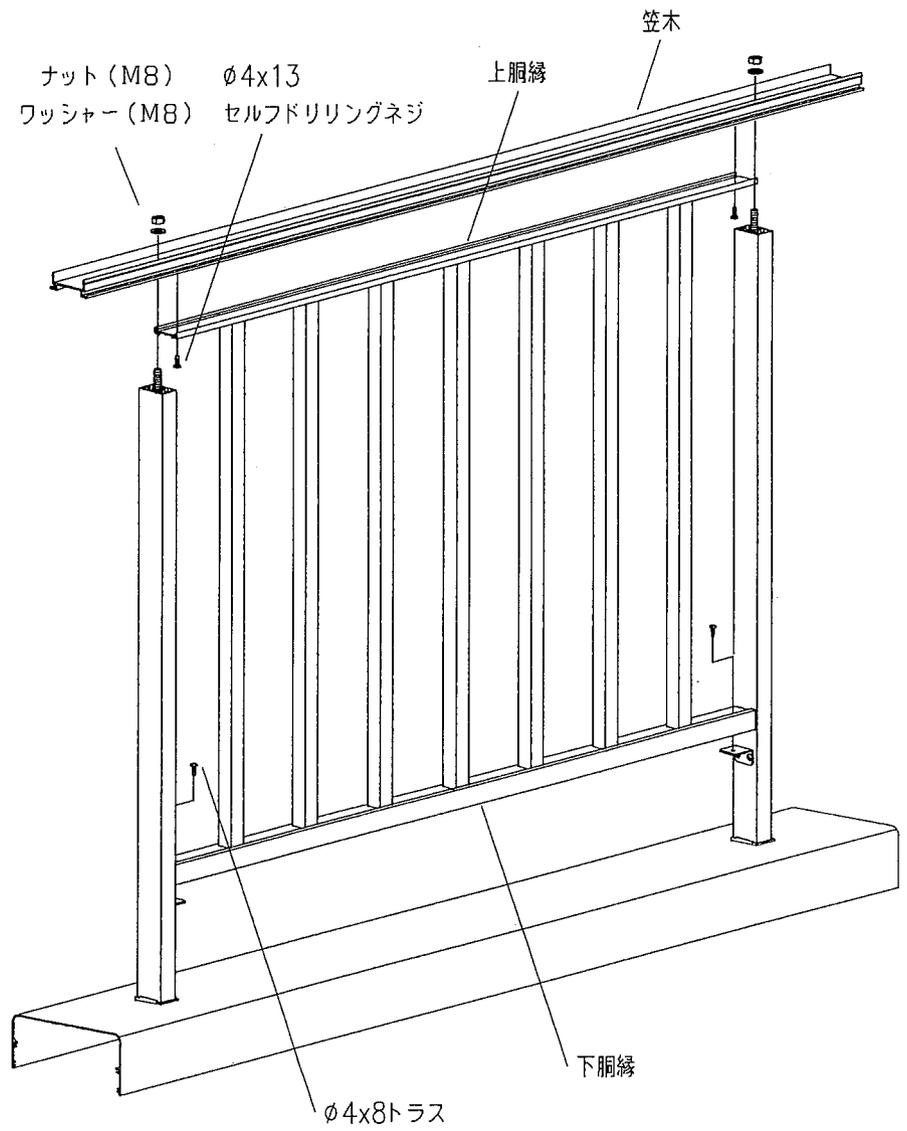
#### ★ 笠木ジョイント部納まり図 ★



## 5 パネルの取付け

### 1) A1タイプたて格子パネルの取付け

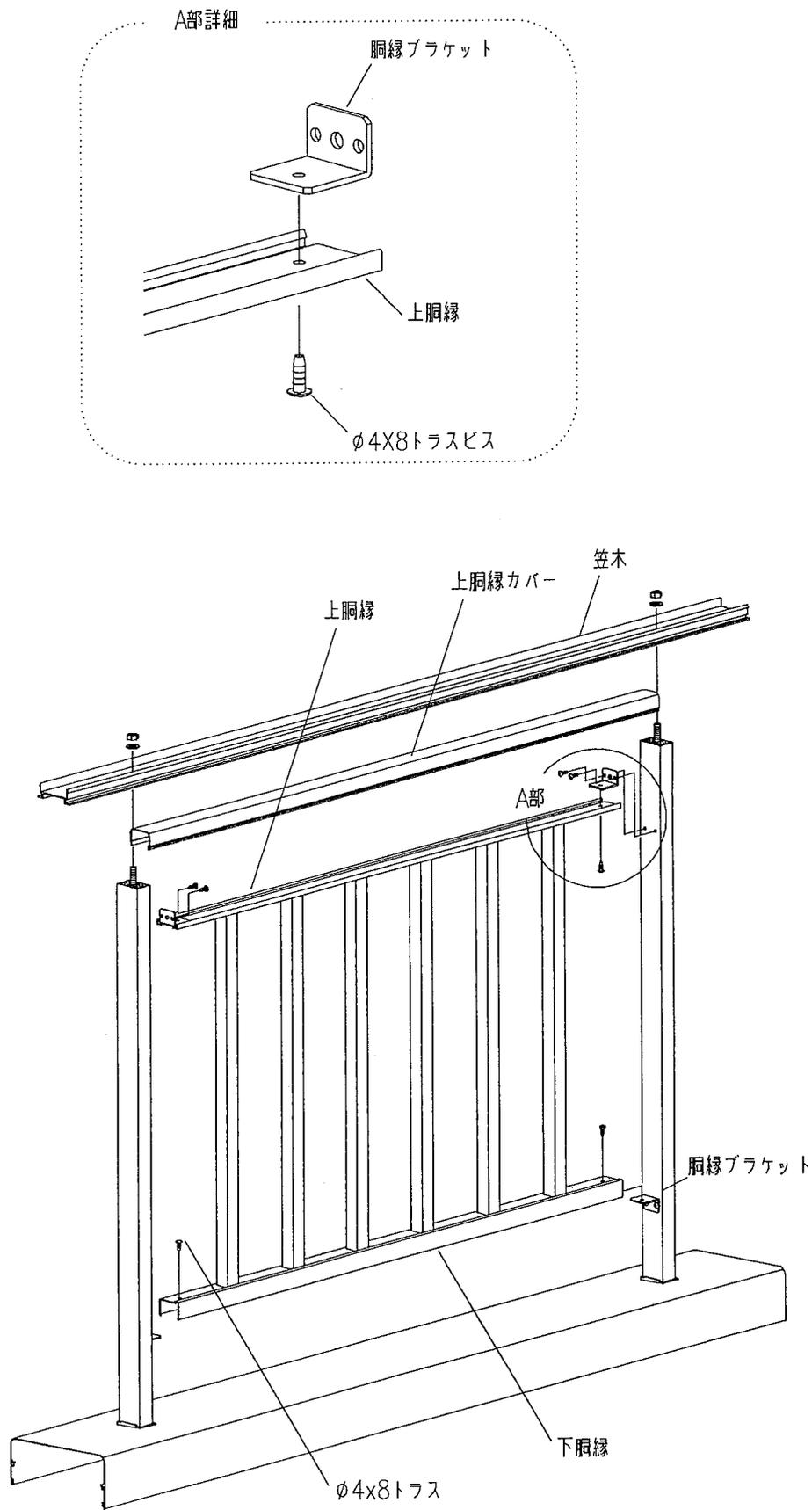
- 胴縁ブラケットに下胴縁を取付けてから、上胴縁と笠木を固定してください。



## 2) B2タイプ たて格子パネルの取付け

• 柱に胴縁ブラケットを取付けてください。

• パネル取付け後上胴縁カバーを上胴縁に取付けてください。(嵌合式)



### 3) A3タイプたて格子パネルの取付け

- Aタイプたて格子パネルの上胴縁は、笠木と兼用しています。

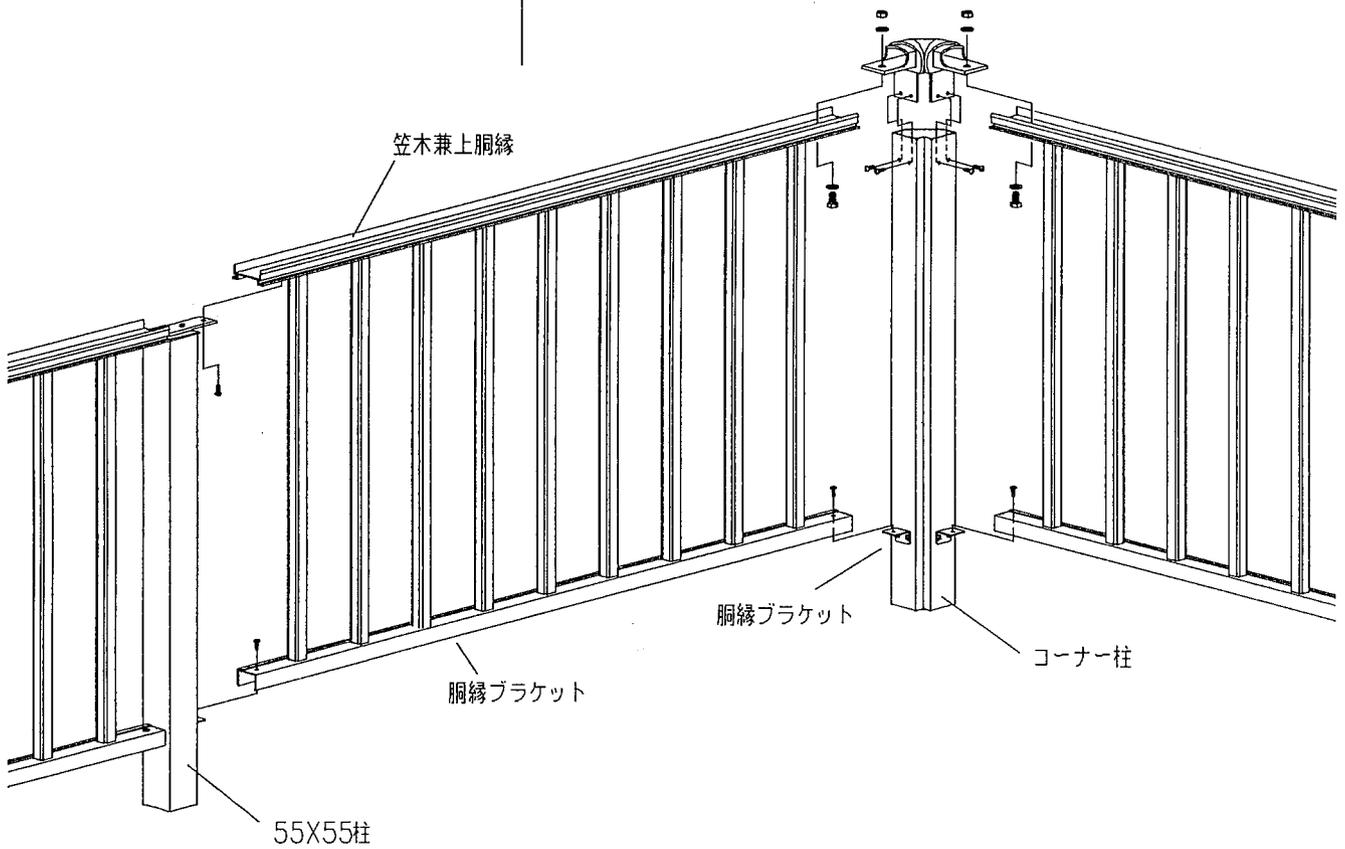
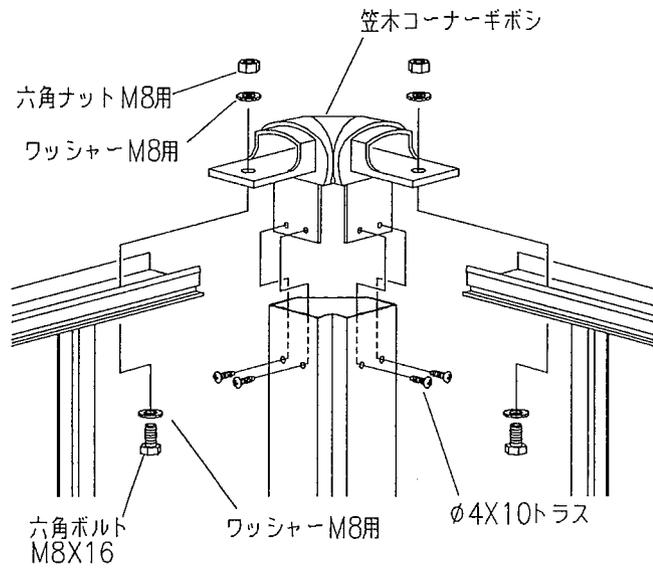
笠木コーナーギボシを取付ける前に、柱にセットしてください。

注 コーナーギボシを先に取付けるとパネルが入りません。

(Hタイプパネル取付けも同様)

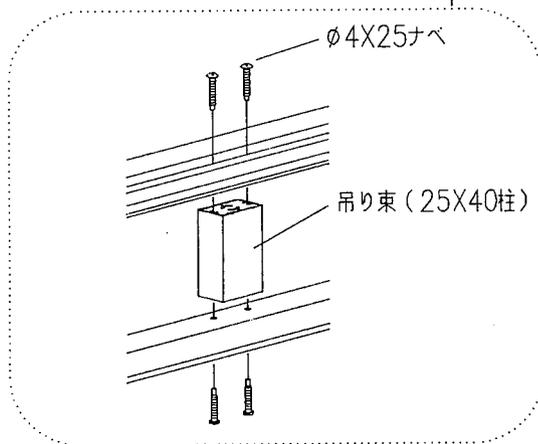
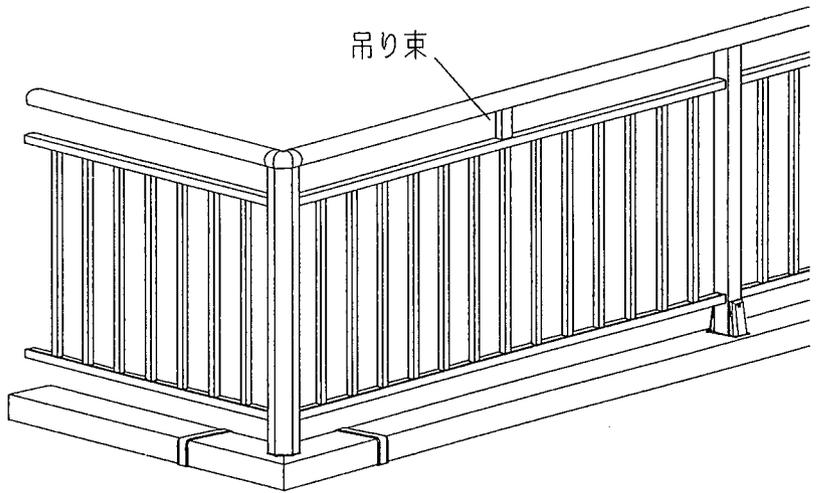
笠木コーナーギボシ (コーナー柱用)

PLBOX2

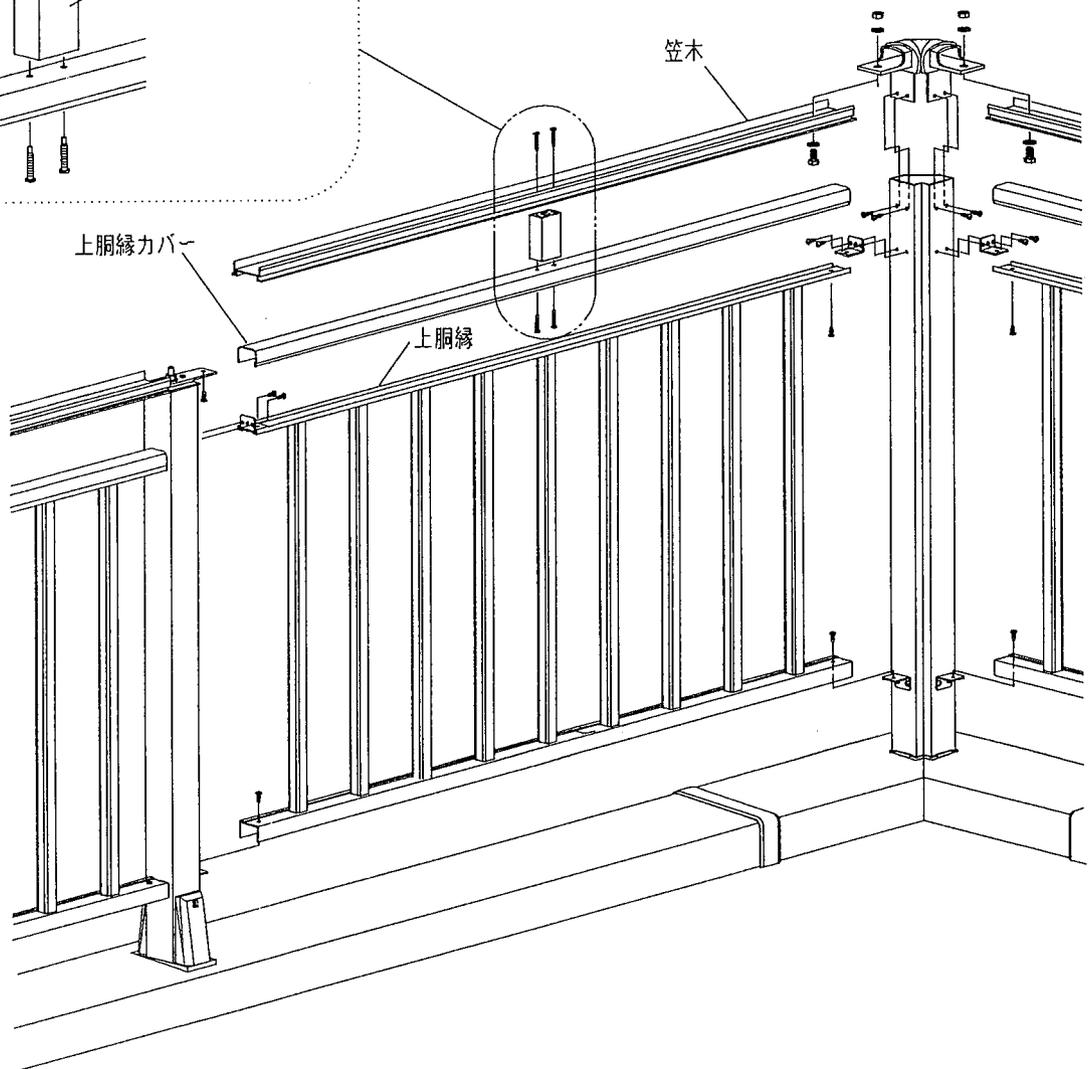


#### 4) B3タイプたて格子パネルの取付け

- パネルの上胴縁に胴縁ブラケットを取付けてからパネルを柱に固定します。
- 上胴縁カバーに吊り束(25X40角柱)をφ4X25ナベガイド付きビスで取付けてから上胴縁カバーを上胴縁に取付けてください。
- 笠木取付けの際吊り束と笠木をビスで固定してください。



注 柱ピッチが1500mmを越える場合、必ず必要となります。



◎ A3, B3タイプ、パネルの壁面へ取付け

① 笠木兼上胴縁の取付け

笠木に笠木壁付けブラケットを、 $\phi 4 \times 8$ ナベで取付けてから、壁面にフィッシャープラグセットを使って笠木を固定してください。

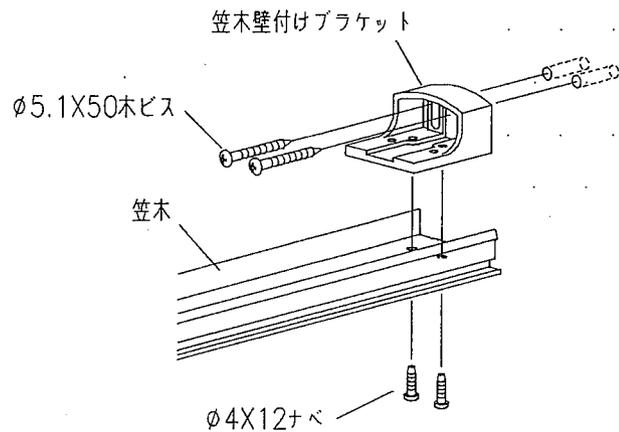
フィッシャープラグセット PLBOX7  
ドリル径 8mm

② パネルの取付け

- 上胴縁は胴縁ブラケットを $\phi 4 \times 8$ トラスで取付けてから、壁面にフィッシャープラグセットを使って固定してください。
- 下胴縁は胴縁ブラケットを壁面に取付けてから、 $\phi 4 \times 8$ トラスビスで固定してください。

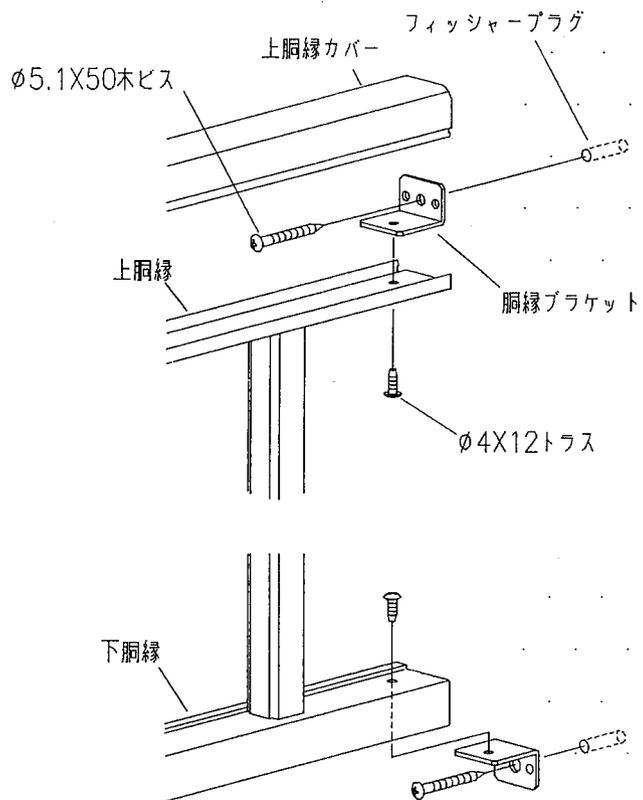
フィッシャープラグセット PLBOX7  
ドリル径 8mm

① 笠木の取付け (A3タイプの場合)



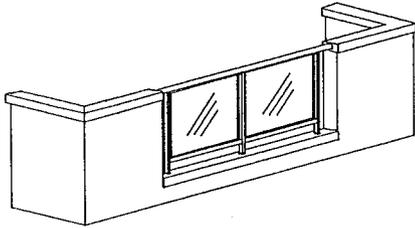
(RC)

② パネルの取付け (B3タイプの場合)



(RC)

5) A2, A3タイプ  
 アクリル・パンチングパネルの  
 取付け

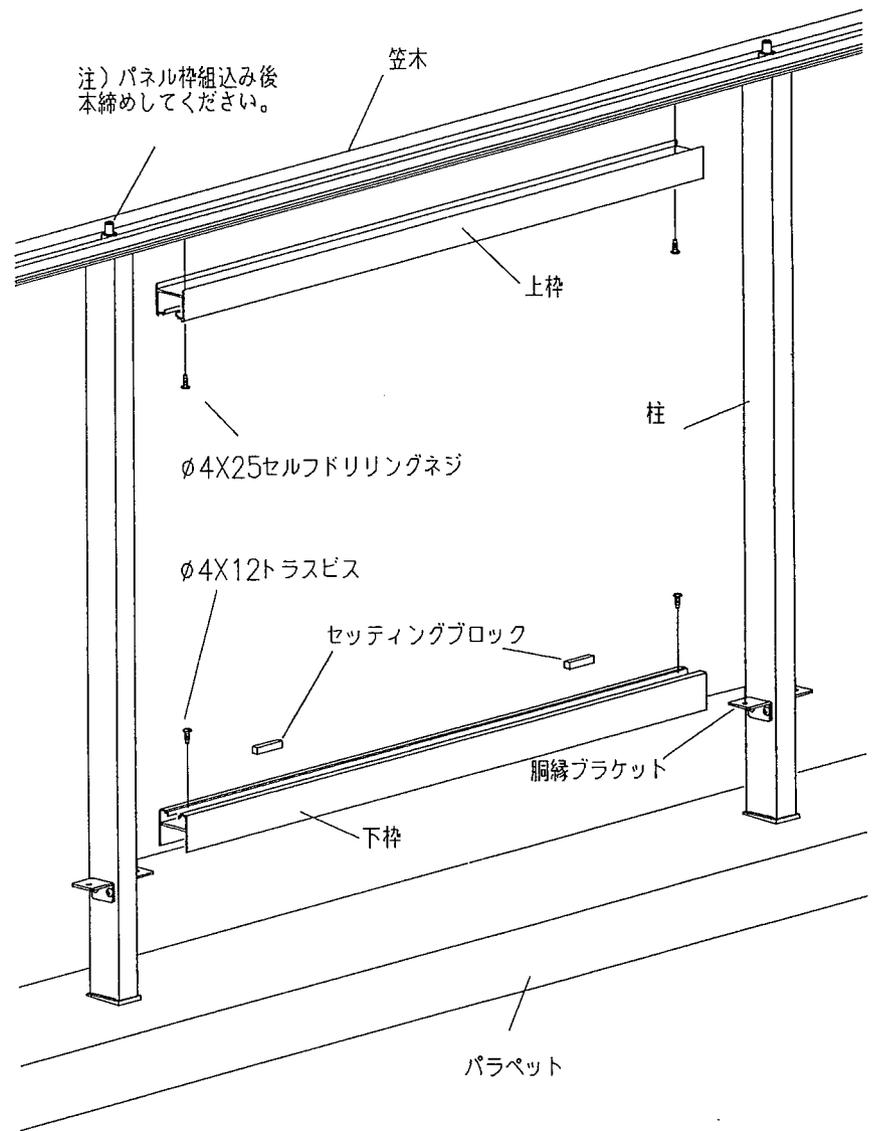
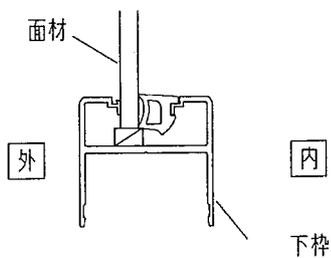


① 上下枠の取付け

- 上枠は笠木にφ4×25セルフドリリングネジで固定します。
- 下枠は胴縁ブラケットにφ4×12トラスビスで固定し下枠開口部hにセッティングブロックを取付けます。

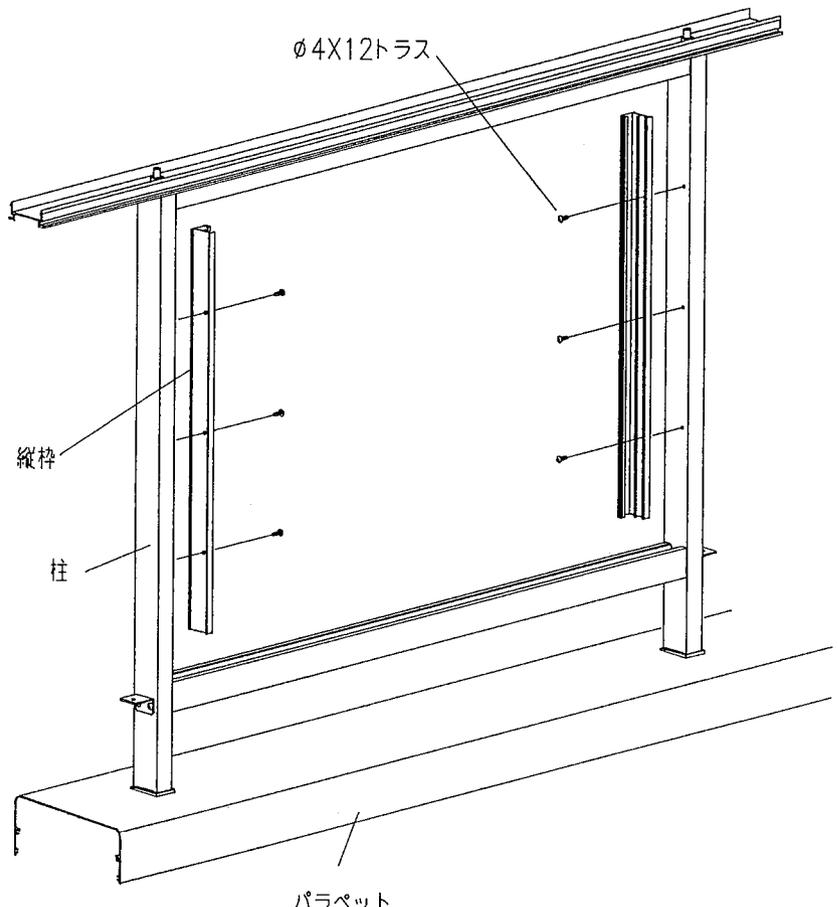
パネル組み立て部品セット

PLBOX18



② 縦枠の取付け

• 縦枠を柱にφ4X12トラスビスで固定します。

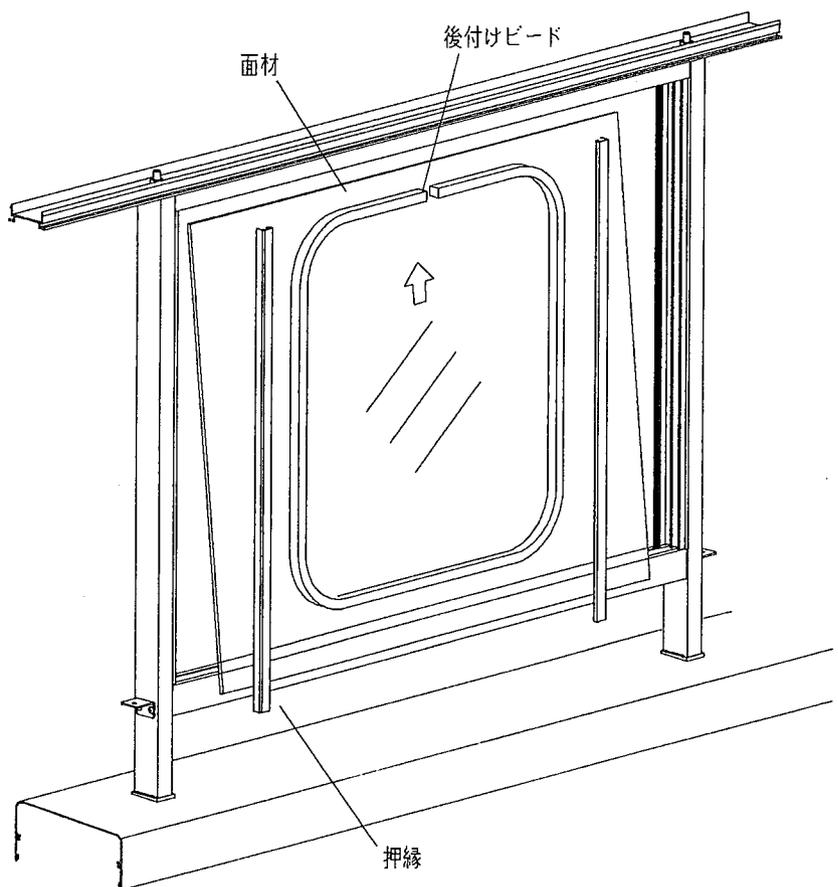
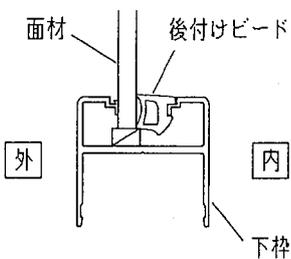
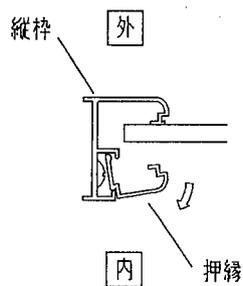


③ 面材の取付け

• 面材を上下枠に差し込み縦枠に押縁を取付けて後付けビードで面材を固定してください。

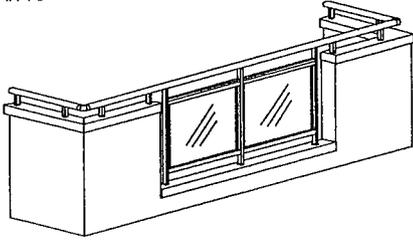
アクリルパネル 厚さ5mm

パンチングパネル 厚さ2mm



## 6) B2, B3タイプ

アクリル・パンチングパネルの  
取付け

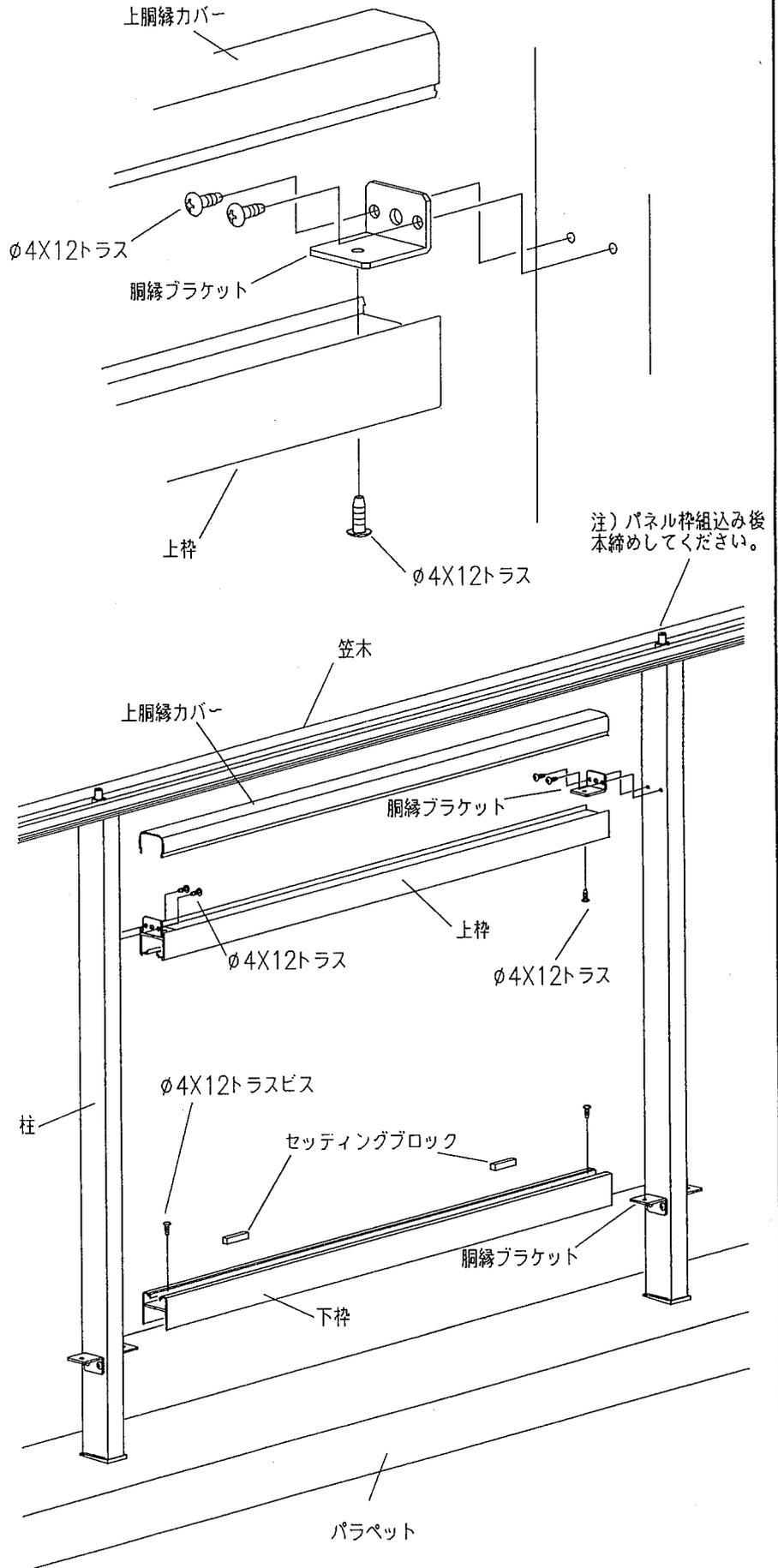
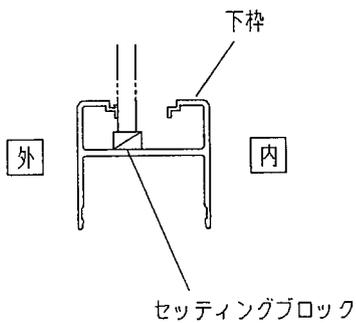


### ① 上下枠の取付け

- 上枠は柱に胴縁ブラケットを取付けてから、柱に固定し上枠カバーを取付けます。
- 下枠は胴縁ブラケットに $\phi 4 \times 12$ トラスビスで固定し、下枠開口部にセッティングブロックを取付けます。

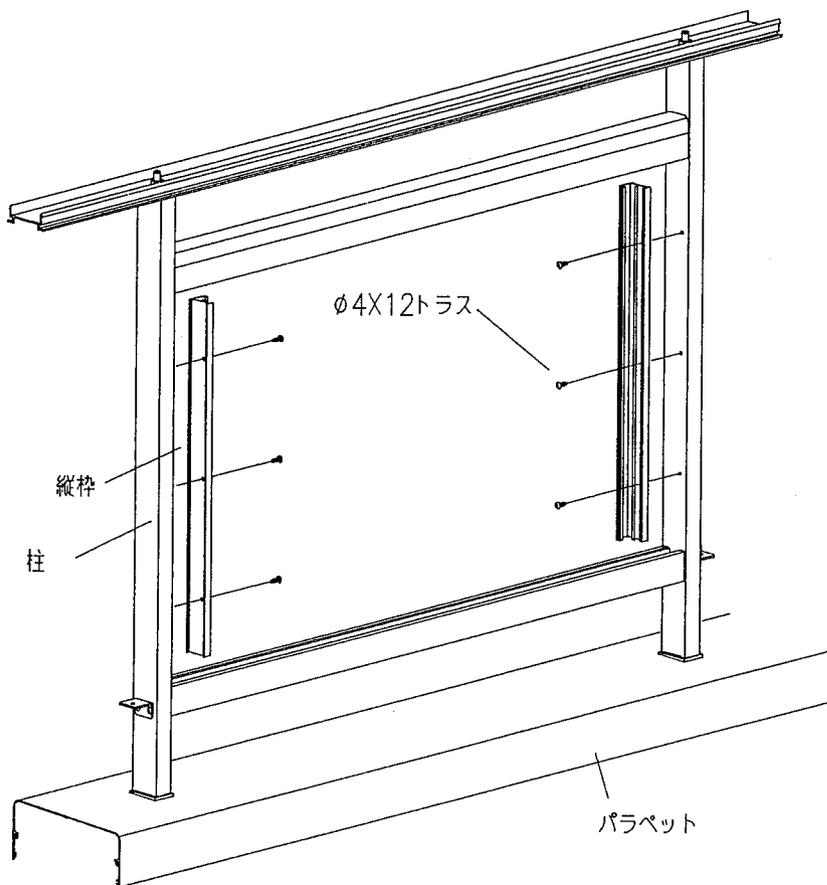
パネル組み立て部品セット

PLBOX18



② 縦枠の取付け

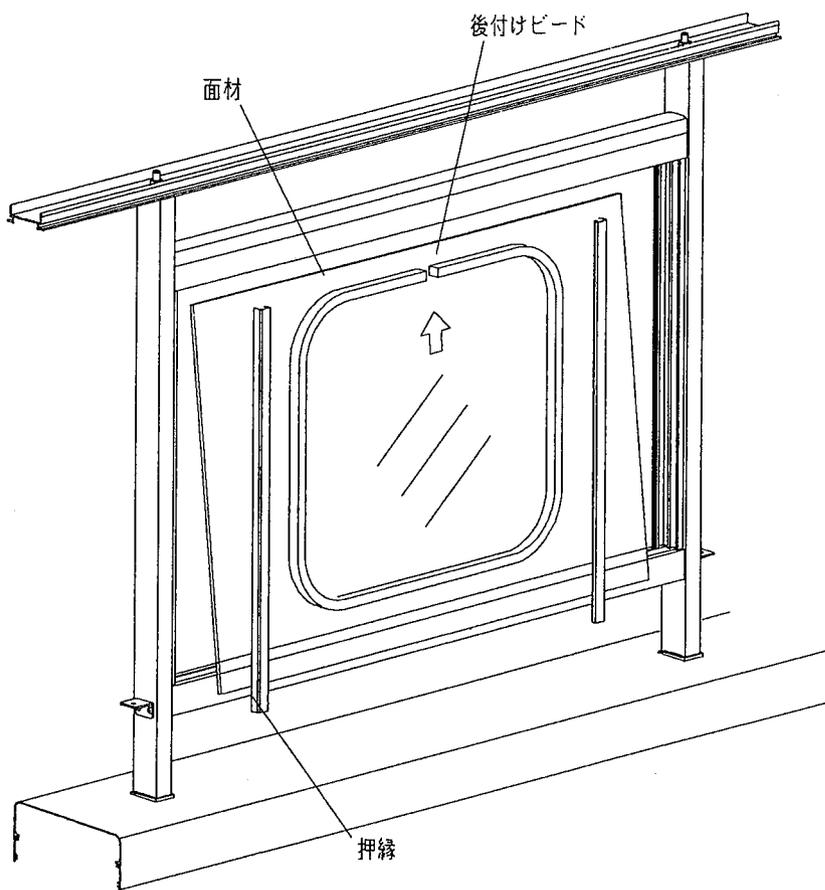
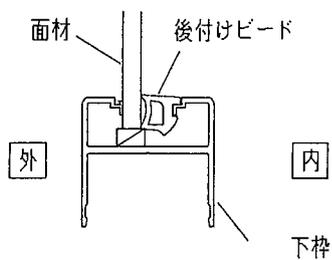
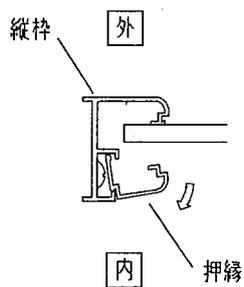
• 縦枠を柱にφ4X12トラスビスで固定します。



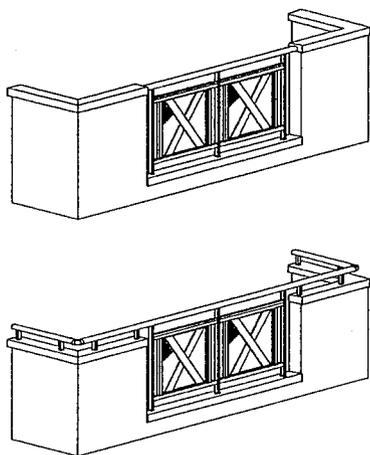
③ 面材の取付け

• 面材を上下枠に差し込み、縦枠に押縁を取付けて後付けビードで面材を固定してください。

アクリルパネル 厚さ 5mm  
パンチングパネル 厚さ 2mm

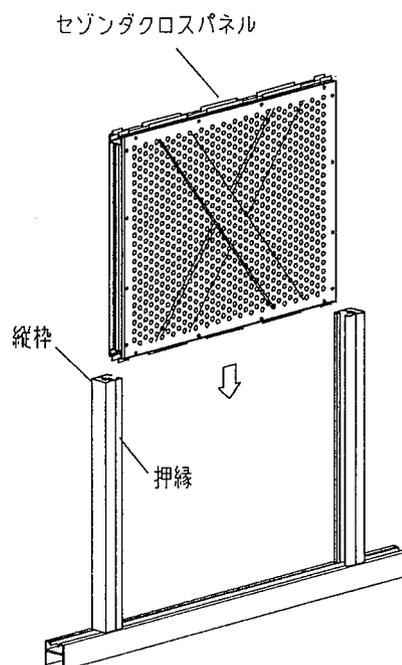
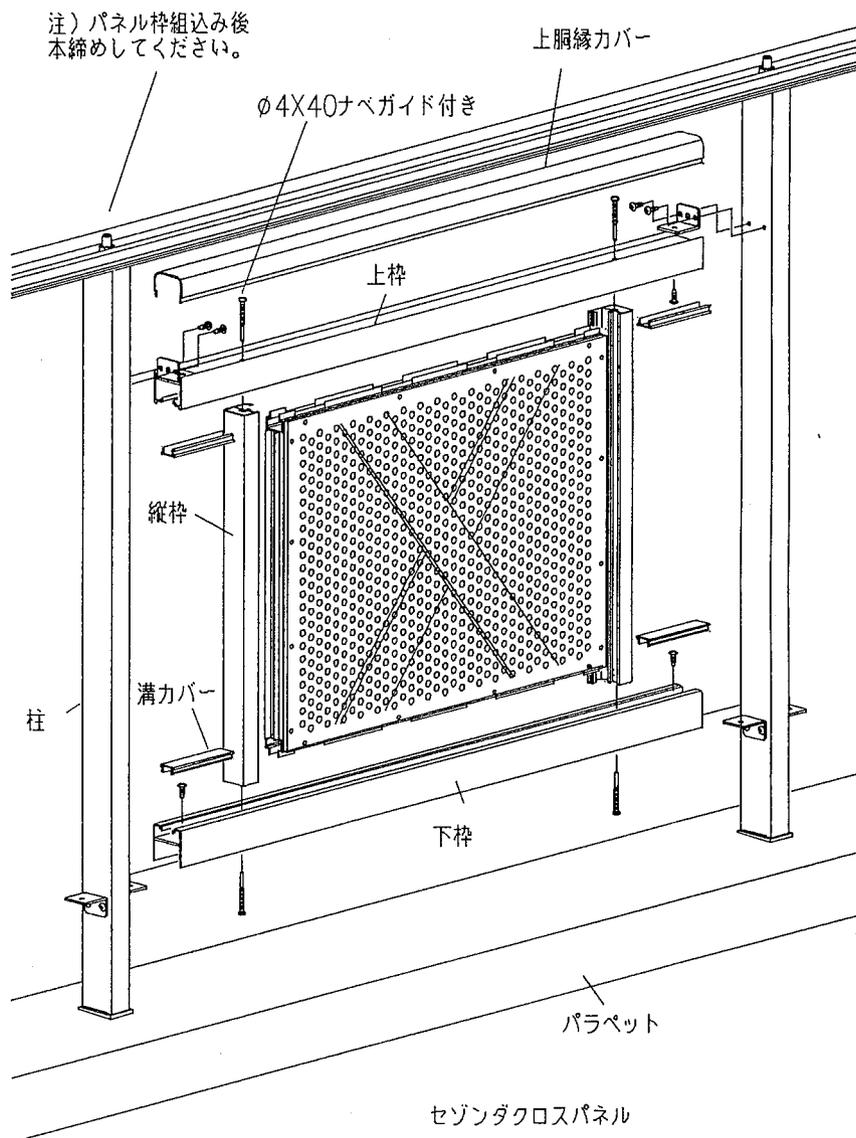


## 7) セゾンダクロスパネルの取付け

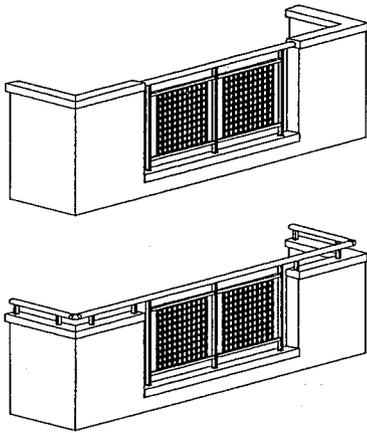


### ① パネルの組立方法

- セゾンダクロスパネルを組み立てる時  
後から押縁が入りませんのであらかじめ  
縦枠に押縁をセットして上からパネルを  
差し込みます。
- 上枠、下枠をφ4X12トラスビスで固定した後  
上枠、下枠の開口部に溝カバーを嵌め込みます。

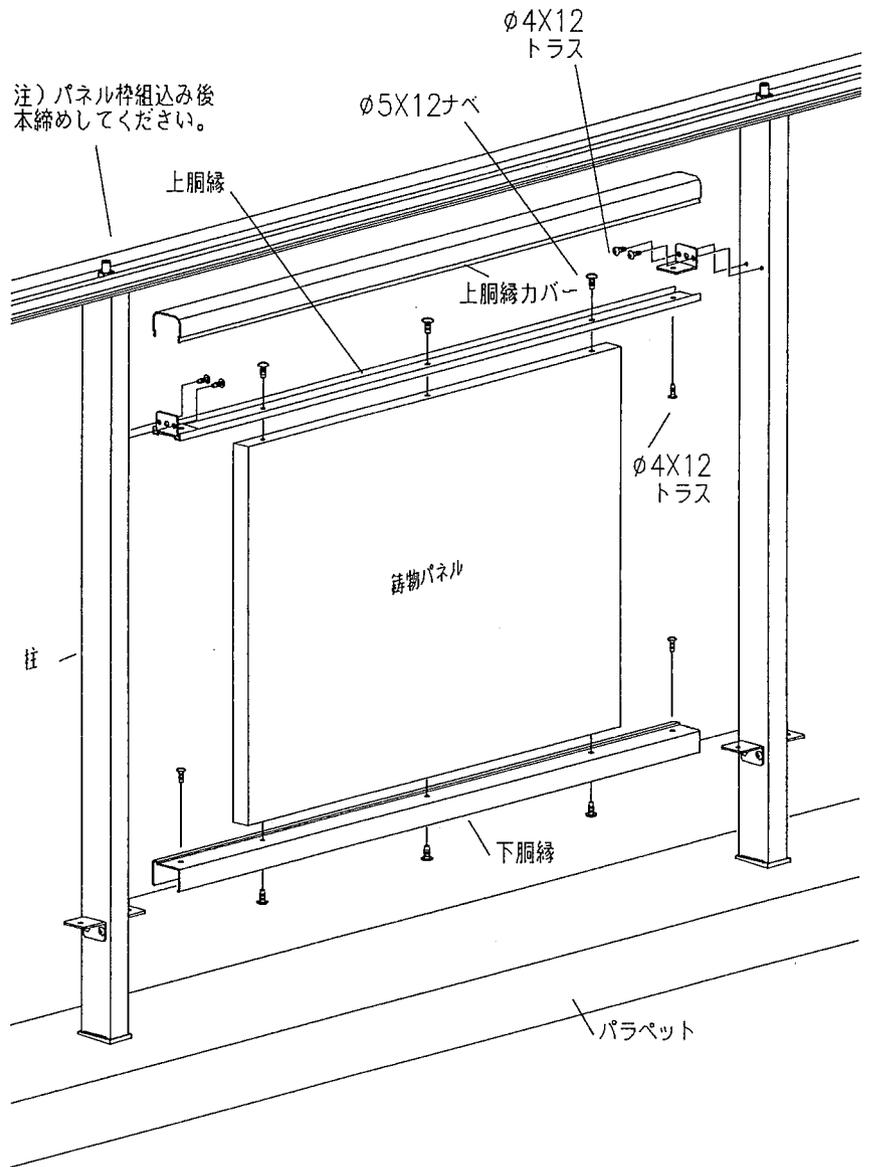
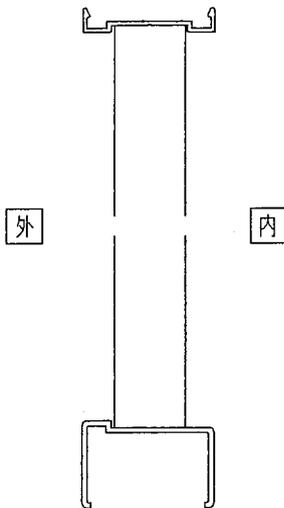


## 8) 鋳物パネルの取付け

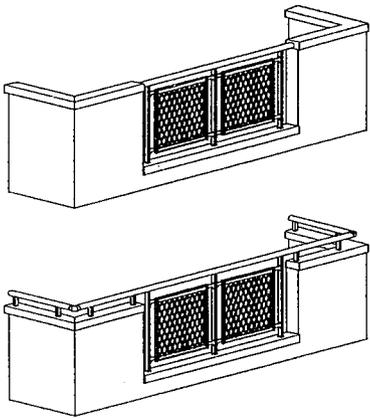


### ◎ 鋳物パネルの組立

- 上胴縁、下胴縁に鋳物パネルを、 $\phi 5 \times 12$ ナベで取付けてください。
- 上枠に胴縁ブラケットを取付けてから、柱に $\phi 4 \times 12$ トラスでパネルを取付けてください。



## 9) ダイヤクロス格子 2型の取付け



### ① 裏打ちパネルの組立て

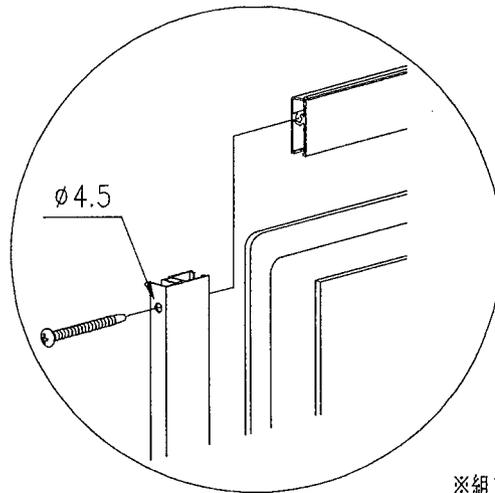
#### ◎ 枠の組立て

- 縦框に $\phi 4.5$ の孔明けをしてください。
- パネルにグレチャンを巻き付け、上下框と縦框を取付けます。
- 縦框と上下框を $\phi 4 \times 45$ ナベで固定してください。

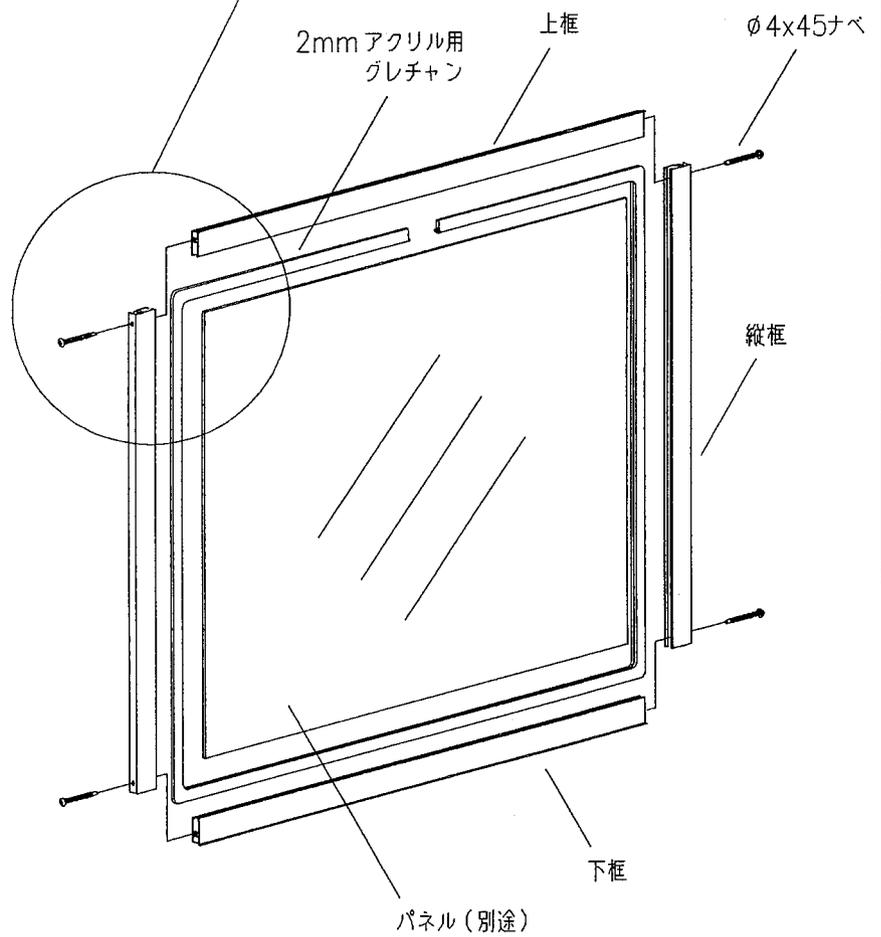
#### ● 裏打ちパネル部品セット

( $\begin{matrix} S \\ H \\ C \end{matrix}$ ) JKCB2

※パネルは厚さ2mmのものを別途で  
ご用意ください。



※組立てるときに、ビスを  
締めすぎないように注意して  
ください。



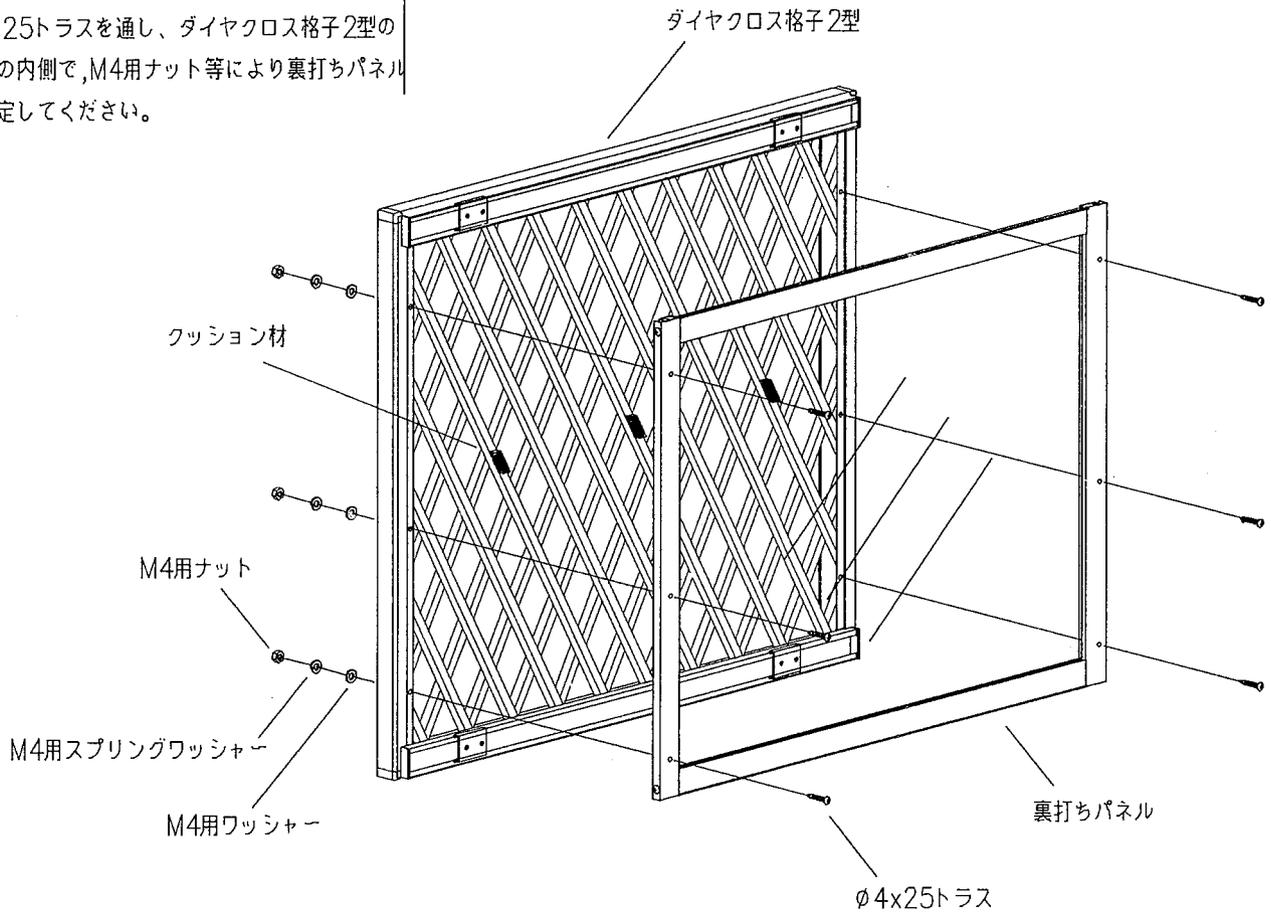
② 裏打ちパネルの取付け

•ダイヤクロス格子にクッション材を取付けてください。

•ダイヤクロス格子2型と裏打ちパネルの縦框に、 $\phi 4.5$ の孔加工をしてください。

• $\phi 4 \times 25$ トラスを通し、ダイヤクロス格子2型の縦框の内側で、M4用ナット等により裏打ちパネルを固定してください。

※縦框への孔加工は、格子を避けておこなってください。



■裏打ちパネル切断寸法表

		(mm)	
ダイヤクロス格子2型	W	H	
(S) H C	JKC0406N	409	542
	JKC0407N		695
	JKC0606N	604	542
	JKC0607N		695
	JKC0706N	791	542
	JKC0707N		695

■框切断公式

◎上下框 MW - 74

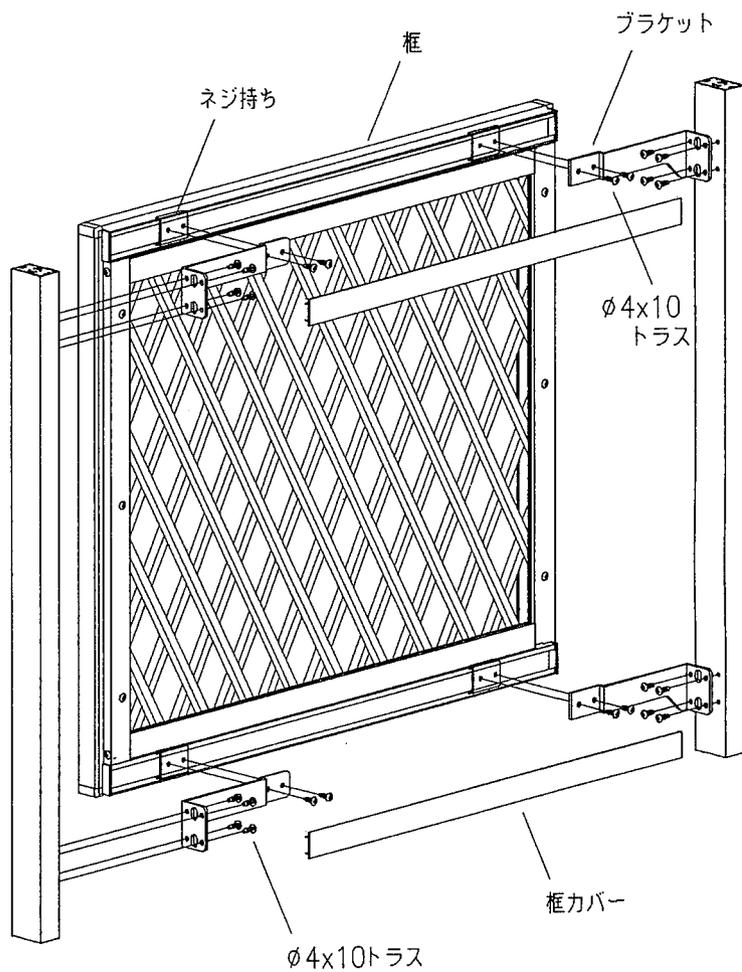
◎縦 框 MH - 66

※MW・MHはダイヤクロス格子2型の面材寸法とする。

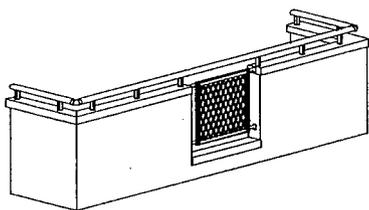
③ ダイヤクロス格子2型の組立て

◎ ブラケットの取付け

- 柱に $\phi 4 \times 10$ トラスでブラケットを取付けてください。
- 框に取り付いているネジ持ちに $\phi 4 \times 10$ トラスでブラケットを取付け面材を固定してください。
- 框カバーは、ブラケットの位置に合わせて切断して、框に取付けてください。

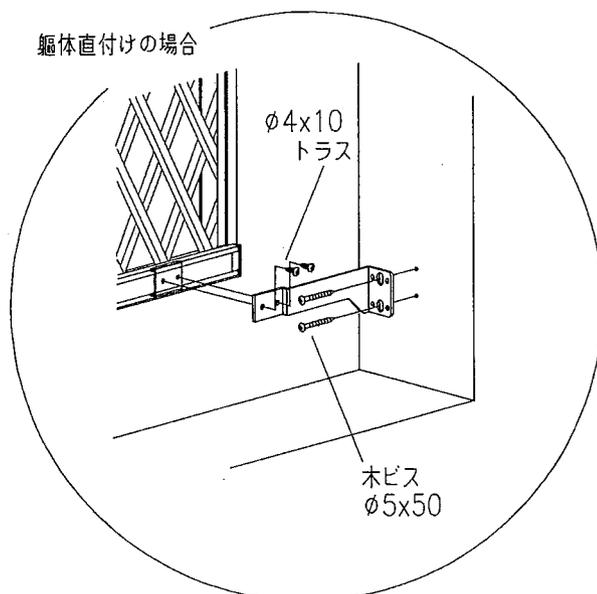


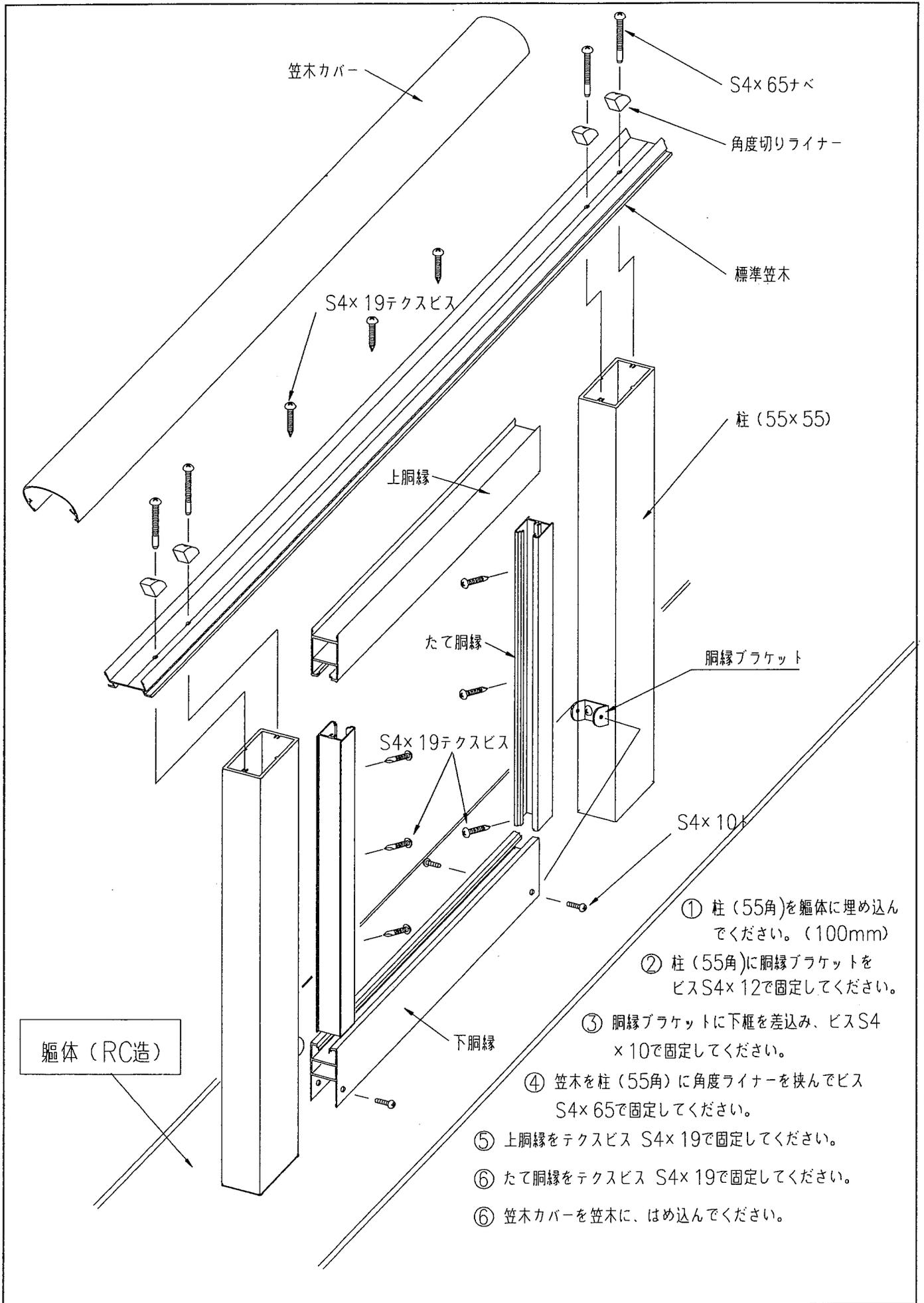
※ブラケットの調整範囲は10mm~80mmです。



- 躯体に $\phi 5 \times 50$ の木ビスでブラケットを取付けてください。

躯体直付けの場合





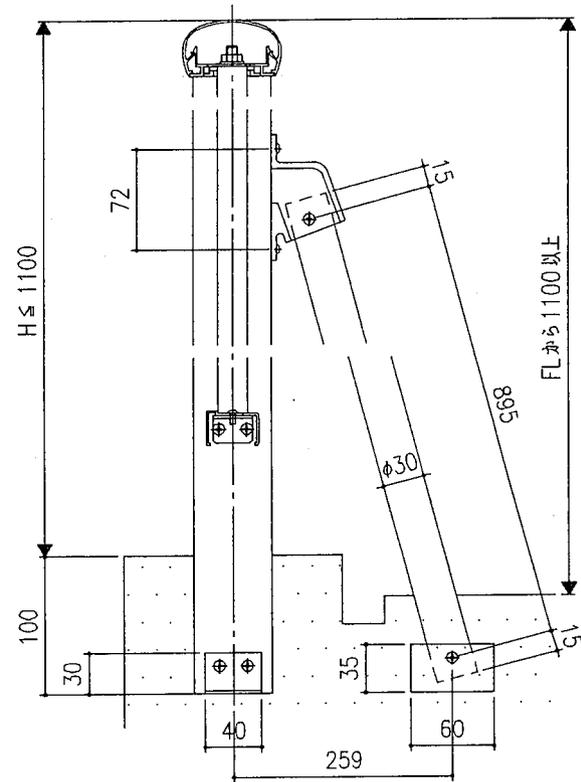
## 6 控え柱の取付け

### 1) 控え柱ブラケットの取付け

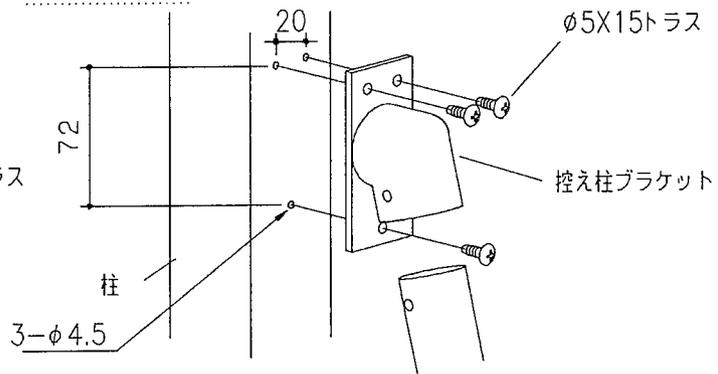
- 控え柱の取付け位置が決まりましたら、柱にブラケットの取付け穴加工をします。（下穴径  $\phi 4.5$ ）
- 控え柱ブラケットを $\phi 5 \times 15$ トラスで柱に取付けます。

### 2) 控え柱の取付け

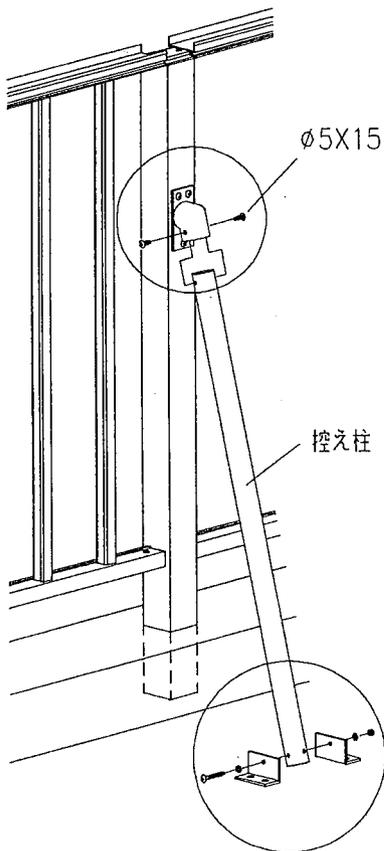
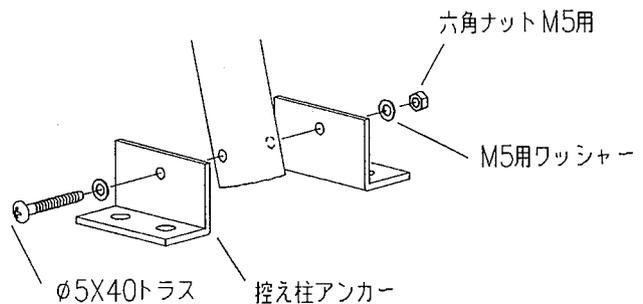
- 控え柱の下部（埋め込み部）に控え柱アンカーを $\phi 5 \times 40$ トラス及びナットで取付けます。控え柱を控え柱ブラケットに差し込み $\phi 5 \times 15$ トラスで固定してください。



控え柱上部



控え柱下部



## 7 方立柱の取付け

### 1) 方立柱下部の取付け

#### ① パラペット付きタイプ

- 通しボルト (M8X30) を取付けます。
  - 柱ライナー、方立金具 (下) を通しボルトで固定してください。
- ※ライナーはパラペットの形状により選んで使用してください。

柱ライナーの向きに注意してください。

- 方立金具が方立柱の中に入るようにセットして六角ボルト M8X65 及び袋ナットで固定してください。

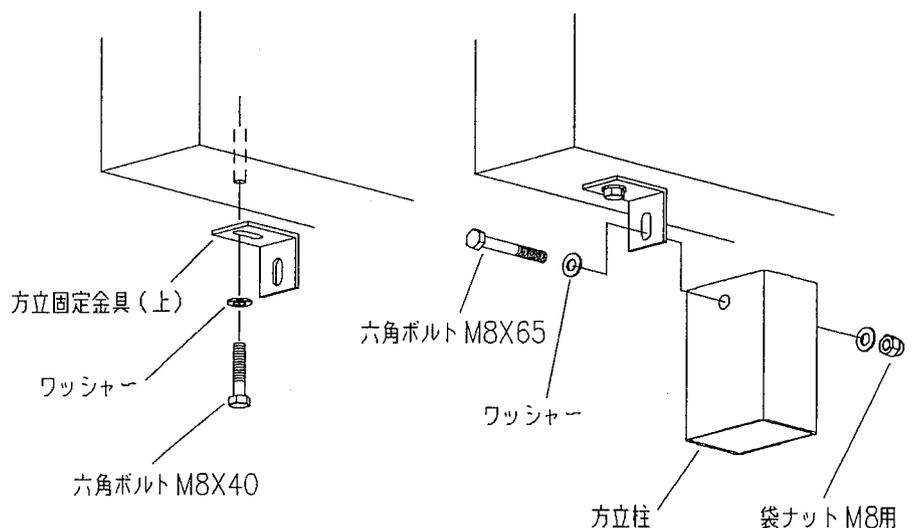
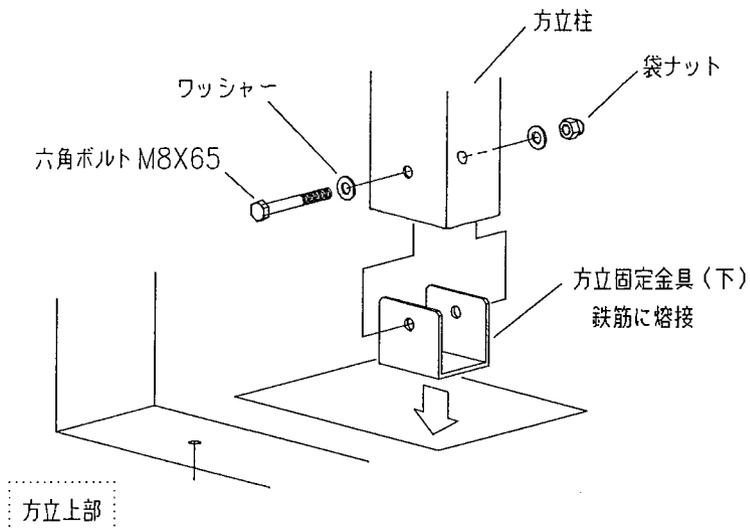
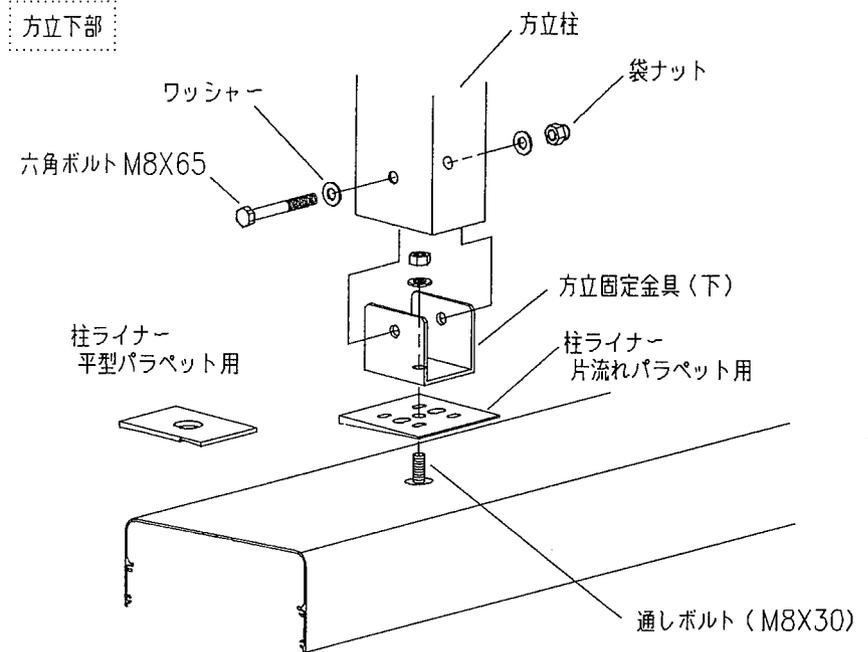
#### ② 柱埋め込みタイプ

- 方立固定金具 (下) を鉄筋に溶接して取付けます。
- 方立金具が方立柱の中に入るように、セットして六角ボルト M8X65 及び袋ナットで固定してください。

### 2) 方立柱上部の取付け

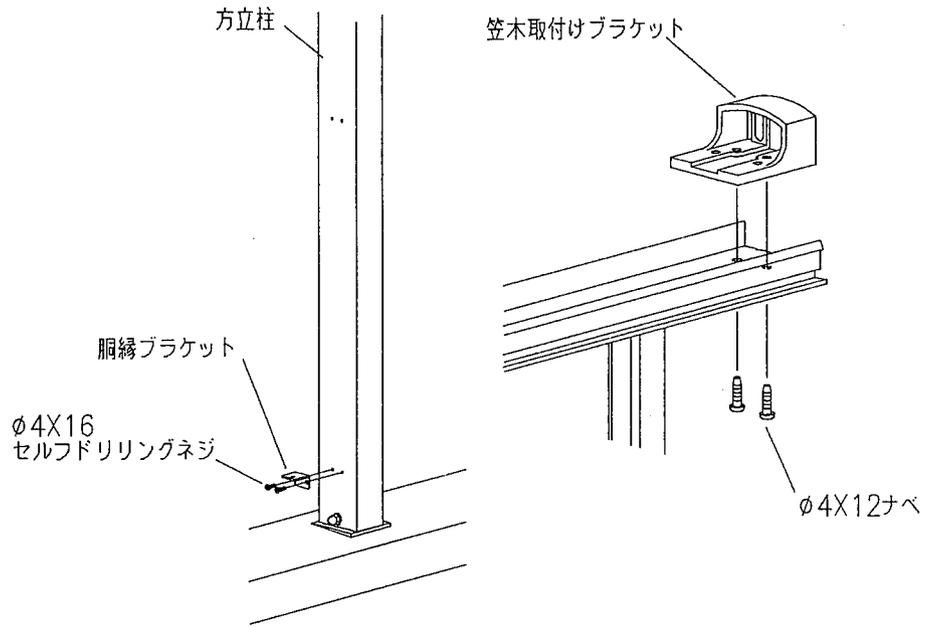
- 上部たれ壁にコンクリート用アンカーを埋め込み、方立固定金具 (上) を取付けてください。
- 方立柱を六角ボルト M8X65 及び袋ナットで方立固定金具 (上) に取付けてください。

注) 方立柱が垂直になる用に固定してください。

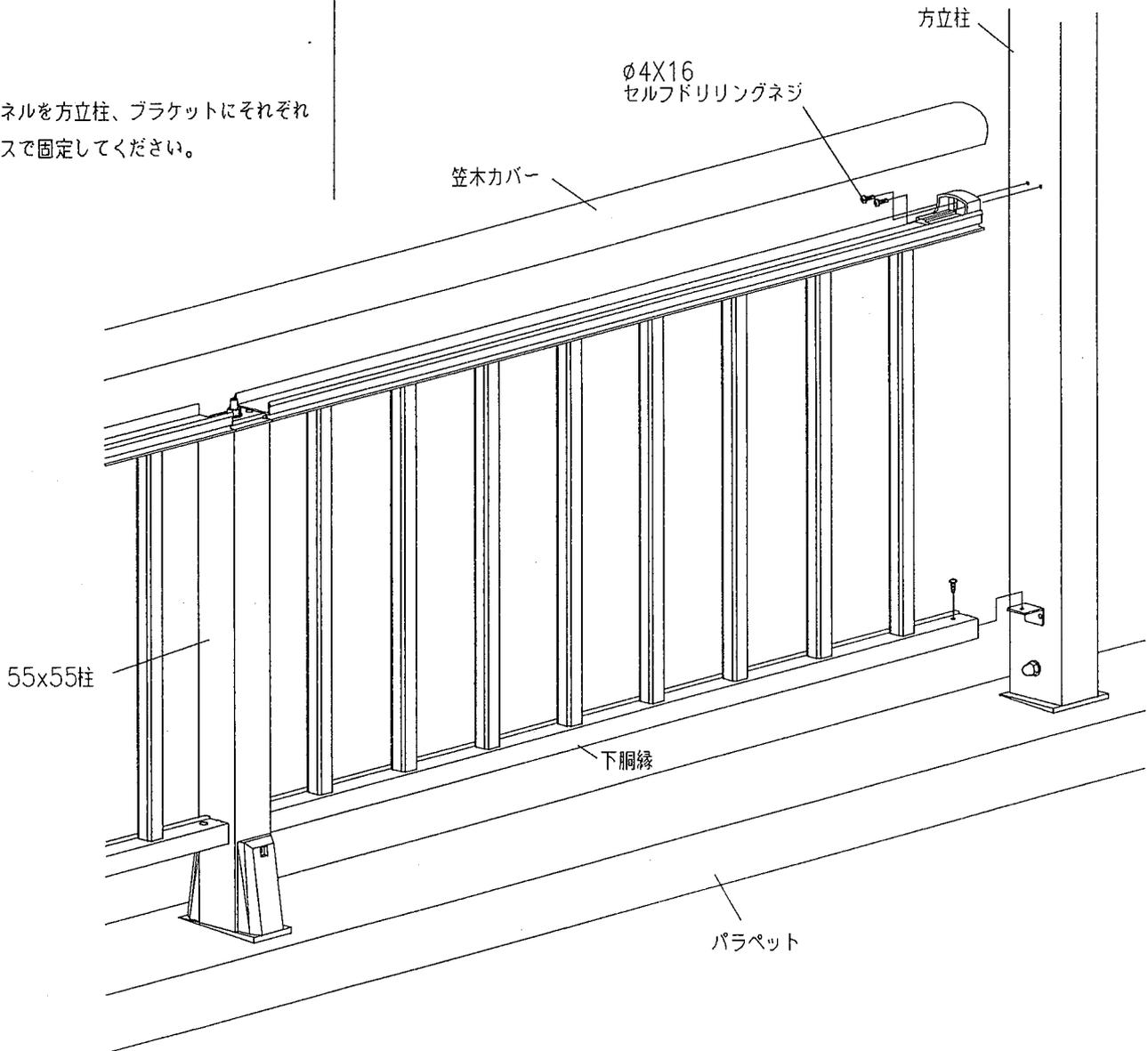


### 3) パネルの取付け

- 方立柱に胴縁ブラケットをビスで固定します。
- 笠木兼上胴縁に笠木取付けブラケットを取付けます。



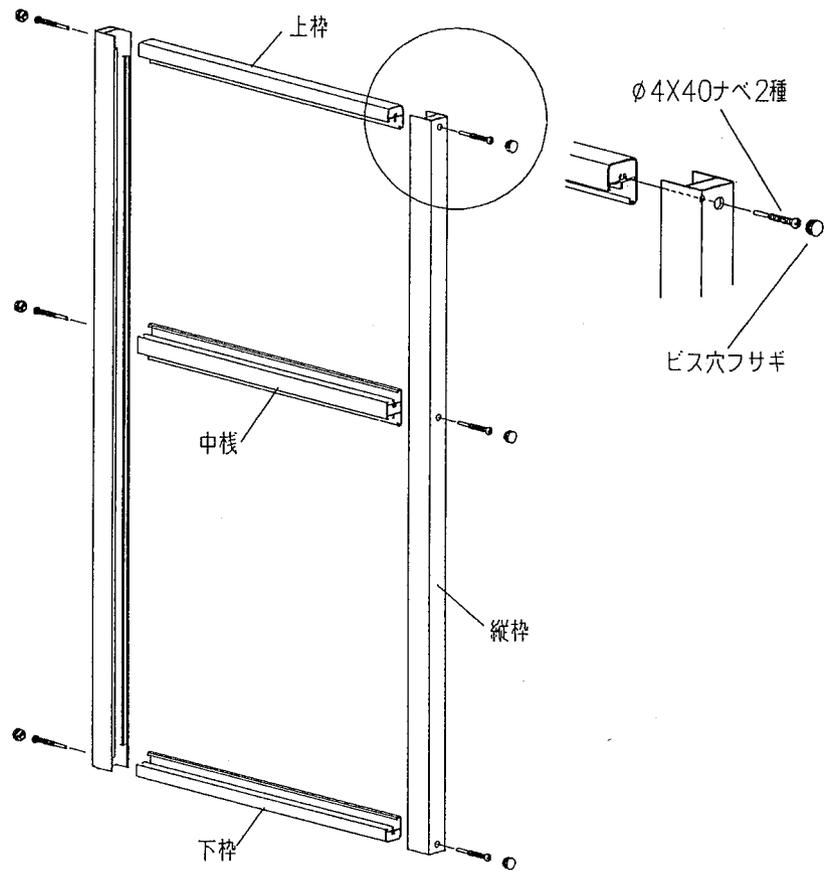
- パネルを方立柱、ブラケットにそれぞれビスで固定してください。



## ⑧ 隔て板の取付

### ① 枠の組立

- 隔て板をφ4X40ナベビスで組立てます。



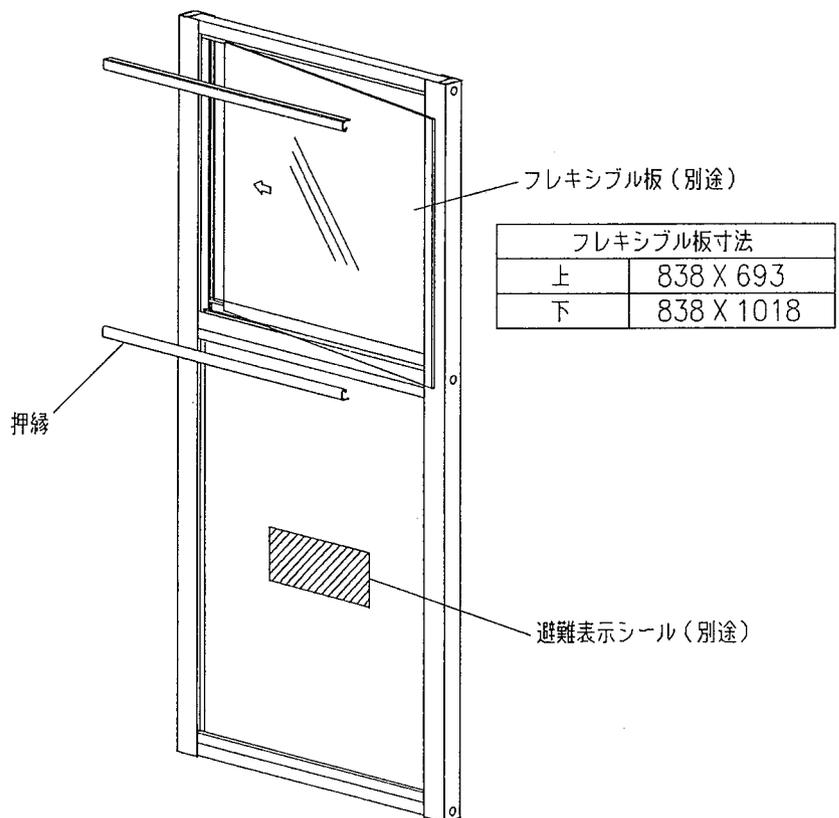
### ② フレキシブル板の組み込み

- 隔て板の枠にフレキシブル板を押縁、後付けビードを使って組み込みます。

(20m巻)

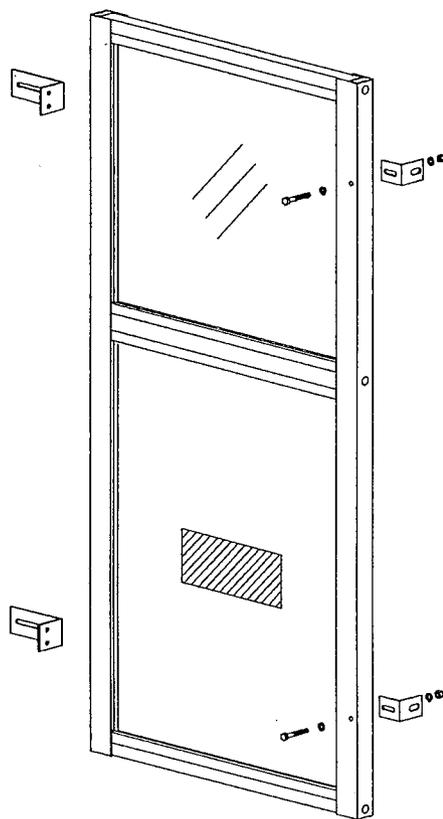
板厚	後付けビード
3mm	GBY3B
4mm	GBY4B
5mm	GBY5B
6mm	GBY6B

- 隔て板に避難表示シールを貼り付けてください。(別途)



### ③ 部品の取付け

- 隔て板壁取付け側の縦枠に、壁取付け金具を六角ボルト M6X65及び袋ナットで取付けます。  
(金具の方向に注意してください。)
- 隔て板方立取付け側の縦枠に、壁取付け金具を $\phi 5 \times 16$ セルフドリリングネジで取付けます。



#### 方立側

方立取付け金具

$\phi 5 \times 16$   
セルフドリリングネジ

#### 壁側

壁取付け金具

ワッシャー

袋ナット

ワッシャー

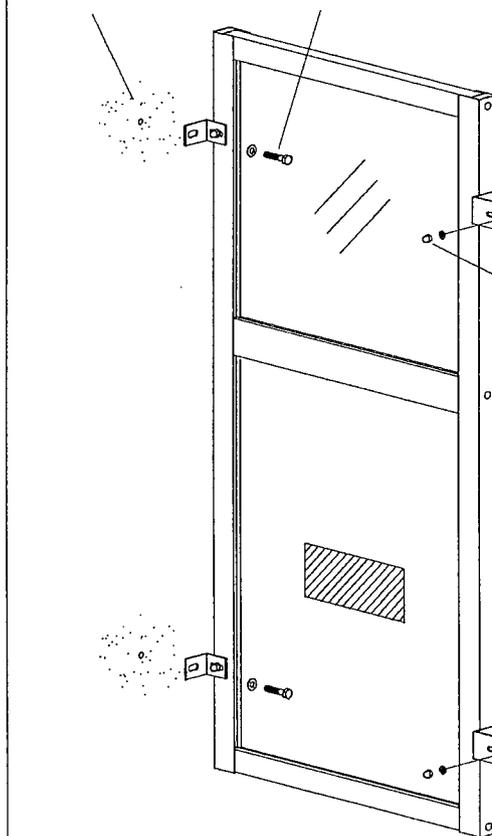
六角ボルト M6X45

### ④ 方立柱への取付け

- 隔て板取付け位置にコンクリート用アンカーを打ち込み、隔て板に取付けた壁取付け金具を六角ボルト M8X40で取付けてください。
- 方立柱側は、方立柱に隔て板に取付けた方立取付け金具の位置に合わせて、 $\phi 6.5$ の貫通孔をあけて六角ボルト M6X65及び袋ナットで取付けます。

コンクリートアンカー

六角ボルト M8X40



六角ボルト M6X65

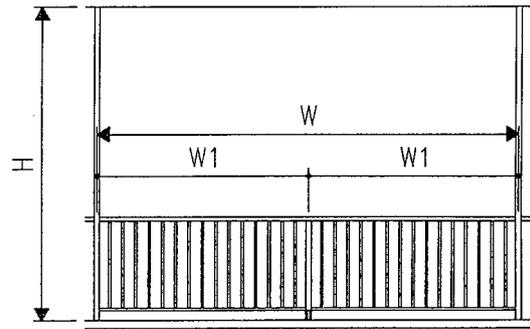
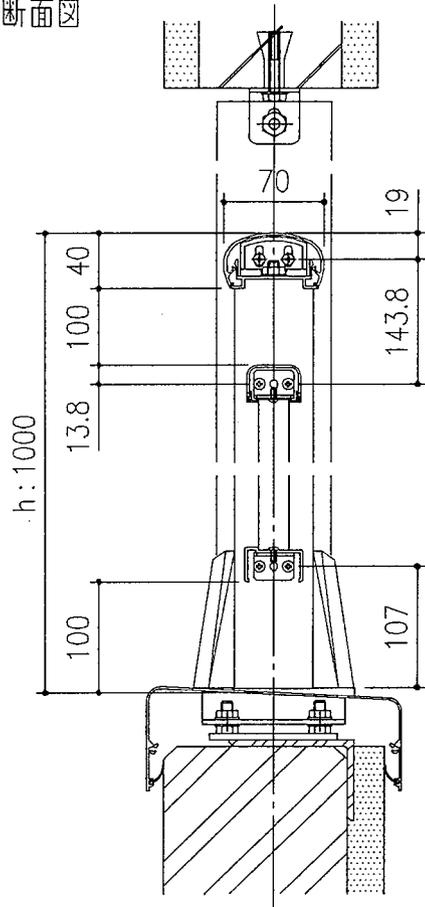
ワッシャー

袋ナット

方立柱

$\phi 6.5$ 貫通孔

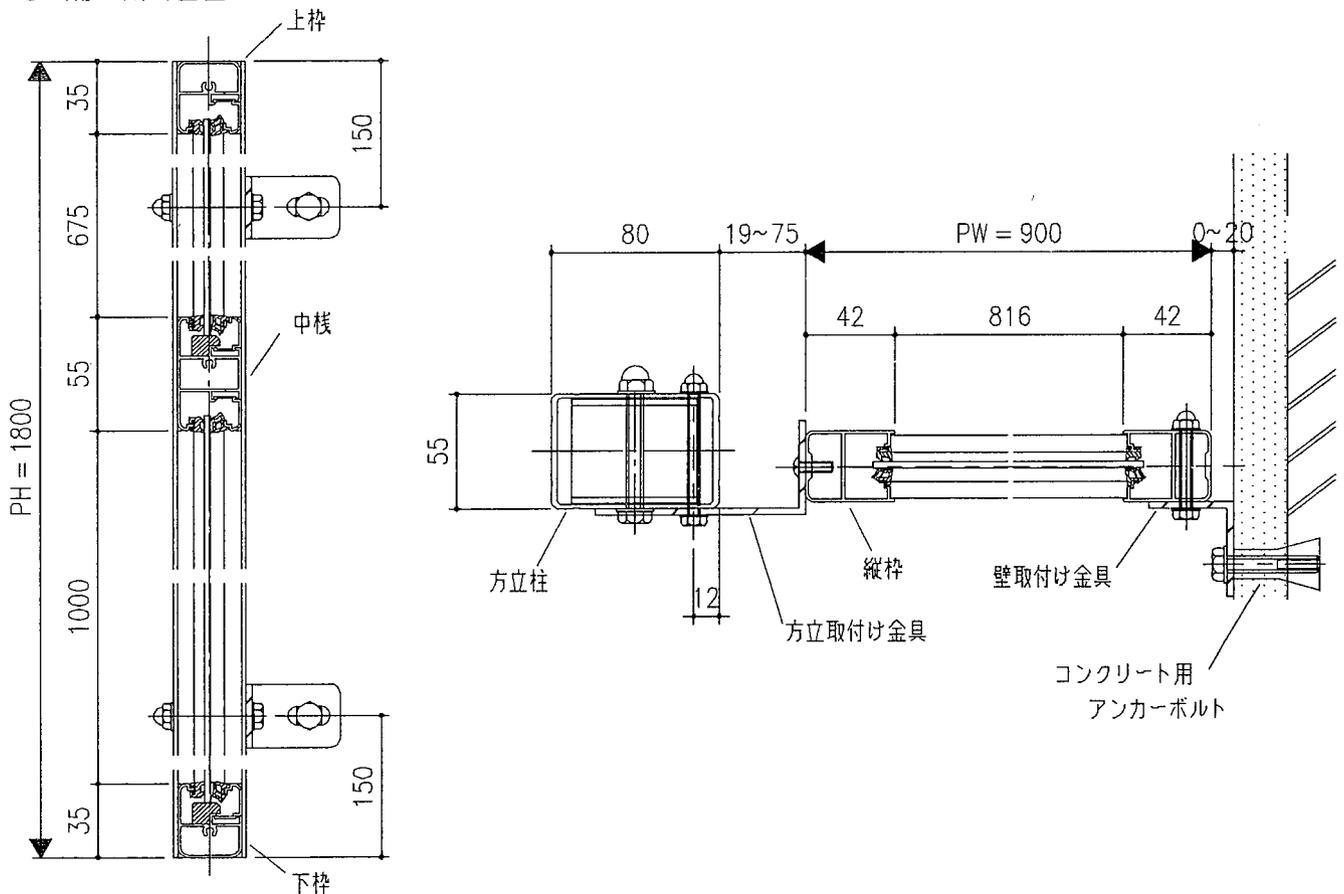
◎ 方立仕様断面図



集合住宅の非共用部にご使用になる場合

- 1 方立柱間隔 W: 4000mm以下
- 2 柱(55角)間隔 W1: 2000mm以下  
間柱(25X40)を使用する場合の柱間隔は、1000mm以下

◎ 隔て板断面図



## ⑨ 角度自在金具の取付け

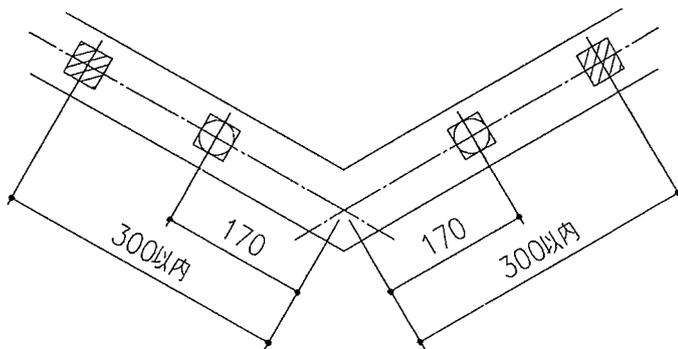
### 1) ベースアンカーの取付け

- コーナー部柱ピッチが300mmを越えないように、柱固定用ベースアンカーを取付けてください。

- パラペット固定用ベースアンカーは、コーナー部より170mmの場所に取付けてください。

柱埋め込みタイプの場合

- コーナー部から300mmを越えない位置に柱を埋め込んでください。



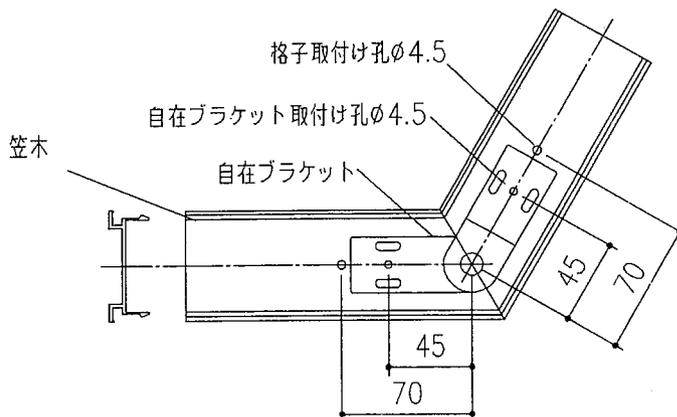
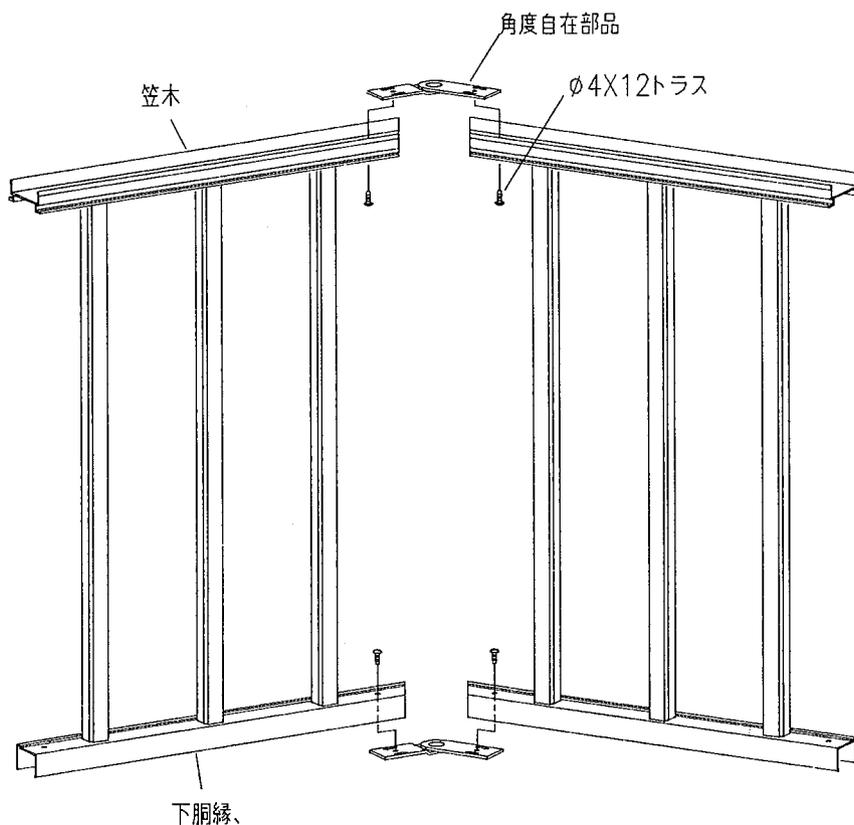
○ パラペット固定用ベースアンカー  
 ◻ 柱取付け用ベースアンカー

### 2) 各部材の取付け

- パラペット、笠木、笠木カバー、上胴縁、下胴縁のそれぞれの部材を躯体の角度に合わせて切断してください。

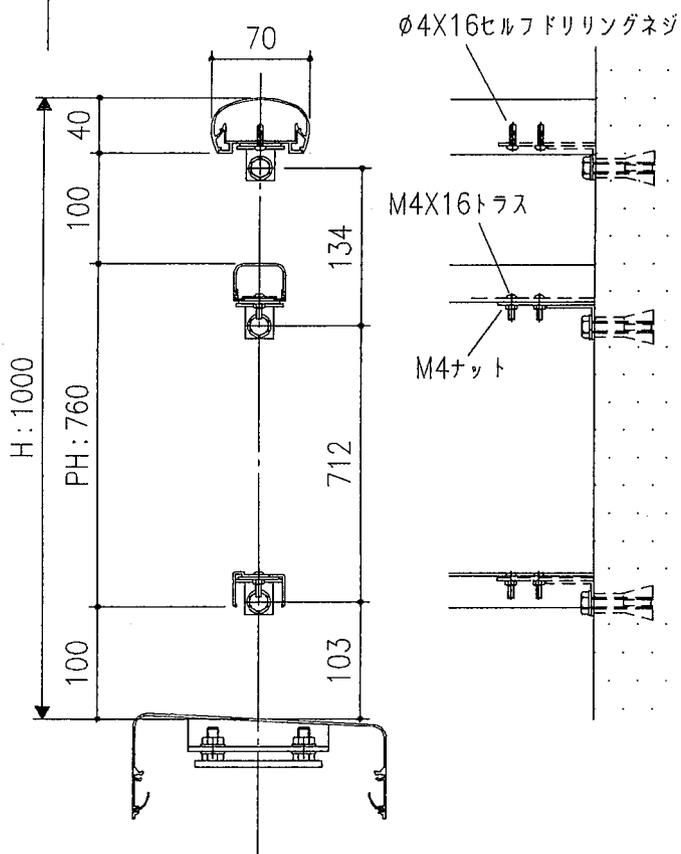
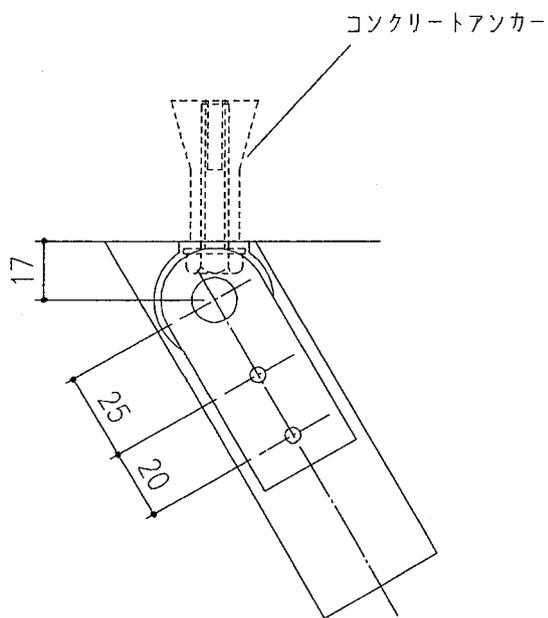
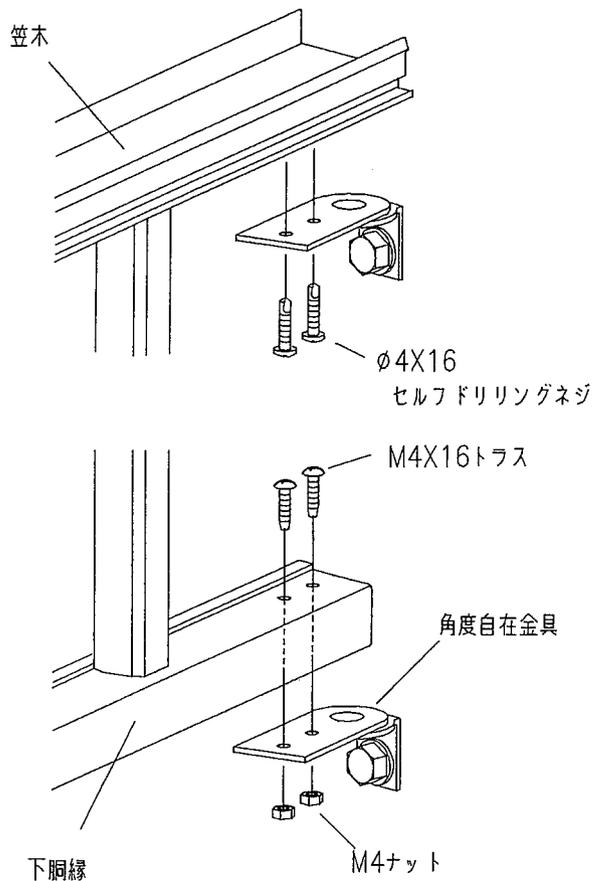
- 笠木、上胴縁、下胴縁は角度自在部品に合わせて、 $\phi 4.5$ の穴加工をした後コーナー部を組み上げてください。  
 (寸法は右下図参照)

- コーナー部の格子の取付け穴加工位置は中心より70mmの位置に $\phi 4.5$ の孔をあけてください。



### 3) 壁付け角度自在部品

- 壁の角度に合わせて、笠木、上下胴縁、バラベットの切断してください。
- 笠木及び胴縁に穴加工してください。  
(下図参照)
- 金具をそれぞれの位置にコンクリートアンカーで取付けてください。(下孔 $\phi$ 14X50の孔明け)
- 笠木及び胴縁をM4X16ビス、 $\phi$ 4X16セルフドリリングネジで金具に取付けてください。

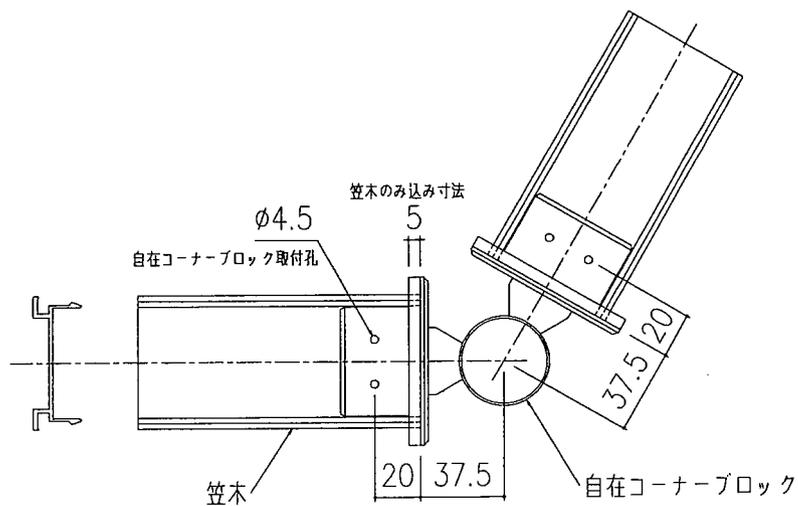
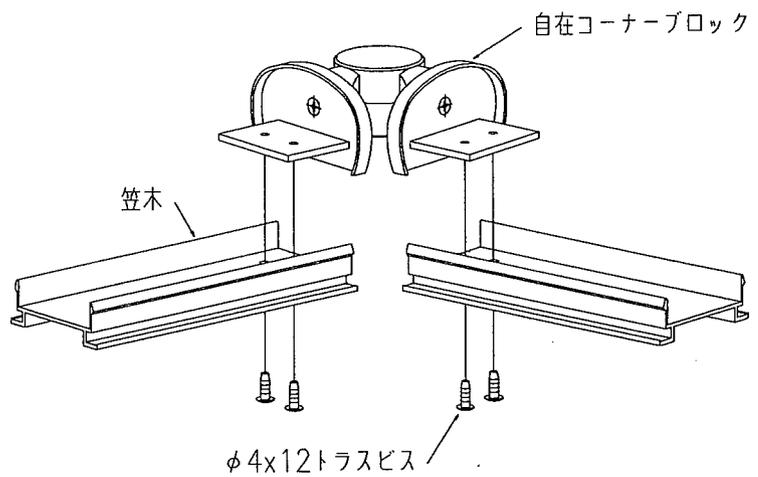
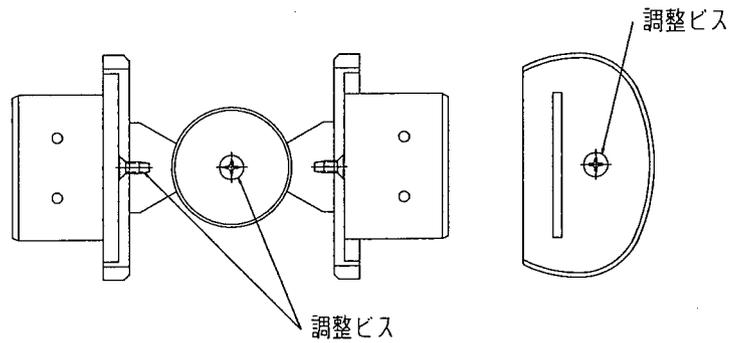


#### 4) 自在コーナーブロック

- ・ 笠木にφ4.5の孔加工をしてください。  
(下図参照)
- ・ 現場に合わせて自在コーナーブロックを  
2本のビス(調整ビス)で  
角度を調整してください。
- ・ 笠木に自在コーナーブロックを  
φ4×12トラスビスで固定してください。

水平方向 95~265° 回転可能です  
鉛直方向 60~300°

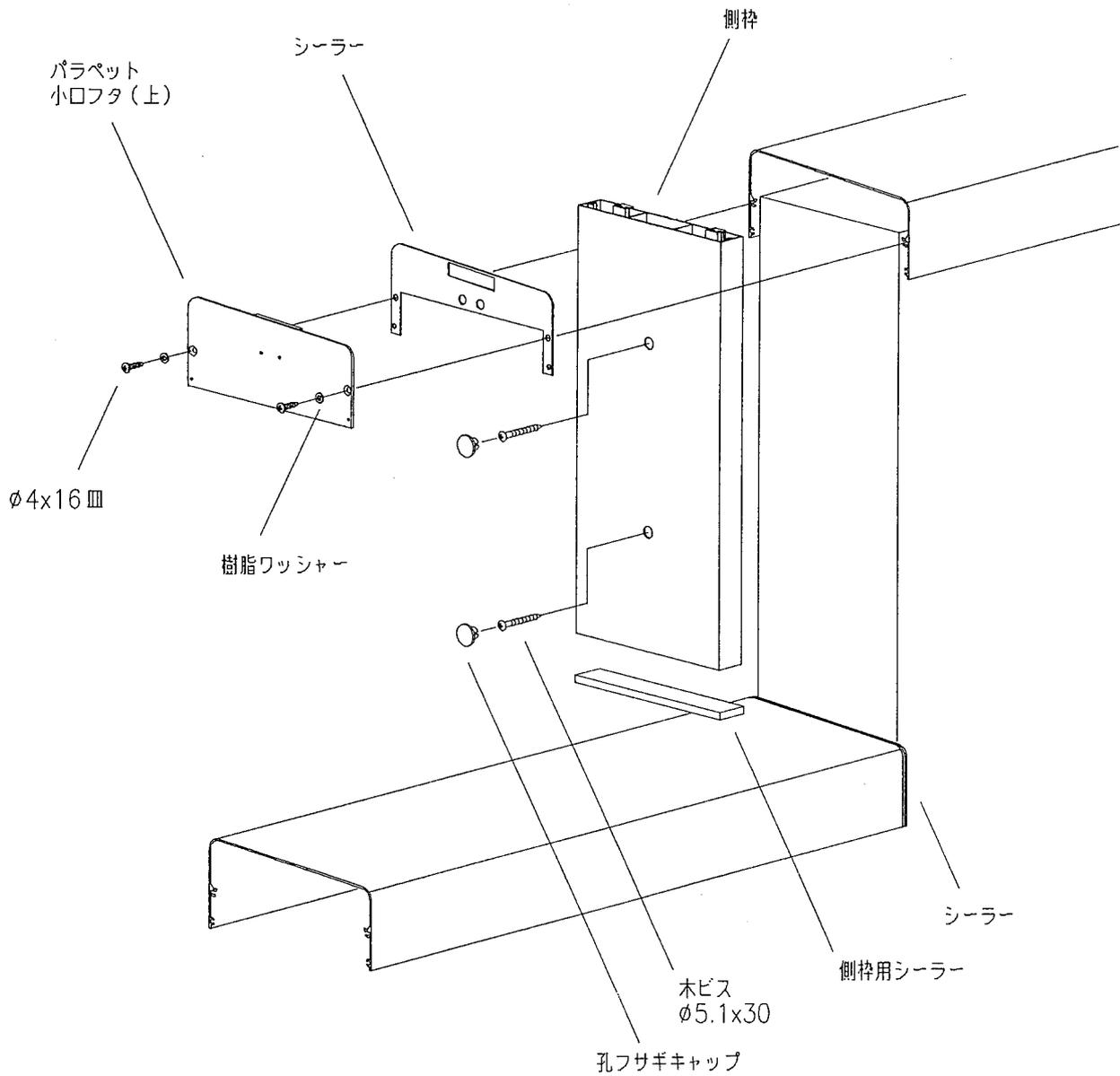
- ※ 自在コーナーブロックの芯より  
100mm離れた位置に  
柱を取付けてください。



## 10 側枠の取付け

- 上下パラペットを取付けてから、躯体とパラペット小口フタ（下）の間をシールしてください。  
\* 上パラペットは、躯体面より25mmほど出して取付けてください。
- 側枠の上下面を確認してシーラーを貼り付け、パラペットに圧着させながら木ビス $\phi 5.1 \times 30$ で取付けてください。
- 孔にキャップを付けます。
- パラペット小口フタにシーラーを貼り、 $\phi 4 \times 16$  皿ビスで取付けてください。。

\* 片流れパラペット仕様の場合は、189ページの加工図を参照してください。



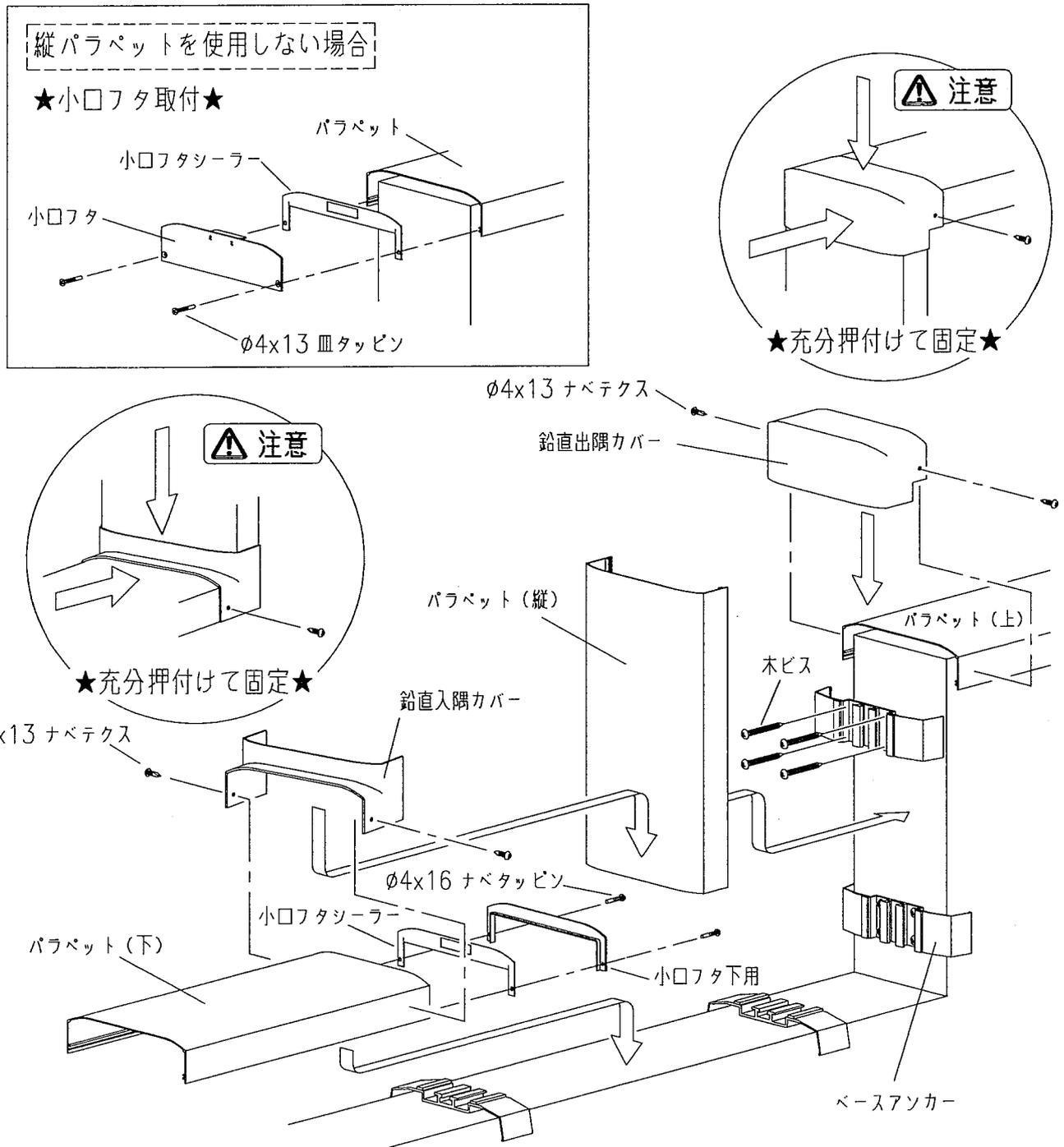
## 11 縦パラペットの取付け

・下側になるパラペット端部に小口シーラーを挟んで、小口フタ下用を $\phi 4 \times 16$  ナベタップピンで固定して下さい。

**注意** 電気ドリル等で、強く締め過ぎないで下さい。樹脂部品ですので、破損の恐れがあります。

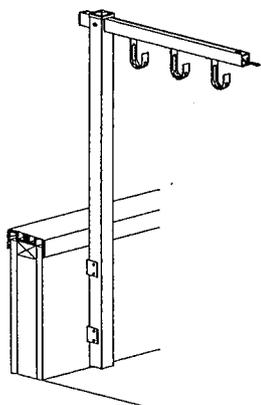
- ・上下パラペットをベースアンカーに嵌め込んで下さい。
- ・小口フタ下用と、躯体の間にシーリングをして下さい。
- ・縦用パラペットをベースアンカーに嵌め込んで下さい。
- ・上下 出入隅に鉛直カバーを $\phi 4 \times 13$  テクスビスで固定して下さい。

**注意** コーナーカバーを取付ける際は、パラペットに充分押し付けて（図参照）固定して下さい。



## 12 物干し・テラス柱の取付け

### 1) 壁付け仕様



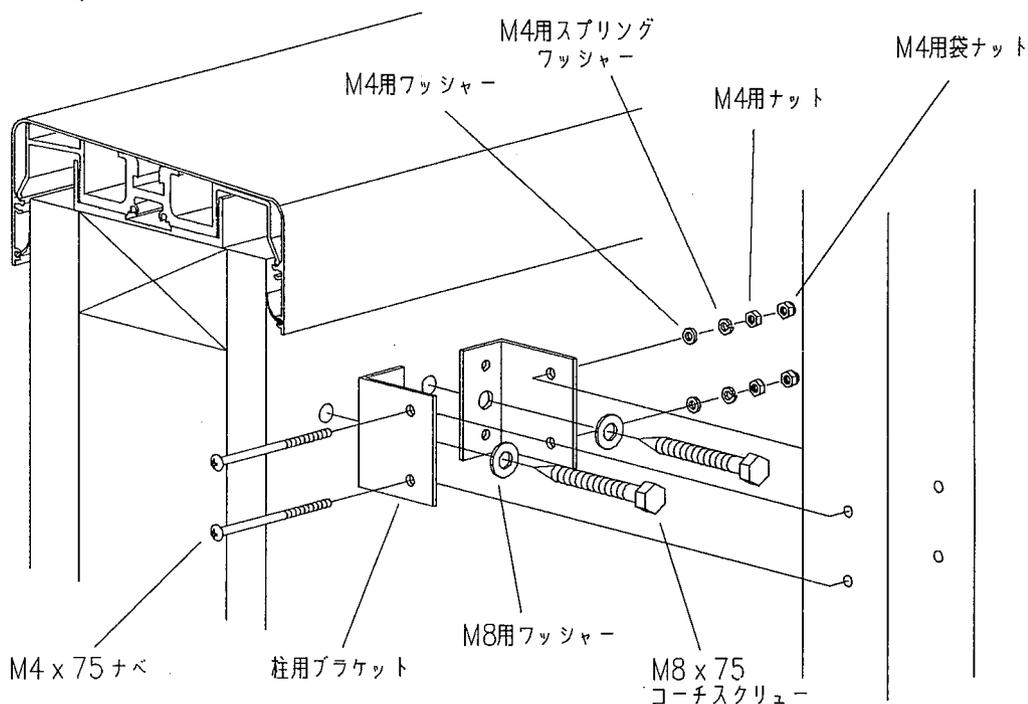
- コーチスクリューで柱用ブラケットを躯体に取付けます。  
(取付け寸法は、下図を参考にしてください。)

※ 躯体に合わせて木ビス (φ4.5x45) もご使用ください。

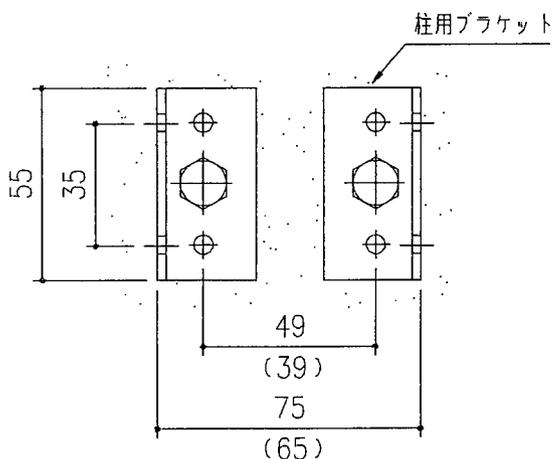
- 取付いている柱用ブラケットをガイドにして、柱にφ5の孔加工をしてから、φ4x75ナベを通し、M4用袋ナットで固定してください。

注1) 柱用ブラケット取付け位置の壁の後ろに、間柱があることを確認してください。

注2) 雨漏れ防止のため取付け穴には、必ずコーキングしてください。



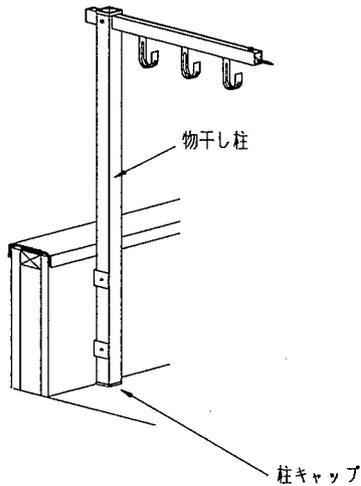
< 柱ブラケット取付幅 >



※ ( ) 寸法は、60角柱使用の場合です。

# 物干し柱の取り付け

## <壁付け仕様>



- 柱下端に 柱キャップをテクスビスで固定してください。
- 柱固定ブラケットの高さを決めて ビス (φ5X65ナベ) 固定してください。

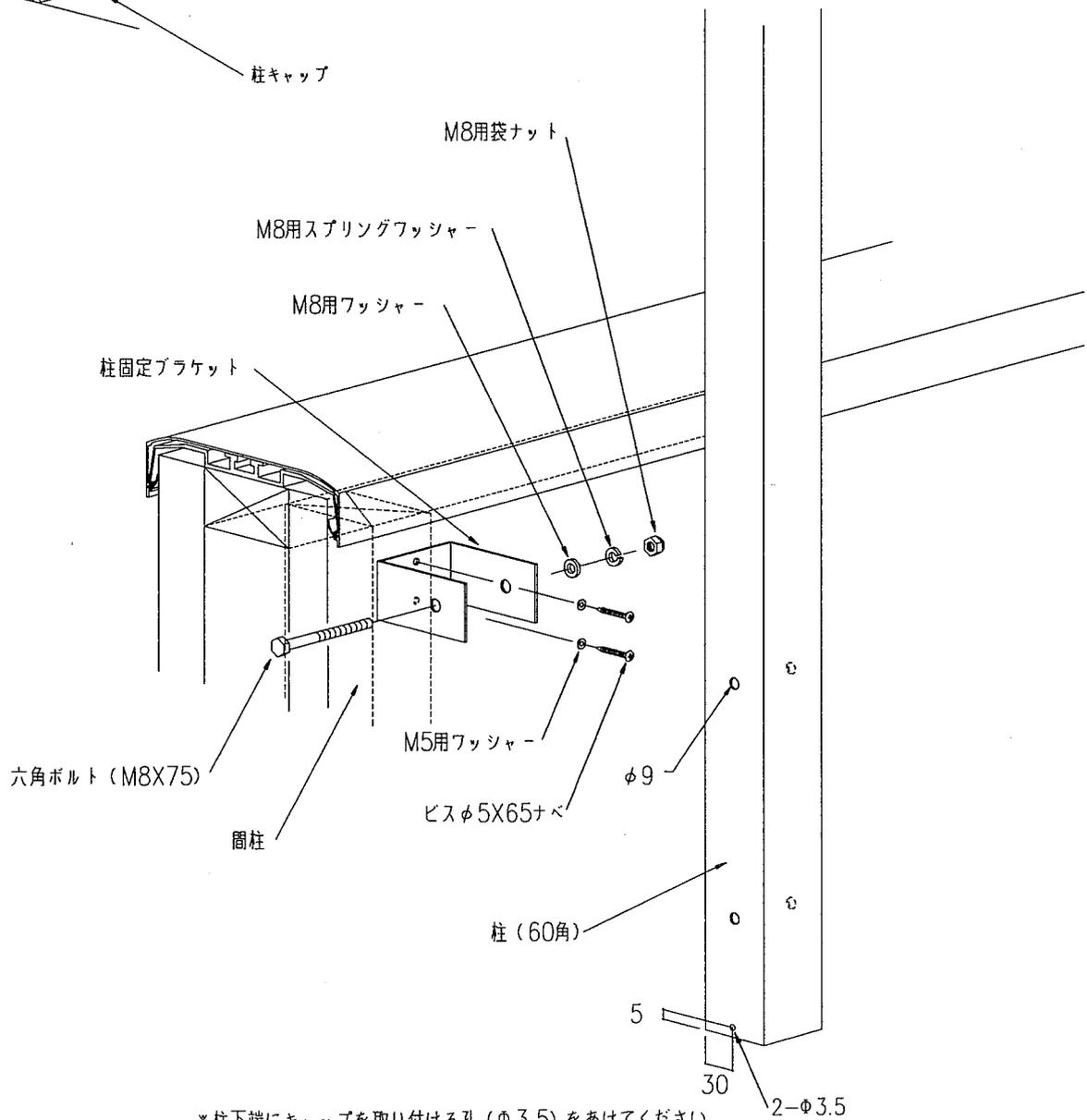
### ⚠ 注意

- ※ ビスの下孔はφ3.5 深さ45mm以下にしてください。
- ※ ビスの下孔には、シーリング材 (変性シリコン: 別途) を充填してください。
- ※ 柱用ブラケット取付け位置の壁の後ろに間柱があることを確認してください。

- 取付けた柱固定ブラケットをガイドにして、柱中央にφ9の孔加工をしてから、六角ボルト (M8X75) を通し、袋ナットで固定してください。

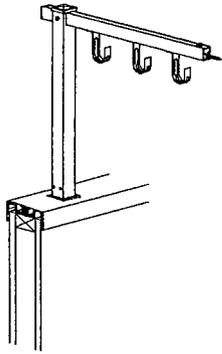
### ⚠ 注意

- ※ 柱固定ブラケットがテラスの柱から出ないように孔明けしてください。



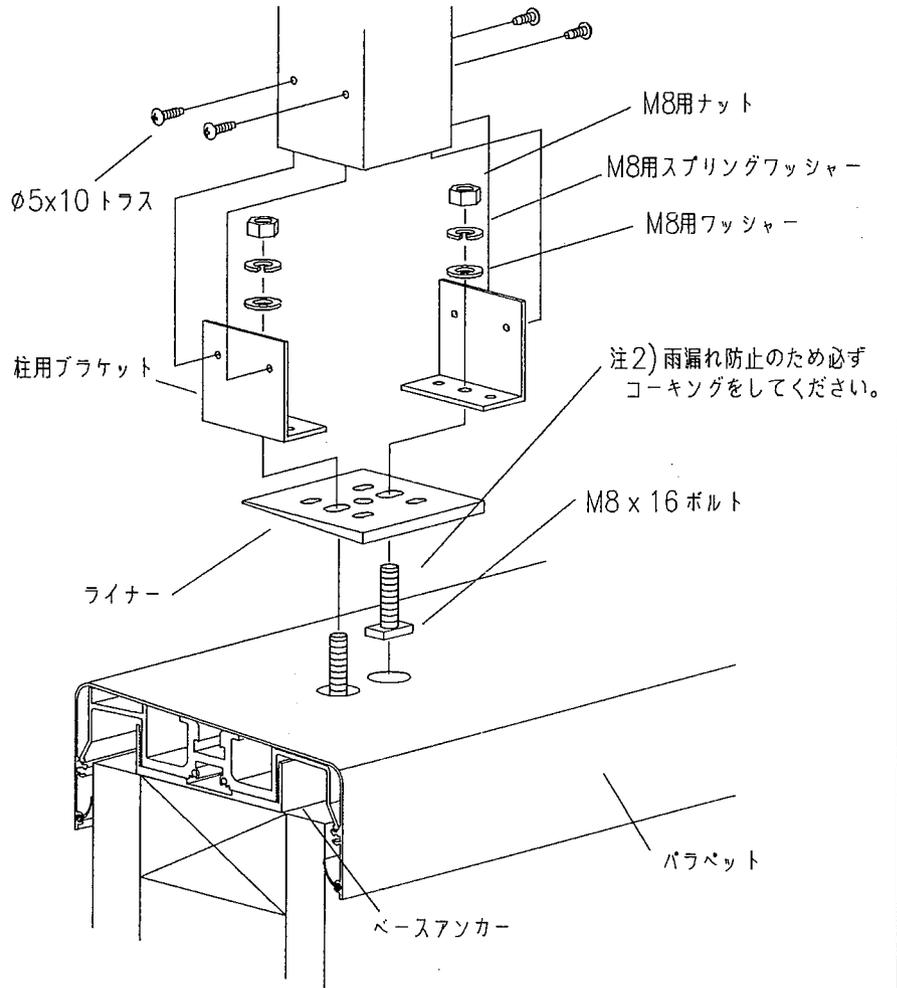
※ 柱下端にキャップを取り付ける孔 (φ3.5) をあけてください。

## 2) ライナー仕様

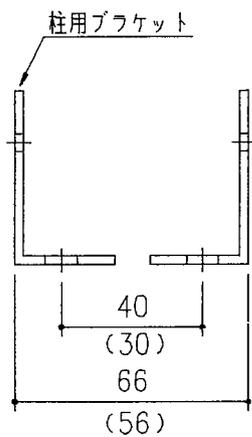


- パラペットに $\phi 20$ 、柱に $\phi 6$ の孔加工をしてください。
- ベースアンカーにM8x16ボルトを差し込み、ライナー・柱用ブラケットを通してM8用ナットで固定します。
- 柱と柱用ブラケットを $\phi 5 \times 10$ トラスで取付けてください。

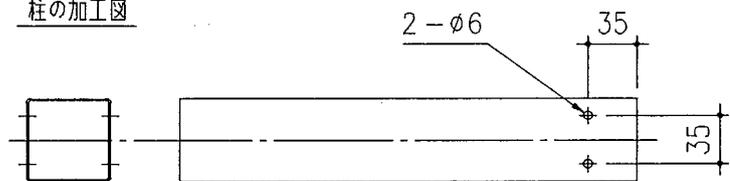
注1) ライナーの下位置にベースアンカーが付いていることを確認してください。



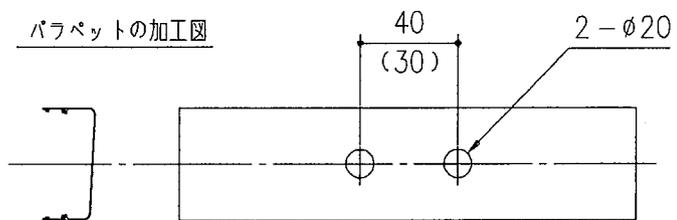
柱ブラケット取付け幅



柱の加工図

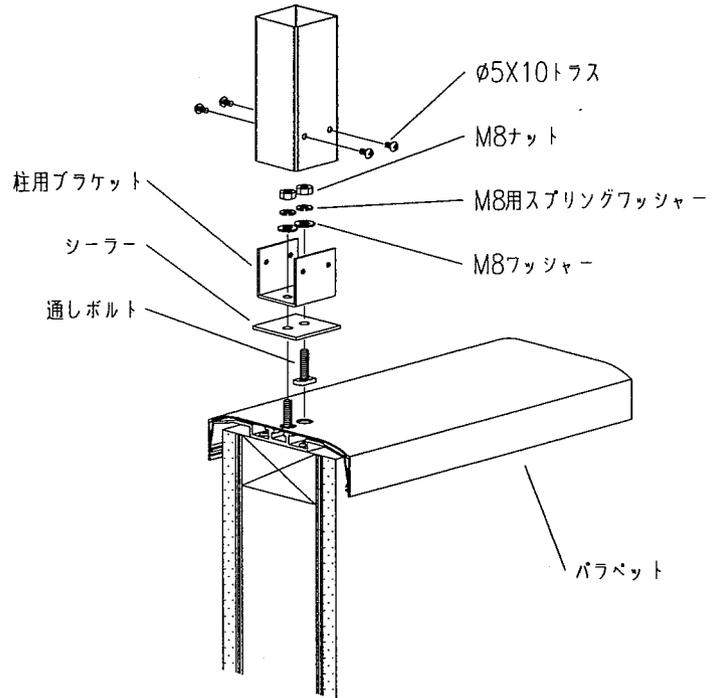
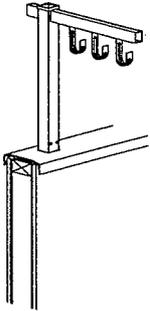


パラペットの加工図



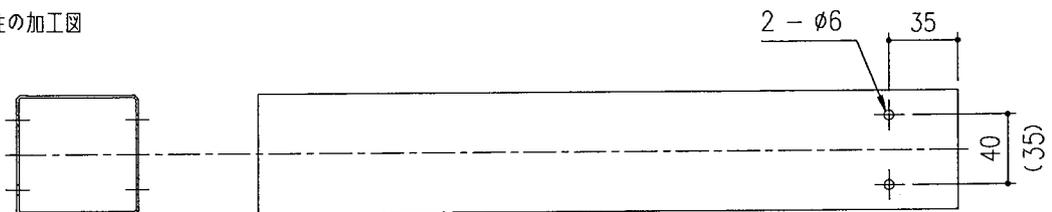
※ ( ) 寸法は、60角柱使用の場合です。

ベランダ用柱固定ブラケット

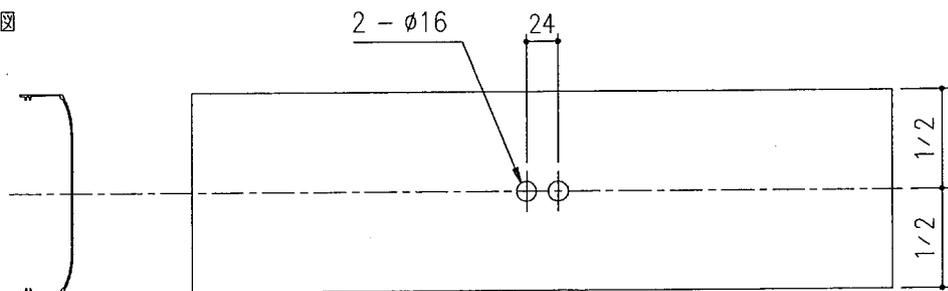


- ・ブラケットにφ16、柱にφ6の孔加工してください。
- ・ベースアンカーに通しボルトを差込みシーラー・柱ブラケットを通してM8用ナットで固定します。
- ・柱と柱用ブラケットをφ5X10トラスで取付けてください。

柱の加工図



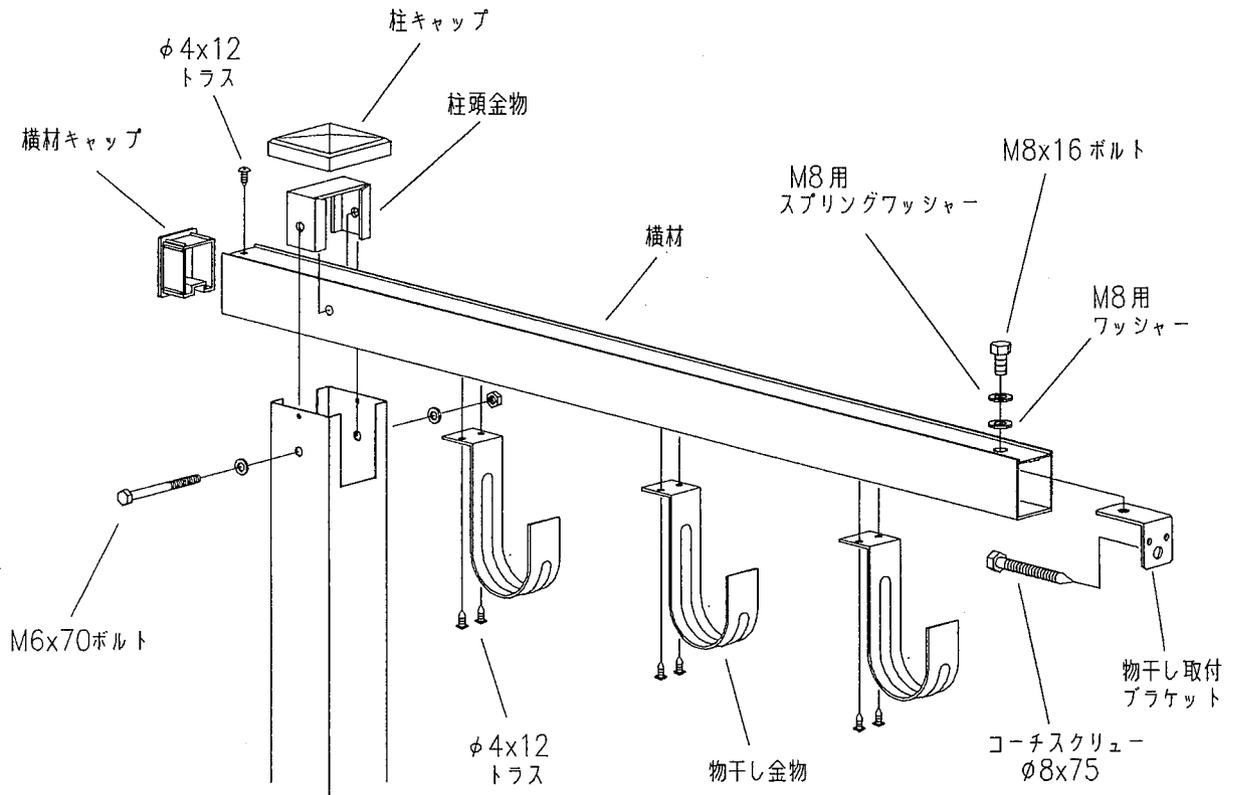
柱の加工図



\* ( ) 寸法は60角柱使用の場合です。

### 3) 物干しの取付け

- 横材を柱の切欠き部に入れ、壁側に物干し取付ブラケットを取付けます。
- 柱に柱頭金物をかぶせ、M6x70のボルトを通し、ナットで固定します。
- 物干し金物は、横材に $\phi 3.5$ の孔加工をして $\phi 4 \times 12$ トラスで取付けてください。

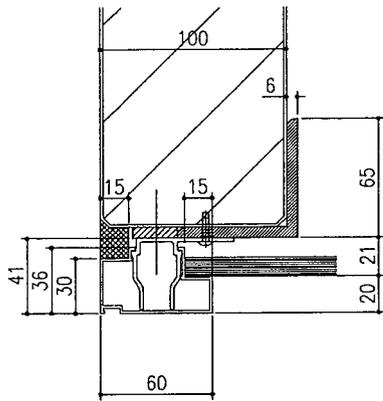


### 4) テラスの接続

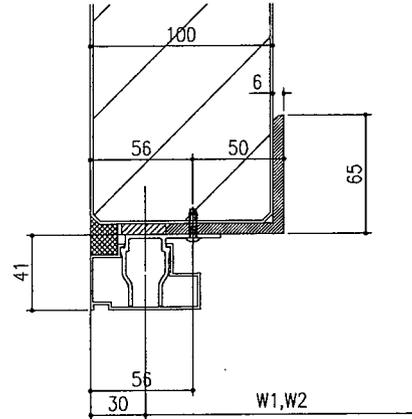
- テラスの取付けは、テラス本体の取付説明書を参照してください。

■ 下笠木取付け

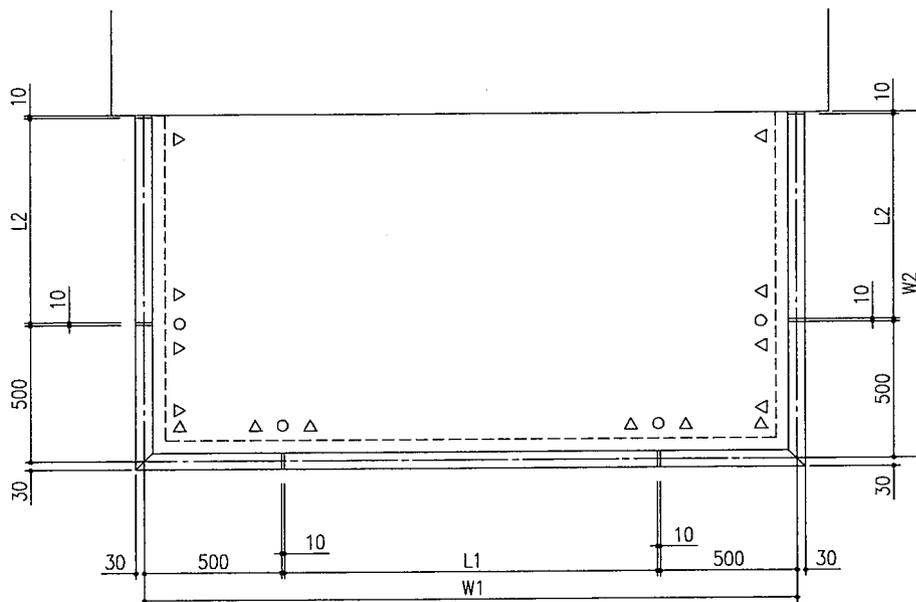
● 下笠木 (60)



下笠木 (60) ALC納まり



下笠木 (60) 取付け位置



● 下笠木 (60) 天井伏図

\*○ 印は下笠木コーキング受け位置

\*△ 印は下笠木ベースアンカー位置 (下笠木ベースアンカーの間隔は1000mm以内にして下さい)

(1) 下笠木と下笠木、躯体の間隔は10mm 明けてください。

(2) W1 は下笠木の芯芯寸法、W2 は 躯体面から下笠木芯寸法です。

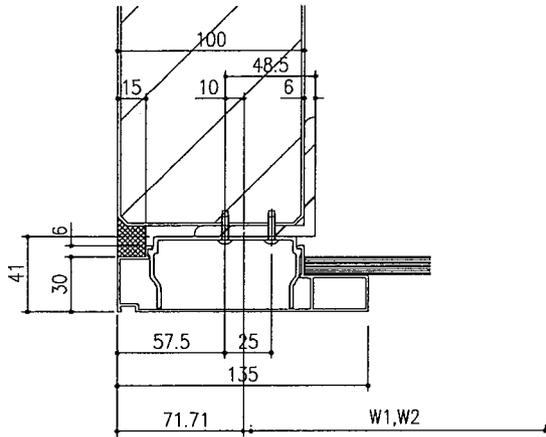
(3) 下笠木の切断寸法(上図天井伏図参照)

●  $L1 = W1 - 1020$

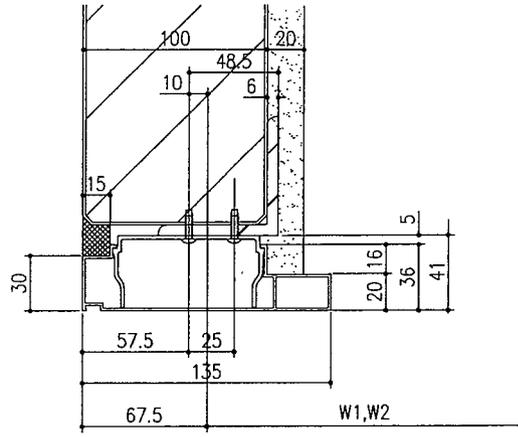
●  $L2 = W2 - 520$

■ 笠木手摺 下笠木取付け施工マニュアル

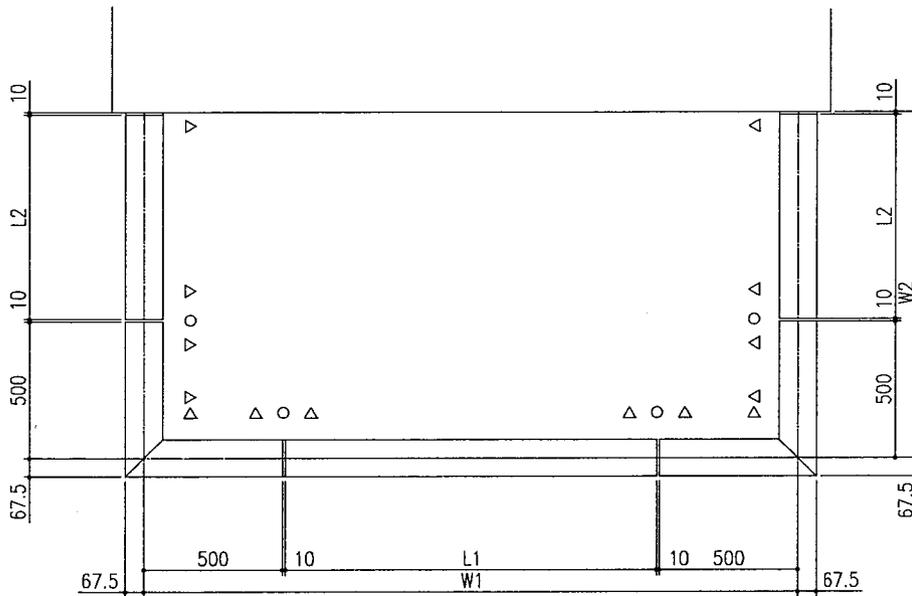
● 下笠木 (135)



1 下笠木 (135) ALC納まり



2 下笠木 (135) ALC納まり



● 下笠木 (135) 天井伏図

\*○ 印は下笠木コーキング受け位置

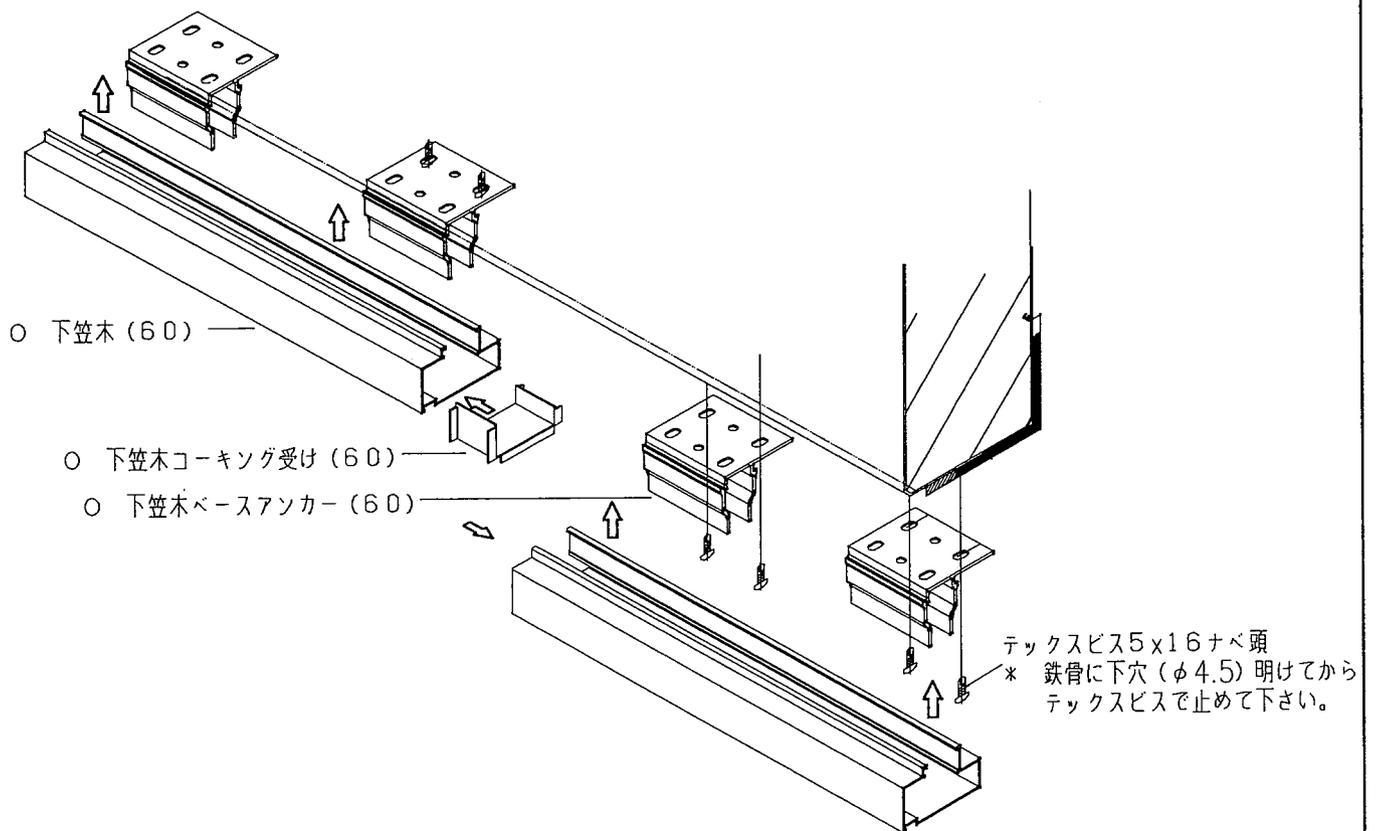
\*△ 印は下笠木ベースアンカー位置 (下笠木ベースアンカーの間隔は1000mm以内にしてください)

- (1) 下笠木と下笠木、躯体の間隔は10mm 明けてください。
- (2) W1 は下笠木の芯寸法、W2 は 躯体面から下笠木芯寸法です。
- (3) 下笠木の切断寸法 (上図天井伏図参照)

- $L1 = W1 - 1020$
- $L2 = W2 - 520$

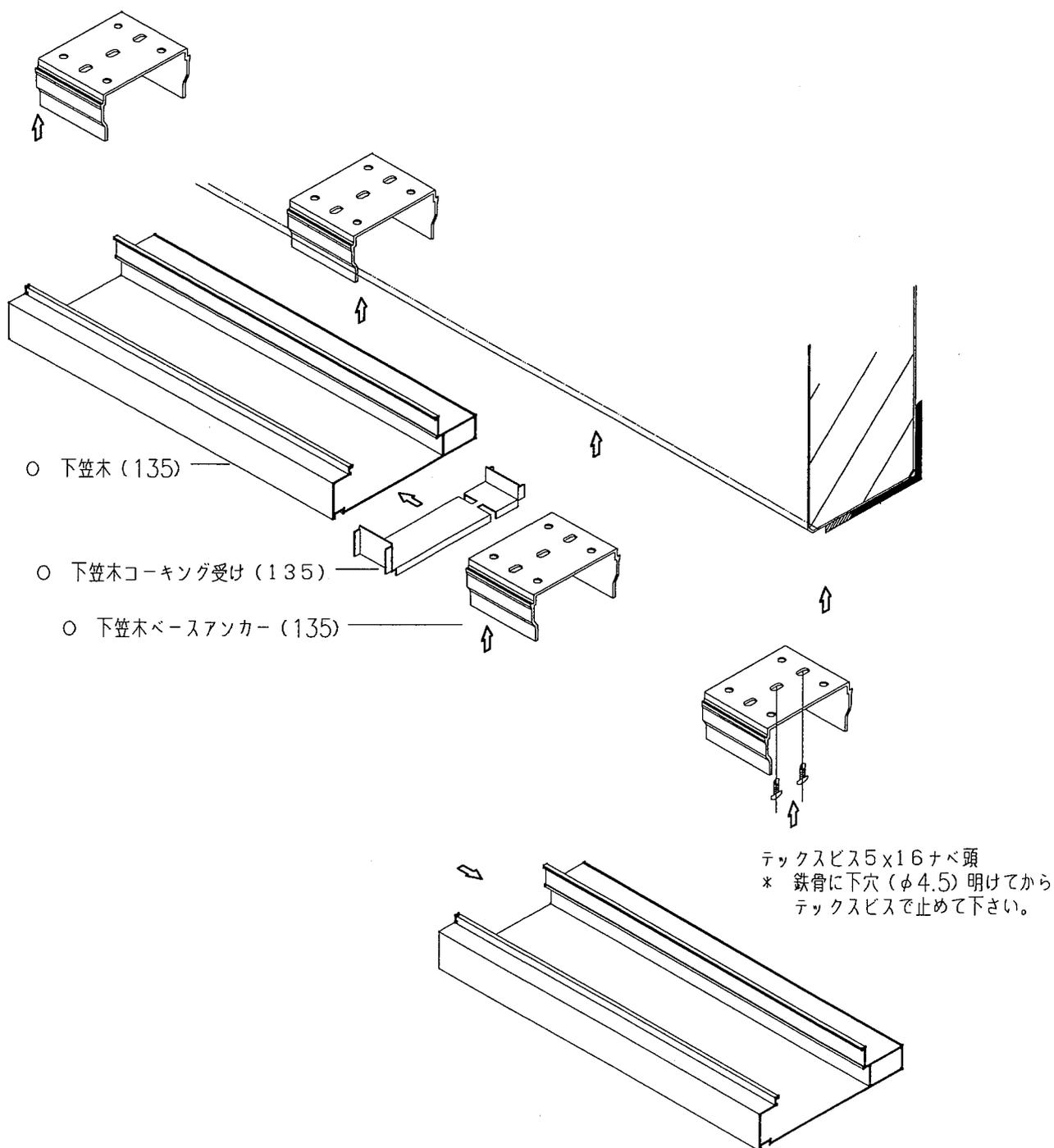
## 笠木手摺 下笠木（60）取付け方法

- 1 下笠木芯を墨出ししてください。
- 2 下笠木ベースアンカー取付け位置を決め、取付けてください。
  - 下笠木ベースアンカーの取付け位置は、納まり図、部品寸法参照。
  - 下笠木ベースアンカーを取付ける場合は、下穴（φ4.5）を明けテックスビスで止めて下さい。
  - 下記セット以外にビス等が必要な場合は、別途用意してください。
- 3 下笠木と下笠木、躯体の間はコーキングにて仕上げてください。



## 笠木手摺 下笠木（135）取付け方法

- 1 下笠木芯を墨出ししてください。
- 2 下笠木ベースアンカー取付け位置を決め、取付けてください。
  - 下笠木ベースアンカーの取付け位置は、納まり図、部品寸法参照。
  - 下笠木ベースアンカーを取付ける場合は、下穴（ $\phi 4.5$ ）を明けテックスビスで止めて下さい。
  - 下記セット以外にビス等が必要な場合は、別途用意してください。
- 3 下笠木と下笠木、躯体の間はコーキングにて仕上げてください。



## 加工図 <記号の意味>

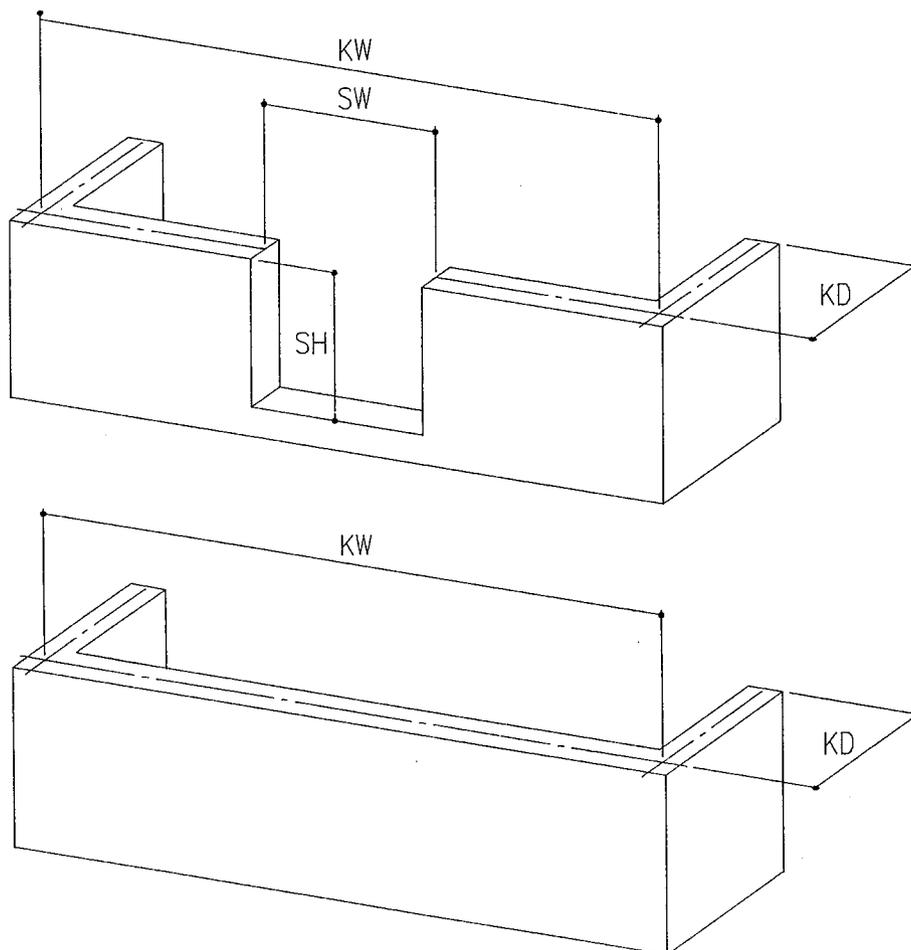
KW	: 間口パラペット芯々寸法	n	: 数値
KD	: 出巾パラペット芯から壁面寸法	S	: パネルの枚数
SW	: 躯体掘込み間口寸法	W	: 柱芯々寸法 (A3,B3,Hタイプ)
SH	: 躯体掘込み高さ寸法	W1	: 柱芯々寸法
H	: 高さ	PH	: パネル枠高さ寸法
L	: 切断寸法	PW	: パネル枠巾寸法
P	: ピッチ寸法		

※パラペットのクリアランスは、コーキング巾10mm+小口フタ2mmとし、  
躯体の出巾(KD) マイナス12mmとしています。

※パラペットの連結部は10mm(片側5mmずつ)開けて切断してください。

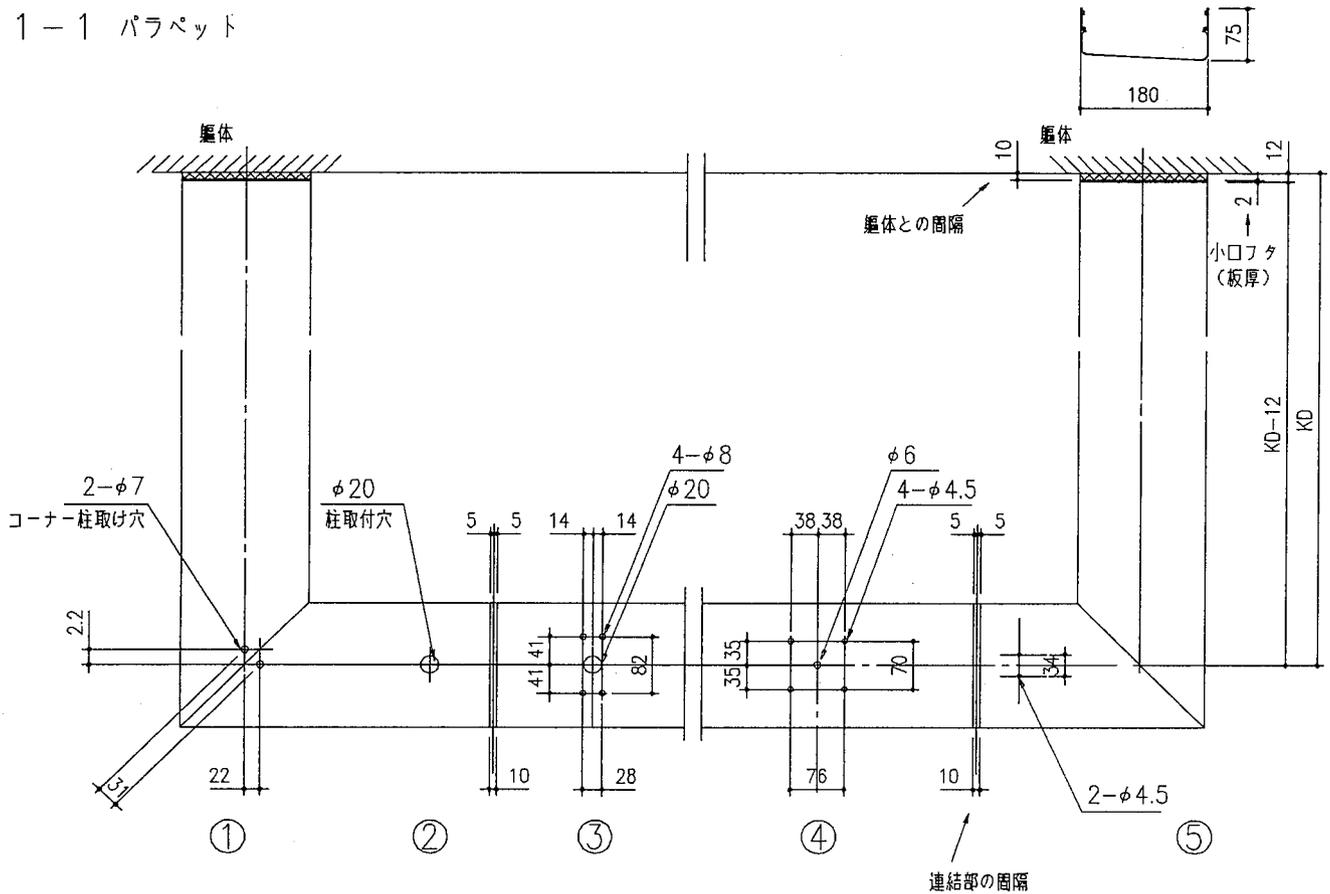
※パラペット、笠木の穴明けは、柱位置に明けてください。(A3、B3、Hタイプ笠木除く)

※笠木の躯体側の穴明けは、壁付けブラケット(YBBOX21,YBBOX40M)を使用した場合の  
加工図です。



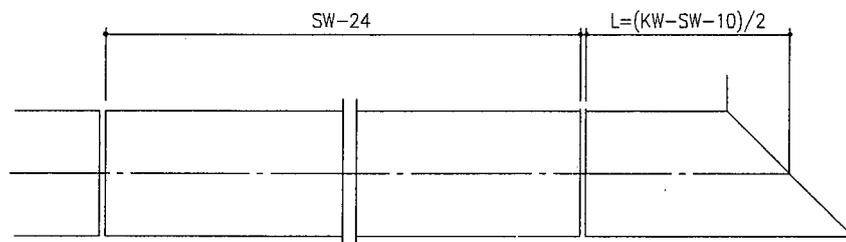
加工図 <パラペット>

1-1 パラペット



○ A2,B2タイプ (パラペット) 切断寸法公式

SW = 躯体掘込部巾 (P 156 参照)

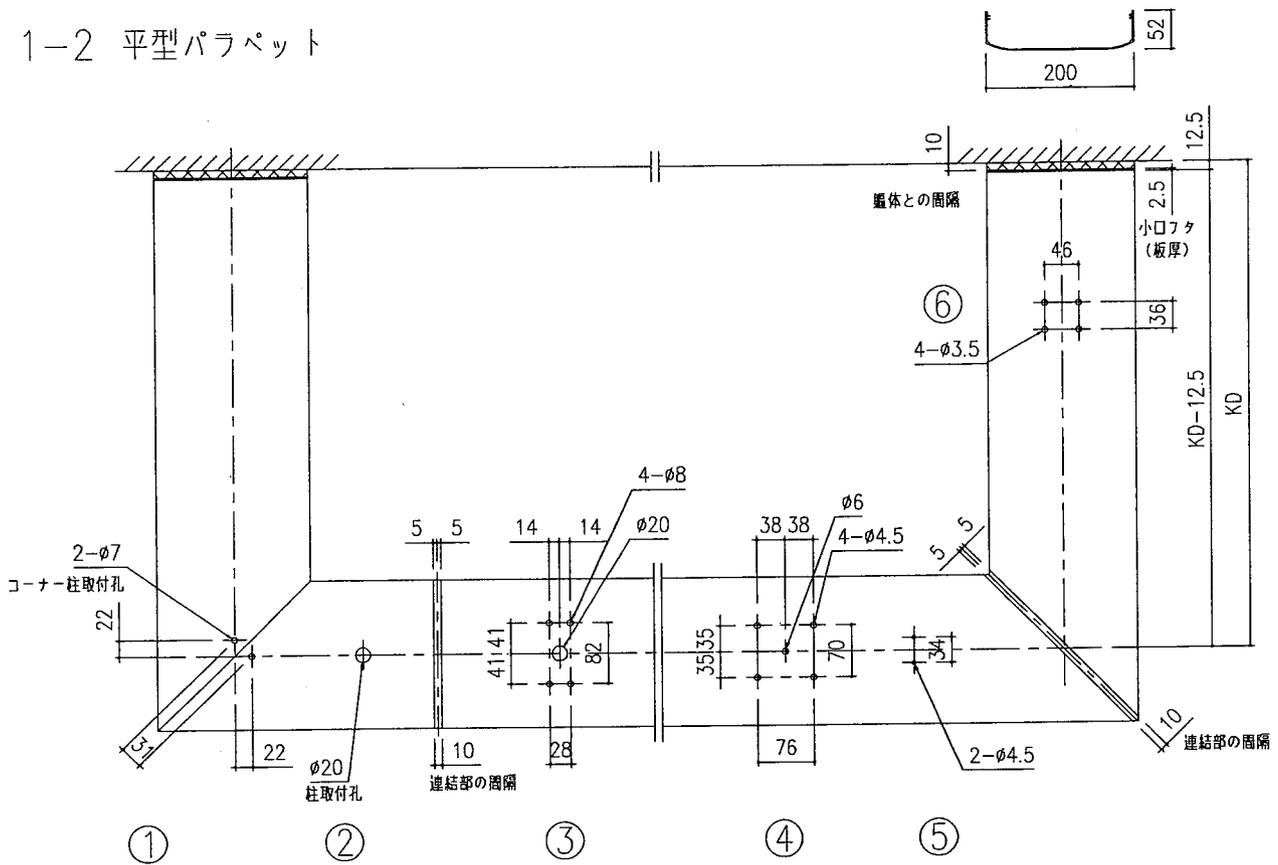


- ① 部は、コーナー柱を使用した場合の加工です。
- ② 部は、柱 (25×40) を使用した場合の加工です。
- ③ 部は、柱 (55×55) を使用した場合の加工です。
- ④ 部は、鋳物腕木を使用する場合の加工です。
- ⑤ 部は、柱 (25×40) をビスで固定する場合の加工です。

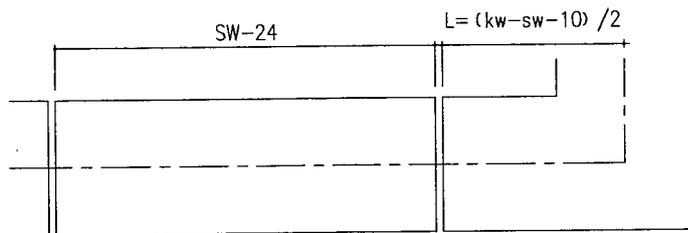
※ 柱位置に合わせて、各柱用の加工してください。

加工図 <パラペット>

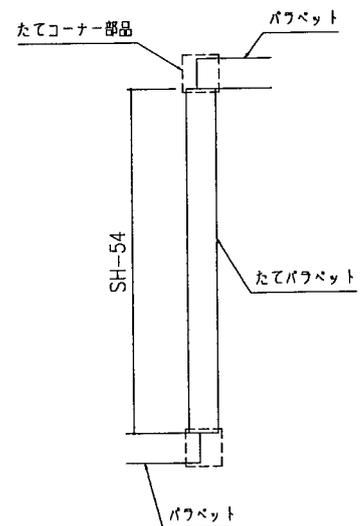
1-2 平型パラペット



○ A2、B2タイプ (パラペット) 切断寸法公式  
SW=躯体掘込部巾



○ たてパラペット切断寸法公式  
SH=躯体掘込部高さ



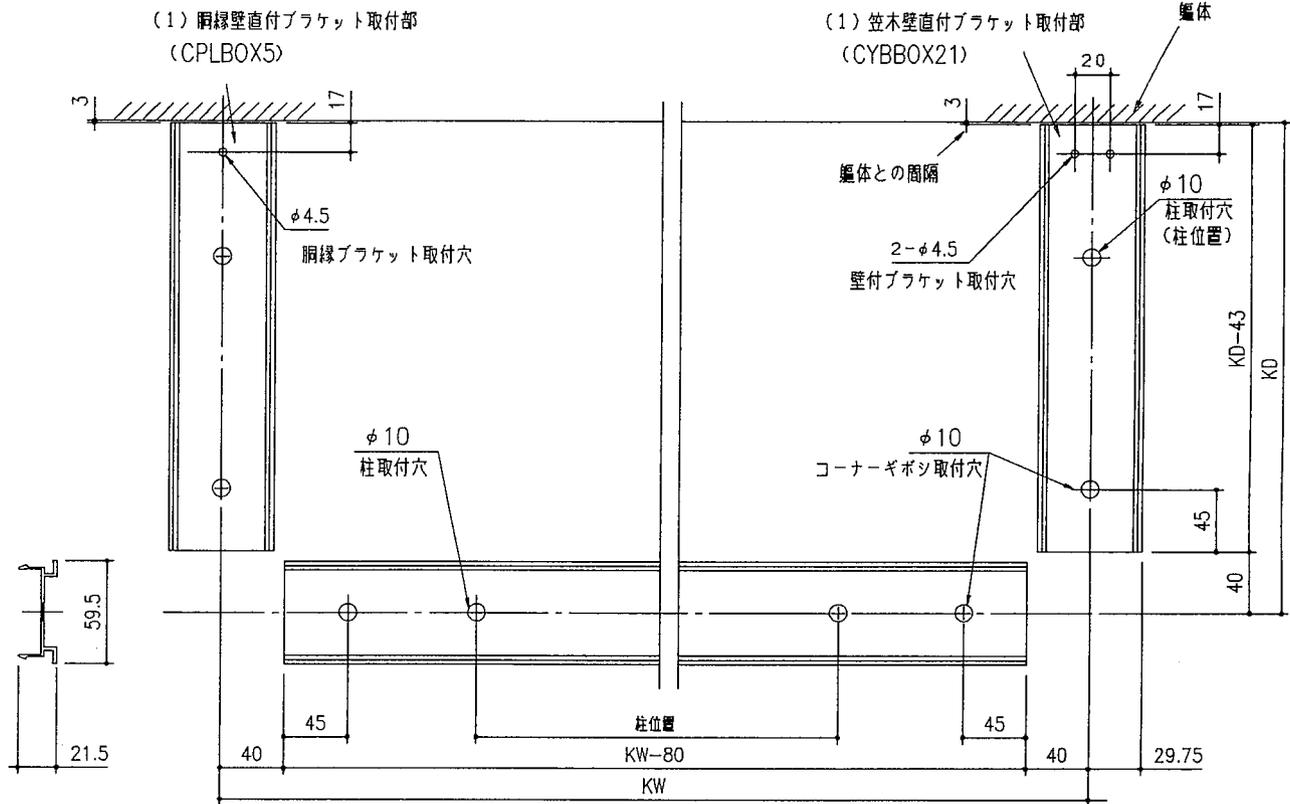
- ① 部は、コーナー柱を使用した場合の加工です。
- ② 部は、柱 (25×40) を使用した場合の加工です。
- ③ 部は、柱 (55×55) を使用した場合の加工です。
- ④ 部は、鋳物腕木を使用した場合の加工です。
- ⑤ 部は、柱 (25×40) をビスで固定する場合の加工です。
- ⑥ 部は、木調笠木用腕木を使用した場合の加工です。

※ 柱位置に合わせて、各柱用の加工をしてください。



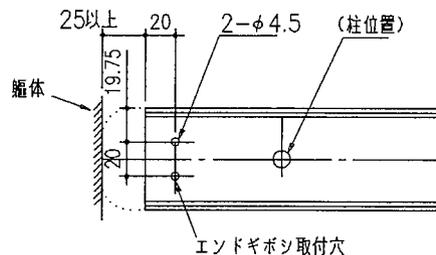
# 加工図 <標準笠木>

## 2-1 笠木



## 2-2 笠木エンドギボシ (CYBBOX22)

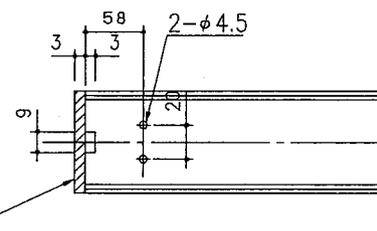
※ 躯体側エンドギボシ場合



※ エンドギボシを取付ける場合は、躯体との間を25mm以上開けてください。

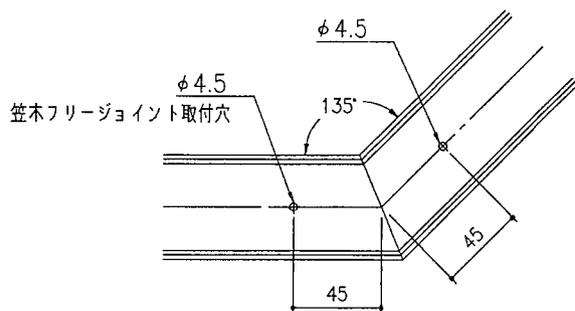
## 2-3 笠木ジョイントセット (CPLBOX2)

※ 本図は右を示す、左は対称とする。



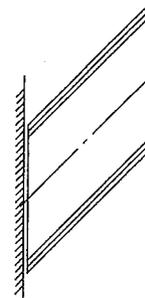
※ 連結プレートで固定する場合、笠木を3mm短く切断してください。

## 2-4 笠木フリージョイント (CPLBOX16)



※ 笠木フリージョイントを取付ける場合は、格子の間隔を110mm以内にしてください。

## 2-5 笠木壁直付角度自在ブラケット (NBLBOX4)



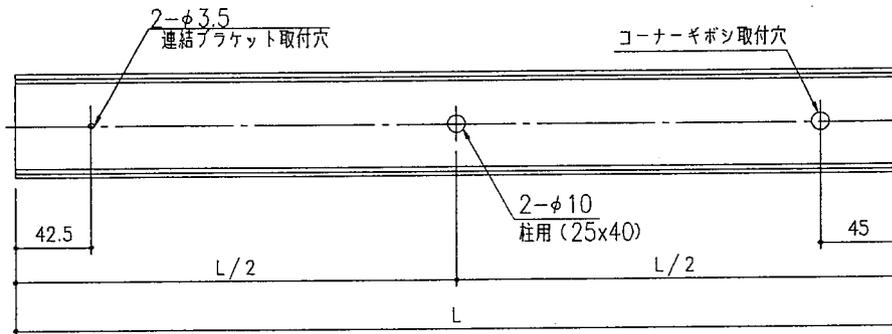
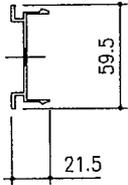
※ 笠木壁直付角度自在ブラケットに合わせて、テックスビスにて固定してください。

# 加工図 <標準笠木、笠木カバー>

2-6 A3・B3・H タイプ笠木 (格子パネル) 除く

公 式  
L = W - 56

柱側 柱 (55x55)

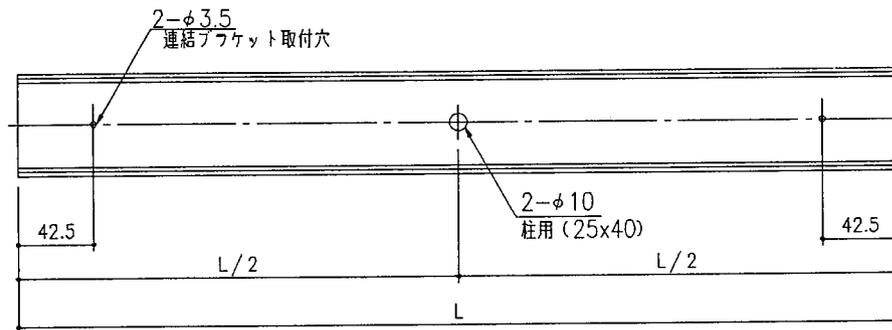
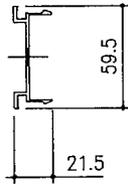


コーナー側

2-7 A3・B3・H タイプ笠木 (格子パネル) 除く

公 式  
L = W - 56

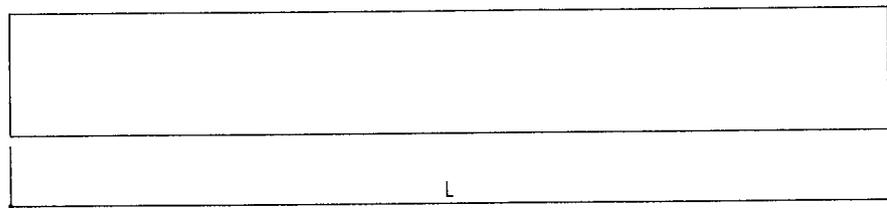
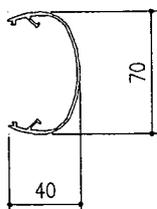
柱側 柱 (55x55)



柱側  
柱 (55x55)

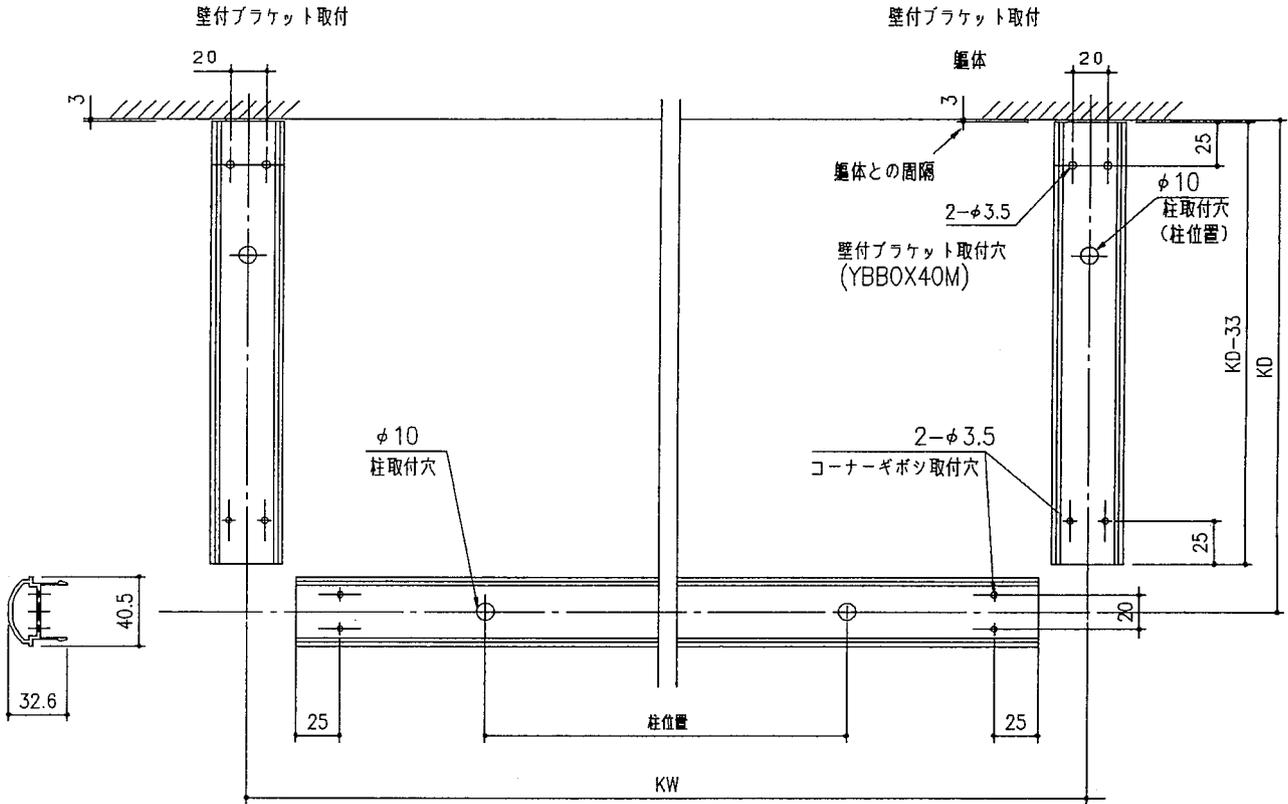
2-8 A・B・C・D・Hタイプ 笠木カバー

Aタイプ	公 式	
	片側コーナーギボシ	両側コーナーギボシ
L = W	L = KW - 43 L = KD - 43	L = KW - 80

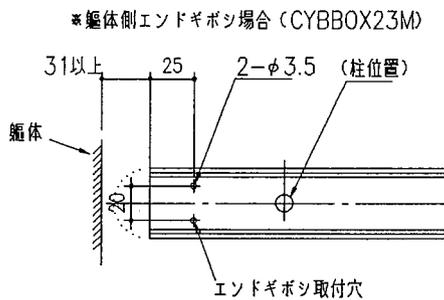


加工図 < 笠木 >

3-1 丸笠木

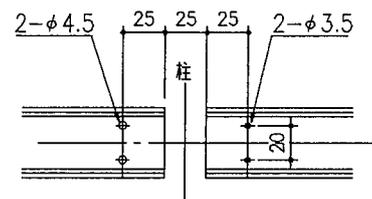


3-2 丸笠木 (出巾) 躯体側



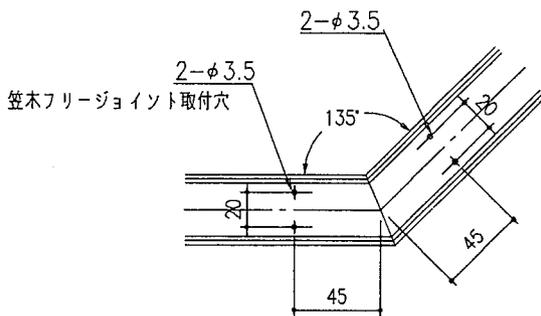
※エンドギボシを取付ける場合は、躯体との間を31mm以上明けてください。

3-3 笠木連結プレート (CYBBOX41M)

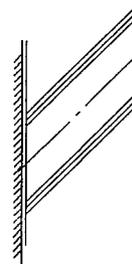


※連結プレートで固定する場合、笠木を片側12.5mm短く切断してください。

3-4 笠木フリーズジョイント (CPLBOX16)



3-5 笠木壁直付角度自在ブラケット (NBLBOX4)

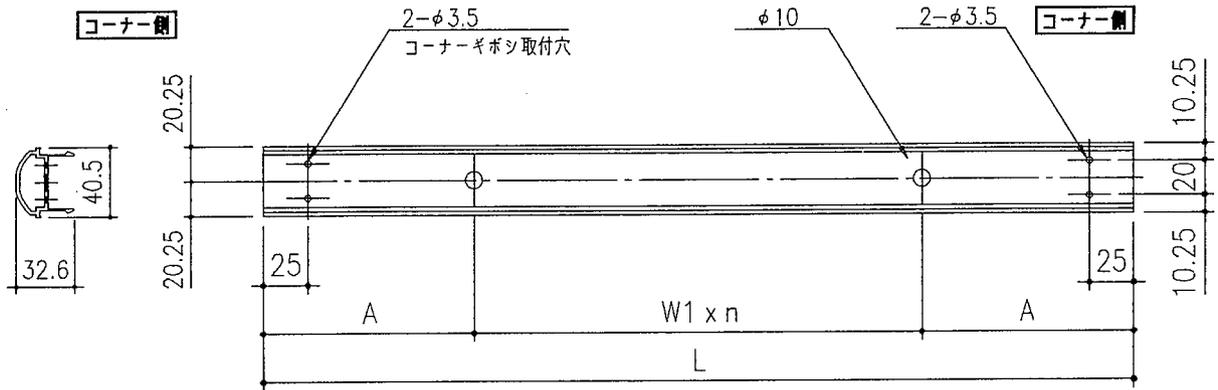


※笠木壁直付角度自在ブラケットに合わせてテックスにて固定してください。

# 加工図 <丸笠木、丸笠木カバー>

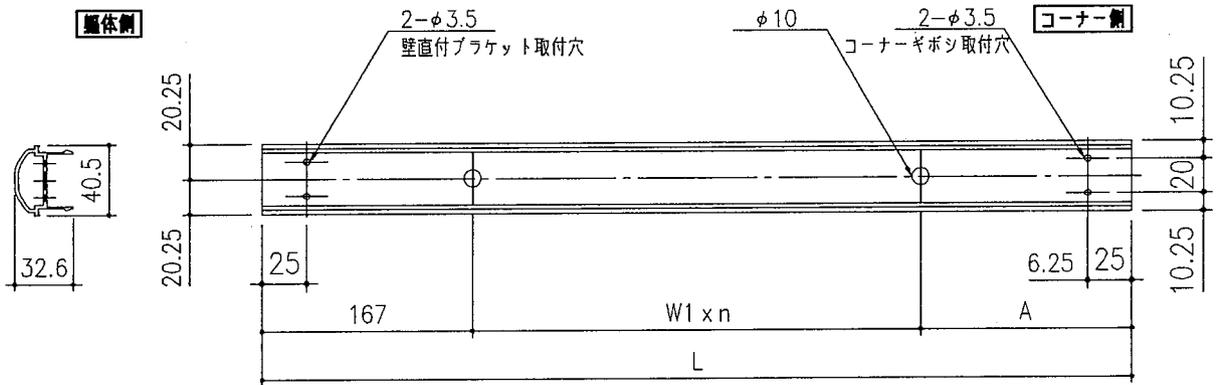
3-6 Gタイプ 鋳物腕木用 丸笠木 (間口)

タイプ	A寸法	公式
1段腕木タイプ	$A = (L - W1 \times n) \div 2$	$L = KW + 19$
2段腕木タイプ (上)		$L = KW + 140$
2段腕木タイプ (下)		$L = KW - 84$



3-7 Gタイプ 鋳物腕木用 丸笠木 (出巾)

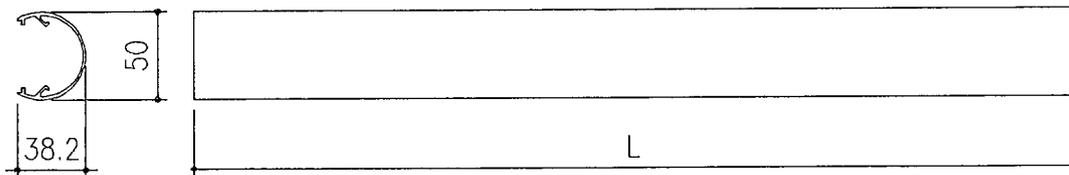
タイプ	A寸法	公式
1段腕木タイプ	199.5	$L = KD + 6.5$
2段腕木タイプ (上)	260	$L = KD + 67$
2段腕木タイプ (下)	148	$L = KD - 39$



3-8 A・B・C・Gタイプ  
丸笠木カバー

Aタイプ	公式			
	Bタイプ	Gタイプ 1段腕木	Gタイプ 2段腕木 (上)	Gタイプ 2段腕木 (下)
$L = W$	$L = KW - 60$	$L = KW + 19$	$L = KW + 140$	$L = KW - 84$
	$L = KD - 33$	$L = KD + 6.5$	$L = KD + 67$	$L = KD - 39$

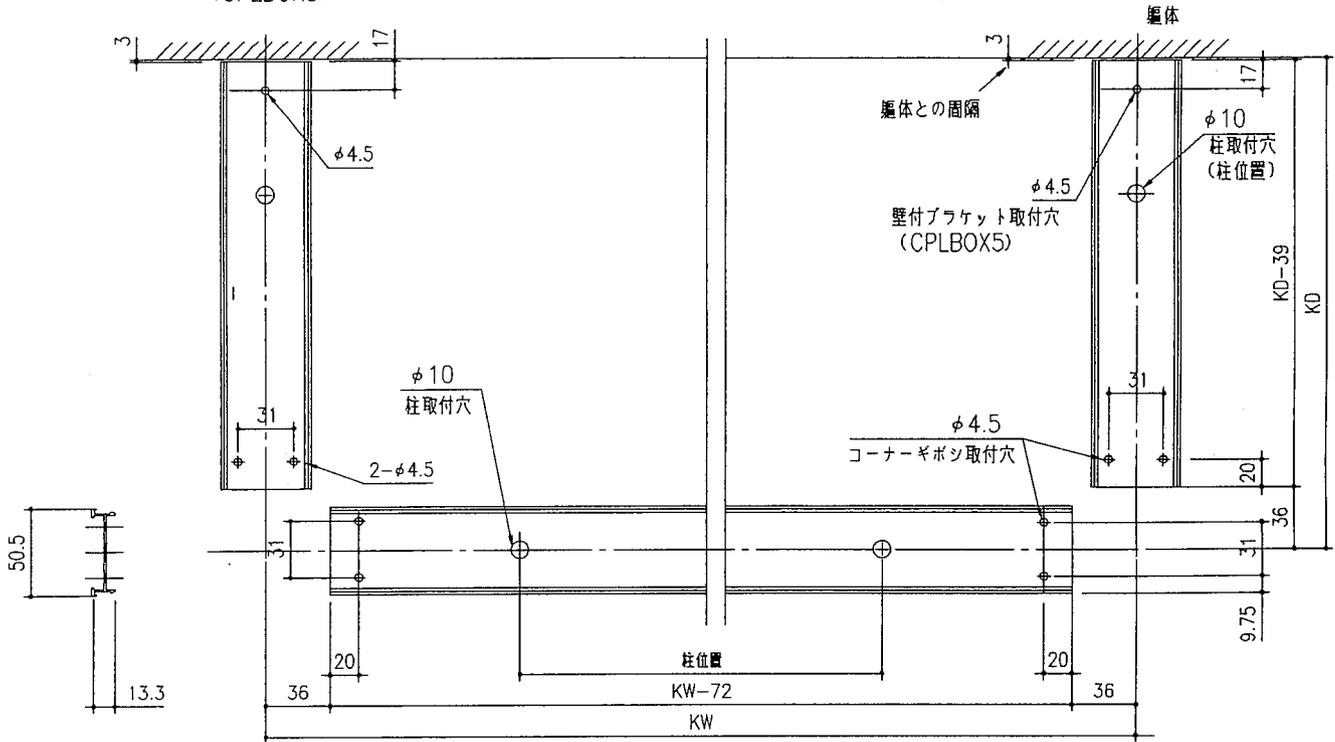
\* 笠木ジョイントカバーで連結する場合は、連結部を2mm短く切断してください。



加工図 <半丸笠木>

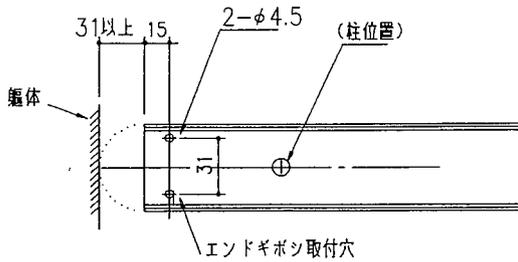
4-1 半丸笠木

(1) 網縁壁直付ブラケット取付  
(CPLBOX5)



4-2 半丸笠木 (出巾) エンドギボシ

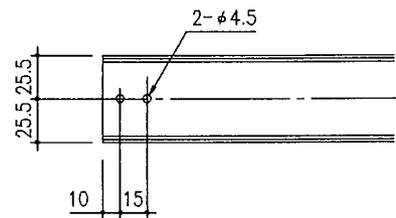
※ 躯体側エンドギボシの場合 (CKTKB2)



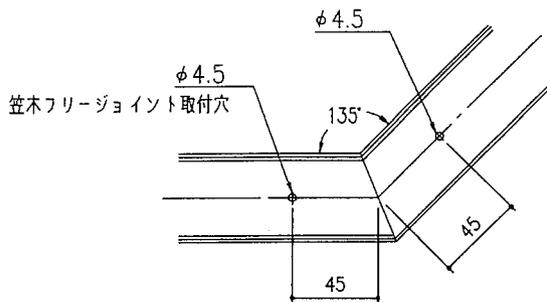
※ エンドギボシを取付ける場合は、躯体との隙を31mm以上明けてください。

4-3 半丸笠木連結プレート (CKTKB4)

※ 本図は右を示す、左は対称とする。

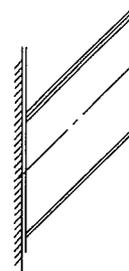


4-4 笠木フリーズジョイント (CPLBOX16)



※ 笠木フリーズジョイントを取付ける場合は、格子の間隔を110mm以内にしてください。

4-5 笠木壁直付角度自在ブラケット (NBLBOX4)



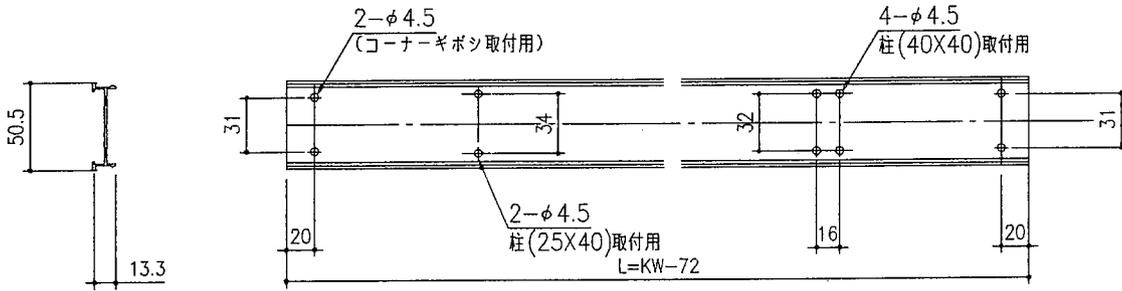
※ 笠木壁直付角度自在ブラケットに合わせて、テックスビスにて固定してください。

加工図 <半丸笠木、笠木カバー>

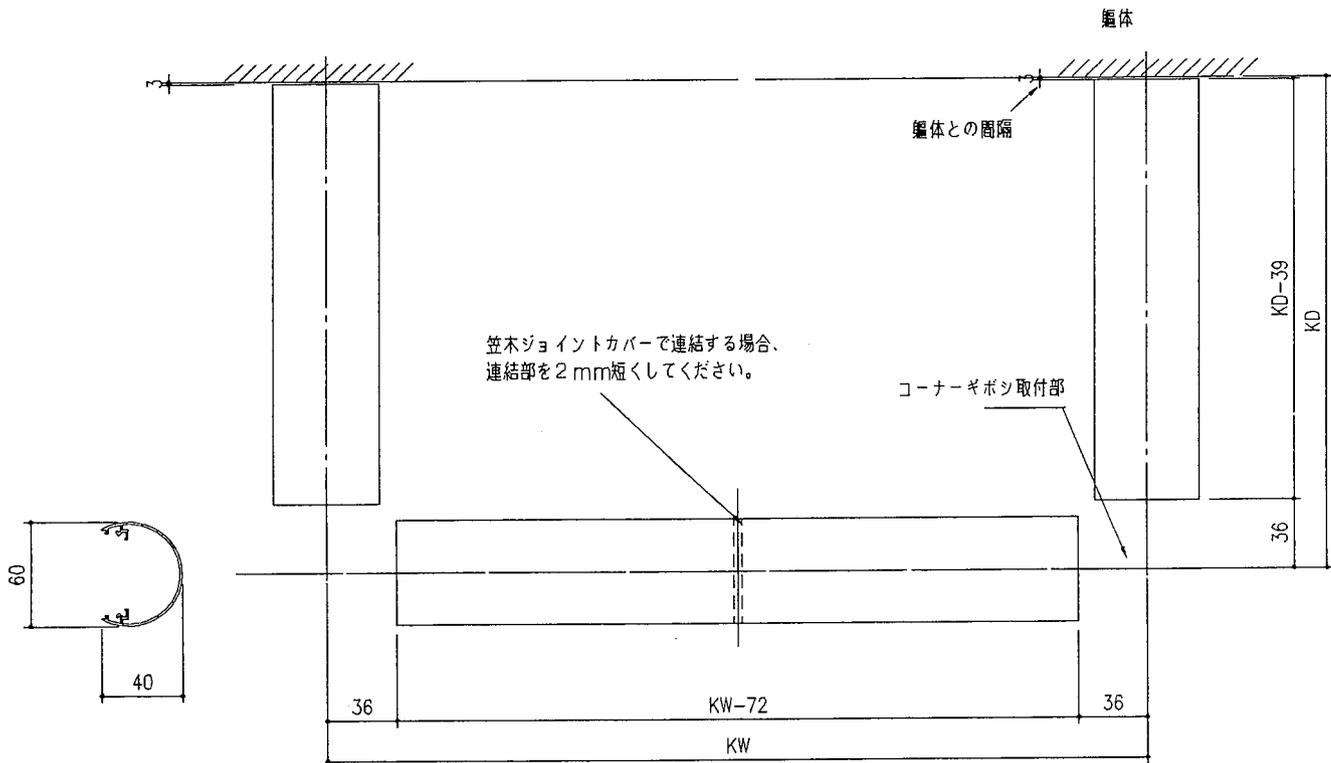
4-6 | タイプ半丸笠木 (周口)

コーナー側

コーナー側



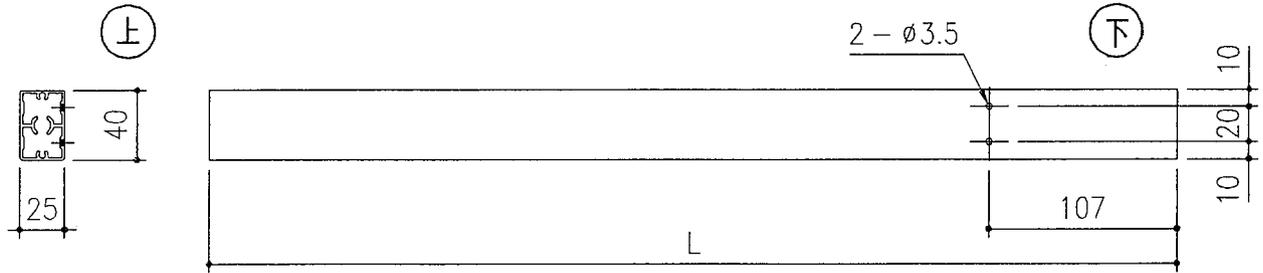
4-7 | タイプ半丸笠木カバー



加工図 <柱>

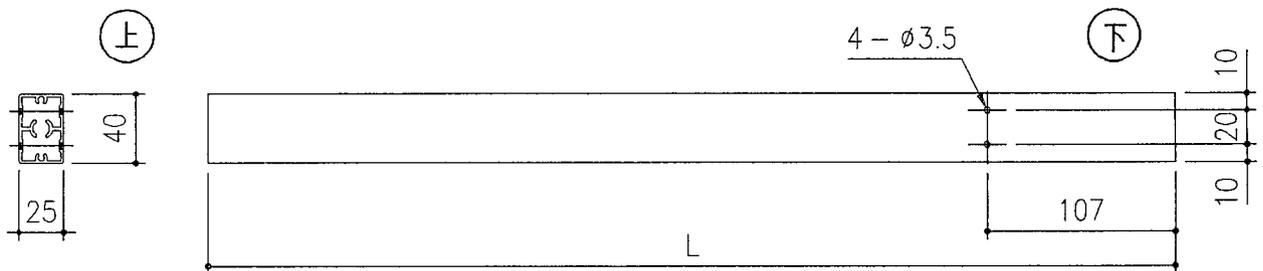
5-1 Aタイプ 端部柱 25 x 40

公式  
L = H - 37



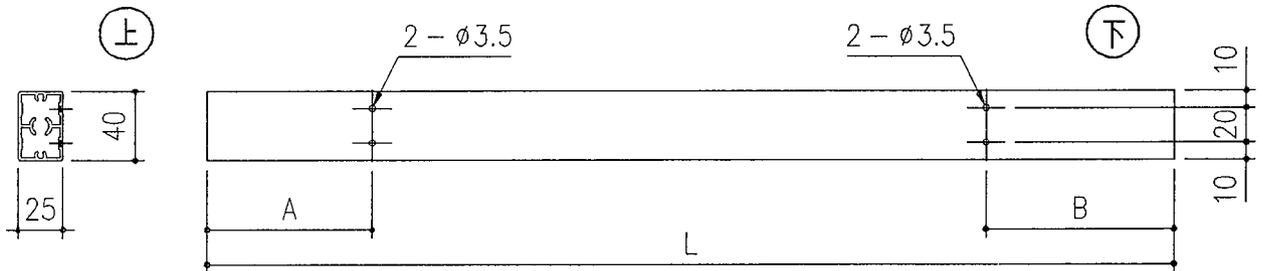
5-2 Aタイプ 中間柱 25 x 40

公式  
L = H - 37



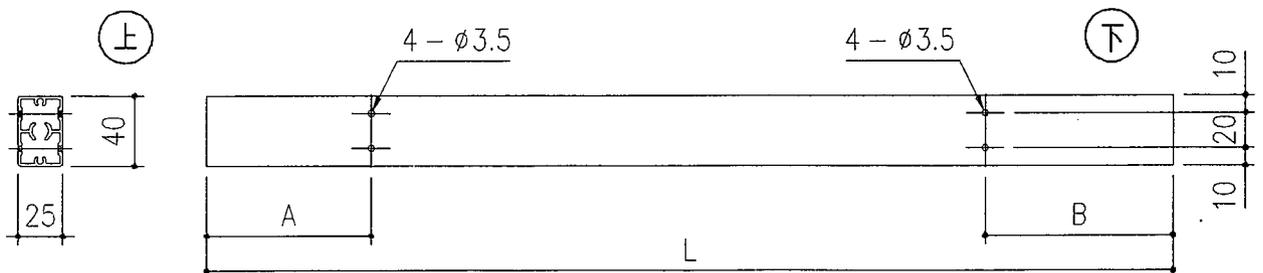
5-3 Bタイプ 端部柱 25 x 40

タイプ		A寸法	B寸法	公式
B2・B3	格子	121	107	L = H - 37
B2・B3	パネル	123	107	
B2	鋳物	121	52	
B3	鋳物	93.5	79.5	



5-4 Bタイプ 中間柱 25 x 40

タイプ		A寸法	B寸法	公式
B2・B3	格子	121	107	L = H - 37
B2・B3	パネル	123	107	
B2	鋳物	121	52	
B3	鋳物	93.5	79.5	

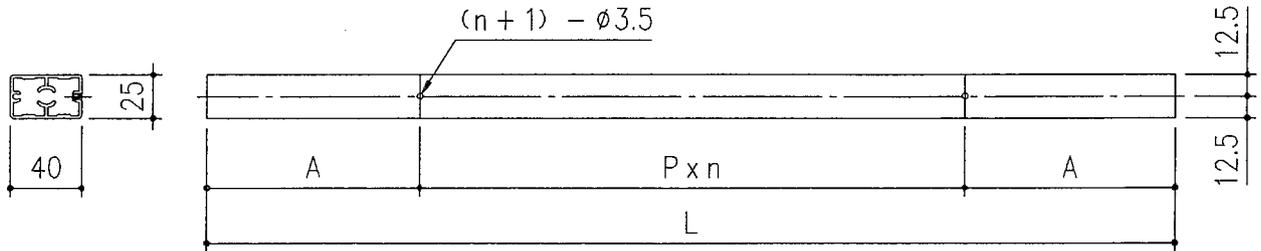




加工図 <柱>

6-7 Cタイプ 横格子 外付用柱 25 x 40

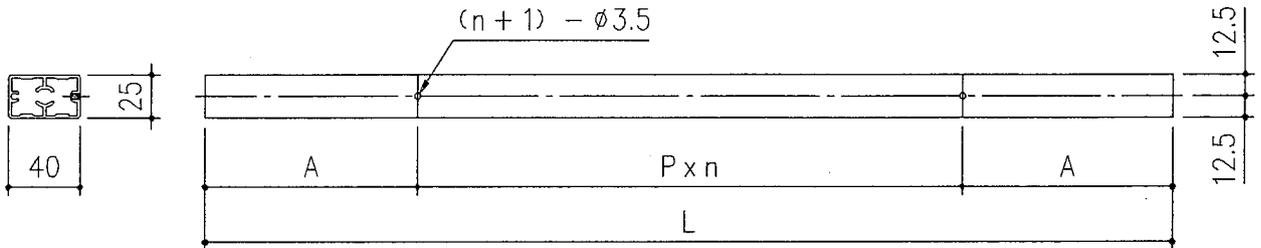
A 寸法	公 式
$A = (L - P \times n) / 2$	$L = H - 37$



\* 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

6-8 Cタイプ 丸横格子用柱 25 x 40

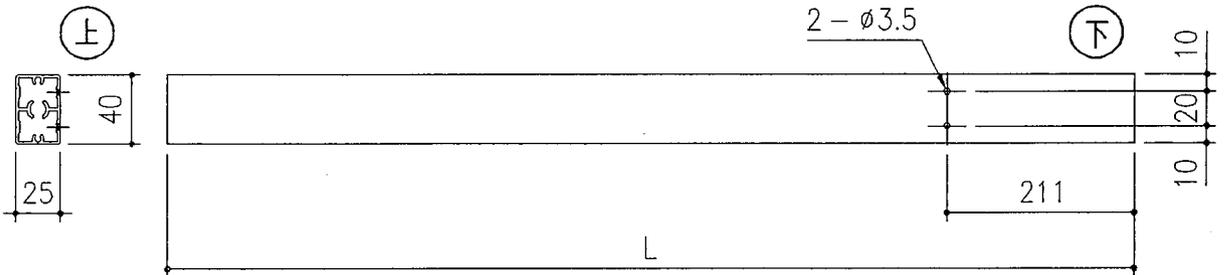
A 寸法	公 式
$A = (L - P \times n) / 2$	$L = H - 37$



\* 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

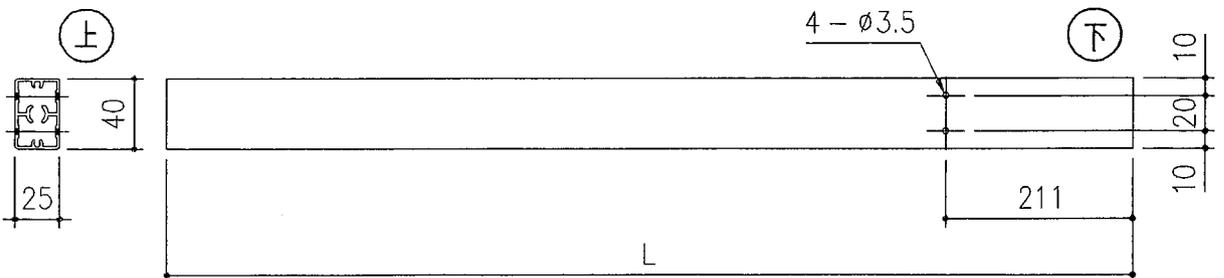
6-9 Hタイプ 端部柱 25 x 40

公 式
$L = H + 67$



6-10 Hタイプ 中間柱 25 x 40

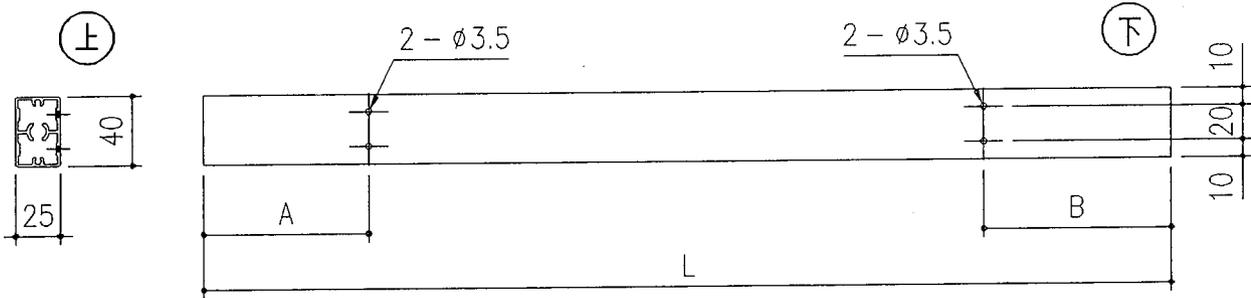
公 式
$L = H + 67$



加工図 <柱>

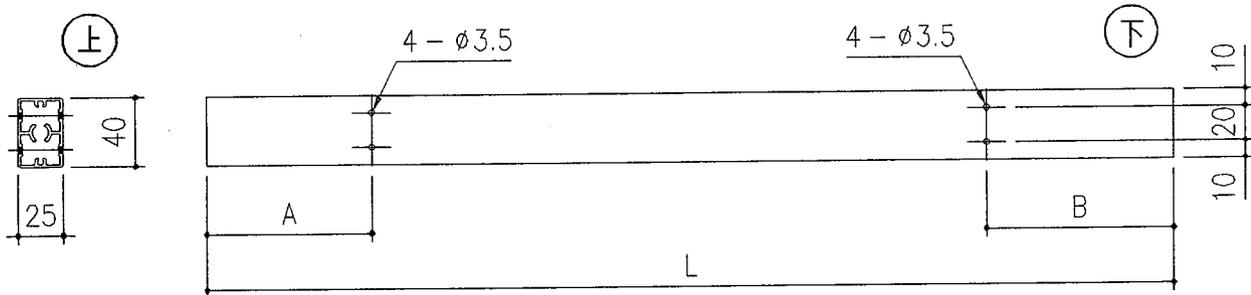
5-11 Hタイプ 端部柱 25 x 40

タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	121	211	L = H + 67
パネルタイプ	123	211	



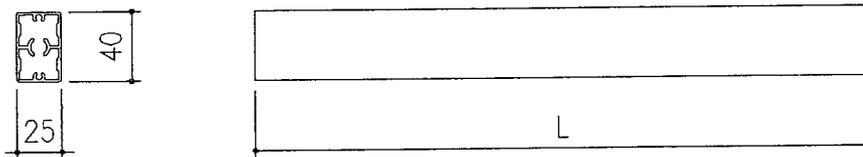
5-12 Hタイプ 中間柱 25 x 40

タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	121	211	L = H + 67
パネルタイプ	123	211	



5-13 Bタイプ 短柱 25 x 40

公式
L = H - 37

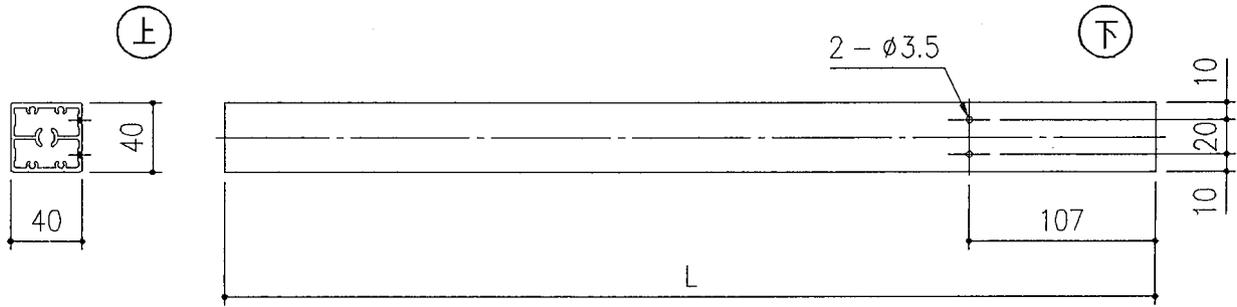


\* 丸笠木の場合、上端より 23 mm 短い切断寸法になります。

加工図 <柱>

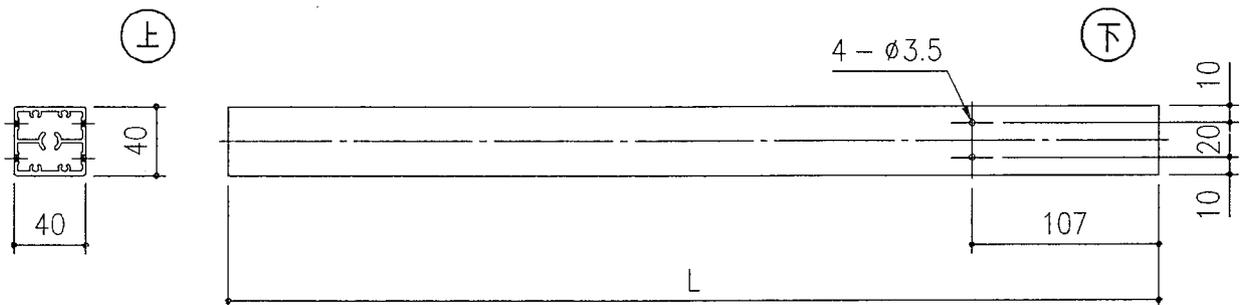
5-14 Dタイプ 端部柱 40 x 40

公 式
$L = H - 37$



5-15 Dタイプ 中間柱 40 x 40

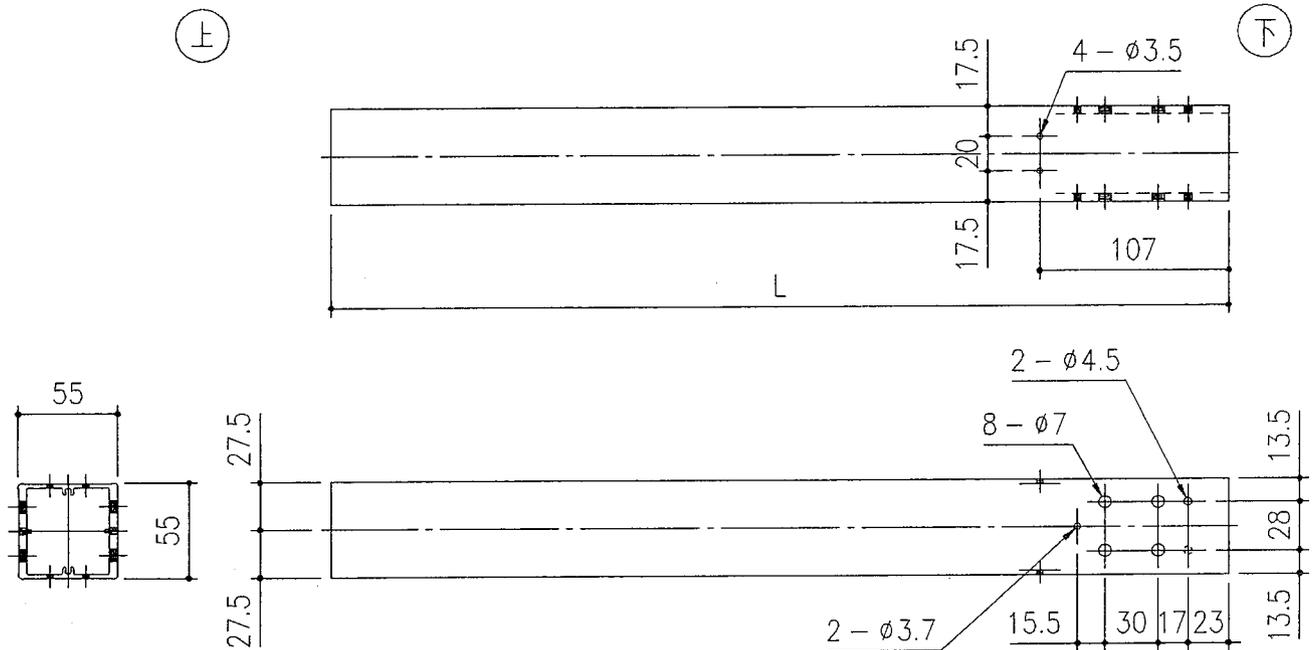
公 式
$L = H - 37$



加工図 <柱>

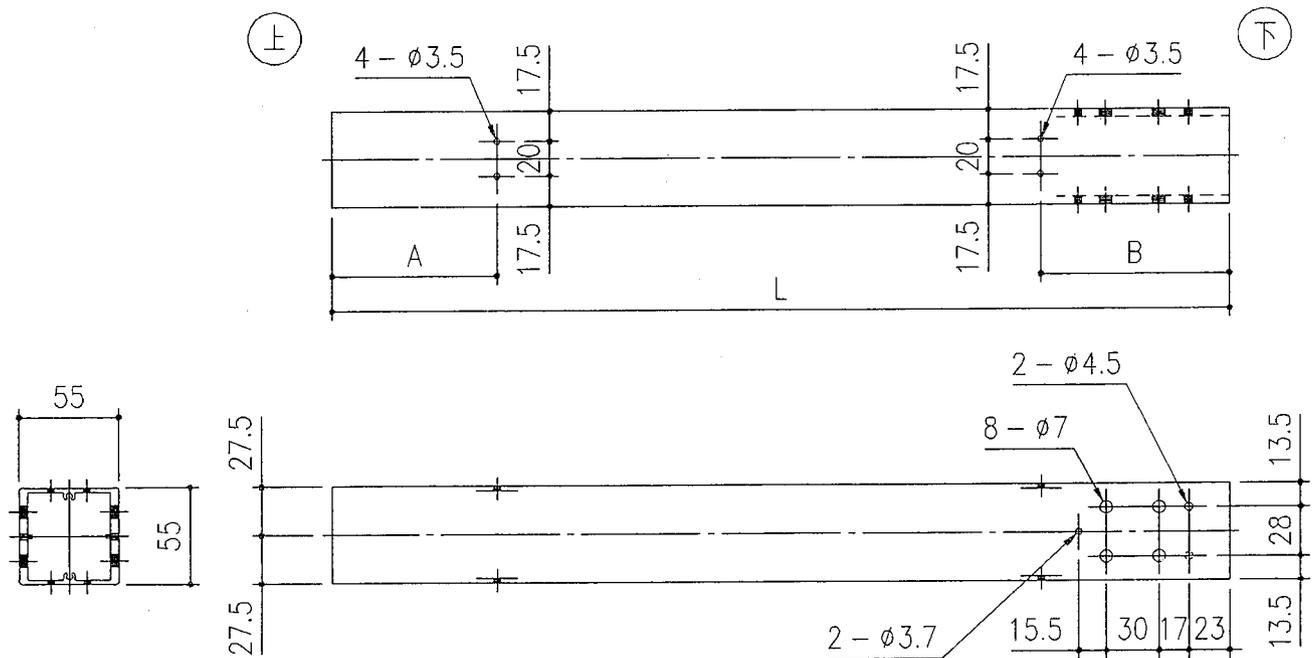
5-16 A・Bタイプ柱 55x55

公 式
$L = H - 44$



5-17 B3タイプ柱 55x55

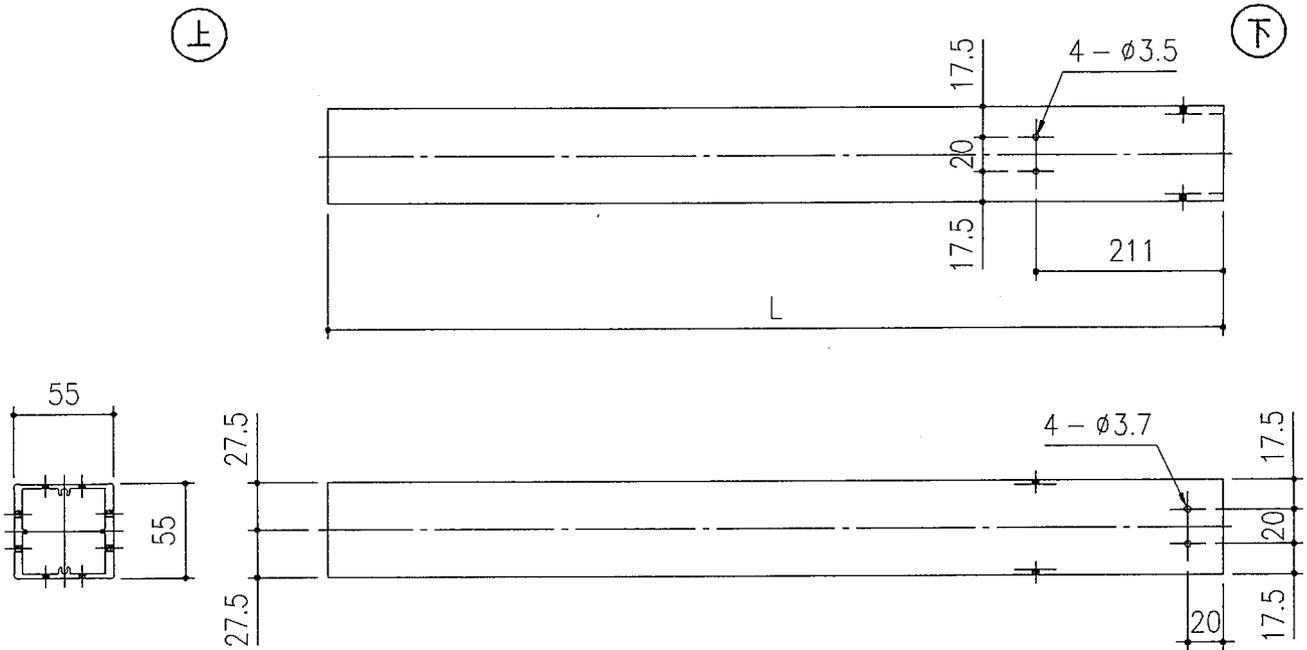
タイプ	A寸法	B寸法	公 式
格子タイプ	114	107	$L = H - 44$
パネルタイプ	116	107	
鋳物タイプ	86.5	79.5	



加工図 <柱>

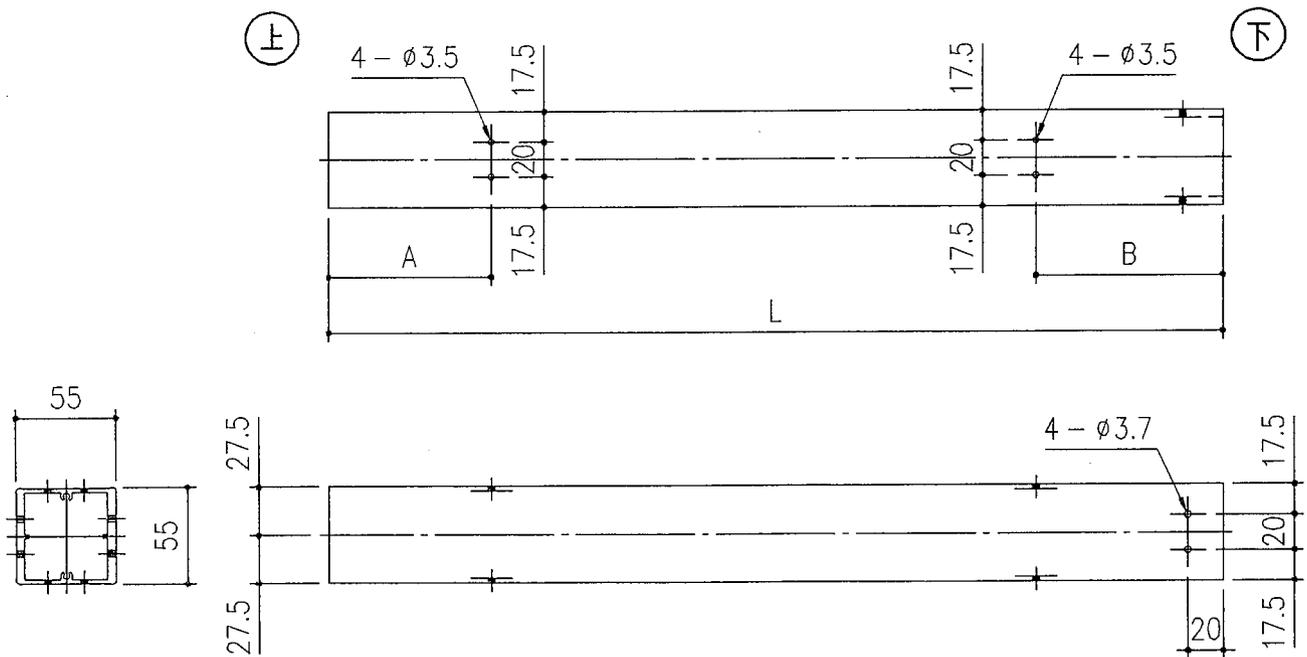
5-18 Hタイプ柱 55x55

公式  
L = H + 60



5-19 Hタイプ柱 55x55

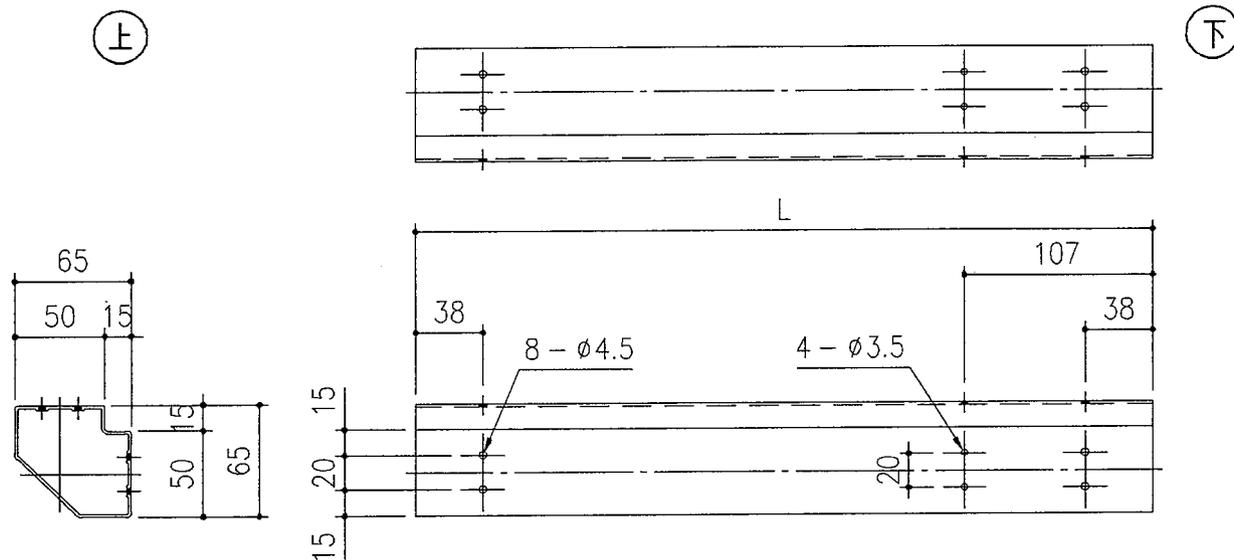
タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	114	211	L = H + 60
パネルタイプ	109		



加工図 <柱>

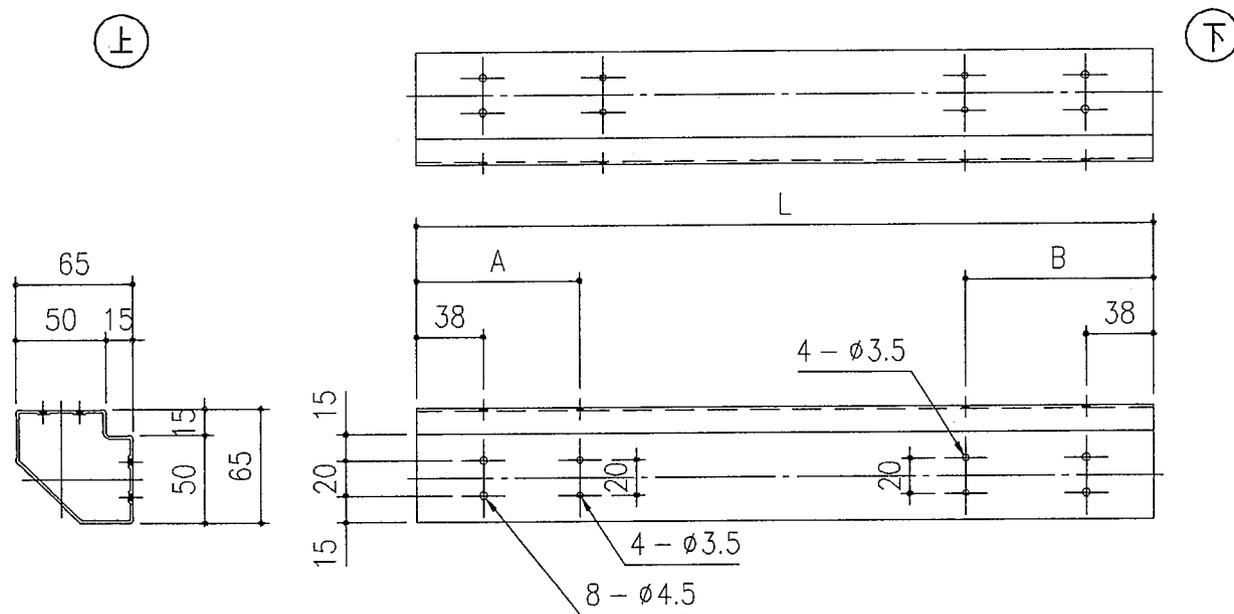
5-20 A3・Dタイプコーナー柱

公式  
L = H - 44.5



5-21 B3タイプコーナー柱

タイプ	A寸法	B寸法	公式
格子タイプ	113.5	107	L = H - 44.5
パネルタイプ	115.5	107	
鋳物タイプ	86	79.5	



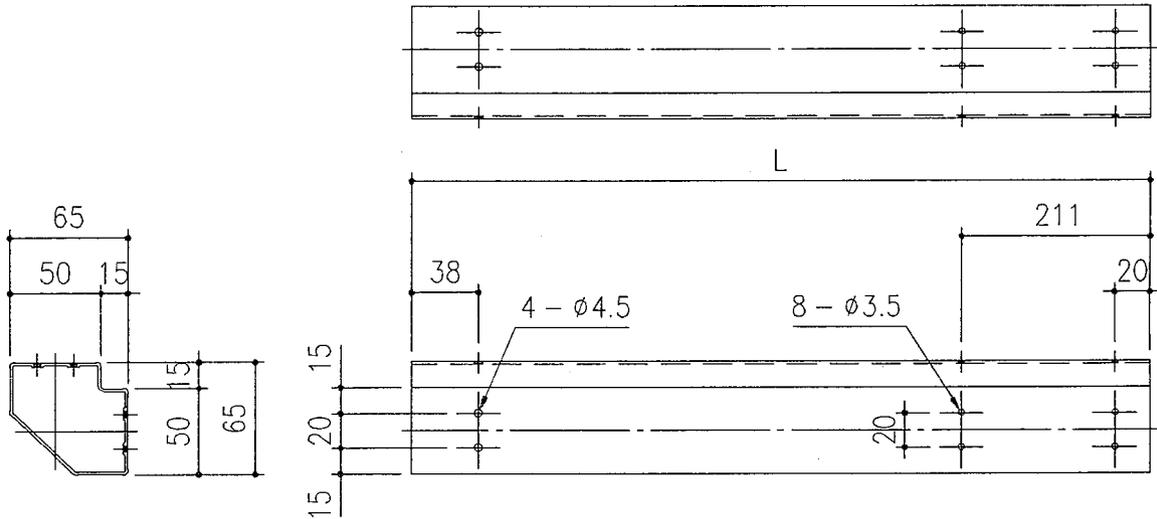
加工図 <柱>

5-22 Hタイプコーナー柱

公 式
$L = H + 59.5$

上

下

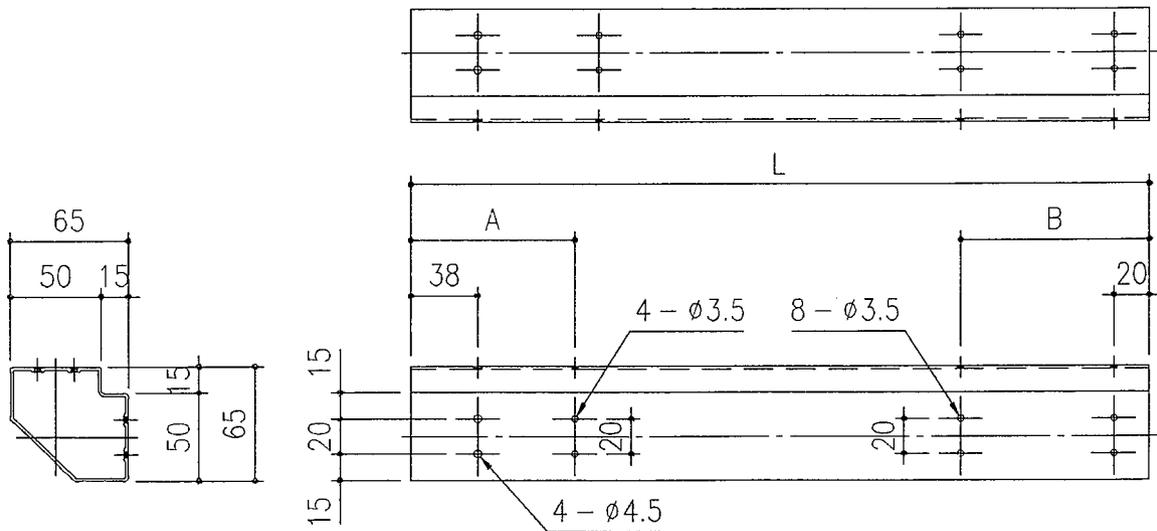


5-23 B3タイプコーナー柱

タイプ	A寸法	B寸法	公 式
格子タイプ	113.5	211	$L = H + 59.5$
パネルタイプ	115.5	211	

上

下

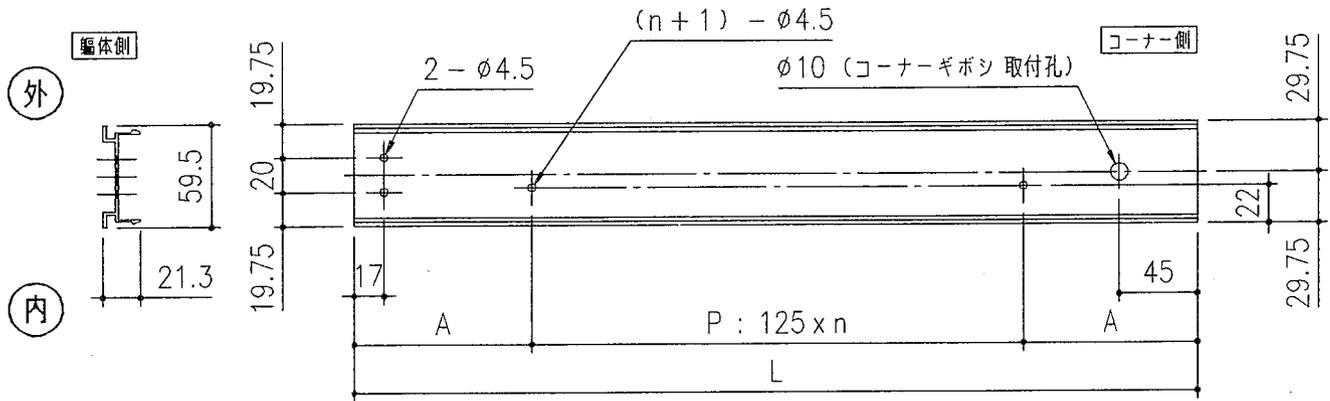


# 加工図 < 格子パネル >

\*左右勝手のあるタイプは逆勝手の加工をしてください。

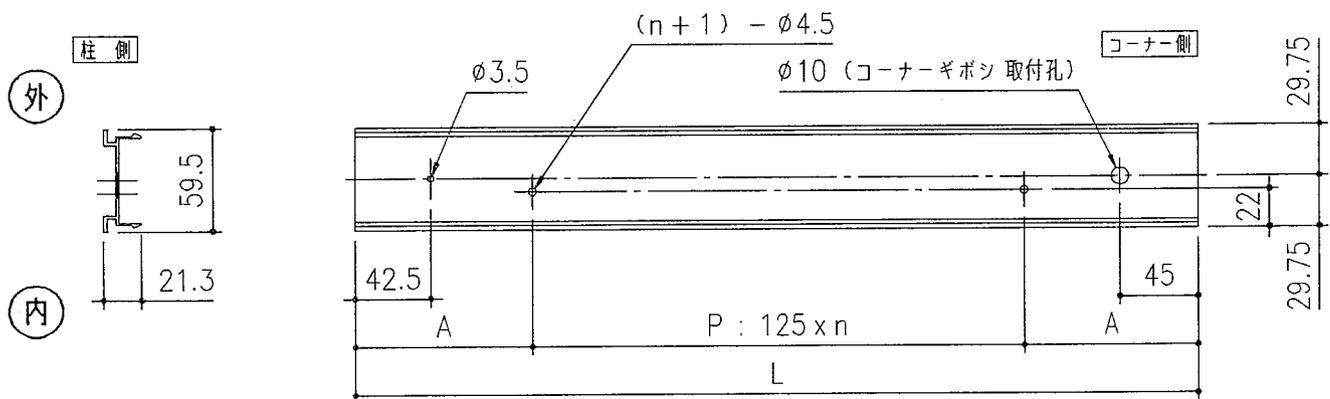
6-1 A3・Hタイプ 外観左コーナー、壁付タイプ格子パネル用笠木

A 寸法	公 式
$A = (L - 125 \times n) / 2$	$L = KD - 43$



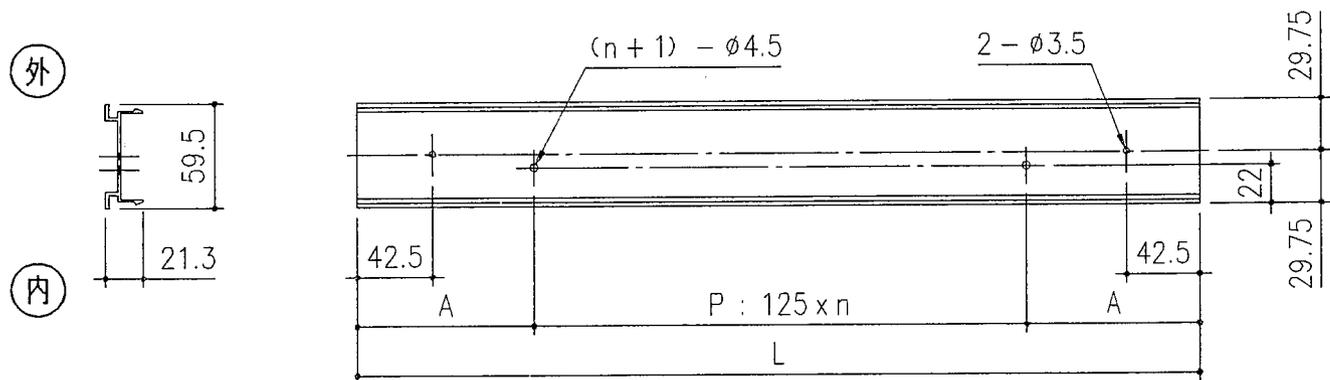
6-2 A3・Hタイプ 外観左コーナー、柱タイプ格子パネル用笠木

A 寸法	公 式
$A = (L - 125 \times n) / 2$	$L = W - 56$



6-3 A3・Hタイプ 両側柱タイプ格子パネル用笠木

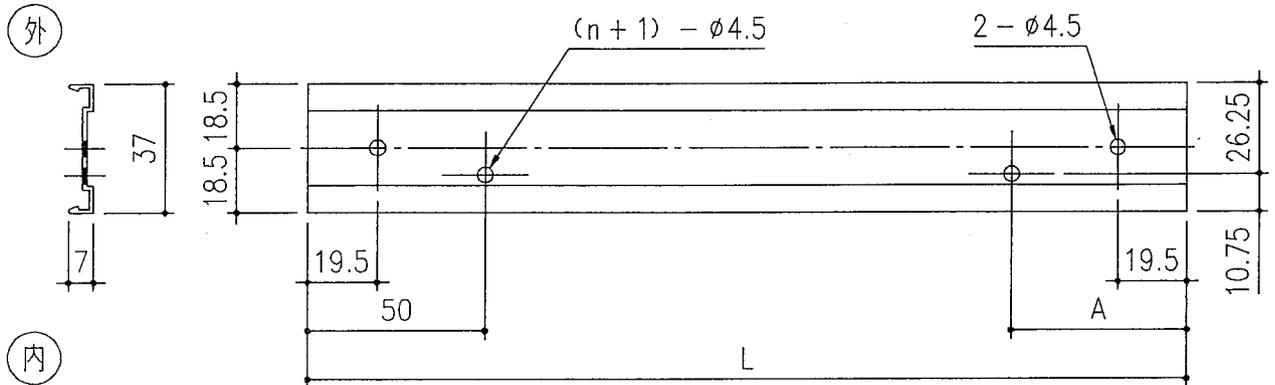
A 寸法	公 式
$A = (L - 125 \times n) / 2$	$L = W - 56$



加工図 < 格子パネル >

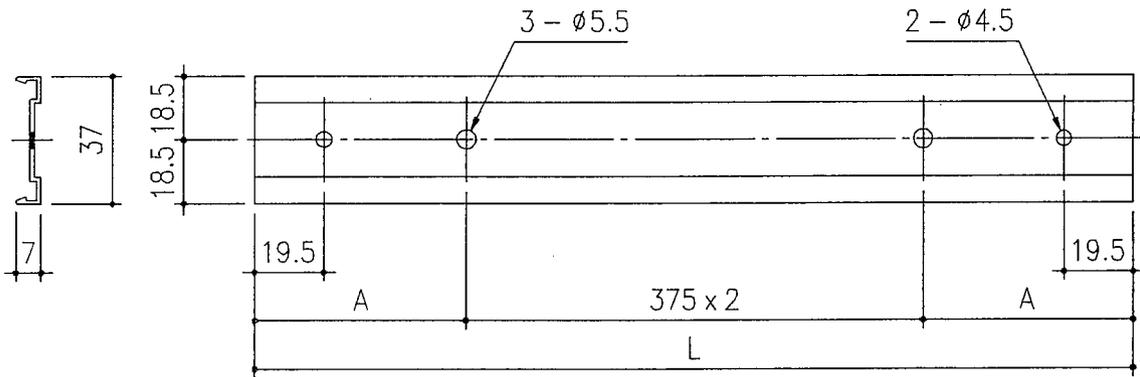
6-4 A・Dタイプ格子用上胴縁

タイプ	A 寸法	公式
A,D	$A = (L - 125 \times n) / 2$	$L = W1 - 26$



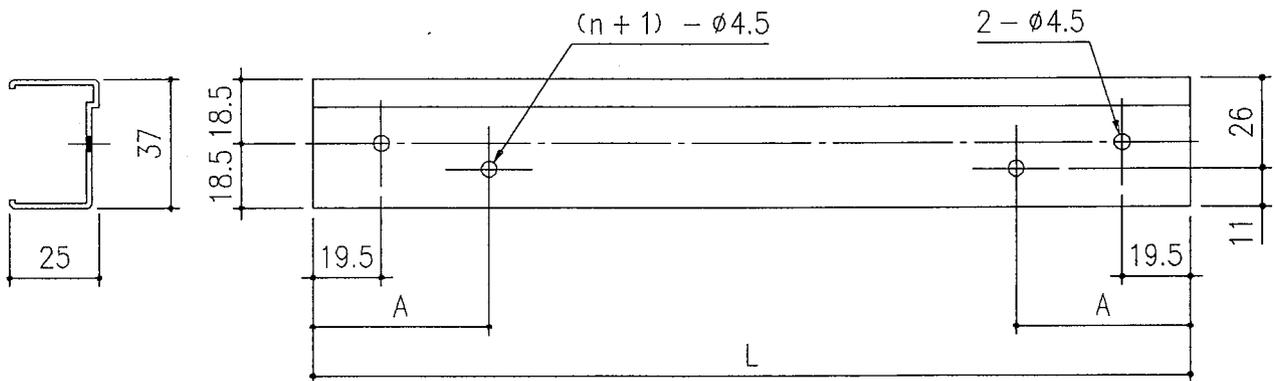
6-5 Bタイプ鋳物格子用上胴縁

タイプ	A 寸法	公式
A,B2	$A = (L - 750) / 2$	$L = W1 / 2 - 26$
B3,H		$L = W1 / 2 - 41$



6-6 格子用下胴縁

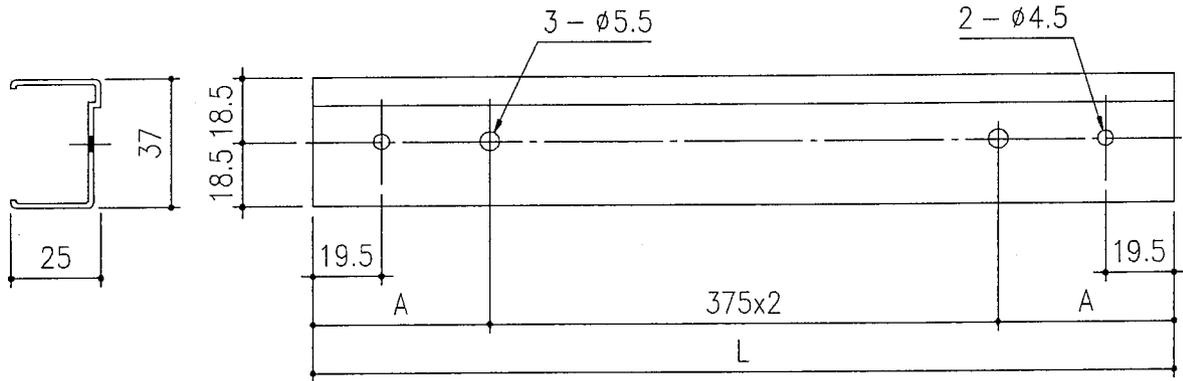
タイプ	A 寸法	公式
A3,B3,H	$A = (L - 125 \times n) / 2$	$L = W - 56$
A,B,	$A = (L - 125 \times n) / 2$	$L = W1 - 26$
D	$A = (L - 125 \times n) / 2$	$L = W1 - 41$



加工図 < 格子パネル >

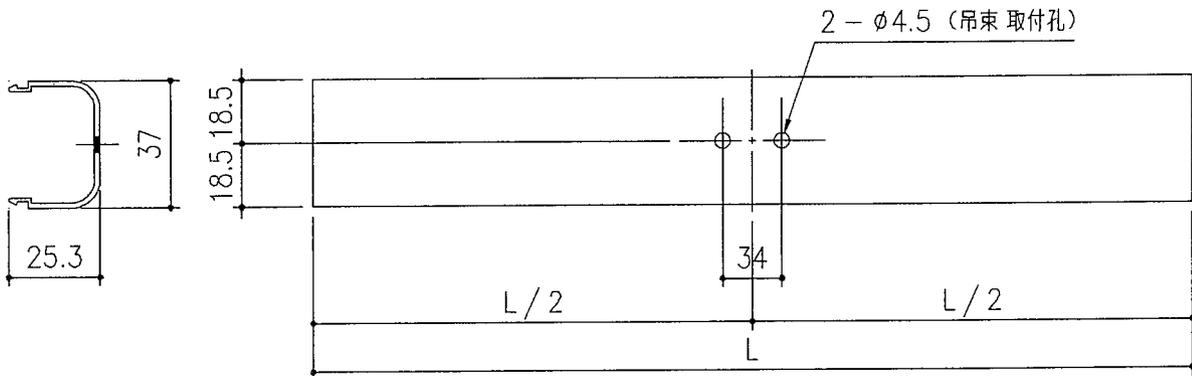
6-7 A・Bタイプ 鋳物格子用下胴縁

タイプ	A寸法	公式
A,B2	$A = (L - 750) / 2$	$L = W1/2 - 26$
B3		$L = W1/2 - 41$



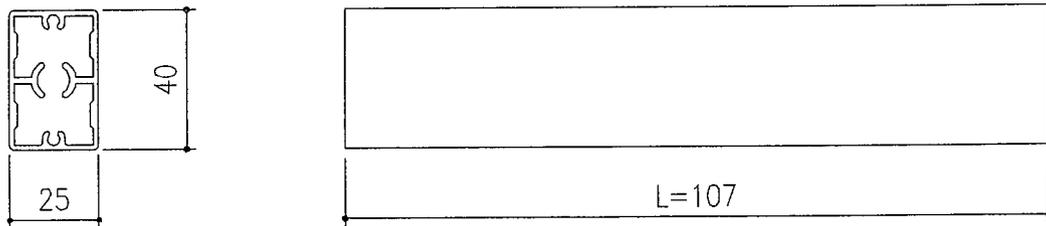
6-8 B3・Hタイプ 上胴縁カバー

公式
$L = W - 56$



6-9 B3・Hタイプ 吊束 25 x 40

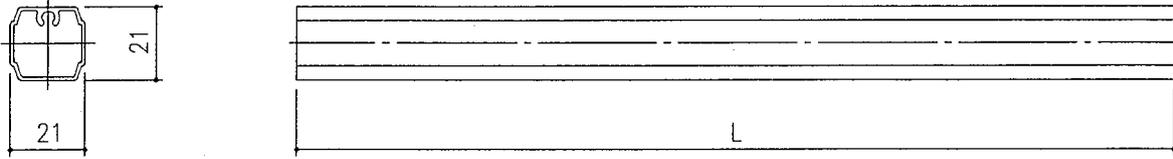
タイプ	公式
B3	$L = H - 893$
H	$L = H - 993$



加工図 < 格子パネル >

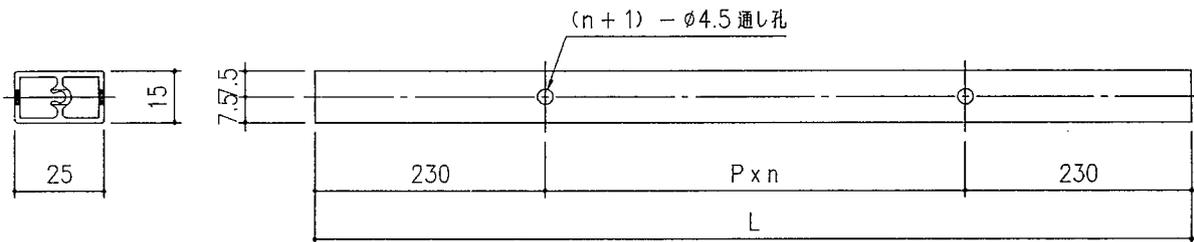
7-1 格子

タイプ	公式
A,D	$L = PH - 21$
B	$L = PH - 48$
A3,H	$L = PH - 16$



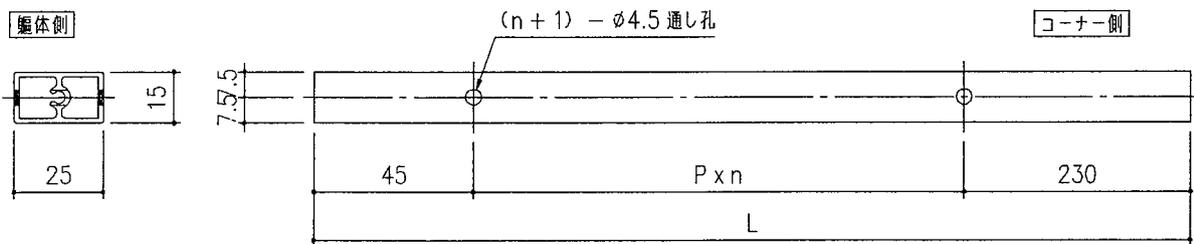
7-2 Cタイプ横格子外付タイプ (間口)

公式
$L = KW + 120$



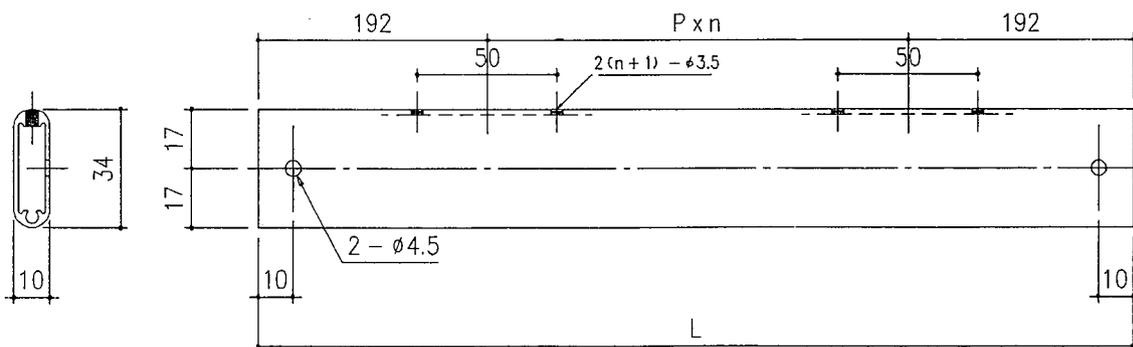
7-3 Cタイプ横格子外付タイプ (出巾)

公式
$L = KD + 55$



7-4 Cタイプ丸横格子外付けタイプ (間口)

公式
$L = KW + 44$

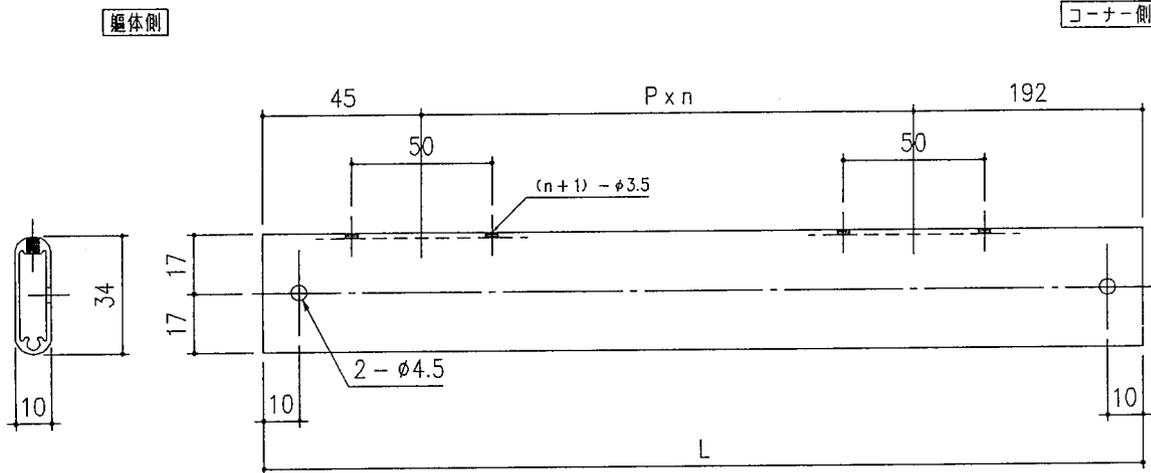


\*丸横格子の穴加工は、Vノッチの方にしてください。

加工図 < 格子パネル >

7-5 Cタイプ横格子外付タイプ (出巾)

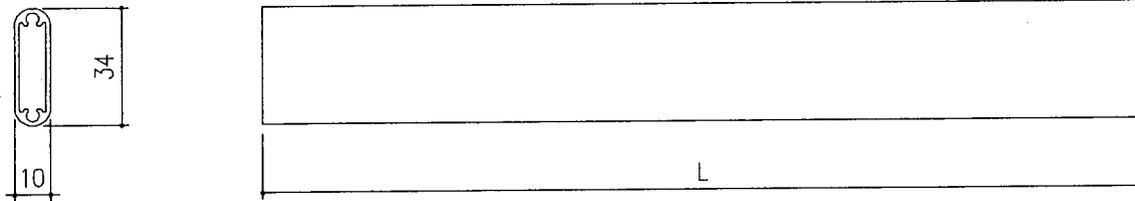
公 式
$L = KD + 17$



\*丸横格子の穴加工は、Vノッチの方にしてください。

7-6 Cタイプ横格子内付タイプ

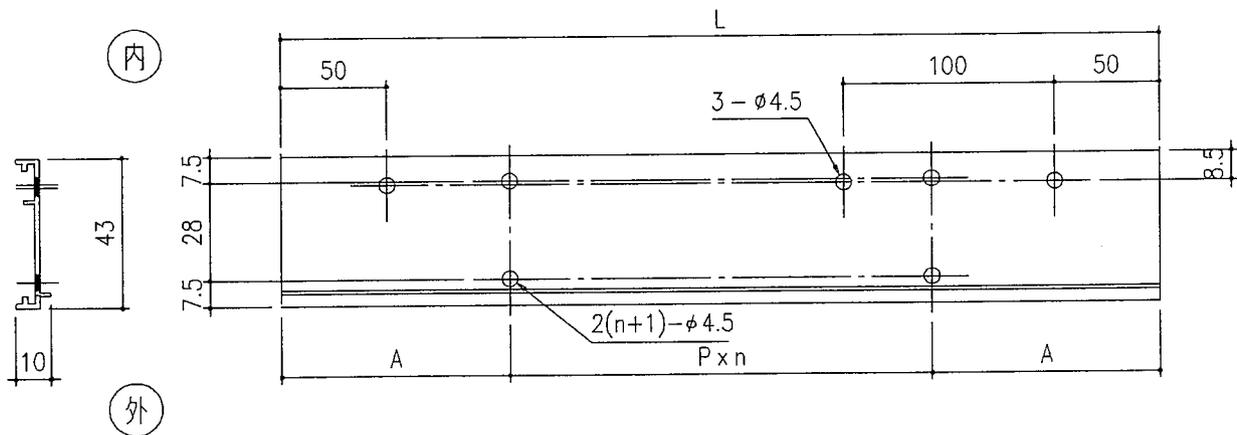
タイプ	公 式
筒柱部	$L = W1 + 35$
コーナー部	$L = W1 - 37$



\*丸横格子の穴加工は、Vノッチの方にしてください。

7-7 Cタイプ横格子内付用増たて枠 (左)

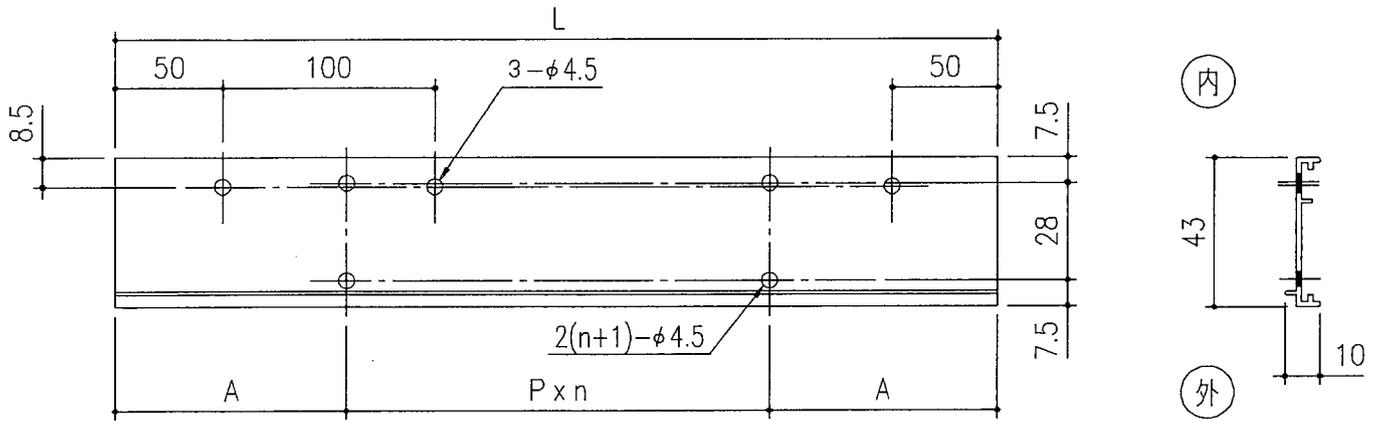
A 寸法	公 式
$A = (L - P \times n) / 2$	$L = H - 45$



加工図 <格子パネル>

7-8 Cタイプ横格子内付け用増たて枠(右)

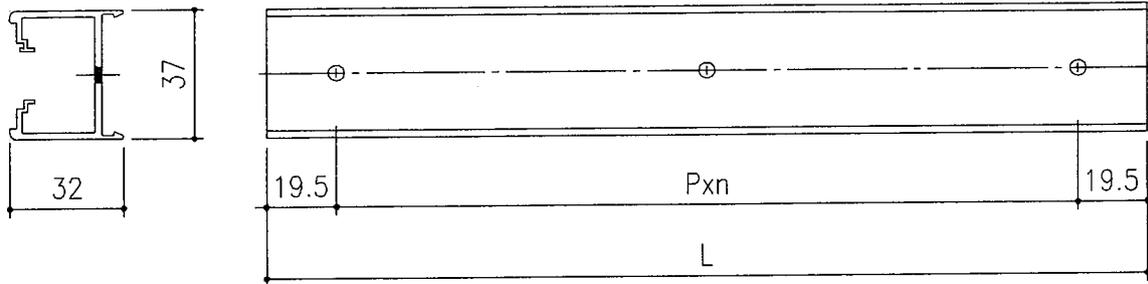
A 寸法	公 式
$A = (L - P \times n) / 2$	$L = H - 45$



加工図 <パネル枠>

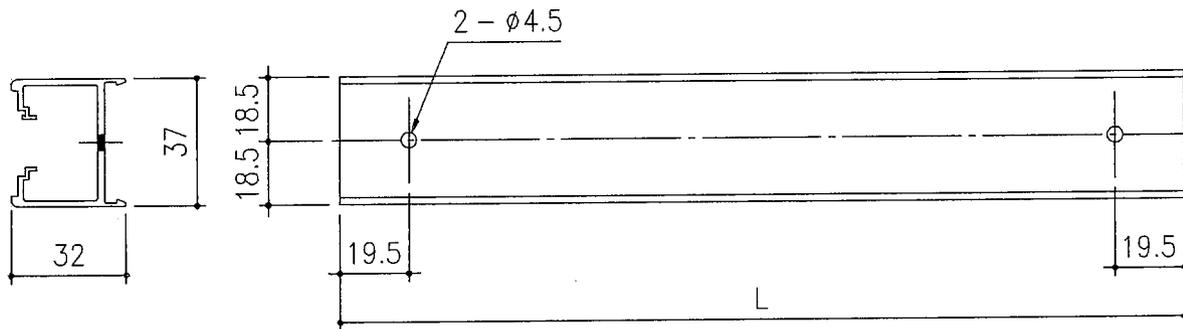
8-1 A・D・Hタイプパネル用上枠

タイプ	公式
A	$L = W1 - 26$
D,H	$L = W1 - 41$



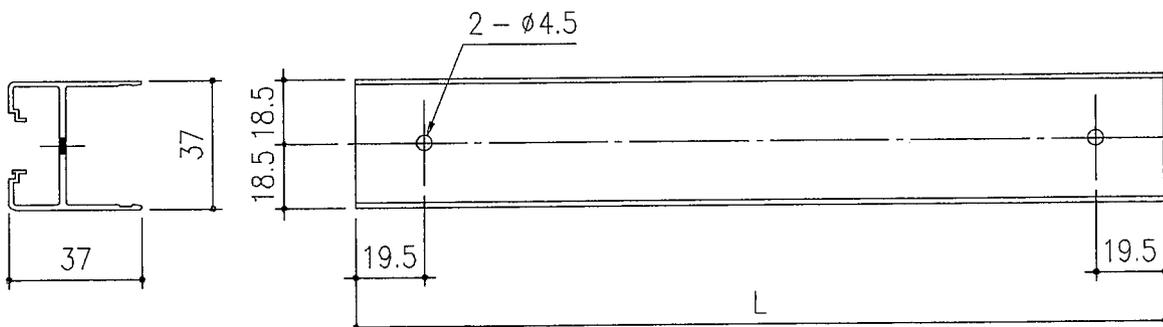
8-2 A・B・D・Hタイプパネル用上枠

タイプ	公式
A2,B2	$L = W1 - 26$
D,B3,H	$L = W1 - 41$



8-3 A・B・D・Hタイプパネル用下枠

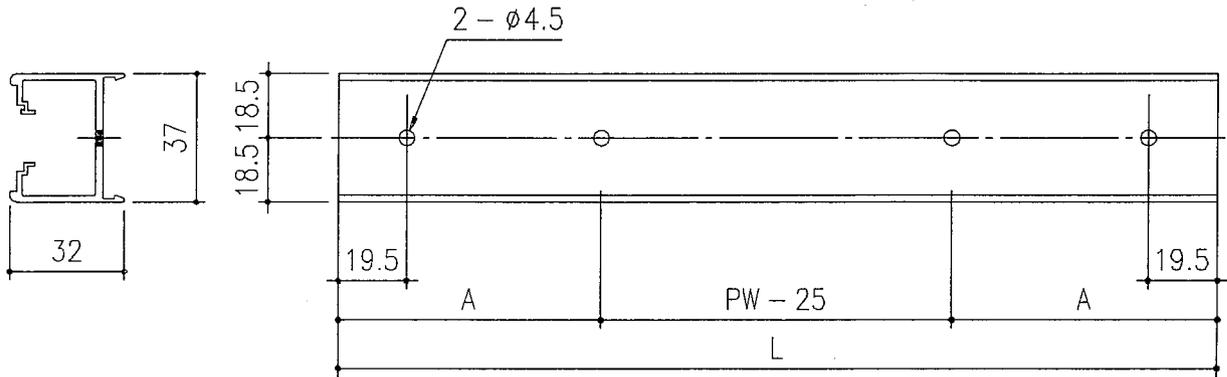
タイプ	公式
A2,B2	$L = W1 - 26$
D,B3,H	$L = W1 - 41$



加工図 < パネル枠 >

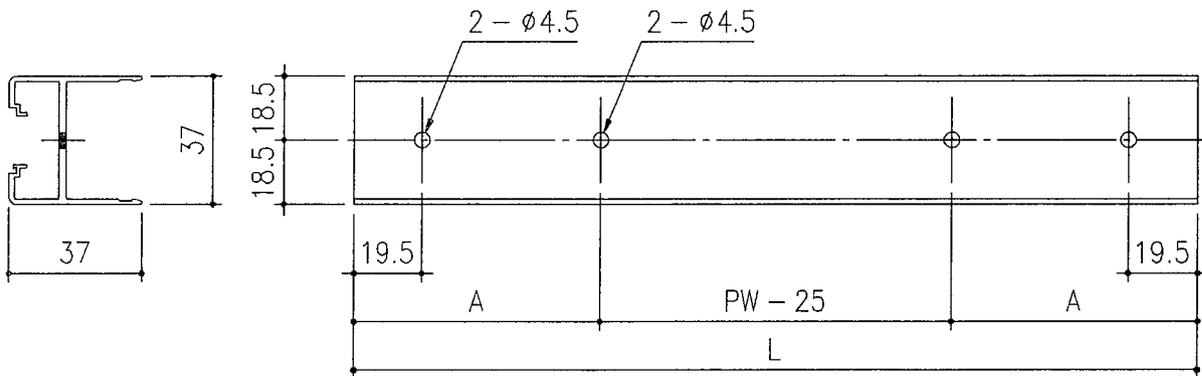
8-4 A・B・D・Hタイプパネル枠型用上枠

タイプ	A 寸法	公 式
A2,B2	$A = (L - PW - 25) / 2$	$L = W1 - 26$
B3,H,D		$L = W1 - 41$



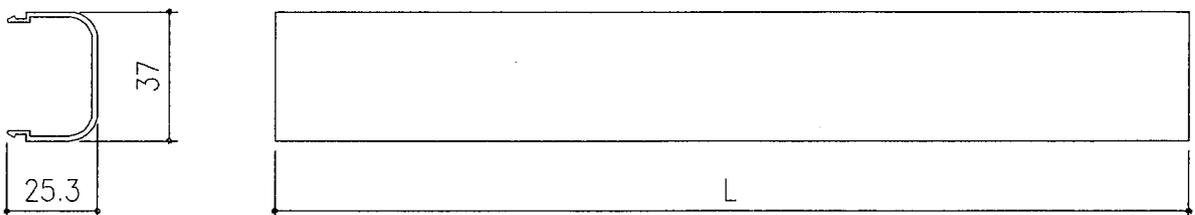
8-5 A・B・H・Dタイプパネル枠型用下枠

タイプ	A 寸法	公 式
A2,B2	$A = (L - PW - 25) / 2$	$L = W1 - 26$
B3,D,H		$L = W1 - 41$



8-6 A2・B・D・Hタイプ胴縁カバー

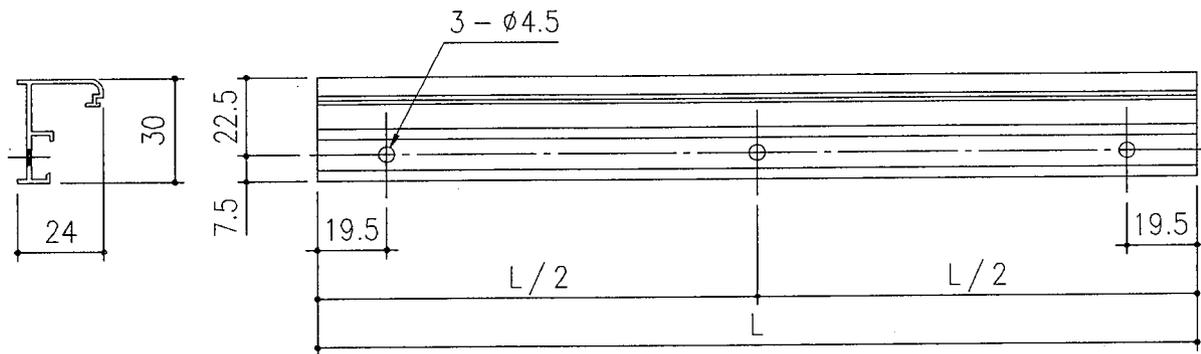
タイプ	公 式
A2,B2	$L = W1 - 26$
B3,H,D	$L = W1 - 41$



加工図 < パネル枠 >

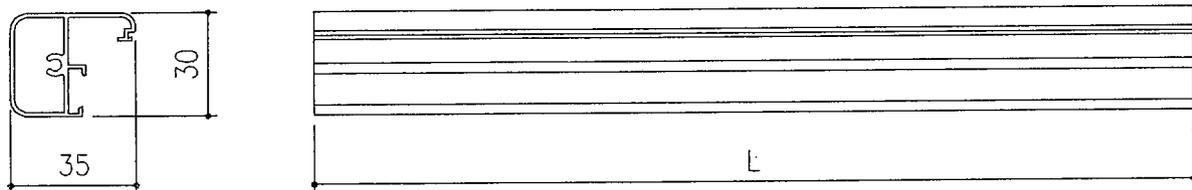
8-7 たて枠 (増枠型)

タイプ	公式
A,D,H	$L = PH - 62$
A2,B2,B3,H	$L = PH - 89$



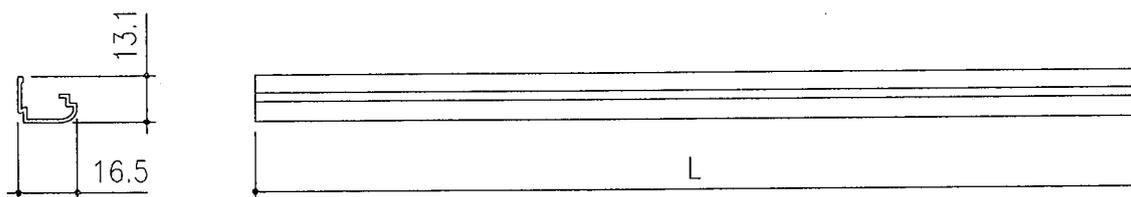
8-8 たて枠 (框型)

タイプ	公式
A,D,H	$L = PH - 62$
A2,B2,B3,H	$L = PH - 89$



8-9 押縁

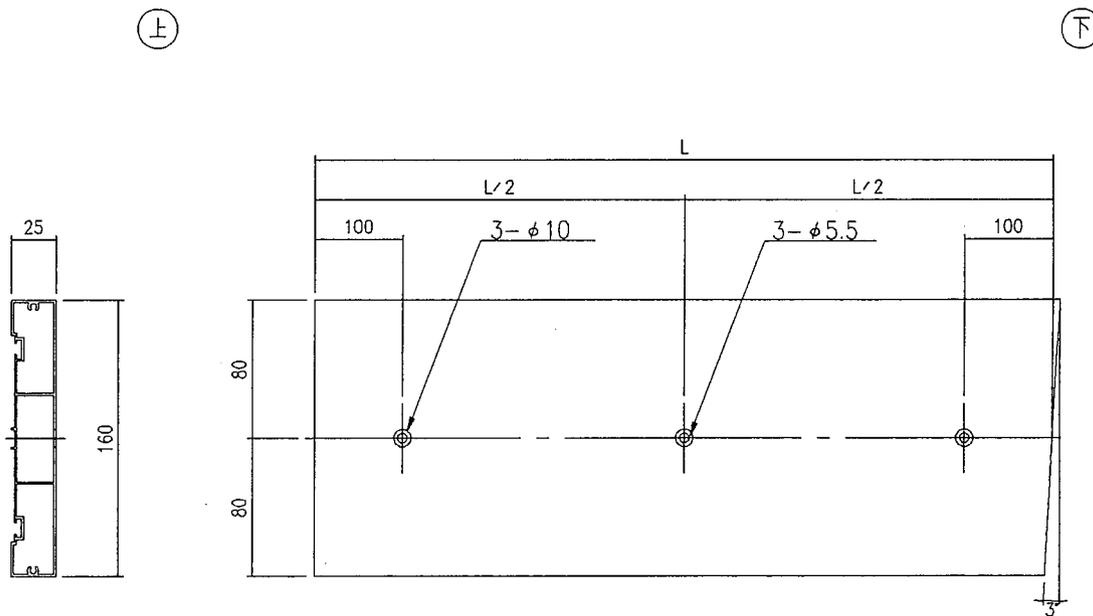
タイプ	公式
A,D,H	$L = PH - 62$
A2,B2,B3,H	$L = PH - 89$



加工図 <側枠>

9-1 側枠(左)

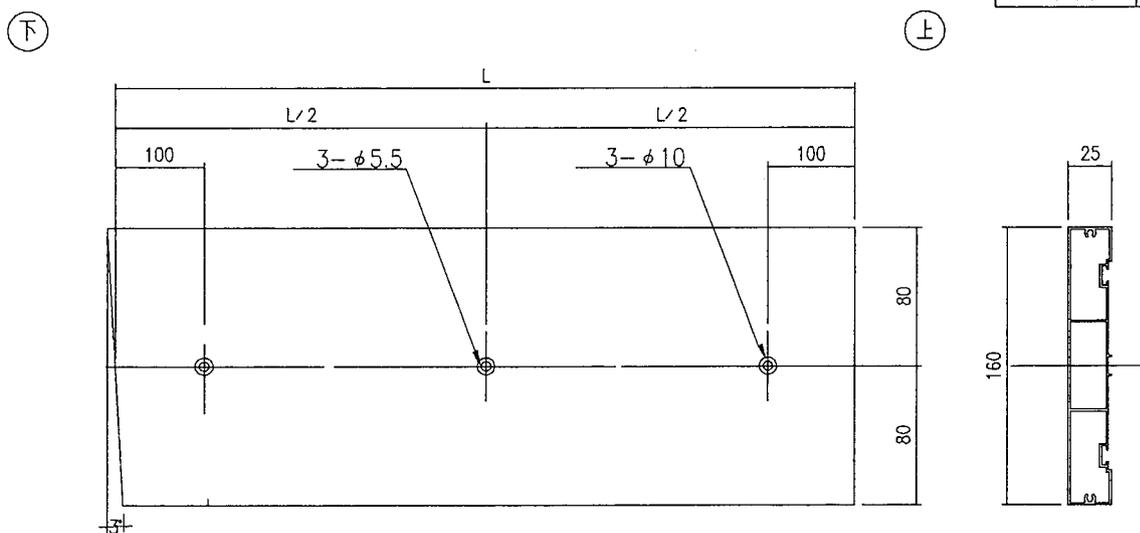
タイプ	公式
Aタイプ	$L = H - 50$
Bタイプ	$L = H - 190$



\* 穴明けピッチ P は 約 500 mm です。

9-2 側枠(右)

タイプ	公式
Aタイプ	$L = H - 50$
Bタイプ	$L = H - 190$

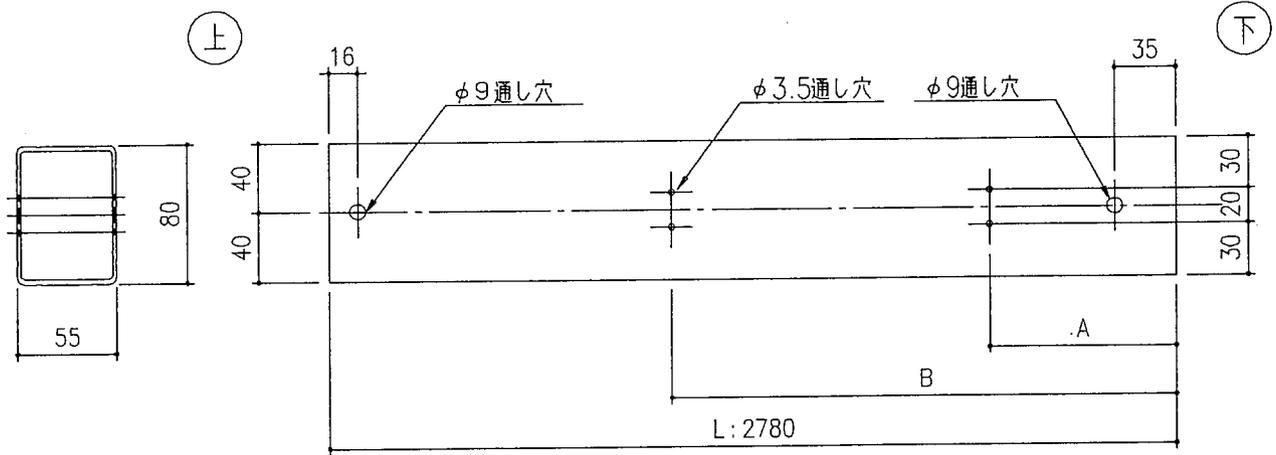


\* 穴明けピッチ P は 約 500 mm です。

加工図 <方立>

10-1 中間用 方立柱

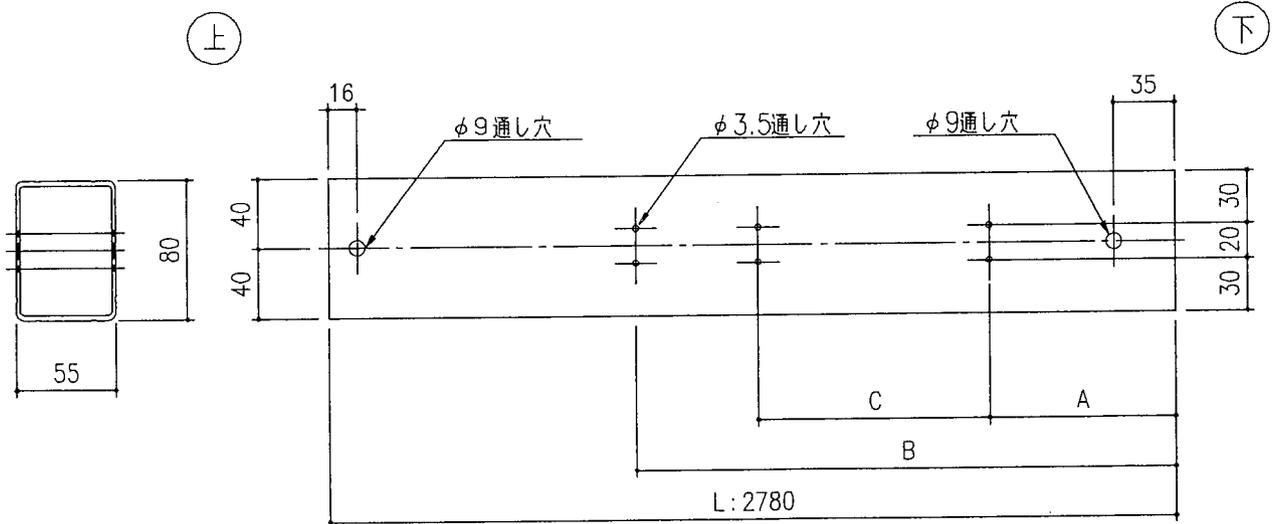
タイプ	A寸法	B寸法
A3タイプ	106	975
Hタイプ	211	1179



\*長さは現場に合わせて切断してください。

10-2 中間用 方立柱

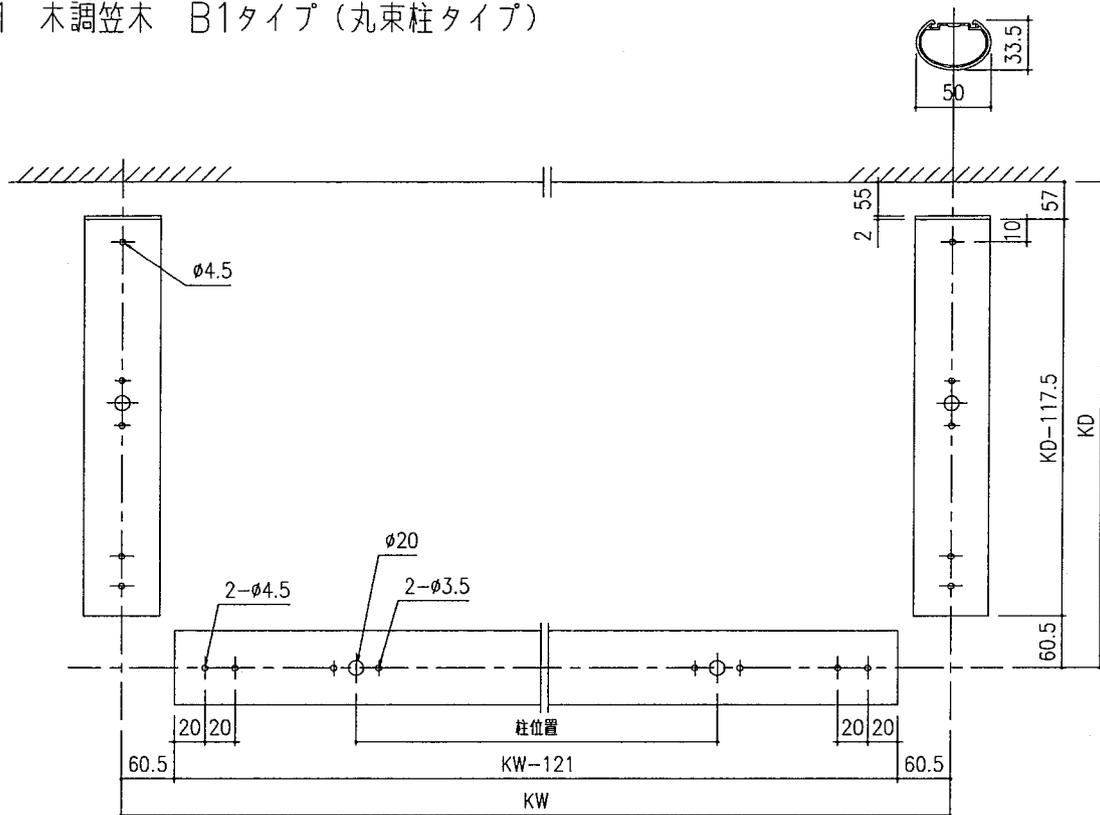
タイプ		A寸法	B寸法	C寸法
B3タイプ	格子	106	975	735
	パネル	106		733
	鋳物	78.5		789.5
Hタイプ	格子	211	1179	835
	パネル	211		833



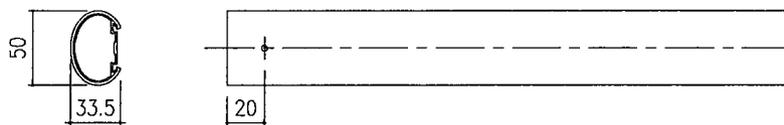
\*長さは現場に合わせて切断してください。

加工図 <木調笠木>

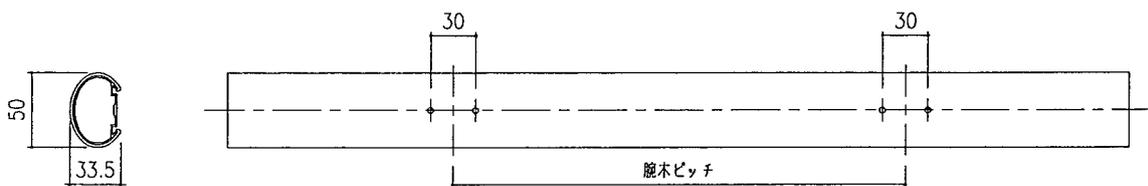
11-1 木調笠木 B1タイプ (丸束柱タイプ)



11-1 木調笠木 ジョイントカバー



11-1 木調笠木 Iタイプ (腕木タイプ)



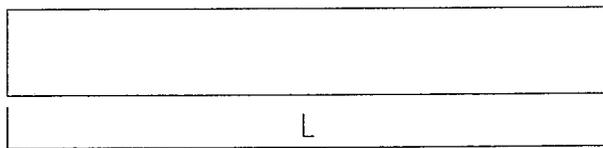
※ エンドキャップ・コーナブロック・ジョイントカバーはB1タイプと同じ加工です。

加工図 <丸束柱・55角柱・コーナー柱>

12-1 丸束柱 (B1タイプ)

公式

$$L=H-37$$

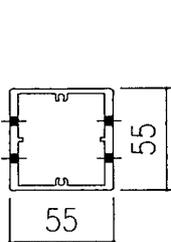


※ 木調笠木の場合、上端より7mm短い寸法になります。

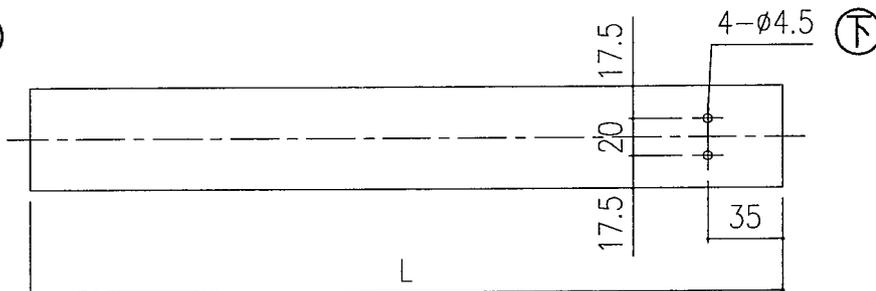
13-1 Hタイプ (直付タイプ) 55角柱

公式

$$L=H-46$$



⊕

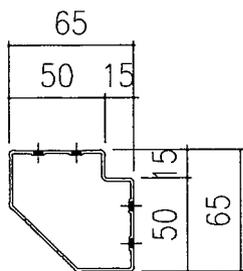


⊖

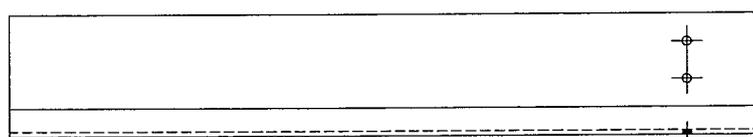
13-1 Hタイプ (直付タイプ) コーナー柱

公式

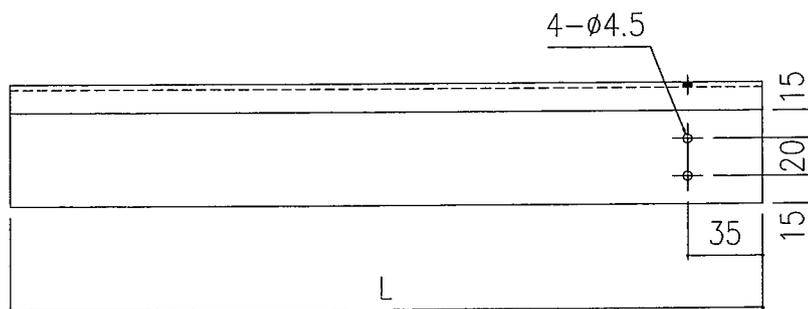
$$L=H-46$$



⊕

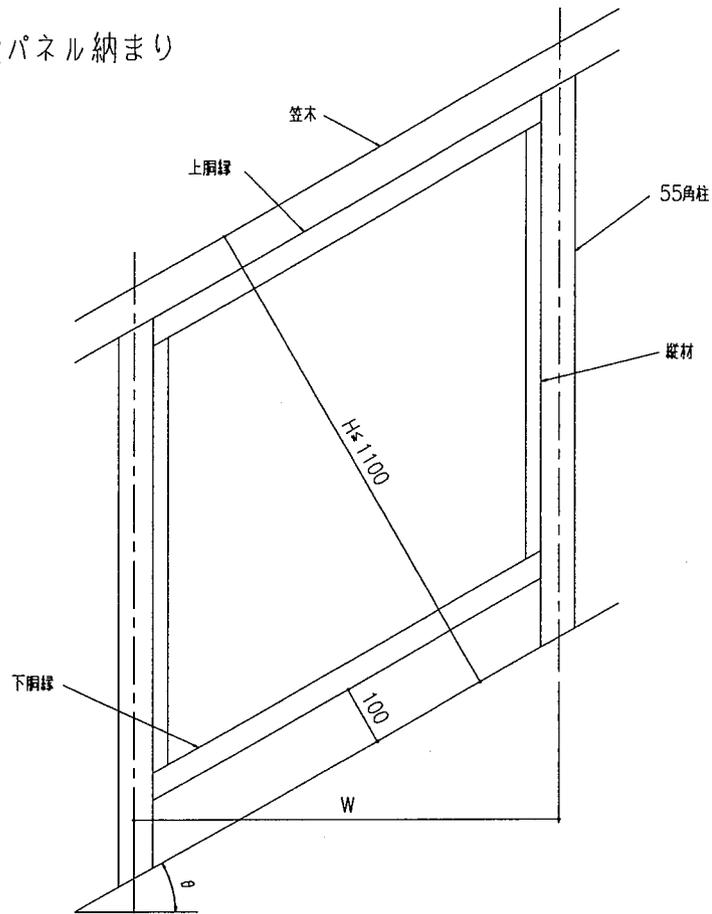


⊖



加工図 <階段用パネル納まり>

14-1 Hタイプ 階段パネル納まり

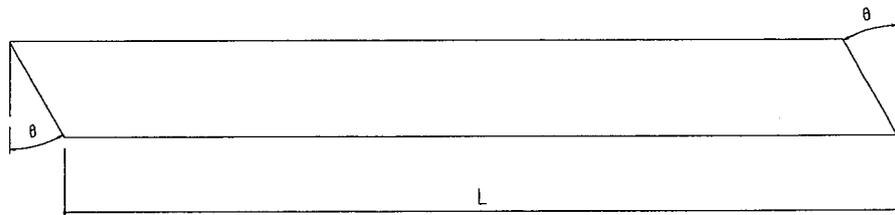
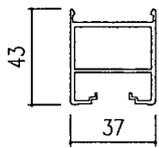


$W \leq 1000$   
 $H \leq 1100$

14-2 Hタイプ階段パネル納まり 上胴縁

公式

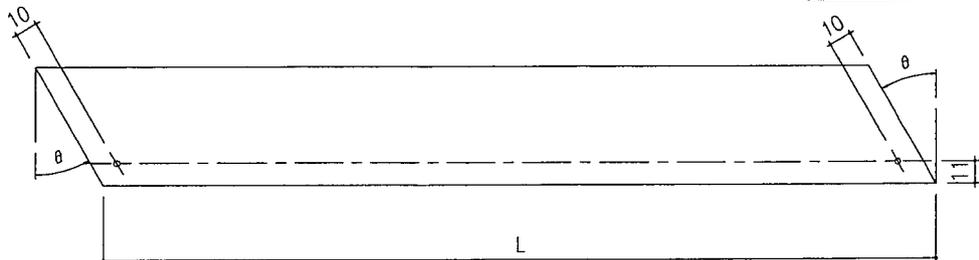
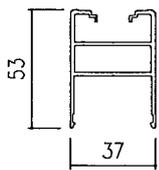
$$L = (W - 56) / \cos \theta$$



14-3 Hタイプ階段パネル納まり 下胴縁

公式

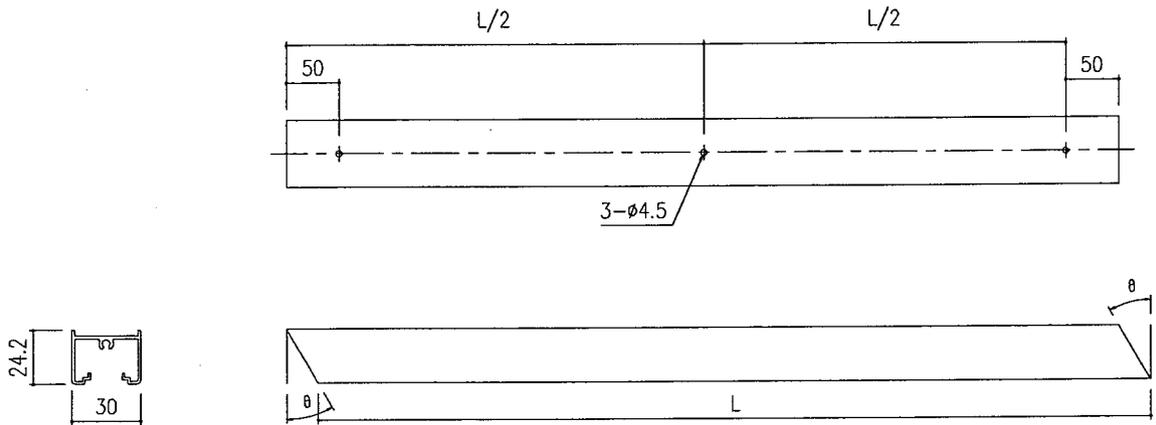
$$L = (W - 56) / \cos \theta$$



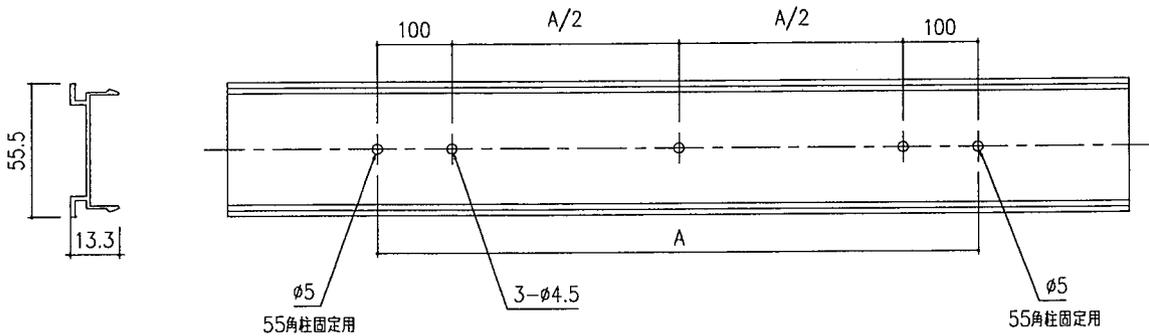
加工図 <階段用パネル納まり>

14-4 Hタイプ階段パネル納まり 縦枠 (増枠型)

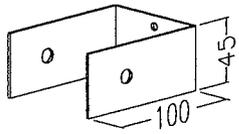
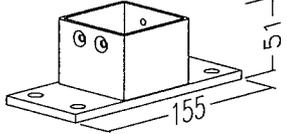
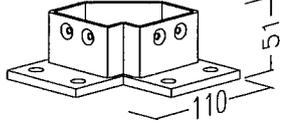
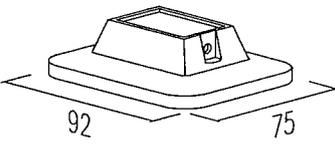
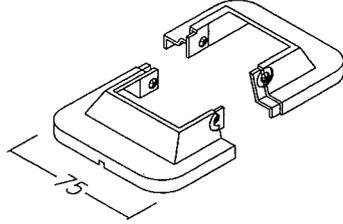
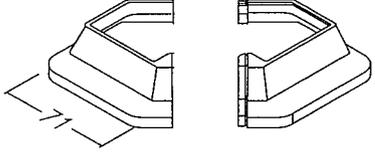
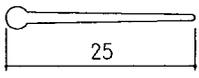
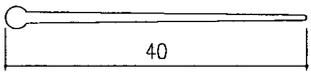
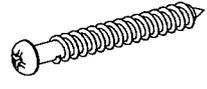
公式
$L = (H - 229) / \cos \theta$



14-5 Hタイプ階段パネル納まり 下胴縁



共通部品

テラス柱取付部品 (70角柱用) ●JTJTB	柱固定ブラケット (55角柱用) ●KTHEB5	柱固定ブラケット (コーナー角柱用) ●KTHCB5
 <p>六角ボルトM8X85 2ヶ M8スプリングワッシャー 2ヶ M8ワッシャー 2ヶ</p> <p>柱固定ブラケット 2ヶ M8袋ナット 2ヶ φ5×65ナベビス 5ヶ M5ワッシャー 4ヶ</p>	 <p>柱固定ブラケット 1ヶ コンクリートアンカーボルト 4ヶ φ5×16皿ビス 4ヶ</p>	 <p>柱固定ブラケット 1ヶ コンクリートアンカーボルト 4ヶ φ5×16皿ビス 4ヶ</p>
柱直付カバー (25×40柱用) ●KTHAB3CN	柱直付カバー (40×40柱用) ●KTDCB3C	柱直付カバー (コーナー柱用) ●KTHCB3C
 <p>柱直付カバー 4ヶ φ4×10トラスビス 4ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 4ヶ</p>	 <p>柱直付カバー 8ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 8ヶ</p>	 <p>柱直付カバー 8ヶ φ4×13セルフドリリングネジ 8ヶ</p>
ウェザーストリップ AKTPB1	ウェザーストリップ YBBOX39	木ビス50 ●KGBB1
20m巻	20m巻	50ヶ入
		 <p>丸木ネジφ5.1×50</p>

## 製品保証について

1. 保証者——新日軽株式会社
2. 保証の対象者——住宅の所有者
3. 対象商品——新日軽ブランドで販売している一般木造住宅用商品及びエクステリア商品。
4. 保証内容——通常取扱いによって生じた品質不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したものの。
5. 保証期間——当該商品の取付け完了後2年間。(電装部分については1年間)但し、完了時期については所有者が立証責任を負う。
6. 商品保証の免責事項  
原因が次の様な場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
  - イ. 環境が特に悪い地域の場所に取付けられたもの。(例えば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス等の反応特質が付着して起こる腐食、高温、低湿、多湿による損傷や故障)
  - ロ. 保証者の表示した取扱い方から逸脱したもの。
  - 例. (a) モルタル(アルミに接する部分)に海砂を使用。  
(b) モルタル(アルミに接する部分)に急結剤を使用。  
(c) 塩分等を含んだ木材を使用。  
(d) 中性洗剤以外のクリーニング剤を使用。  
(e) 施工指示どおりに施工がなされていない(コーキング、取付けネジ等)。  
(f) その他
  - ハ. 使用者もしくは第三者の誤り、または不当な処理や改造によるもの。
  - ニ. 保証者が表示した以上の性能を必要とする箇所に取付けられたために発生したもの。
  - ホ. 不可抗力(天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等)により発生したもの。
  - ヘ. 建具構成材であっても当社供給範囲外のもの。(ガラス等)
  - ト. 一般住宅用とは認められない使用目的に使用されたもの。
  - チ. 保証書に取付年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書替えられた場合。(保証書のついている電装商品)
  - リ. 保証書に記載する消耗品(電池等)による損傷や故障。(保証書のついている電装商品)

※商品保証に関するお問い合わせは、新日軽株支店、営業所もしくは新日軽商品取扱い店へご相談ください。